



# 順天堂大学医学部附属静岡病院年報

2019 年度版





2019 年度版静岡病院年報発刊に寄せて

順天堂大学医学部附属静岡病院院長 佐藤浩一

本年 1 月 7 日、静岡県のご承認を得て当院は長年の懸案であった地域医療支援病院の名称を頂きました。承認に際しまして、周辺医療機関、行政機関および医師会の皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。近隣医療連携機関として 131 施設、194 人の医師および歯科医師の先生方にご登録を頂きありがとうございました。当院は救急医療や新生児・周産期医療を中心に、地域医療に邁進してきましたが、今後はさらに、紹介率、逆紹介率の向上、医療機器の共同利用推進、地域の医療従事者の皆様に対する緩和ケア・脳卒中・肝炎・周産期に関する研修会の開催などに務めて参りたいと考えております。

当院は現在、新棟の建設を行っております。新棟は、地上 7 階、地下 1 階の鉄筋コンクリート造、免震構造の建築物で、既存棟改修と合わせた病院機能の拡張を目指しています。現在の延べ床面積は 38,794m<sup>2</sup> (67m<sup>2</sup>/床)と大変手狭ですが、新棟の完成により 56,185m<sup>2</sup> (97m<sup>2</sup>/床)と延べ床面積が約 1.5 倍に拡張されます。新棟には、手術室 11 室を始め、救急外来、救急救命センター、NICU、MFICU、シネアングロ室、内視鏡室などを移転させ、今後もよりいっそう地域医療に貢献していきたいと考えております。

当院は看護師特定行為研修施設の準備を進めて参りましたが、本年 2 月 26 日に厚生労働省より指定研修機関として承認を受けました。医療過疎である静岡県東部地域で、特定行為看護師を養成するということは、非常に有意義なことであると考え準備を進めて参りました。今後は救急領域、皮膚排泄ケア領域に必要な 5 区分、11 行為について、特定行為が出来る看護師を養成していきます。本年度は当院からのみの看護師募集でございますが、来年度からは静岡県東部より広く看護師を募集したいと考えております。



# 行事写真



新入職員オリエンテーション (4月1~3日)



新入職員フォローアップ研修 (5月18日)



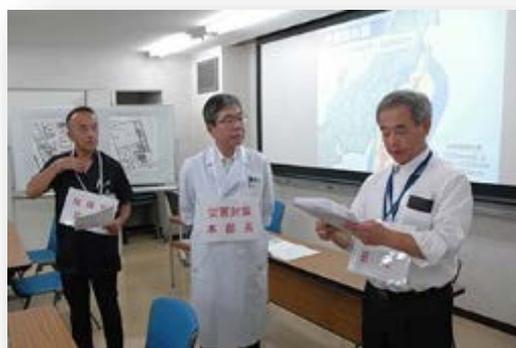
子ども医療体験セミナー  
コードブルーセミナー (5月25日)



世界肝炎デー院内イベント (7月23日)



東部周産期研究会 (7月26日)



洪水・土砂災害対応訓練 (9月27日)



院内コンサート (10月5日)



緩和ケア研修会 (10月27日)

# 行事写真



消防訓練 (10月30日)



口腔ケア研修会 (12月16日)



賀詞交歓会 (1月7日)



アレルギー疾患研究会 (1月14日)



キャンサーボードカンファレンス (2月6日)



東部地区救命救急医学研修会 (2月12日)



医療連携フォーラム (2月19日)



院内コンサート (2月22日)

# 市民公開講座

順天堂大学医学部附属静岡病院 第77回 市民公開講座

## 貧血のお話し

～ 悪性疾患が隠れていることがあるので気をつけましょう ～

講師 順天堂大学医学部附属静岡病院  
血液内科 准教授

岩尾 憲明



日時 平成31年 4月24日(水)

17時30分～18時30分 (開場: 17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)



申込不要 参加無料  
手話通訳あり

【共催】 順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、  
静岡県立医学研究センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話: 055-948-3111  
病院ホームページ: <http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>

順天堂大学医学部附属静岡病院 第78回 市民公開講座

## リウマチのお話し

～ リウマチと上手く付き合っていくために ～

講師 順天堂大学医学部附属静岡病院  
膠原病・リウマチ内科 助手

岡田 隆



日時 2019年 6月17日(月)

17時30分～18時30分 (開場: 17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)



申込不要 参加無料  
手話通訳あり

【共催】 順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、  
静岡県立医学研究センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話: 055-948-3111  
病院ホームページ: <http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>

順天堂大学医学部附属静岡病院 第79回 市民公開講座

## 目の充血

目が赤くなった! 危険? それとも?

ひと目で目の充血と言ってもその原因は千差万別で、睡眠不足や結膜下出血などの心配のいらぬものから、アレルギー性結膜炎、ドライアイ、はやり目、急性緑内障発作など、加療を要するものまであります。その概要を解説します。

講師 順天堂大学医学部附属静岡病院  
眼科 先任准教授

土至田 宏



日時 2019年 7月18日(木)

17時30分～18時30分 (開場: 17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)



申込不要 参加無料  
手話通訳あり

【共催】 順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、  
静岡県立医学研究センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話: 055-948-3111  
病院ホームページ: <http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>

順天堂大学医学部附属静岡病院 第80回 市民公開講座

## 防ごう脳卒中! 急ごう脳卒中!

～ 脳卒中の予防と最新治療 ～

脳卒中は、高齢者が要介護となる原因の第一位ですが、伊豆半島でも高齢化が進み、脳卒中の患者さんが年々増えています。今回の市民公開講座では、脳卒中にならないための工夫と、万が一脳卒中になってしまった時の対処法について紹介します。



講師 順天堂大学医学部附属静岡病院  
脳神経外科 教授 山本 拓史

日時 2019年 8月20日(火)

17時30分～18時30分  
(開場: 17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)



申込不要 参加無料  
手話通訳あり

【共催】 順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、  
静岡県立医学研究センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話: 055-948-3111  
病院ホームページ: <http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>

# 市民公開講座

## 公開講座

### 合同開催 in 三島キャンパス

第25回 順天堂大学医学部附属静岡病院 市民公開講座  
第26回 順天堂大学医学部附属静岡病院 市民公開講座

# パーキンソン病を いきいき生きる

2019年  
**9月7日(土)**  
13:30~15:50 (開場13:00)

**参加無料・申込不要**  
Eメール申し込み可

**講演1** パーキンソン病の基礎から最新治療まで  
講師/大熊 泰之  
順天堂大学医学部附属静岡病院 脳神経内科 教授  
順天堂大学医学部附属静岡病院 脳神経内科 教授

**講演2** ただ歩くだけじゃダメ!? パーキンソン病患者の運動・生活のコツを教えます  
講師/石井 啓太  
順天堂大学医学部附属静岡病院 脳神経内科 教授  
順天堂大学医学部附属静岡病院 脳神経内科 教授

**会場** 順天堂大学保健看護学部三島キャンパス  
〒411-8507 静岡県三島市大宮1-1-1 順天堂大学  
【駐車場は約100台以内です。】  
【駐車場は約100台以内です。】  
【駐車場は約100台以内です。】  
【駐車場は約100台以内です。】

**手話通訳あり** 聴覚障害者の方には、手話通訳を行います。

順天堂大学保健看護学部  
TEL:055-991-3111 (内線)  
E-mail:shimajuntendo.ac.jp

順天堂大学医学部附属静岡病院  
http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/

順天堂大学保健看護学部  
http://www.juntendo.ac.jp/hsr/

## 順天堂大学医学部附属静岡病院 第82回 市民公開講座 (手話通訳付き)

# 急性の痛みと慢性の痛み

～ 全く異なる2つの痛みを理解しましょう ～

**講師** 順天堂大学医学部附属静岡病院  
麻酔科・ペインクリニック 教授  
緩和ケアサポートチーム リーダー  
**岡崎 敦**

世の中には、痛みで困っている人は大変多くいます。しかし、慢性の痛みに悩む人の中には、自分自身が痛みを強くしている人もいます。急性の痛みと慢性の痛みの違いを知ることで痛みが和らぐことができ、痛みがあっても明るい人生を過ごすことができる方法を、こっそり教えましょう。

**日時** 2019年 **10月11日(金)**  
17時30分～18時30分 (開場:17時00分)

**場所** 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)

**参加無料・申込不要**  
※定員になり次第受付終了致します

【共催】 順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡医歯学研究所センター、伊豆の国市、一般社団法人田力医師会  
【お問い合わせ】 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話:055-948-3111  
病院ホームページ: http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/

## 順天堂大学医学部附属静岡病院 第83回 市民公開講座

# 心臓発作の対処法

～ 未然に防ぐ対策、緊急時の対応 ～

**講師** 順天堂大学医学部附属静岡病院  
循環器内科 先任准教授  
**諏訪 哲**

いつもと異なる症状が異なりますのでご注意ください。

**日時** 2019年 **11月18日(月)**  
17時00分～18時00分 (開場:16時30分)

**場所** 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)

**申込不要** **参加無料**  
**手話通訳あり**

【共催】 順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡医歯学研究所センター、伊豆の国市、一般社団法人田力医師会  
【お問い合わせ】 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話:055-948-3111  
病院ホームページ: http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/

## 順天堂大学医学部附属静岡病院 第84回 市民公開講座 (手話通訳付き)

# 肝機能の数値が少し気になる方へ

検査結果の見方とよくある肝臓病 - 脂肪肝とアルコール

順天堂大学医学部附属静岡病院  
消化器内科 教授 **玄田 拓哉**

血液検査での肝機能の項目は、無症状でも異常値を示すことがしばしばあります。この検査異常はどのような意味を持っているのでしょうか？また放置しておいても大丈夫でしょうか？検査値の見方と、頻度の高い病気について分かりやすく解説します。

**日時** 2019年 **12月17日(火)**  
17時30分～18時30分 (開場:17時00分)

**場所** 順天堂大学医学部附属静岡病院  
(伊豆の国市長岡1129番地)

**申込不要** **参加無料**  
**手話通訳あり**

無料簡易検査は  
先着10名様程度

講演終了後、肝炎コーディネーターによる**受診相談会**と  
脂肪肝や肝臓の硬さを測る**無料簡易検査**を行います！

【共催】 順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡医歯学研究所センター、伊豆の国市、一般社団法人田力医師会  
【お問い合わせ】 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話:055-948-3111  
病院ホームページ: http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/

# 市民公開講座

- 順天堂大学医学部附属静岡病院 -  
アレルギー疾患研修会

## 皮膚のバリア機能 と皮膚炎

- 皮膚のアレルギーって? -

【講師】  
順天堂大学医学部附属静岡病院  
皮膚・アレルギー科 教授  
長谷川 敏男 医師

研修会開催詳細

日時 2020年1月14日(火) 17時30分～18時30分 (開場: 17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室

住所 伊豆の国市長岡1129番地

お問い合わせ 順天堂大学医学部附属静岡病院  
TEL: 055-948-3111

参加無料  
申込不要

※定員になり次第、受付を終了させていただきます。



平成27年度 文部科学省 「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」採択  
大規模災害に対応する包括的医療提供体制構築を目指す総合型研究拠点の形成

順天堂大学大学院  
医学研究科 静岡災害医学研究センター

## 市民公開講座

### ヘビに噛まれた時 ハチに刺された時 あなたはどうしますか?

講師 竹内 郁人 順天堂大学医学部附属静岡病院  
救急診療科

2020年2月14日(金) 17:30～18:30 (開場 17:00)

申込不要・参加無料・手話通訳あり

順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室 (伊豆の国市長岡1129番地)

主催: 順天堂大学大学院 医学研究科 静岡災害医学研究センター  
後援: 順天堂大学医学部附属静岡病院 / 伊豆の国市  
一般社団法人伊豆医師会

【お問い合わせ】 順天堂大学大学院 医学研究科 静岡災害医学研究センター TEL 055-948-3111 (内線)  
URL: [https://www.juntendo.ac.jp/hospital\\_shizuoka/mrcdf/](https://www.juntendo.ac.jp/hospital_shizuoka/mrcdf/)



# 目次

## 1. 病院概要

1-1	基本理念	3
1-2	基本方針	3
1-3	施設概要	3
1-4	組織機構図	4
1-5	所属長一覧	5
1-6	医師名簿	6
1-7	職員数	7
1-8	各種委員会	8
1-9	活動報告	9
1-9(2)	講演会	11
1-10	社会貢献・地域交流活動	12
1-11	指定・認定・許可事項	13

## 2. 診療科報告

2-1	膠原病内科・リウマチ科・アレルギー科	18
2-2	血液内科	20
2-3	消化器内科	23
2-4	呼吸器内科	26
2-5	腎臓内科	29
2-6	糖尿病・内分泌内科	31
2-7	循環器内科	33
2-8	小児科	44
2-9	一般外科	47
2-10	脳神経外科	53
2-11	整形外科	58
2-12	脳神経内科	64
2-13	心臓血管外科	68
2-14	呼吸器外科	71
2-15	形成外科	73
2-16	眼科	75
2-17	耳鼻咽喉科	81
2-18	麻酔科	83
2-19	放射線科	86
2-20	メンタルクリニック	87
2-21	皮膚科	90
2-22	泌尿器科	93
2-23	産婦人科・総合周産期母子医療センター	97
2-24	救急診療科	103
2-25	病理診断科	112
2-26	リハビリテーション科	114

2-27	臨床検査科 .....	116
------	-------------	-----

### 3. 部門報告

3-1	薬剤科 .....	119
3-2	栄養科 .....	123
3-3	放射線室 .....	125
3-4	検査室 .....	128
3-5	手術室 .....	130
3-6	血液浄化センター .....	131
3-7	臨床工学室 .....	133
3-8	輸血室 .....	135
3-9	看護部 .....	137
3-9 (1)	看護総務課 .....	142
3-9 (2)	看護外来業務課 .....	144
3-9 (3)	看護教育課 .....	146
3-10	救命救急センター .....	154
3-11	ドクターヘリ運航対策室 .....	155
3-12	新生児センター .....	160
3-13	がん治療センター .....	162
3-14	予防医学センター .....	164
3-15	GCP センター .....	167
3-16	臨床研修センター .....	169
3-17	医療サービス支援センター	
3-17 (1)	地域医療連携室 .....	173
3-17 (2)	医療福祉相談室 .....	174
3-17 (3)	退院支援看護師 .....	175
3-17 (4)	患者・看護相談室 .....	177
3-17 (5)	受診相談・総合案内 .....	178
3-18	医療安全管理室 .....	179
3-19	感染対策室 .....	182
3-20	健康管理室 .....	183

### 4. 統計

4-1	病床利用率 .....	189
4-2	在院日数 .....	189
4-3	診療科別延患者数(外来) .....	190
4-4	診療科別延患者数(入院) .....	191
4-5	新患者数(外来) .....	192
4-6	新患者数(入院) .....	193
4-7	退院患者数 .....	194
4-8	年齢別延患者数(外来) .....	195
4-9	年齢別延患者数(入院) .....	195
4-10	地区別延患者数(外来) .....	196

4-11	地区別延患者数(入院) .....	197
------	-------------------	-----

# 1. 病院概要



## 1-1 基本理念

1. 学是「仁」の精神で人々の生命を尊重する
2. 「不断前進」の理念で創造的な前進と改革を進める
3. 大学医学部附属病院として、診療・教育・研究の充実を計る

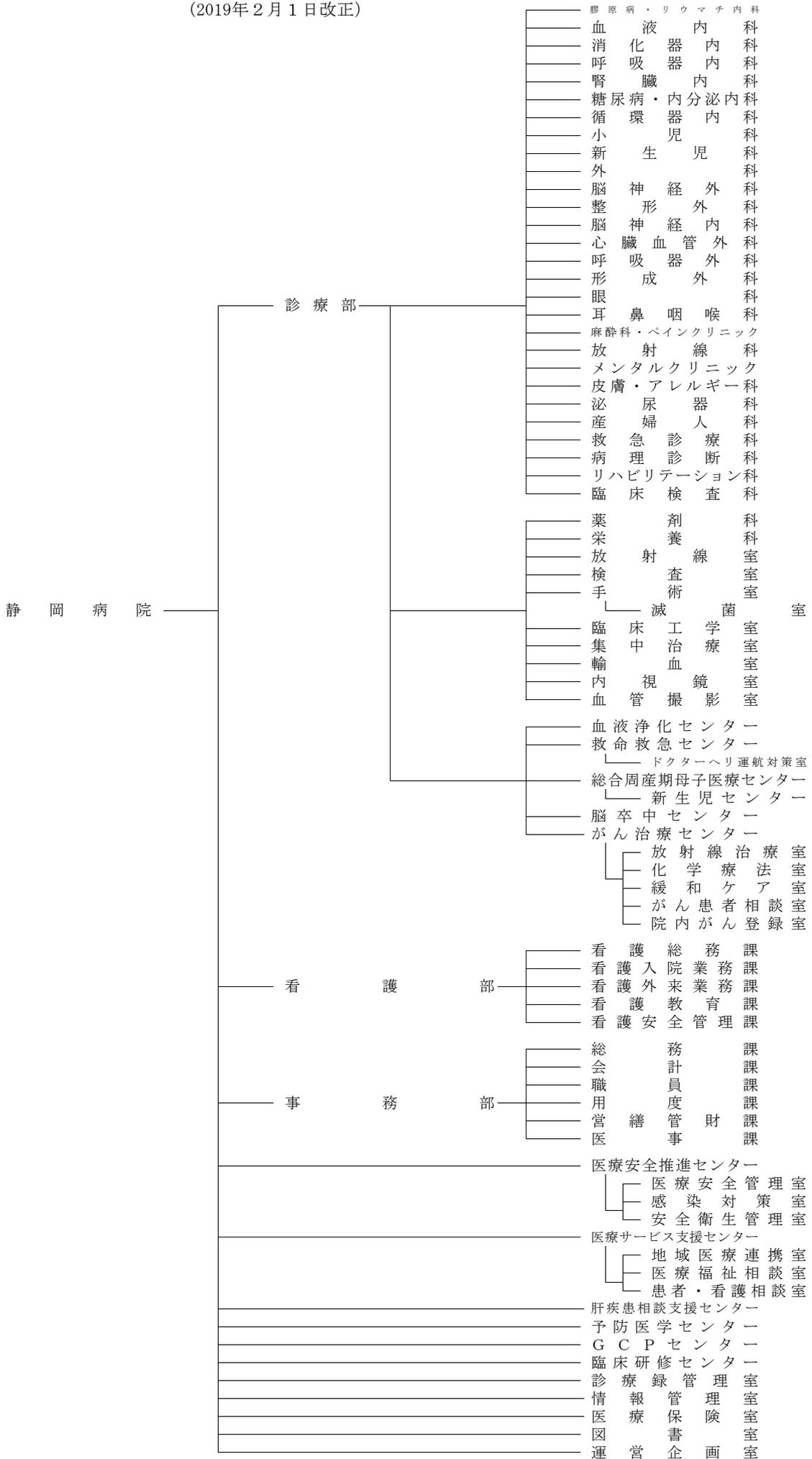
## 1-2 基本方針

1. 患者さん一人一人に、安全で根拠に基づく高い質の医療を提供する
2. 患者さんに満足していただける、きめ細かい手作りの看護をおこなう
3. 快適な療養生活ができる環境を提供する
4. 医療安全対策、病病・病診連携に取り組む
5. 最新の医療情報の提供に努める

## 1-3 施設概要

名称	:	順天堂大学医学部附属静岡病院
所在地	:	〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡 1129
電話番号	:	055-948-3111(代表)
FAX	:	055-948-5088
敷地面積	:	27,122.83 平方メートル
病床数	:	577 床

順天堂大学医学部附属静岡病院組織機構図  
(2019年2月1日改正)



## 1-5 所属長一覧

令和2年3月31日現在

部 署	責 任 者	部 署	責 任 者
院長	佐藤 浩一	看護部長	堀江 みどり
副院長	藤田 和彦	看護総務課	堀込 克代
副院長	太田 俊彦	看護入院業務課	萩島 真弓
院長補佐	小池 道明	看護外来業務課	田中 ひとみ
院長補佐	山本 拓史	看護教育課	濱口 真知子
診療部長	山本 拓史	看護安全管理課	矢田 みどり
膠原病・リウマチ内科	片桐 彰	事務部長	小野 隆宏
血液内科	小池 道明	総務課	萩原 賛泰
消化器内科	玄田 拓哉	会計課	小野 隆宏
呼吸器内科	岩神 真一郎	職員課	阿部 幸雄
腎臓内科	清水 芳男	用度課	市川 政雄
糖尿病・内分泌内科	池田 富貴	営繕管財課	市川 政雄
循環器内科	諏訪 哲	医事課	萩原 賛泰
小児科	寒竹 正人	救命救急センター	柳川 洋一
外科	佐藤 浩一	新生児センター	寒竹 正人
脳神経外科	山本 拓史	総合周産期母子医療センター	田中 利隆
整形外科	大林 治	脳卒中センター	山本 拓史
脳神経内科	野田 和幸	がん治療センター	田中 顕一郎
心臓血管外科	丹原 圭一	予防医学センター	清水 芳男
呼吸器外科	平山 俊希	GCPセンター	玄田 拓哉
形成外科	千田 大貴	臨床研修センター	中尾 保秋
眼科	太田 俊彦	診療録管理室	諏訪 哲
耳鼻咽喉科	楠 威志	情報管理室	岡崎 敦
麻酔科・ペインクリニック	岡崎 敦	医療安全推進センター	藤田 和彦
放射線科	松波 環	医療安全管理室	藤田 和彦
メンタルクリニック	桐野 衛二	感染対策室	岩神 真一郎
皮膚科	長谷川 敏男	安全衛生管理室	桐野 衛二
泌尿器科	藤田 和彦	医療サービス支援センター	櫻田 睦
産婦人科	田中 利隆	地域医療連携室	櫻田 睦
救急診療科	柳川 洋一	医療福祉相談室	櫻田 睦
病理診断科	和田 了	患者・看護相談室	櫻田 睦
臨床検査科	田内 一民	医療保険室	山本 拓史
薬剤科	玄田 拓哉	図書室	諸橋 達
栄養科	前川 博	運営企画室	小野 隆宏
放射線室	松波 環		
検査室	和田 了		
手術室	尾前 毅		
リハビリテーション科	田沼 明		
血液浄化センター	清水 芳男		
臨床工学室	岡崎 敦		
集中治療室	久米村 正輝		
輸血室	岩尾 憲明		

# 1-6 医師名簿

□併任 令和2年3月31日現在

膠原病・リウマチ内科	小児・新生児科	志村 有永	洪 景 都	病 理 診 断 科
片 桐 彰	寒 竹 正 人	西 嶋 智 子	櫻 庭 園 子	和 田 了
津 島 浩	小 児 科	大 谷 慧	太 田 正 孝	臨 床 検 査 科
岡 田 隆	有 井 直 人	水 野 洋 佑	久 米 村 正 輝	田 内 一 民
村 田 純 一	馬 場 洋 介	木 原 航	勝 田 陽 介	臨 床 研 修 医
血 液 内 科	宮 崎 萌 香	寺 本 樹 里	岩 坪 千 恵	阿 部 圭 希
小 池 道 明	江 原 尚 弘	石 橋 仁 志	安 居 真 梨 子	板 倉 萌
岩 尾 憲 明	林 昂 彦	中 嶋 亮 介	放 射 線 科	北 祐 次
三 澤 恭 平	石 田 翔 二	リハビリテーション科	水 谷 好 秀	佐々木 響子
藤 岡 功	加 護 祐 久	田 沼 明	松 波 環	鈴 木 崇 丸
古 川 芳 樹	新 生 児 科	□ 大 林 治	田 畑 孝 純	瀬 川 将 史
消 化 器 内 科	大 川 夏 紀	□ 寺 本 樹 里	新 井 貴 士	武 政 尚 暉
玄 田 拓 哉	横 倉 友 諒	脳 神 経 内 科	桑 鶴 良 季	長 崎 勇 典
嶋 田 裕 慈	宮 林 和 紀	大 熊 泰 之	メンタルクリニック	永 野 友 理 恵
佐 藤 俊 輔	齋 藤 雪 香	野 田 和 幸	桐 野 衛 二	仁 平 高 朔
廿 樂 裕 徳	関 口 早 紀	安 藤 真 矢	下 村 香 織	野 波 隆 寛
村 田 礼 人	羽 根 将 之	城 崇 之	福 島 絵 里 子	舟 本 学
林 田 翔 希	井 福 真 友 美	石 黒 麻 由	皮 膚・アレルギ科	待 山 祐 一 郎
天 野 希 外	外 科	若 盛 亮	長 谷 川 敏 男	松 田 紘 佳
佐 藤 祥 翔	佐 藤 浩 一	心 臓 血 管 外 科	野 口 篤 篤	水 島 和 彦
高 橋 翔 至	前 川 博 一	丹 原 圭 一	野々垣 香 織	三 戸 統
池 田 裕 至	田 中 頭 一 郎	齋 藤 洋 輔	鈴 木 真 理 恵	村 松 賢 一 士
呼 吸 器 内 科	櫻 田 陸 志	宮 崎 豪 一	高 田 佳 子	森 谷 哲 平
岩 神 真 一 郎	櫛 田 知 志	町 田 洋 一 郎	泌 尿 器 科	米 本 周 平
原 宗 央	伊 藤 智 彰	呼 吸 器 外 科	藤 田 和 彦	渡 邊 碧 音
岩 神 直 子	櫻 庭 駿 介	平 山 俊 希	斎 藤 恵 介	渡 邊 武 大 介
宮 下 洋 佑	徳 田 智 史	内 田 真 介	中 島 晶 子	渥 美 皓 也
松 田 浩 成	上 田 脩 平	小 西 泰 人	野 口 尊 弘	小 野 里 匠 也
上 田 翔 子	加 藤 永 記	形 成 外 科	白 川 智 也	尾 原 祐 樹
増 田 孝 一	山 本 陸 博	千 田 大 貴	増 田 奈 々 子	加 藤 究 太
腎 臓 内 科	小 泉 明 博	内 山 美 津 希	脇 田 春 彦	門 倉 椋
清 水 芳 男	村 井 勇 太	植 木 響 政	産 婦 人 科	河 口 大 洋
若 林 啓 一	安 藤 美 沙	眼 科	田 中 利 隆	河 口 はるか
大 熊 輝 之	朝 倉 孝 延	太 田 俊 彦	金 田 容 秀	菊 池 遥 太
葛 航 晨	山 本 拓 史	土 至 田 宏	田 中 里 美	小 池 周 一
糖 尿 病・内 分 泌 内 科	中 尾 保 秋	松 崎 有 修	矢 田 昌 太 郎	五 藤 千 奈 生
池 田 富 貴	渡 邊 瑞 也	林 雄 介	村 瀬 佳 子	櫻 井 幹 正 太
三 浦 正 樹	上 野 英 明	市 川 浩 平	伊 藤 早 紀	佐 治 正 太
杉 本 大 介	宇 藤 優 隆	朝 岡 聖 子	小 林 徹 子	竹 内 幹 就
田 島 翼	黒 田 清 隆	反 田 蓉 子	正 岡 龍 里	中 山 拓 己
循 環 器 内 科	堀 越 恒	杉 田 丈 夫	川 田 美 里	西 方 芙 未
諏 訪 哲 学	西 岡 和 輝	矢 田 千 紘	松 澤 奈 々	西 村 周 意
荻 田 之 北	杉 山 夏 来	耳 鼻 咽 喉 科	救 急 診 療 科	野 口 正 貴 道
塩 澤 知 之	北 村 高 之	楠 威 志	柳 川 洋 一	野 嶋 仁 貴 道
和 田 英 樹	新 井 晶	本 間 博 友	大 森 一 彦	延 島 貴 明
谷 津 翔 一 朗	整 形 外 科	城 所 淑 信	大 出 靖 将	美 原 徳 平
園 田 健 人	大 林 治 彦	賀 屋 勝 太	大 坂 裕 準	吉 田 昂 平
安 田 健 太 郎	最 上 敦 彦	芳 川 瑛 久	設 楽 裕 佳	劉 奕 阳
竹 内 充 裕	神 田 章 男	麻 酔 科	日 域	
高 橋 大 悟	諸 橋 達 岡	岡 崎 敦 毅	竹 内 郁 人	
野 崎 侑 衣	糸 井 陽 一	尾 前 毅	長 澤 宏 樹	
西 尾 亮 太	守 屋 秀 一	長 谷 川 陽 子	串 田 好 宏	

# 1-7 職員数

令和2年3月31日現在

職 種	正規職員		パート		小計	派遣・委託		小計	合計	
	男	女	男	女		男	女			
看護師	90	549		4	643			0	643	
助産師		35			35			0	35	
准看護師		8			8			0	8	
介護福祉士	6	13		1	20			0	20	
助手法師	1	11		2	14	1	74	75	89	
中材・滅菌					0	6	30	36	36	
事務員		2			2		23	23	25	
小計	97	618	0	7	722	7	127	134	856	
薬剤師	26	7		4	37		1	1	38	
薬剤科事務員				1	1		11	11	12	
診療放射線技師	26	5			31			0	31	
放射線室助手					0			0	0	
放射線室事務員					0		5	5	5	
臨床検査技師	8	17		4	29			0	29	
検査室看護師		2		3	5			0	5	
検査室事務員					0		2	2	2	
理学療法士	11	5			16			0	16	
作業療法士	2	3			5			0	5	
言語聴覚士	1	1			2			0	2	
リハビリテーション科事務員					0		1	1	1	
管理栄養士	2	5		2	9			0	9	
栄養士	1	1			2			0	2	
調理師	11	2			13			0	13	
栄養科助手	3	2			5	4	27	31	36	
栄養科事務員				1	1			0	1	
視能訓練士	2	4			6			0	6	
臨床工学技士	11	2			13			0	13	
臨床心理士		1			1			0	1	
メンタルクリニック助手		3			3			0	3	
小計	104	60	0	15	179	4	47	51	230	
事務員	52	25		6	83	8	153	161	244	
社会福祉士	2	4			6			0	6	
保育士		6			6			0	6	
技術・労務・警備・施設	4				4	61	41	102	106	
助手					0		17	17	17	
医局秘書				3	3			0	3	
小計	58	35	0	9	102	69	211	280	382	
医療安全管理者		1			1			0	1	
感染管理者		1			1			0	1	
患者看護相談室 看護師・准看護師		3			3			0	3	
医療福祉相談室 看護師・准看護師		8			8			0	8	
がん治療センター 看護師・准看護師	2	8			10			0	10	
小計	2	21	0	0	23	0	0	0	23	
医 師	特任教授	1			1			0	1	
	教授	16			16			0	16	
	先任准教授	4			4			0	4	
	先任准教授(臨床)	6			6			0	6	
	准教授(大学院)	1			1			0	1	
	准教授(講座)	7			7			0	7	
	准教授(診療)	6	1		7			0	7	
	准教授(実習)	4	1		5			0	5	
	准教授(教育)	4			4			0	4	
	講師		1		1			0	1	
	助教	28	6			34			0	34
	助手	48	21			69			0	69
	専攻生	2	1			3			0	3
	大学院生	15	8			23			0	23
シニアレジデント	4				4			0	4	
臨床研修医	37	7			44			0	44	
小計	183	46	0	0	229	0	0	0	229	
小計	444	780	0	31	1,255	80	385	465	1,720	

## 1-8 各種委員会

平成31年4月1日時点

委員会名	委員長名	委員会名	委員長名
病院運営委員会	佐藤浩一	運営協議会	佐藤浩一
診療会議	山本拓史	管理会議	小野隆宏
医療安全・危機管理委員会	藤田和彦	感染対策委員会	岩神真一郎
災害対策委員会	柳川洋一	救命救急センター運営会議	柳川洋一
褥瘡対策委員会	千田大貴	静岡病院安全衛生委員会	桐野衛二
放射線安全委員会	水谷好秀	放射線治療品質管理委員会	水谷好秀
CPC・CRC・デスカンファレンス委員会	和田了	倫理委員会	小池道明
倫理審査委員会	玄田拓哉	治験審査委員会	玄田拓哉
薬事委員会	楠威志	資材委員会	太田俊彦
機種選定委員会	佐藤浩一	医療保険委員会	山本拓史
施設基準委員会	山本拓史	クリニカルパス委員会	神田章男
DPC コーディング委員会	山本拓史	内視鏡運営委員会	伊藤智彰
輸血療法委員会	岩尾憲明	手術室運営委員会	尾前毅
病棟利用・外来対策委員会	山本拓史	臨床検査適正化委員会	和田了
予防医学センター運営委員会	清水芳男	広報委員会	最上敦彦
脳死・臓器移植委員会	中尾保秋	虐待対策委員会	寒竹正人
がん治療センター運営委員会	田中顕一郎	がん診療委員会	田中顕一郎
医療機器保守委員会	太田俊彦	廃棄物管理委員会	和田了
医療ガス安全管理委員会	岡崎敦	業務委託委員会	小池道明
礼儀・接遇マナー向上委員会	佐藤浩一	栄養管理委員会	前川博
透析機器安全管理委員会	清水芳男	医療情報システム委員会	中尾保秋
患者さん満足度調査委員会	櫻田睦	診療録管理委員会	諏訪哲
勤務環境改善委員会	太田俊彦	図書管理委員会	諸橋達
臨床研修センター会議	中尾保秋	研修管理委員会	佐藤浩一

## 1-9(1) 活動報告

年月日	会議・行事实施事項
2019. 4. 1	新入職員オリエンテーション(～3日)
3	新入職員歓迎会
22	感染対策研修会(5月13日、5月27日、6月10日、7月8日、8月5日、8月30日、 9月9日、9月24日、10月3日、10月28日、11月11日、12月18日、 1月27日、2月10日、2月17日)
22	抗菌薬研修会(5月13日、6月10日、7月8日、8月5日、9月9日、10月28日、 11月11日、1月27日、2月10日、)
5. 7	春季健康診断(～17日)
17	医療安全研修会(6月6日、6月11日、7月4日、7月24日、9月12日、9月30日、 10月7日、10月29日、1月31日)
6. 19	ドクターヘリ事後検証会(9月27日、1月10日)
8. 22	褥瘡対策研修会(2月27日)
28	静岡県東部ドクターヘリ運航調整委員会
9. 6	日本私立医科大学相互ラウンド
27	洪水・土砂災害対応訓練
10. 16	消防訓練
31	総合的な機能評価に関する研修会「地域における高齢者生活の現状と課題」
11. 5	秋季健康診断(～8日)
13	東部保健所病院立入検査
2020. 1. 7	賀詞交歓会
15	保険診療講習会
20	移植医療に関する特別講演会
24	施設基準に係わる適時調査、社会保険医療担当者の個別指導
2. 12	静岡県東部地区救命救急医学研修会
	上記のほか毎月定例として開催される会議
第1火曜日	薬事委員会、治験審査委員会、がん診療委員会
第1木曜日	管理会議
第2月曜日	資材委員会
第2水曜日	診療会議、医療情報システム委員会(奇数月)
第3火曜日	業務委託委員会
第3水曜日	クリニカルパス委員会(奇数月及び4月)、救命救急センター運営会議(奇数月)
第3金曜日	医療安全危機管理委員会
第4月曜日	運営協議会
第4水曜日	静岡病院安全衛生委員会
第4木曜日	褥瘡対策委員会、がん治療センター運営委員会(奇数月)
第4金曜日	感染対策委員会

最終水曜日	施設基準委員会、医療保険委員会
毎月 1 回	病院運営委員会
隔月 1 回	輸血療法委員会、内視鏡運営委員会、災害対策委員会
3 ヶ月に 1 回	コーディネーグ委員会、臨床研修センター会議、診療録管理委員会、放射線安全委員会、広報委員会
最終水曜日	施設基準委員会、医療保険委員会

## 1-9(2) 講演会

年月日	講座名・テーマ
2019.	第77回市民公開講座
4.24	「貧血のお話し ～悪性疾患が隠れていることがあるので気をつけましょう～」
5.23	がん治療研修会 第一部「がん化学療法」 第二部「がん放射線療法」
6.17	第78回市民公開講座 「リウマチのお話し ～リウマチと上手く付き合っていくために～」
7.18	第79回市民公開講座 「目の充血 ～目が赤くなった！危険？それとも？～」
26	第41回東部周産期研究会 「胎児骨系統疾患の診断・管理－FL短縮を認めたときの対応－」 「骨系統疾患の新生児管理」
30	がん治療研修会 第一部「がん緩和ケアの退院支援」 第二部「頭頸部の早期がんと見逃されやすいがん」
8.20	第80回市民公開講座 「防ごう脳卒中！急ごう脳卒中！ ～脳卒中の予防と最新治療～」
9.7	第81回市民公開講座 ※三島キャンパス合同開催 「パーキンソン病をいきいき生きる」 ① パーキンソン病の基礎から最新治療まで ② ただ歩くだけじゃダメ!?パーキンソン病患者の運動・生活のコツを教えます
10.11	第82回市民公開講座 「急性の痛みと慢性の痛み ～全く異なる2つの痛みを理解しましょう～」
27	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会
11.18	第83回市民公開講座 「心臓発作の対処法 ～未然に防ぐ対策、緊急時の対応～」
12.12	第42回東部周産期研究会 「妊娠中に問題となる感染症の取り扱い」 「新生児室で問題になる感染症の取り扱い」
16	がん患者の周術期口腔ケア研修会 「がん患者の口腔ケア ～看護師が行う入院中のケア～」
17	第84回市民公開講座 「肝機能の数値が少し気になる方へ 検査結果の見方とよくある肝臓病-脂肪肝とアルコール」
2020.	市民公開講座
1.14	「皮膚のバリア機能と皮膚炎 ～皮膚のアレルギーって？～」
2.14	市民公開講座 「へびに噛まれた時 ハチに刺された時 あなたはどうしますか？」
19	医療連携フォーラム 学術講演会 ① 「オリンピック体制と爆傷について」 ② 「地域の先生方とがん治療センター」

## 1-10 社会貢献・地域交流活動

年 月 日	活 動 名
2019. 5. 16	中学生職場体験（～17日）（伊豆の国市立韮山中学校 3名参加）
25	コード・ブルーセミナー（子ども医療体験セミナー）（近隣地域小中学生 24名参加）
29	中学生職場体験（～30日）（伊豆の国市立長岡中学校 2名参加）
8. 1	高校生1日体験ナース（～2日）（1日 29名、2日 30名参加）
7	高校生職場見学（私立加藤学園高等学校 10名参加）
10. 23	「Future しずおか」 高校課外授業（私立加藤学園暁秀高等学校 160名参加）
24	中学生職場体験（～25日）（沼津市立第五中学校 4名参加）
29	中学生職場体験（～30日）（三島市立南中学校 2名参加）
2020. 2. 25	卒業生と在学生との懇談会 看護師派遣（聖隷クリストファー大学）

## 1-11 指定・認定・許可事項

指 定 事 項	指 定 年 月 日
救命救急センター 40床	昭和 56年 11月 1日
新生児センター 30床	昭和 57年 4月 1日
エイズ拠点病院	平成 8年 5月 20日
災害拠点病院	平成 8年 11月 26日
日本医療機能評価機構認定病院	平成 16年 3月 15日(初回認定日)
静岡県東部ドクターヘリ基地病院	平成 16年 3月 17日
臨床研修指定病院	平成 16年 4月 1日
地域がん診療連携拠点病院	平成 19年 1月 31日
総合周産期母子医療センター	平成 20年 8月 1日
静岡県肝疾患診療連携拠点病院	平成 21年 3月 10日
DPC 対象病院	平成 23年 4月 1日
災害派遣医療チーム静岡 DMAT 指定病院	平成 24年 3月 1日
指定小児慢性特定疾病医療機関	平成 27年 1月 1日
難病法に係る難病指定医療機関	平成 27年 1月 1日
静岡県アレルギー疾患医療拠点病院	平成 30年 10月 1日
肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関	平成 30年 12月 1日
地域医療支援病院	令和 2年 1月 7日
特定行為研修指定研修機関	令和 2年 2月 26日

診療科名	学会認定
呼吸器内科	日本呼吸器内視鏡学会認定施設
	日本呼吸器学会認定施設
消化器内科	日本消化器病学会認定施設
	日本肝臓学会認定施設
	日本消化管学会胃腸科指導施設
膠原病・リウマチ内科	日本リウマチ学会教育施設
血液内科	日本血液学会血液研修施設
腎臓内科	日本透析医学会教育関連施設
	日本腎臓学会研修施設
糖尿病・内分泌内科	日本糖尿病学会認定教育施設
循環器科	日本心血管インターベンション治療学会研修施設
	日本循環器学会循環器専門医研修施設
	日本不整脈心電学認定不整脈専門医研修施設
外科	日本消化器内視鏡学会指導施設
	日本外科学会外科専門医制度修練施設
	日本消化器外科学会専門医修練施設

診療科名	学会認定
外科	日本乳癌学会認定施設
	日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構協力施設
	日本食道学会全国登録認定施設
	日本膵臓学会認定指導施設
	日本大腸肛門病学会関連施設
麻酔科・ペインクリニック	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
	日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設
	日本ペインクリニック学会指定研修施設
脳神経外科	日本脳卒中学会研修教育施設
	日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設
	日本脳卒中学会一次脳卒中センター
整形外科	日本整形外科学会専門医制度研修施設
	日本手外科学会研修施設
	日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
心臓血管外科	関連 10 学会構成 ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設
	関連 10 学会構成 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部ステントグラフト実施施設
	下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
新生児科	日本周産期・新生児医学会周産期専門医（新生児）暫定認定施設
小児科	日本小児科学会小児科専門医研修施設
	日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
眼科	日本眼科学会専門医制度研修施設
	日本角膜学会羊膜移植実施施設
耳鼻咽喉科	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
脳神経内科	日本神経学会教育施設
皮膚・アレルギー科	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
泌尿器科	日本泌尿器科学会専門医教育施設
産婦人科	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
	日本周産期・新生児医学会認定施設
	日本産科婦人科学会専門研修連携施設
	日本超音波医学会超音波専門医制度研修施設
	静岡県医師会母体保護法指定医師研修機関
	日本女性医学学会専門医制度認定研修施設
	日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
メンタルクリニック	日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
	日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設
呼吸器外科	呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設

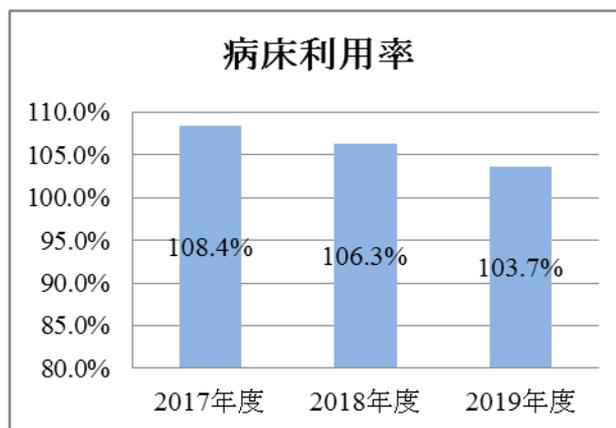
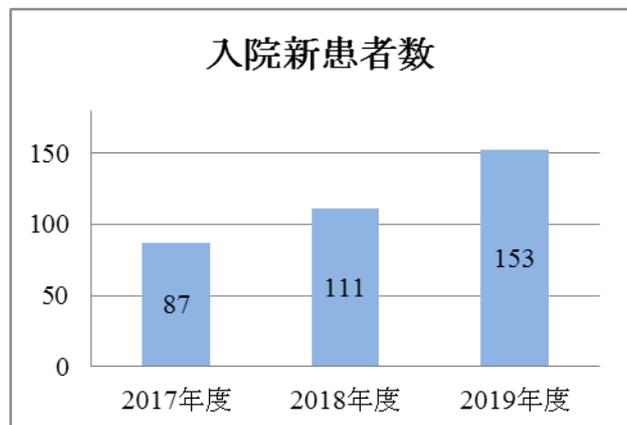
診療科名	学会認定
放射線科	日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関
救急診療科	日本航空医療学会認定施設
	日本救急医学会救急科専門医指定施設
病理診断科	日本病理学会研修認定施設
リハビリテーション科	日本リハビリテーション医学会研修施設
救命救急センター	日本集中治療医学会専門医研修施設
栄養科	日本病態栄養学会栄養管理・NST 実地施設
	日本静脈経腸栄養学会 NST 稼動施設
薬剤科	日本病院薬剤師会プレアボイド報告施設
がん治療センター	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
	日本がん治療認定医機構認定研修施設

## 2. 診療科報告



## 2-1 膠原病内科・リウマチ科

### 診療実績



### 研究・教育活動

1. 村田純一、津島浩、岡田隆、片桐彰 「当院で診断された抗 TIF-1 $\gamma$  抗体陽性皮膚筋炎の 4 症例について」 第 44 回リウマチ懇話会 2019 年 1 月 26 日
2. 津島浩、村田純一、岡田隆、片桐彰 「当院での PsA におけるリウマチ科、皮膚科の役割を考える」

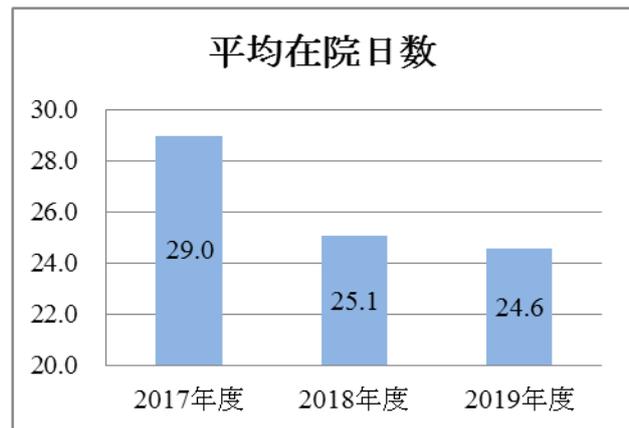
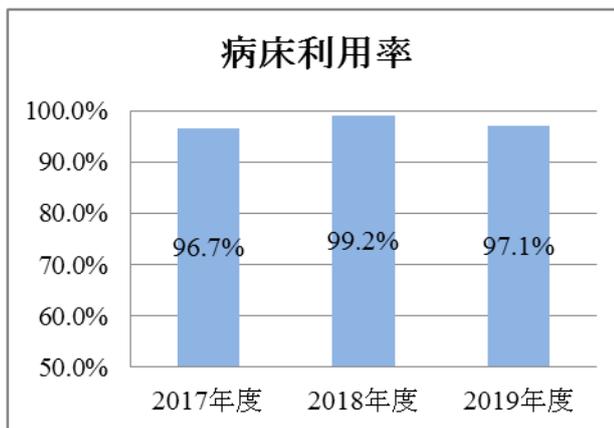
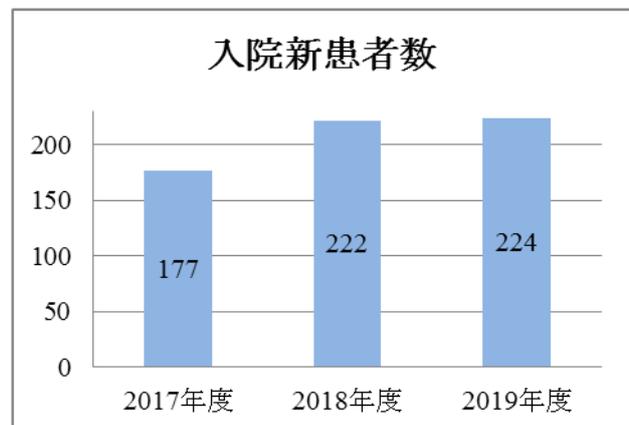
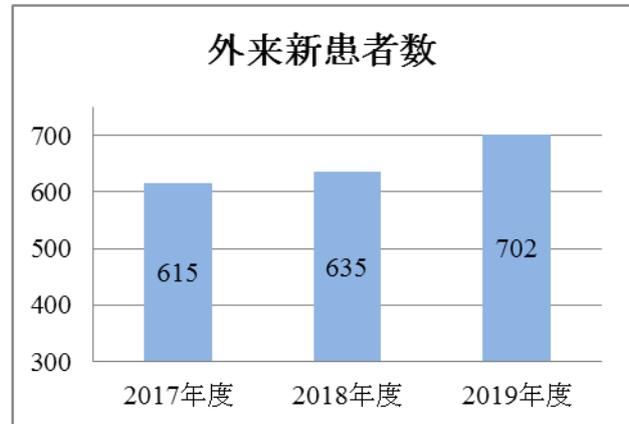
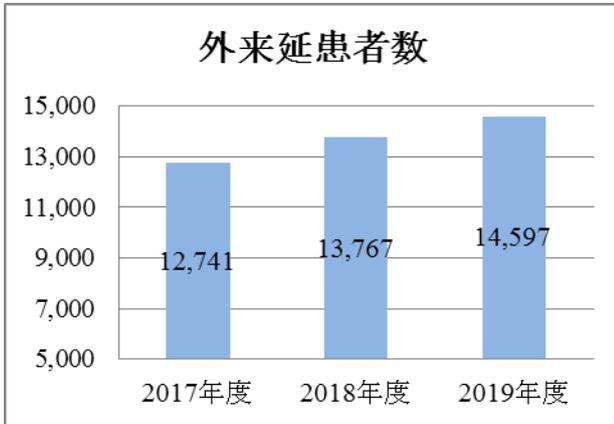
第1回 PsA 他科連携講演会 2019年10月24日

3. 津島浩、村田純一、岡田隆、片桐彰 「乾癬性関節炎におけるリウマチ医の役割について」 IL-17 web seminar 2019年10月31日

4. 津島浩、村田純一、岡田隆、片桐彰 「当院における TCZ 使用状況について」 第9回静岡東部 IL-6 阻害薬研究会 2019年11月21日

## 2-2 血液内科

### 診療実績



### 研究、研究活動

原著 (英文)

1. Mori T, Watanabe N, Kitahara H, Iwao N, Koike M, Komatsu N.  
Acquired factor VIII inhibitor in a patient of rheumatoid arthritis on tumor necrosis factor inhibitor therapy. *Indian J Hematol Blood Transfus* 35: 192-193, 2019

原著 (和文)

1. 飯塚弘子、福田泰隆、森洋輔、岩尾憲明、小池道明、野口雅章、小松則夫:肝硬変合併慢性骨髄性白血病加療中に急速な致死的経過をたどった *Streptococcus agalactiae* による劇症型溶連菌感染症 *臨床血液* 60:910-914,2019

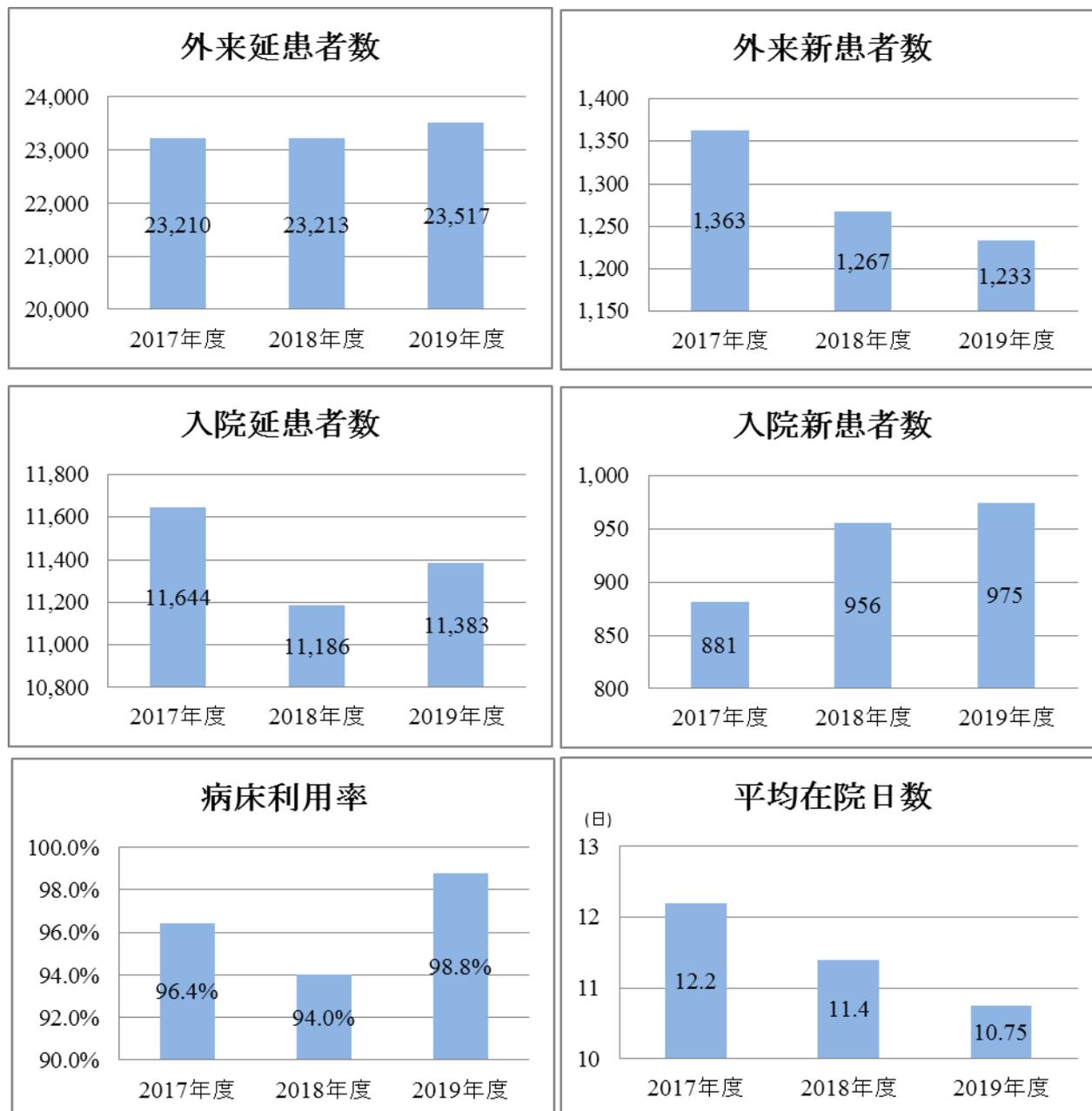
(報告その他)

- 1 今田春子,小池道明、岩尾憲明、酒井寛美、菊地麻里、土屋明実  
大災害時の輸血療法 (静岡県におけるアンケート調査結果を踏まえて)  
第 67 回日本輸血・細胞治療学会総会 ホテル日航熊本 2019 年 5 月 25 日
- 2 土屋明実、岩尾憲明、重光文子、白須智奈美、木内彩花、片山瑞希、小池道明  
骨髄異形成症候群 (MDS) の経過中に D 抗原の発現が著しく減弱したと考えられる一症例  
第 67 回日本輸血・細胞治療学会総会 ホテル日航熊本 2019 年 5 月 25 日
- 3 落合友則、三澤恭平、落合友則、岩尾憲明、小池 道明  
内視鏡下胃瘻増設術を契機に自己免疫性第 V 因子欠乏症を発症した大脳皮質基底核変性症  
第 41 回日本血栓止血学会 津 2019 年 6 月 22 日
- 4 飯塚弘子、福田泰隆、森洋輔、岩尾憲明、小池 道明、小松則夫、野口雅章  
Extramedullary multifocal plasmablastic plasmacytoma in a patient with refractory multiplemyeloma  
第 59 回日本リンパ網内系学会総会 出雲市 2019 年 6 月 27 日
- 5 飯塚弘子、福田泰隆、森洋輔、岩尾憲明、小池 道明、小松則夫、野口雅章  
Two autopsy cases of leukemic pulmonary infiltrates mimicking severe pneumonia in patients with acute myeloid leukemia.  
第 59 回日本リンパ網内系学会総会 出雲市 2019 年 6 月 27 日

- 6 松田紘佳、三澤恭平、落合友則、岩崎寿代、岩尾憲明、小池道明  
形態学的に診断が困難であった AML(M3) variant の症例  
第 8 回日本血液学会東海地方会 名古屋 2019 年 6 月 30 日
  
- 7 三澤 恭平、藤岡功、岩尾憲明、小松則夫、小池道明  
非小細胞肺癌に対するニボルマブ加療後に発症した ATL の一例  
第 81 回日本血液学会学術集会 東京 2019 年 10 月 12 日

## 2-3 消化器内科

### 診療実績



### 研究・教育活動

#### 【原著 (英文)】

1. The efficacy and safety of glecaprevir plus pibrentasvir in 141 patients with severe renal impairment: a prospective, multicenter study. *Aliment Pharmacol Ther.* 2019;49(9):1230-1241.

2. A case of primary biliary cholangitis overlapping with type 2 autoimmune hepatitis. *Clin J Gastroenterol.* 2020;13(1):79-82.
3. Clinical practice guidelines for hepatocellular carcinoma: The Japan Society of Hepatology 2017 (4th JSH-HCC guidelines) 2019 update. *Hepatol Res.* 2019;49(10):1109-1113.
4. Budd-Chiari Syndrome Associated With Hypereosinophilic Syndrome Treated by Deceased-Donor Liver Transplantation: A Case Report. *Transplant Proc.* 2019;51(9):3140-3146.
5. Prognostic significance of serum tyrosine concentration in patients with primary biliary cholangitis under ursodeoxycholic acid therapy. *Hepatol Res.* 2020;50(2):214-223.
6. Cholestatic Liver Injury Induced by Pembrolizumab in a Patient with Lung Adenocarcinoma. *Intern Med.* 2019;58(22):3283-3287.
7. The effectiveness and safety of glecaprevir/pibrentasvir in chronic hepatitis C patients with refractory factors in the real world: a comprehensive analysis of a prospective multicenter study. *Hepatol Int.* 2020;14(2):225-238.
8. On-treatment Serum Mac-2 Binding Protein Glycosylation Isomer (M2BPGi) Level and Risk of Hepatocellular Carcinoma Development in Patients with Chronic Hepatitis B during Nucleot(s)ide Analogue Therapy. *Int J Mol Sci.* 2020;21(6):2051.

9.

【原著（和文）総説】

1. 肝がん 今後期待される薬物療法. *内科*, 2019; 123(5): 1169-1171
2. 肝性脳症治療の変遷 難吸収性抗菌薬ーリファキシミンの有効性・安全性ー. *肝胆膵*, 2019; 78(3): 391-396.
3. 2019年度 日本肝臓学会 前期教育講演会テキスト. 一般社団法人日本肝臓学会、2019年、47-60
4. こんなにある薬剤性消化管傷害 口腔・食道 薬剤性食道傷害 薬剤停滞に関連して. *消化器内視鏡*, 2019; 31(6): 869-874.

【学会発表(国際)】

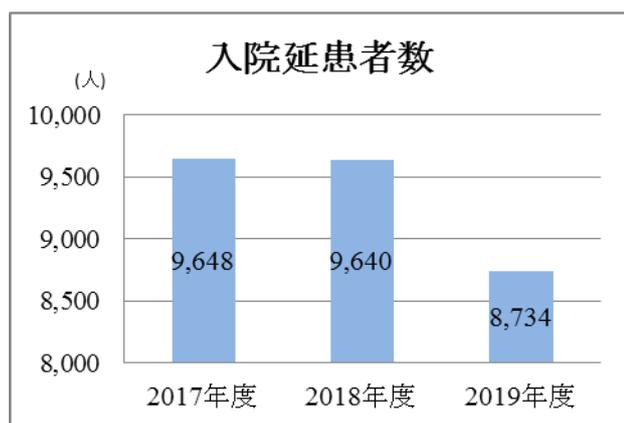
1. Procalcitonin level is a prognostic marker in patients with liver cirrhosis. The International Liver Congress™ 2019, Vienna, Austria, 10-14 April 2019.
2. Super paramagnetic iron oxide magnetic resonance imaging (SPIO-MRI) shows impaired phagocytic function of kupffer cells in severe alcoholic hepatitis. The Liver Meeting® 2019, Boston, MA, USA, 8-11 November 2019.
3. Upper gastrointestinal mucosal injuries in elderly patients taking anticoagulants -Difference between DOACs users and VKA users-. The 12th International Gastrointestinal Consensus Symposium, Saga, Japan, February 2, 2019.
4. Does PPI play a protective role in gastric mucosa in patients taking doacs ? and also in patients taking vka? DDW 2019, San Diego, USA, May 19, 2019.
5. Influence of clostridium butyricum as probiotics supplementation on helicobacter pylori eradication. DDW 2019, San Diego, USA, May 19, 2019.
6. The prevalence of gastric mucosal injuries in Low-dose aspirin users by age. UEGW 2019, Barcelona, Spain, October 21, 2019.
7. Efficacy and Safety of Granulocyte and Monocyte Adsorptive Apheresis in Elderly Versus Non-elderly

【学会発表(国内)】

1. 原発性胆汁性胆管炎における血中アミノ酸組成と予後. 第 55 回日本肝臓学会総会、東京、2019 年 5 月 31 日.
2. 静岡県における肝炎コーディネーター育成状況. 第 55 回日本肝臓学会総会、東京、2019 年 5 月 30 日.
3. 静岡県における肝炎対策の現状と問題点. 第 55 回日本肝臓学会総会、東京、2019 年 5 月 31 日.
4. 重症アルコール性肝炎における SPIO-MRI 所見とその意義. 第 55 回日本肝臓学会総会、東京、2019 年 5 月 30 日.
5. 当科における acute on chronic liver failure の実態. 第 55 回日本肝臓学会総会、東京、2019 年 5 月 30 日.
6. インターフェロン・フリー治療 SVR 後肝発癌の実態と発癌予測因子に関する検討. 第 55 回日本肝臓学会総会、東京、2019 年 5 月 30 日.
7. 肝硬変における血清プロカルシトニン値測定の意義. 第 105 回日本消化器病学会総会、金沢、2019 年 5 月 9 日.
8. 原発性胆汁性胆管炎に合併した肝血管脂肪腫の 1 例. 日本消化器病学会東海支部第 130 回例会、浜松、2019 年 6 月 8 日.
9. ADV・TDF から TAF への切り替え投与を行った B 型肝炎患者における尿細管障害および骨代謝マーカーの変化. 第 105 回日本消化器病学会総会 2019 年 5 月 9 日 (木) ~11 日 (土) 石川県立音楽堂, ホテル日航金沢, ANA クラウンプラザホテル.
10. DOAC 内服症例における PPI による胃粘膜傷害予防効果に関する検討. 第 15 回日本消化管学会総会学術集会, 佐賀, 2019 年 2 月 2 日.
11. 性別・年齢別にみた H. pylori 一次除菌率. 第 25 回日本ヘリコバクター学会学術集会, 名古屋, 2019 年 6 月 21 日.
12. DOAC 内服症例における胃粘膜傷害は PPI により予防されるか. 第 56 回日本臨床生理学会総会, 大宮, 2019 年 10 月 26 日.
13. 低用量アスピリンによる胃粘膜傷害発症頻度の年齢別検討. 第 27 回日本消化器関連学会週間 JDDW2019 (第 61 回日本消化器病学会大会) 神戸, 2019 年 11 月 21 日.
14. 当科における肝性脳症に対するリファキシミンの治療成績. 第 26 回日本門脈圧亢進症学会総会、山口県、2019 年 9 月 13 日.
15. Multi-TKI 時代における背景肝マネージメントの重要性. 第 55 回日本肝臓学会、東京都、2019 年 7 月 5 日.
16. Multi-TKI 時代における背景肝マネージメントの重要性. 第 20 回肝がん分子標的治療研究会、長崎県、2019 年 6 月 29 日.
17. 当科における進行肝細胞がんに対するソラフェニブの治療成績. 第 19 回肝がん分子標的治療研究会、東京都、2019 年 1 月 26 日.
18. 高齢者潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着療法の有効性と安全性の検証. 第 40 回アフェレスス学会、京都府、2019 年 10 月 18 日.

## 2-4 呼吸器内科

### 診療実績



### 研究・教育活動

英文原著

1. Liu Z, Shiota S, Morio Y, Sugiyama A, Sekiya M, Iwakami S, Ienaga H, Fukuchi Y, Takahashi K. Borderline pulmonary hypertension associated with chronic hypercapnia in chronic pulmonary disease. *Respiratory Physiology & Neurobiology*, 262: 20-25, 2019
2. Kurokawa K, Hara M, Iwakami S, Genda T, Iwakami N, Miyashita Y, Fujioka M, Sasaki S, Takahashi K. Cholestatic liver injury induced by pembrolizumab in a patient with lung adenocarcinoma. *Internal Medicine*, 58: 3283-3287, 2019

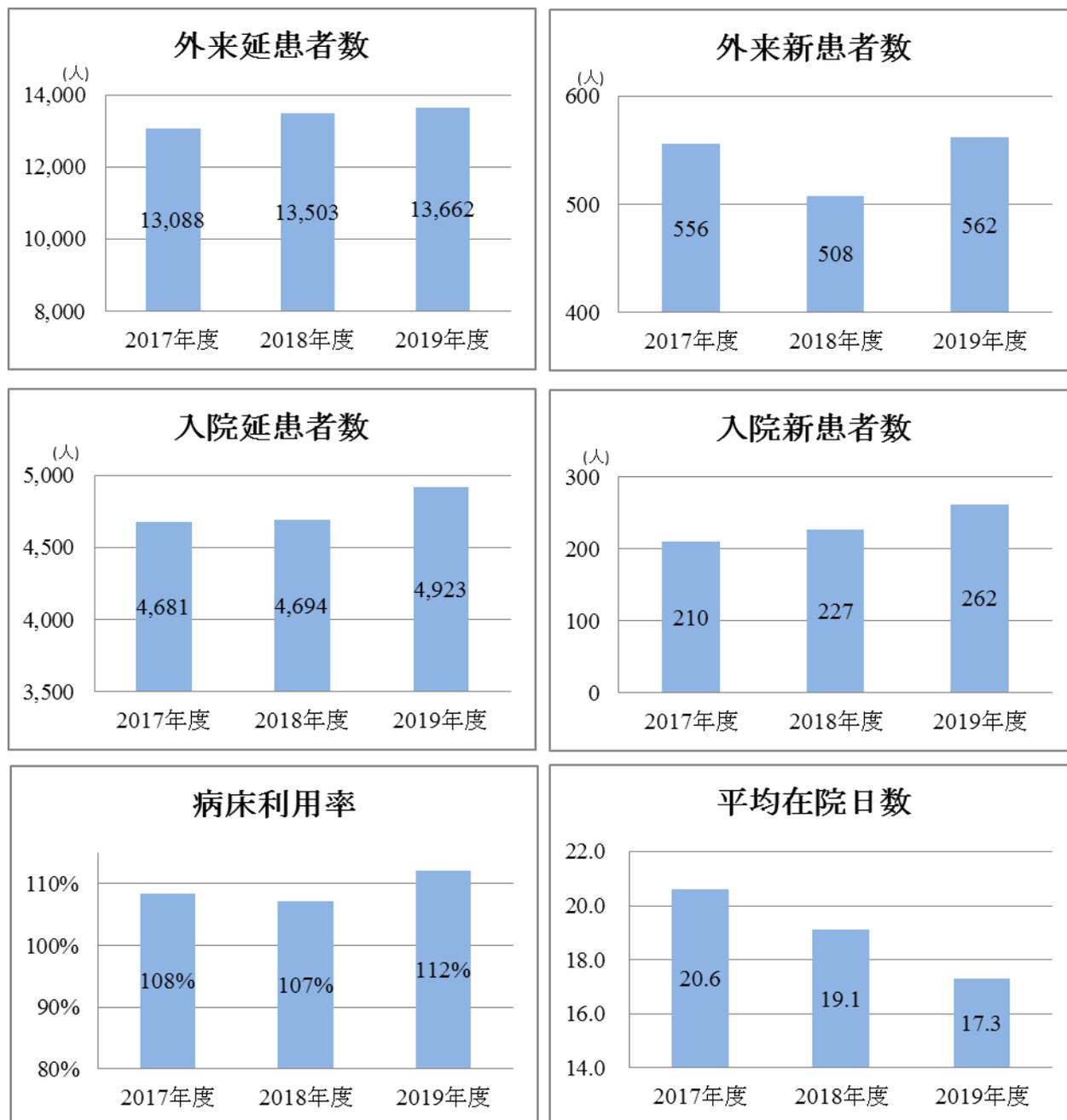
#### 和文報告その他

1. 岩神真一郎、原宗央、岩神直子、高橋和久：災害発生時における在宅酸素療法患者に対する酸素供給システムの構築。 第 59 回日本呼吸器学会学術講演会 2019 年 4 月 13 日 東京国際フォーラム
2. 雨宮徳直、岩神真一郎：急性咳嗽にて一般診療所を受診した百日咳症例の臨床的特徴の検討。 第 59 回日本呼吸器学会学術講演会 2019 年 4 月 14 日 東京国際フォーラム
3. 中島隆良、岩神真一郎：ダプトマイシン耐性株に対するアルベカシン治療の一例。 第 67 回日本化学療法学会総会 2019 年 5 月 10 日 東京ドームホテル
4. 岩神真一郎、松浦亨、中島隆良：当院における届出方法の変更によるカルバペネム使用量抑制の試み。 第 67 回日本化学療法学会総会 2019 年 5 月 11 日 東京ドームホテル
5. 鈴木宣史、松田浩成、宮下洋佑、住吉一誠、岩神直子、原宗央、岩神真一郎：石灰化を伴う縦郭リンパ節転移を来した肺腺癌の 1 例。 第 115 回日本呼吸器学会東海地方学会 2019 年 6 月 8 日 名古屋大学医学部基礎研究棟
6. 宮下洋佑、松田浩成、鈴木宣史、住吉一誠、岩神直子、原宗央、岩神真一郎：壊死性サルコイド肉芽腫症の 1 例。 第 115 回日本呼吸器学会東海地方学会 2019 年 6 月 8 日 名古屋大学医学部基礎研究棟
7. 長崎勇典、松田浩成、宮下洋佑、鈴木宣史、住吉一誠、岩神直子、原宗央、岩神真一郎：IgG4 関連疾患による胸膜炎の一例。 第 115 回日本呼吸器学会東海地方学会 2019 年 6 月 9 日 名古屋大学医学部基礎研究棟
8. 岩神真一郎：災害発生時における在宅酸素療法患者に対する酸素供給システムの構築。 田方医師会呼吸器研究会 2019 年 7 月 11 日 田方医師会館
9. 岩神真一郎、原宗央、岩神直子：自然災害発生時における在宅酸素療法患者に対する地域ネットワーク構築に関する検討。 平成 30 年度 静岡災害医学研究センター紀要 34-35, 2019

10. 岩神真一郎：抗菌薬の使い方. 順天堂大学医学部附属静岡病院 感染対策委員会研修会 2019年8月30日 順天堂大学医学部附属静岡病院第1会議室
11. 岩神真一郎：重症喘息の現状について. 静岡東部 Severe Asthma Seminar 2019年9月18日 沼津リバーサイドホテル
12. 岩神真一郎：当院における届出方法の変更によるカルバペネム使用量抑制の試み. 2019年度 感染防止対策加算 1.2 合同カンファレンス 2019年9月20日 中伊豆リハビリテーションセンター
13. 岩神真一郎：在宅酸素療法患者を大規模災害から守るために. 田方医師会報 VOL. 90 P. 2054 2019年10月1日
14. 岩神真一郎：肺癌は治るのか？ 青木クリニック講演会 2019年10月29日 青木クリニック
15. 岩神真一郎：災害発生時における在宅酸素療法患者に対する酸素供給システムの構築. 田方医師会呼吸器研究会 2019年11月14日 田方医師会館
16. 松田浩成、坂本奈穂、上田翔子、宮下洋佑、岩神直子、原宗央、岩神真一郎：骨格筋転移を有し Lorlatinib が奏功した ALK 遺伝子転座陽性肺腺癌の1例. 第116回日本呼吸器学会東海地方学会 2019年11月16日 大垣市民会館
17. 上田翔子、坂本奈穂、松田浩成、宮下洋佑、岩神直子、原宗央、岩神真一郎：ステロイド加療中に発症した重篤な呼吸不全から救命し得た肺ノカルジア症の一例. 第116回日本呼吸器学会東海地方学会 2019年11月17日 大垣市民会館

## 2-5 腎臓内科

### 診療実績



### 研究・教育活動

#### 英文原著

1. Wakabayashi K, Yanagawa H, Hayashi Y, Aoyama R, Shimizu Y, Tomino Y, Suzuki Y: Progressive Renal Dysfunction due to IgG4-Related Kidney Disease Refractory to Steroid Therapy: A Case Report. Case Rep

Nephrol Dial. 9: 1-7. doi: 10.1159/000496465. 2019

2. Shimizu Y, Wakabayashi K, Hayashi Y, Hara K, Aoyama R, Niimi T, Tomino Y, Wada R, Hata M, Suzuki Y: MPGN Type 3 Associated with Pemphigus Herpetiformis Mimicking PGNMID and Dermatitis Herpetiformis. Case Rep Nephrol Dial 9:15-24. doi: 10.1159/000498939, 2019
3. Shimizu Y, Wakabayashi K, Totsuka A, Hayashi Y, Nitta S, Hara K, Akira M, Tomino Y, Suzuki Y: Exercise-Induced Acute Kidney Injury in a Police Officer with Hereditary Renal Hypouricemia. Case Rep Nephrol Dial. 2019 9: 92-101. doi: 10.1159/000501877, 2019

#### 和文図書

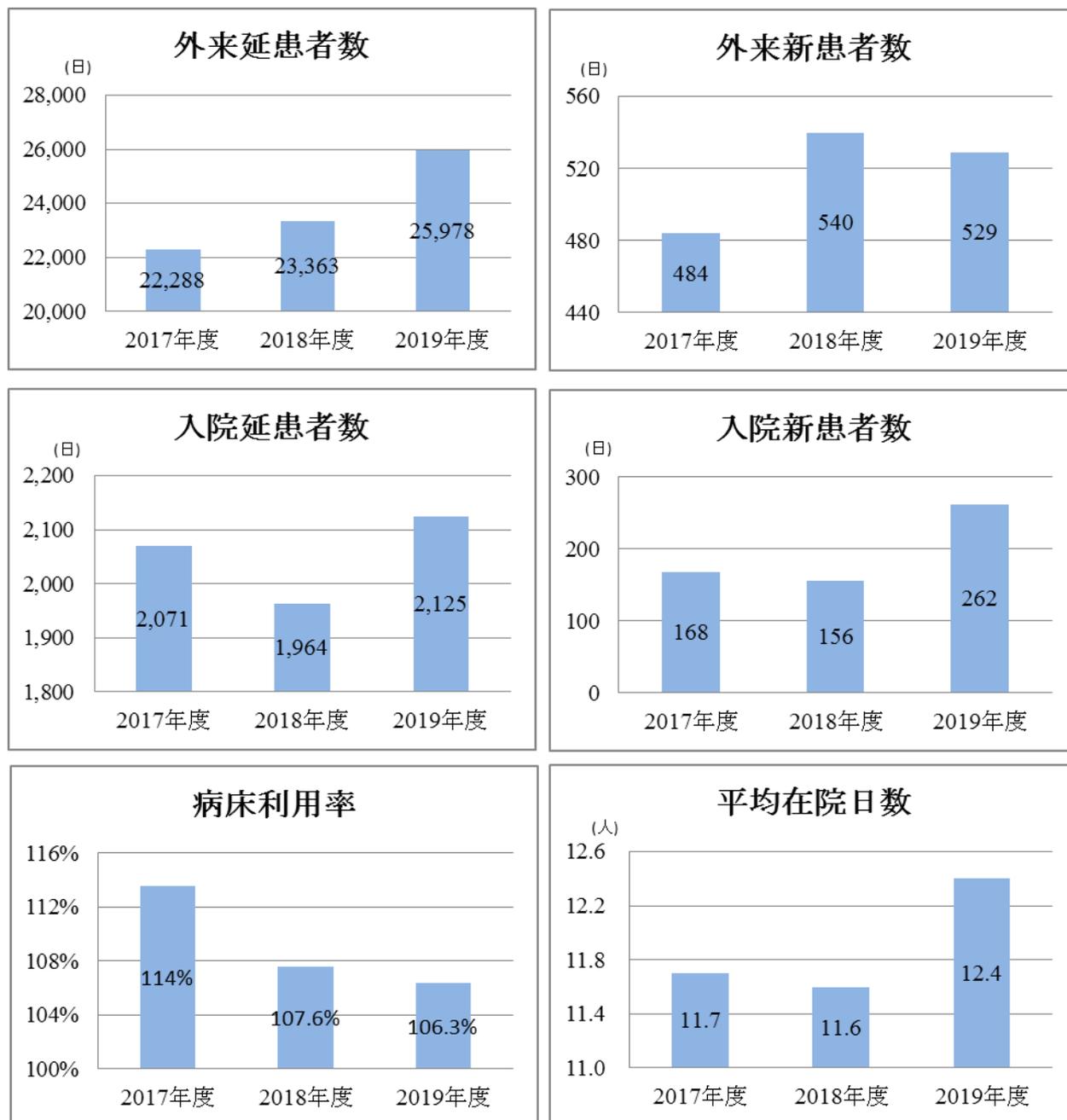
1. 清水芳男: 透析膜の種類と効果・限界. 血液透析の理論と実際. 富野康日己編, 中外医学社, 東京, p66-76, 2019
2. 清水芳男: IgA 腎症の発症にかかわる抗原刺激. IgA 腎症の病態と治療. 川村哲也, 鈴木祐介編, 中外医学社, 東京 p54-61, 2019

#### 学会発表

1. 原一彰、若林啓一、橋本彩、桑澤雅子、清水芳男、鈴木祐介. 多臓器不全と血球貧食症候群を来たし、成人発症 Still 病が疑われた一例. 第 64 回日本透析医学会学術集会・総会. 横浜. 2019 年 6 月 28 日-30 日.
2. 若林啓一、原一彰、明樂麻衣子、清水芳男、鈴木祐介. 好酸球増多症を伴った透析困難症の一例. 第 64 回日本透析医学会学術集会・総会, 横浜. 2019 年 6 月 28 日-30 日.
3. 岩崎裕幸、清水芳男、若林啓一、原一彰、岸田千晶、鈴木祐介. 多発性リンパ節腫大と腎機能障害を呈した IgG4 関連腎臓病の一例. 第 49 回日本腎臓学会東部学術大会. 東京. 2019 年 10 月 4 日-5 日.
4. 肥後 雅秀、清水 芳男、若林 啓一、中野 岳彦、丹原 圭一. 弓部大動脈手術時における低体温循環停止法 (DHCA) の腎機能への影響. 第 30 回日本急性血液浄化学会学術総会. 浜松. 2019 年 10 月 26 日.
4. 岸田 千晶、岩崎 裕幸、若林 啓一、清水 芳男. 内頸静脈エコー下穿刺による血流確保の試みーカテーテル感染の防止ー. 第 54 回静岡県腎不全研究会. 静岡. 2019 年 10 月 6 日.
5. 岸田 千晶、若林 啓一、岩崎 裕幸、原 一彰、清水 芳男. 関節リウマチ治療中にリンパ節腫脹がみられ、ネフローゼ症候群が続発した一例. 第 59 回静岡腎セミナー. 静岡. 2019 年 9 月 7 日.

## 2-6 糖尿病・内分泌内科

### 診療実績



### 研究・教育活動

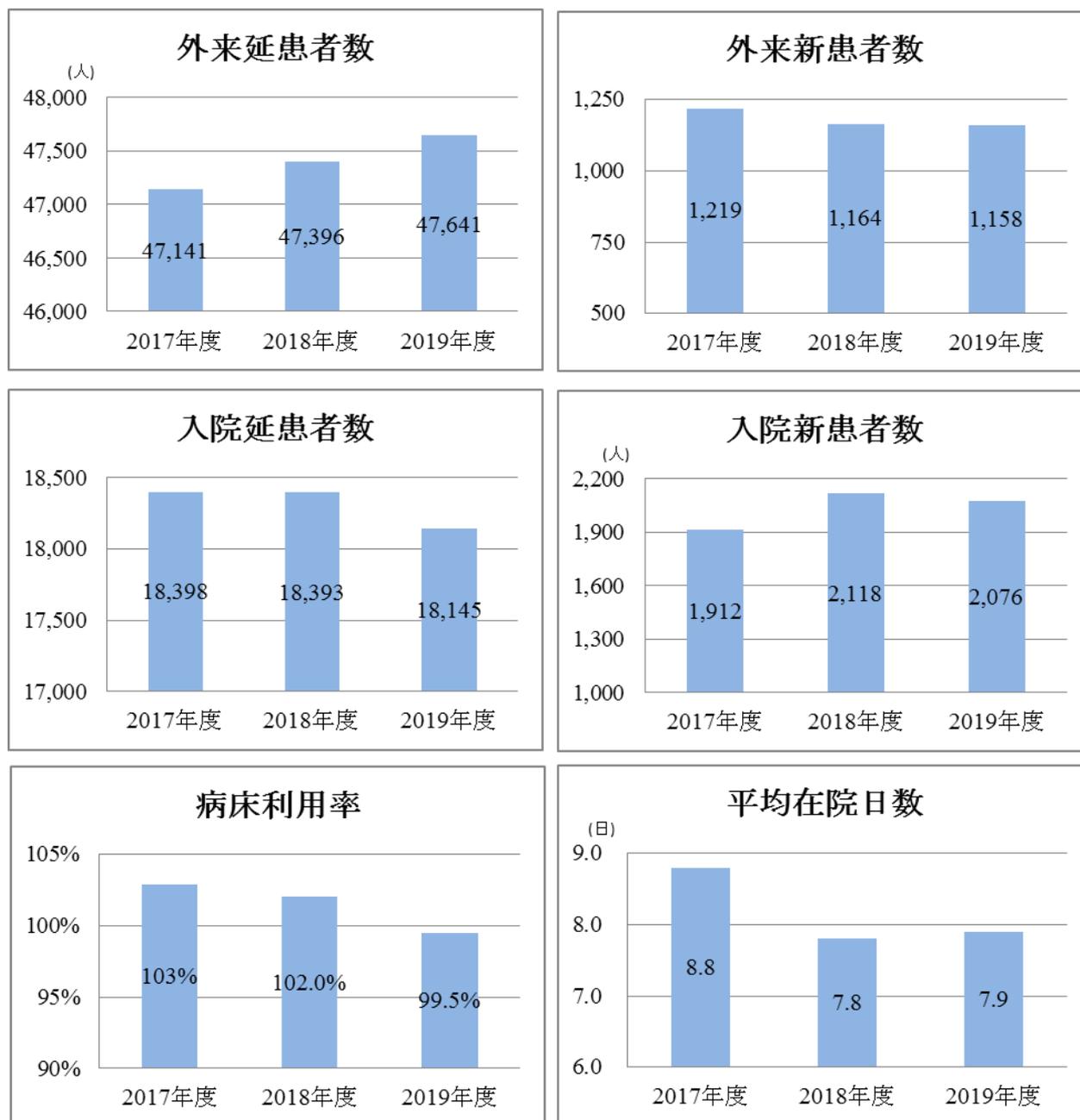
#### 学会発表

1. 金井晶子, 中島健一, 三浦正樹, 池田富貴. 「薬剤性甲状腺機能低下症の患者に対しレンバチニブ投与後に無痛性甲状腺炎を発症した一例」第92回日本内分泌学会学術総会 仙台市, 2019.5.9-11, ポスター

2. 榎澤尚子, 楠威志, 池田富貴, 和田了, 谷山松雄. 「両側声帯麻痺と気管狭窄をきたした Basedow 病の一例」第 62 回日本甲状腺学会学術集会, 前橋市, 2019.10.10-12, ポスター
  3. 内藤仁嗣, 三浦正樹, 中島健一, 杉本大介, 池田富貴. 「出産後早期に発症した劇症 1 型糖尿病の一例」第 93 回糖尿病学会中部地方会, 福井市, 2019.9.7-8, 口演
- 市民公開講座
1. 池田富貴 「血糖値改善で糖尿病の進行を防ごう」 函南町生活習慣病予防講座, 2019.11.14

## 2-7 循環器内科

### 診療実績



### 研究・教育活動

#### 英文原著

1. Shitara J, Ogita M, Wada H, Tsuboi S, Endo H, Doi S, Konishi H, Naito R, Dohi T, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Miyauchi K, Daida H  
Clinical impact of high-sensitivity C-reactive protein during follow-up on long-term adverse clinical

- outcomes in patients with coronary artery disease treated with percutaneous coronary intervention.  
J Cardiol.2019 Jan;73(1):45-50
2. Dohi T, Kasai T, Endo H, Wada H, Yanagisawa N, Nojiri S, Funamizu T, Shitara J, Doi S, Kato Y, Okai I, Iwata H, Isoda K, Okazaki S, Miyauchi K, Daida H  
CPAP effects on atherosclerotic plaques in patients with sleep-disordered breathing and coronary artery disease: The ENTERPRISE trial  
J Cardiol. 2019 Jan;73(1):89-93
  3. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Daida H.  
Reply to: "Comment on "Mean platelet volume and long-term cardiovascular outcomes in patients with stable coronary artery disease" "  
Atherosclerosis. 2019 Jan;280:195-196
  4. Watanabe H, Domei T, Morimoto T, Natsuaki M, Shiomi H, Toyota T, Ohya M, Suwa S, Takagi K, Nanasato M, Hata Y, Yagi M, Suematsu N, Yokomatsu Y, Takamisawa I, Doi M, Noda T, Okayama H, Seino Y, Tada T, Sakamoto H, Hibi K, Abe M, Kawai K, Nakao K, Ando K, Tanabe K, Ikari Y, Hanaoka KI, Morino Y, Kozuma K, Kadota K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kimura K  
Effect of 1-month dual antiplatelet therapy followed by clopidogrel vs 12-month dual antiplatelet therapy on cardiovascular and bleeding events in patients receiving PCI: The STOP DAPT-2 randomized clinical trial.  
JAMA. 2019 Jun 25;321(24):2414-2427
  5. Matsumura-Nakano Y, Shizuta S, Komasa A, Morimoto T, Masuda H, Shiomi H, Goto K, Nakai K, Ogawa H, Kobori A, Kono Y, Kaitani K, Suwa S, Aoyama T, Takahashi M, Sasaki Y, Onishi Y, Mano T, Matsuda M, Motooka M, Tomita H, Inoko M, Wakeyama T, Hagiwara N, Tanabe K, Akao M, Miyaiuchi K, Yajima J, Hanaoka K, Morino Y, Ando K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Nakao K, Kozuma K, Kadota K, Kimura K, Kawai K, Ueno T, Okumura K and Kimura K.  
An Open-Label Randomized Trial Comparing Oral Anticoagulation with and without Single Antiplatelet Therapy in Patients with Atrial Fibrillation and Stable Coronary Artery Disease Beyond One Year after Coronary Stent Implantation: The OAC-ALONE Study.  
Circulation. 2019 Jan 29;139(5):604-616.
  6. Wada H, Miyauchi K, Daida H  
Gender differences in the clinical features and outcomes of patients with coronary artery disease.  
Expert Rev Cardiovasc Ther.2019 Feb;17(2)
  7. Endo H, Dohi T, Funamizu T, Shitara J, Wada H, Doi S, Naito R, Konishi H, Ogita M, Iwata H, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Shimada K, Miyauchi K, Daida H  
Long-Term Predictive Value of High-Sensitivity C-Reactive Protein for Cancer Mortality in Patients

Undergoing Percutaneous Coronary Intervention.

Circ J.2019 Feb 25;83(3):630-636

8. Shiomi H, Kozuma K, Morimoto T, Kadota K, Tanabe K, Morino Y, Akasaka T, Abe M, Takeji Y, Suwa S, Ito Y, Kobayashi M, Dai K, Nakao K, Tarutani Y, Taniguchi R, Nishikawa H, Yamamoto Y, Nakagawa Y, Ando K, Kobayashi K, Kawai K, Hibi K, Kimura T  
7-year outcomes of a randomized trial comparing the first-generation sirolimus-eluting stent versus the new generation everolimus-eluting stent: the RESET trial.  
JACC Cardiovasc Interv. 2019 Apr;12(7): 637-647
9. Okuno T, Aoki J, Tanabe K, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Uematsu M, Hirata K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Ohshima S, Nakai M, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M  
Admission heart rate is a determinant of effectiveness of beta-blockers in acute myocardial infarction patients.  
Circ J. 2019 Apr;83(5):1054-1063.
10. Okura H, Saito Y, Soeda T, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Uematsu M, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Ohshima S, Nakai M, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M  
Frequency and prognostic impact of intravascular imaging-guided urgent percutaneous coronary intervention in patients with acute myocardial infarction: results from J-MINUET.  
Heart Vessels. 2019 Apr;34(4):564-571.
11. Shitara J, Kasai T, Konishi H, Endo H, Wada H, Doi S, Naito R, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Okazaki S, Miyauchi K, Daida H,  
Impact of Lipoprotein (a) Levels on Long-Term Outcomes in Patients With Coronary Artery Disease and Left Ventricular Systolic Dysfunction.  
Circ J.2019 Apr 25;83(5):1047-1053
12. Yatsu S, Kasai T\*, Suda S, Matsumoto H, Ishiwata S, Shiroshita N, Kato M, Kawana F, Murata A, Shimizu M, Shitara J, Kato T, Hiki M, Sai E, Miyauchi K, Daida H.  
Prevalence and significance of restless legs syndrome in patients with coronary artery disease.  
Am J Cardiol. 2019. May 15;123:1580-1586.
13. Ueki Y, Mohri M, Matoba T, Kadokami T, Suwa S, Yagi T, Takahashi H, Takana N, Hokama Y, Fukuhara R, Onitsuka K, Tachibana E, Yonemoto N, Nagao K  
Prognostic value of neurological status on hospital arrival for short-term outcome in patients with

cardiovascular shock – sub-analysis of the Japanese Circulation Society Cardiovascular Shock Registry  
Circ J. 2019 May 24;83(6):1247-1253.

14. Yanagawa Y, Jitsuiki K, Nagasawa H, Takeuchi I, Madokoro S, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Suwa S.  
A smartphone video transmission system for verification of transfusion.  
Air Med J. 2019 May-Apr;38(2):125-128
15. Okuno T, Aoki J, Tanabe K, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Uematsu M, Hirata K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Ohshima S, Nakai M, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M  
Association of onset-season with characteristics and long-term outcomes in acute myocardial infarction patients: results from the Japanese registry of acute myocardial infarction diagnosed by universal definition (J-MINUET) substudy.  
Heart vessels. 2019 May 25. doi: 10.1007/s00380-019-01426-w. [Epub ahead of print]
16. Yatsu S, Kasai T\*, Matsumoto H, Shitara J, Shimizu M, Murata A, Kato T, Suda S, Hiki M, Takagi A, Daida H.  
Relationship between hypoalbuminemia on admission and long-term mortality in patients with acute decompensated heart failure.  
Intern Med. 2019. Jun 15;58:1695-1702.
17. Minami-Takano A, Iwata H, Miyosawa K, Kubota K, Kimura A, Osawa S, Shitara M, Okazaki S, Suwa S, Miyauchi K, Sumiyoshi M, Amano A, Daida H.  
A novel nutrition index serves as a useful prognostic indicator in cardiac critical patients requiring mechanical circulatory support.  
Nutrients. 2019 Jun 24;11(6). pii: E1420. Doi: 10.3390/nu11061420
18. Shitara J, Kasai T\*, Akihiro A, Yatsu S, Matsumoto H, Suda S, Ogita M, Yanagisawa N, Fujibayashi K, Nojiri S, Nishizaki Y, Ono N, Suwa S, Daida H.  
Effects of suvorexant on sleep apnea in patients with heart failure: a protocol of crossover pilot trial.  
J Cardiol. 2019. Jul;74:90-94.
19. Shitara J, Kasai T, Akihiro S, Yatsu S, Matsumoto H, Suda S, Ogita M, Yanagisawa N, Fujibayashi K, Nojiri S, Nishizaki Y, Ono N, Suwa S, Daida H.  
Effects of suvorexant on sleep apnea in patients with heart failure: A protocol of crossover pilot trial.  
J Cardiol. 2019 Jul;74(1):90-94
20. Endo H, Miyauchi K, Takahashi D, Funamizu T, Shitara J, Wada H, Doi S, Kato Y, Okai I, Iwata H, Okazaki S, Isoda K, Daida H

Clinical impact of complex percutaneous coronary intervention in patients with coronary artery disease.  
*Cardiovasc Interv Ther.* 2019 Jul 26. doi:10.1007/s12928-019-00608-7. [Epub ahead of print]

21. Endo H, Dohi T, Dohi S, Wada H, Doi S, Kato Y, Okai I, Iwata H, Okazaki S, Isoda K, Yamamoto T, Miyauchi K, Amano A, Daida H  
Clinical indicators and coronary angiographic features of expansive arterial remodeling in patients with abdominal aortic aneurysms.  
*PLoS One.* 2019 Jul 16;14(7)
22. Ueki Y, Mohri M, Matoba T, Kadokami T, Suwa S, Yagi T, Takahashi H, Takana N, Hokama Y, Fukuhara R, Onitsuka K, Tachibana E, Yonemoto N, Nagao K  
Clinical characteristics and prognostic factors in acute coronary syndrome patients complicated with cardiogenic shock in Japan: analysis from the Japanese Circulation Society Cardiovascular Shock Registry.  
*Heart vessels.* 2019 Aug;34(8):1241-1249
23. Watanabe H, Domei T, Morimoto T, Natsuaki M, Shiomi H, Toyota T, Ohya M, Suwa S, Takagi K, Nanasato M, Hata Y, Yagi M, Suematsu N, Yokomatsu Y, Takamisawa I, Doi M, Noda T, Okayama H, Seino Y, Tada T, Sakamoto H, Hibi K, Abe M, Kawai K, Nakao K, Ando K, Tanabe K, Ikari Y, Hanaoka KI, Morino Y, Kozuma K, Kadota K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kimura K  
Very short dual antiplatelet therapy after drug-eluting stent implantation in patients with high bleeding risk: insights from the STOP DAPT-2 trial  
*Circulation* 2019 Sep; doi10.1161/CIRCULATIONAHA.119.043613. [Epub ahead of print]
24. Shimizu T, Suwa S, Dohi T, Wada H, Miyauchi K, Shitara J, Endo H, Doi S, Ogita M, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Daida H  
Clinical significance of high-sensitivity C-reactive protein in patients with preserved renal function following percutaneous coronary intervention.  
*Int Heart J.* 2019 Sep 27;60:1037-1042.
25. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Takahashi N, Endo H, Kato Y, Ogita M, Okai I, Iwata H, Okazaki S, Isoda K, Shimada K, Suwa S, Daida H.  
Impact of serum 1,5-anhydro-D-glucitol level on the prediction of severe coronary artery calcification: an intravascular ultrasound study.  
*Int Heart J.* 2019 Sep 27;60:1037-1042.
26. Endo H, Dohi T, Miyauchi K, Kuramitsu S, Kato Y, Okai I, Yokoyama M, Yokoyama T, Ando K, Okazaki S, Shimada K, Suwa S, Daida H.  
Clinical significance of non-culprit plaque regression following acute coronary syndrome: a serial intravascular ultrasound study.  
*Int Heart J.* 2019 Sep 27;60:1037-1042.

27. Yatsu S, Kasai T\*, Suda S, Hiki M, Matsumoto H, Ishiwata S, Sato A, Shiroshita N, Kato M, Kawana F, Murata A, Shimizu M, Shitara J, Kato T, Sai E, Yanagisawa N, Miyauchi K, Daida H.  
Prevalence of Restless Legs Syndrome and Its Effects on Sleep and Health-Related Quality of Life in Patients With Heart Failure.  
J Card Fail. 2019 Oct 25;837-842.
28. Matsumoto H, Kasai T\*, Sato A, Ishiwata S, Yatsu S, Shitara J, Murata A, Kato T, Suda S, Matsue Y, Hiki M, Takagi A, Daida H.  
Association between C-reactive protein levels at hospital admission and long-term mortality in patients with acute decompensated heart failure.  
Heart Vessels. 2019 Dec;34:1961-1968.
29. Yatsu S, Kasai T, Daida H.  
Reply to Comments on Relationship between Hypoalbuminemia on Admission and Long-term Mortality in Patients with Acute Decompensated Heart Failure.  
Intern Med. 2019 Dec 1;58:3491.

#### 英文総説

1. Wada H, Miyauchi K, Daida H.  
Gender differences in the clinical features and outcomes of patients with coronary artery disease.  
Expert Rev Cardiovasc Ther. 2019 Feb;17(2):127-133

#### 英文症例報告

1. Omori K, Yanagawa Y, Muramatsu K, Nagasawa H, Takeuchi I, Madokoro S, Jitsuiki K, Yatsu S, Ohsaka H, Ishikawa K.  
Experience using a portable X-ray system at the scene transported by a physician-staffed helicopter.  
Acute Med Surg. 2019 May 23;6(4):396-399.

#### 海外学会発表

1. Nishio R, Takahashi N, Ogita M, Yasuda K, Takeuchi M, Iso T, Sonoda T, Yatsu S, Wada H, Shiozawa T, Tsuboi S, Suwa S, Daida H  
Clinical characteristics and long-term outcomes in patients with acute coronary syndromeduring the trip  
European Society of Cardiology Acute Cardiovascular Care 2019 • Malaga-Spain • 2019/3/2-4
2. Wada H, Ogita M, Suwa S, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M

Impact of myocardial infarction on long-term mortality in a contemporary Japanese cohort of patients with acute myocardial infarction: Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) Substudy

European Society of Cardiology Acute Cardiovascular Care 2019 • Malaga-Spain • 2019/3/2-4

3. Nishio R, Wada H, Ota H, Yasuda K, Takeuchi M, Takahashi N, Sonoda T, Yatsu S, Ogita M, Suwa S  
Successful endovascular intervention for symptomatic CTO of left subclavian artery due to aortic dissection  
EuroPCR 2019 • Paris-France • 2019/5/21-24
4. Kentaro Yasuda, Manabu Ogita, Tomotaka Dohi, Daigo Takahashi, Yui Nozaki, Ryota Nishio, Mitsuhiro Takeuchi, Taketo Sonoda, Shoichiro Yatsu, Shitara Jun, Hideki Wada, Tomoyuki Shiozawa, Satoru Suwa  
Serial OCT findings in young adult ACS treated with antithrombotic therapy without stenting  
Euro PCR 2019 • Paris-France • 2019/5/21-24
5. N.Takahashi,M.Ogita,S.Tsuboi,R.Nishio,K.Yasuda,M.Takeuchi,T.Iso,T.Sonoda,S.Yatsu,H.Wada,T.Shiozawa ,T.Dohi,Y.Yanagawa,S.Suwa,H.Daida  
Clinical characteristics and long-term outcome in patients with helicopter-transcatheter acute coronary syndrome after primary percutaneous coronary intervention  
ESC Congress 2019 together with World Congress of Cardiology • Paris-France • 2019/8/31-9/4
6. M.Takeuchi,M.Ogita,S.Tsuboi,R.Nishio,N.Takahashi,T.Iso,T.Sonoda,S.Yatsu,H.Wada,T.Dohi,S.Suwa,H.Daida  
Impact of a prior history of stroke on long-term cardiac mortality in patients with acute coronary syndrome treated with percutaneous coronary intervention.  
ESC Congress 2019 together with World Congress of Cardiology • Paris-France • 2019/8/31-9/4
7. Hideki Wada,Tomotaka Dohi,Katsumi Miyauchi,Ryota Nishio,Kentaro Yasuda,Mitsuhiro Takeuchi,Norihito Takahashi,Manabu Ogita,Satoru Suwa  
Red Cell Distribution Width Predicts Long-term Cardiovascular Outcomes in Patients With Stable Coronary Artery Disease  
American Heart Association Scientific Sessions • Philadelphia-Pennsylvania • 2019/11/16-18
8. Hideki Wada,Manabu Ogita,Satoru Suwa,Ryota Nishio,Kentaro Yasuda,Mitsuhiro Takeuchi,Shoichiro Yatsu,Katsumi Miyauchi,Hirouki Daida  
Percutaneous Coronary Intervention To Unprotected Left Main Trunk Lesion in Patients With Acute Coronary Syndrome  
American Heart Association Scientific Sessions • Philadelphia-Pennsylvania • 2019/11/16-18
9. Hideki Wada,Manabu Ogita,Satoru Suwa,Koichi Nakano,Yukio Ozaki,Kazuo Kimura,Junya Ako,Teruo

Noguchi,Satoshi Yasuda,Kazuteru Fujimoto,Yasuharu Nakama,Takashi Morita,Wataru Shimizu,Yoshihiko Saito,Atsushi Hirohata,Yasuhiro Morita,Inoue Teruo,Atsunori Okamura,Toshiaki Mano,Kazuhito Hirata,Kengo Tanabe,Yoshisato Shibata,Mafumi Owa,Keniti Tsujita,Hiroshi Funayama,Nobuaki Kokubu,Ken Kozuma,Shiro Uemura,Tetsuya Tobaru,Keijirou Saku,Shigeru Ohshima,Kunihiro Nishimura,Yoshihiro Miyamoto,Hisao Ogawa

Long-term Outcomes in Acute Myocardial infarction Patients With Cardiogenic Shock A Landmark Sub analysis From Japanese Registry Of Acute Myocardial infarction Diagnosed By Universal Definition(j-minuet9Registry

American Heart Association Scientific Sessions • Philadelphia-Pennsylvania • 2019/11/16-18

10. Hideki Wada,Tomotaka Dohi,Katsumi Miyauchi,Norihito Takahashi,Hirohisa Endo,Yoshiteru Kato,Manabu Ogita,Iwao Okai,Hiroshi Iwata,Shinya Okazaki,Kikuo Isoda,Kazunori Shimada,Satoru Suwa,Hiroyuki Daida
- Impact Of Serum 1.5 anhydro-d-giucitol Level On The Prediction Of Severe Coronary Artery Calcification An intravascular Ultrasound Study
- American Heart Association Scientific Sessions • Philadelphia-Pennsylvania • 2019/11/16-18

11. Hideki Wada, Manabu Ogita, Satoru Suwa, Koichi Nakao, Yukio Ozaki, Kazuo Kimura, Junya Ako, Teruo Noguchi, Satoshi Yasuda, Kazuteru Fujimoto, Yasuharu Nakama, Takashi Morita, Wataru Shimizu, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirohata, Yasuhiro Morita, Teruo Inoue, Atsunori Okamura, Toshiaki Mano, Kazuhito Hirata, Kengo Tanabe, Yoshisato Shibata, Mafumi Owa, Kenichi Tsujita, Hiroshi Funayama, Nobuaki Kokubu, Ken Kozuma, Shiro Uemura, Tetsuya Tobaru, Keijiro Saku, Shigeru Oshima, Kunihiro Nishimura, Yoshihiro Miyamoto, Hisao Ogawa, Masaharu Ishihara
- Long-term outcomes in acute myocardial infarction patients with cardiogenic shock: a landmark sub-analysis from Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) registry.
- American Heart Association Scientific Sessions • Philadelphia-Pennsylvania • 2019/11/16-18

## 和文総説

1. 西尾亮太、和田英樹、宮内克己  
【冠動脈疾患のリスク管理のフロントライン】冠動脈疾患リスクファクターをどう管理する？ コレステロールはどこまで下げる？  
循環器ジャーナル (2432-3284)67 巻 4 号 Page594-599(2019.10)
2. 和田 英樹, 土肥 智貴  
疾患対策の最新動向 心血管疾患患者のバイオマーカーとしてのアルブミンと高感度 CRP の意義について  
循環 plus (1345-9155)19 巻 5 号 Page7-9(2019.07)

## 和文症例報告

1. 西尾亮太、和田英樹、田淵晴名、宮崎哲朗、代田浩之  
肺炎球菌性肺炎に化膿性心膜炎を合併した一例  
心臓 (0586-4488)51 巻 9 号 Page927-931(2019.09)

## 国内学会発表

1. 和田 英樹、土肥 智貴、宮内 克己、竹内 充裕、高橋 徳仁、遠藤 裕久、荻田 学、諏訪 哲、代田 浩之  
冠動脈疾患を有する患者における血清アルブミン値と長期予後の関連についての検討  
第 53 回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会・東京都・2019/1/12
2. 和田 英樹、土肥 智貴、諏訪 哲、宮内 克己、代田 浩之  
好中球リンパ球数比と安定狭心症患者の長期予後についての検討  
第 53 回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会・東京都・2019/1/12
3. 堂垂 大志、坪井 秀太、荻田 学、竹内 充裕、高橋 徳仁、園田 健人、和田 英樹、土肥 智貴、諏訪 哲、宮内 克己、代田 浩之  
当院における急性冠症候群の臨床的特徴と長期予後に関する検討  
第 53 回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会・東京都・2019/1/12
4. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Kato Y, Ogita M, Okai I, Iwata H, Okazaki S, Isoda K, Shimada K, Suwa S, Daida H  
Impact of serum 1,5-anhydro-d-glucitol level on prediction of severe coronary artery calcification: An intravascular ultrasound study  
第 83 回日本循環器学会学術集会・神奈川県・2019/3/29
5. Takeuchi M, Ogita M, Tsuboi S, Takahashi N, Sonoda T, Wada H, Dohi T, Suwa S, Daida H  
Impact of living alone on long-term mortality in patients with acute coronary syndrome treated with percutaneous coronary intervention.  
第 83 回日本循環器学会学術集会・神奈川県・2019/3/29
6. Nishio R, Wada H, Dohi T, Takeuchi M, Takahashi N, Endo H, Ogita M, Iwata H, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Miyauchi K, Daida H  
Neutrophil to lymphocyte ratio and long-term cardiovascular outcomes in coronary artery disease patients with low high-sensitivity C-reactive protein level  
第 83 回日本循環器学会学術集会・神奈川県・2019/3/30
7. Wada H, Ogita M, Suwa S, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y,

Morita Y, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M

Guideline adherence and long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction: Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) Substudy.

第 83 回日本循環器学会学術集会・神奈川県・2019/3/31

8. 安田 健太郎, 荻田 学, 野崎 侑衣, 高橋 大悟, 西尾 亮太, 竹内 充裕, 谷津 翔一郎, 園田 健人, 設楽 準, 和田 英樹, 塩澤 知之, 土井 信一郎, 諏訪 哲  
閉塞性肥大型心筋症に対して経皮的中隔心筋焼灼術を施行した一例  
CVIT 東海北陸地方会・愛知・2019/5/31-6/1
9. 竹内充裕、和田英樹、荻田学、安田健太郎、西尾亮太、高橋徳仁、磯隆史、園田健人、谷津翔一郎、塩澤知之、諏訪哲、代田浩之  
慢性完全閉塞病変に対してワイヤー通過後、デバイス持ち込み困難で別ルートよりワイヤー通過させることで治療に成功した一例  
CVIT 東海北陸地方会・愛知・2019/5/31-6/1
10. Shoichiro Yatsu, Takatoshi Kasai, Sayaki Ishiwata, Hiroki Matsumoto, Jun Shitara, Azusa Murata, Megumi Shimizu, Takao Kato, Shoko Suda, Masaru Hiki, Nanako Shiroshita, Mitsue Kato, Fusae Kawana, Hiroyuki Daida  
心不全患者における夜間の動脈スティフネスの変化と睡眠時無呼吸の関連  
日本睡眠学会第 44 回定期学術集会・愛知・2019/6/27-28
11. 谷津翔一郎  
冠動脈疾患の睡眠障害  
2019 年日本睡眠学会シンポジウム 18
12. 竹内 充裕、和田 英樹、諏訪 哲  
Door to Balloon time の短縮  
TOPIC 2019・東京・2019/7/11-13
13. 和田 英樹、諏訪 哲  
右冠動脈起始異常のため Dio を用いてローターブレードを使用し治療を行った高度石灰化病変の一例.  
TOPIC 2019・東京・2019/7/11-13
14. 石綿 清樹、谷津 翔一郎、葛西 隆敏、松本 紘毅、設楽 準、清水 めぐみ、村田 梓、加藤 隆生、須田 翔子、土井 信一郎、比企 優、岩田 洋、高木 篤俊、代田 浩之

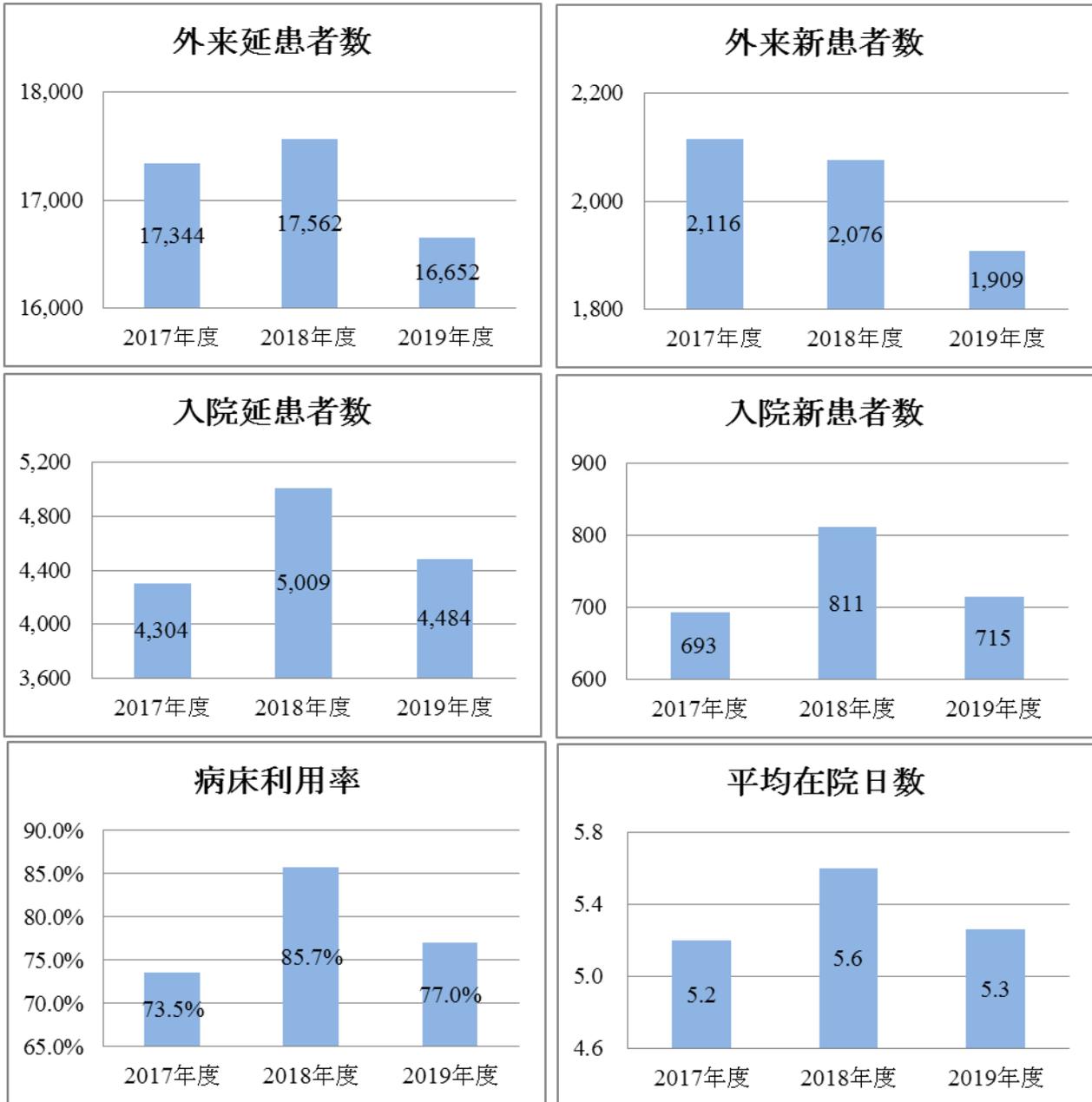
急性非代償性心不全患者における新規栄養指標の予後予測効果

第 67 回日本心臓病学会学術集会・愛知・2019/9/13-15

15. 西尾亮太、和田英樹、野崎侑衣、高橋大悟、安田健太郎、竹内充裕、谷津翔一郎、園田健人、塩澤知之、荻田学、諏訪哲、代田浩之  
たこつば心筋症に完全房室ブロックを合併した一例  
第 67 回日本心臓病学会学術集会・愛知・2019/9/13-15
16. 堂垂 大志, 坪井 秀太, 荻田 学, 竹内 充裕, 高橋 徳仁, 園田 健人, 和田 英樹, 土肥 智貴, 諏訪 哲, 宮内 克己, 代田 浩之  
当院における急性冠症候群の臨床的特徴と長期予後に関する検討  
第 67 回日本心臓病学会学術集会・愛知・2019/9/13-15
17. Kentaro Yasuda, Manabu Ogita, Tomotaka Dohi, Daigo Takahashi, Yui Nozaki, Ryota Nishio, Mitsuhiro Takeuchi, Taketo Sonoda, Shoichiro Yatsu, Shitara Jun, Hideki Wada, Tomoyuki Shiozawa, Satoru Suwa  
Serial OCT findings in young adult ACS treated with antithrombotic therapy without stenting  
CVIT 学術集会・愛知・2019/9/19-21
18. Hideki Wada, Manabu Ogita, Satoru Suwa, Yui Nozaki, Daigo Takahashi, Ryota Nishio, Kentaro Yasuda, Mitsuhiro Takeuchi, Shoichiro Yatsu, Taketo Sonoda, Katsumi Miyauchi, Hiroyuki Daida.  
Percutaneous coronary intervention to unprotected left main trunk lesion in patients with acute coronary syndrome.  
CVIT 学術集会・愛知・2019/9/19-21
19. Sonoda T, Wada H  
A bilateral transradial angioplasty for occluded right subclavian artery  
CCT2019・神戸・2019/10/24-26
20. 阿部圭希、谷津翔一郎、長澤宏樹、西尾亮太、安田健太郎、竹内充裕、園田健人、和田英樹、塩澤知之、荻田学、柳川洋一、諏訪哲  
急性心筋梗塞に合併した左室破裂を救命しえた 1 例  
第 22 回日本救急医学会中部地方会・静岡・2019/11/23
21. 和田 英樹, 荻田 学, 諏訪 哲, 中尾 浩一, 尾崎 行男, 木村 一雄, 阿古 潤哉, 野口 暉夫, 安田 聡, 藤本 和輝, 中間 泰晴, 西村 邦宏, 宮本 恵宏, 小川 久雄, 石原 正治  
急性心筋梗塞発症後の心筋梗塞再発と長期予後についての検討 J-MINUET Substudy  
第 67 回日本心臓病学会学術集会・愛知・2019/9/13-15

## 2-8 小児科

### 診療実績



### 研究・教育活動

#### 総説

1. 寒竹正人. エピジェネティクスの世界 胎児期から小児期の環境による遺伝子修飾. 小児保健研究 7:490-493. 2019

#### 講演

1. 寒竹正人. SGA 児におけるエピゲノム解析. 第8回日本 DOHaD 学会学術集会, 東京. 2019.8.9

2. 寒竹正人. SGA 児のエピゲノム解析 IGF1 とグルココルチコイドレセプター. JCR ファーマ株式会社学術講演会, 名古屋. 2019.11.8
3. 有井直人. 重症心身障害児者支援における医療からみた現状と課題. 平成 30 年度在宅重症心身障害児者対応多職種連携研修会, 沼津. 2019.1.27
4. 有井直人. 重症心身障害児者支援における医療からみた現状と課題. 平成 30 年度在宅重症心身障害児者対応多職種連携研修会, 下田. 2019.2.2
5. 有井直人. 重症心身障害児者支援における医療からみた現状と課題. 平成 30 年度在宅重症心身障害児者対応多職種連携研修会, 伊東. 2019.2.3
6. 有井直人. 当院におけるてんかん診療. エーザイ株式会社 社内勉強会, 三島. 2019.2.18
7. 有井直人. ダウン症候群の健康管理～医師の立場から～. 静岡ダウン症児の将来を考える会 東部・伊豆グループゆずり葉 2019 年度セミナー, 長泉 2019.10.5
8. 有井直人. 小児のけいれん. 済生会川口総合病院 小児の健康教室、川口. 2019.11.13
9. 有井直人. (小児神経を専門にしないかもしれない) 若い先生たちに脳波の基礎を解説する. 静岡小児神経研究会, 静岡. 2019.11.16
10. 馬場洋介. 食物アレルギーの管理と外来診療. 第 1 回伊豆小児総合診療研究会, 静岡. 2019.6.29
11. 馬場洋介. 小児難治喘息の管理. 重症喘息治療フォーラム in 静岡, 静岡. 2019.8.28
12. 馬場洋介. 当科における小児重症気管支喘息の管理と転機について. 小児重症喘息講演会, 静岡. 2019.9.3
13. 馬場洋介. こどものアレルギー アトピー性皮膚炎と食物アレルギー. 青木クリニック勉強会, 伊東. 2019.11.5
14. 馬場洋介. 小児難治喘息における生物学的製剤の位置づけ. サノフィ株式会社レクチャーミーティング, 静岡. 2019.11.21

#### 学会発表

1. 寒竹正人, 清水俊明. NICU におけるストレスは児のグルココルチコイドレセプター遺伝子のメチル化を誘導する. 第 122 回日本小児科学会学術集会, 金沢. 2019.4.20
2. 寒竹正人, 有井直人, 大川夏紀, 馬場洋介, 宮林和紀, 桐野衛二. 小児精神疾患のエピジェネティックな観点からみた考察. 第 149 回日本小児科学会静岡地方会, 静岡. 2019.6.2
3. 馬場洋介, 宮林和紀, 横倉友諒, 山田啓迪, 山崎晋, 寒竹正人, 清水俊明. 小児アトピー性皮膚炎における血清中 IL-33 の検討. 第 43 回日本小児皮膚科学会学術大会, 大宮. 2019.7.21
4. 馬場洋介, 鳥海俊, 宮林和紀, 横倉友諒, 寒竹正人. 小児アレルギー疾患における IL-33 と IL-1RL1/ST2. 第 76 回東海小児アレルギー談話会, 愛知. 2019.10.20
5. 馬場洋介, 宮林和紀, 横倉友諒, 寒竹正人, 清水俊明. 喘鳴を呈した下気道感染症急性期における臨床像と、その後の乳幼児喘息発症に関する検討. 第 51 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 旭川. 2019.10.26
6. 馬場洋介, 宮林和紀, 山田啓迪, 米山俊之, 横倉友諒, 山崎晋, 寒竹正人, 清水俊明. 下気道感染症に合併した喘鳴の臨床像と、その後の乳幼児喘息発症に関する検討. 第 56 回日本小児アレルギー学会, 千葉. 2019.11.2
7. 横倉友諒, 馬場洋介, 宮林和紀, 山田啓迪, 山崎晋, 寒竹正人. 鶏卵摂取前に感作を認めた児の経過に関する検討. 第 73 回静岡小児アレルギー研究会, 静岡. 2019.2.9

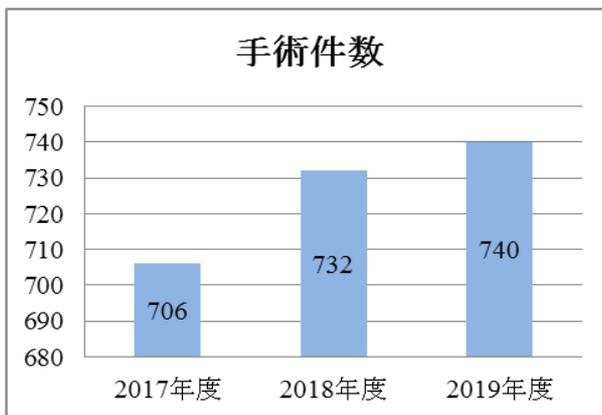
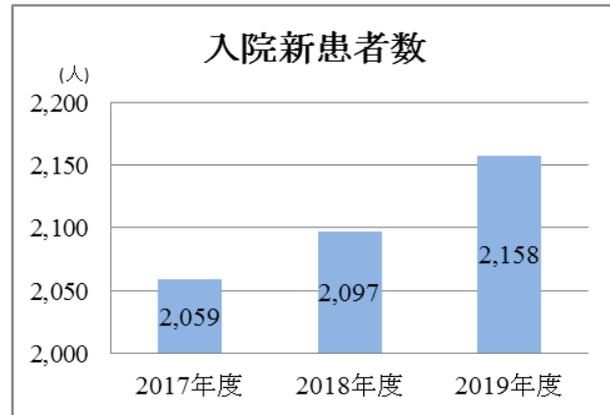
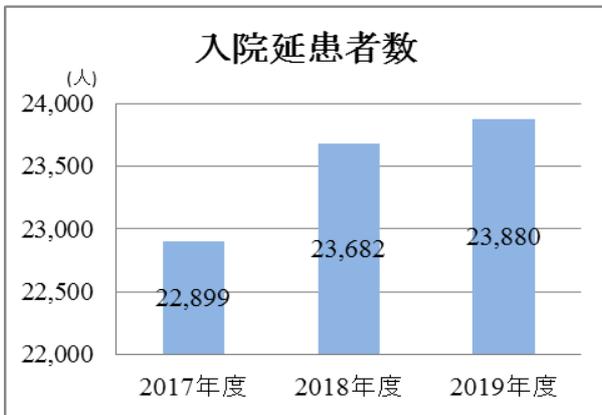
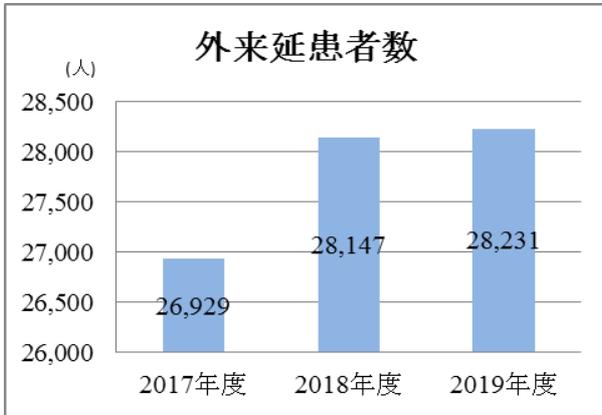
8. 横倉友諒, 馬場洋介, 宮林和紀, 山田啓迪, 山崎晋, 寒竹正人. **Gibberellin Regulated Protein (GRP)** による関与が考えられた重症モモアレルギーの 1 例. 第 74 回静岡小児アレルギー研究会, 静岡. 2019.6.8
9. 横倉友諒, 馬場洋介, 宮林和紀, 山田啓迪, 米山俊之, 山崎晋, 寒竹正人, 清水俊明. 鶏卵導入前に感作を認めた児の、鶏卵導入に関する検討. 第 56 回日本小児アレルギー学会学術大会, 幕張. 2019.11.03
10. 宮林和紀, 馬場洋介, 森下俊真, 西山樹, 大川夏紀, 有井直人, 寒竹正人, 清水俊明. 早産・低出生体重児における食物アレルギー発症に関する検討. 第 122 回日本小児科学会学術集会, 金沢. 2019.4.19
11. 宮林和紀, 馬場洋介, 山田啓迪, 米山俊之, 山崎晋, 大塚宜一, 清水俊明. 小児気管支喘息急性増悪時における全身性ステロイド薬に関する検討. 第 68 回日本アレルギー学会学術大会, 東京. 2019.6.14
12. 宮林和紀, 馬場洋介, 山崎晋, 大川夏紀, 寒竹正人, 佐藤未織, 野村伊知郎, 吉田和恵, 清水俊明. 転帰が異なった **Netherton** 症候群の兄弟例. 第 43 回日本小児皮膚科学会学術大会, 大宮. 2019.7.20
13. 徳島香央里, 馬場洋介, 乃木田正俊, 中道伸彰, 横倉友諒, 有井直人, 寒竹正人. 当科入院症例における気管支喘息急性増悪時の全身ステロイド薬投与の現状. 第 149 回日本小児科学会静岡地方会, 静岡. 2019.6.2
14. 鳥海俊, 馬場洋介, 宮林和紀, 山田啓迪, 米山俊之, 横倉友諒, 山崎晋, 寒竹正人, 清水俊明. 病態・バイオマーカー 乳児アトピー性皮膚炎の病態と血清 **IL-33** の検討. 第 56 回日本小児アレルギー学会学術大会, 幕張. 2019.11.3
15. 乃木田正俊, 馬場洋介, 徳島香央里, 中道伸彰, 宮林和紀, 田所愛弓, 有井直人, 寒竹正人. 当科で経験した過去 3 年間における小児死亡症例の検討. 第 149 回日本小児科学会静岡地方会, 静岡. 2019.3.3

#### その他

1. 馬場洋介. 第 14 部皮膚疾患 (149 章). 【翻訳】 カラー版 国際診療のための小児科アトラス大辞典. 五十嵐隆 (総監訳). 西村書店, 東京. 614-617. 2019
2. 馬場洋介. 第 14 部皮膚疾患 (158 章). 【翻訳】 カラー版 国際診療のための小児科アトラス大辞典. 五十嵐隆 (総監訳). 西村書店, 東京. 654-657. 2019
3. 馬場洋介. 第 14 部皮膚疾患 (93 章). 【翻訳】 カラー版 国際診療のための小児科アトラス大辞典. 五十嵐隆 (総監訳). 西村書店, 東京. 399-403. 2019
4. 横倉友諒. 第 14 部皮膚疾患 (94 章). 【翻訳】 カラー版 国際診療のための小児科アトラス大辞典. 五十嵐隆 (総監訳). 西村書店, 東京. 403-406. 2019
5. 横倉友諒. 第 14 部皮膚疾患 (153 章). 【翻訳】 カラー版 国際診療のための小児科アトラス大辞典. 五十嵐隆 (総監訳). 西村書店, 東京. 629-634. 2019
6. 横倉友諒. 第 14 部皮膚疾患 (164 章). 【翻訳】 カラー版 国際診療のための小児科アトラス大辞典. 五十嵐隆 (総監訳). 西村書店, 東京. 673-676. 2019
7. 横倉友諒. 第 14 部皮膚疾患 (169 章). 【翻訳】 カラー版 国際診療のための小児科アトラス大辞典. 五十嵐隆 (総監訳). 西村書店, 東京. 694-699. 2019

## 2-9 外科

### 診療実績



## 研究・教育活動

### 英文原著

1. Hiroshi Maekawa, Koichi Sato: Efficacy of Adjuvant Chemotherapy for Fatty Acid Synthase-Positive and Negative Distal Bile Duct Cancer and Ampullary Cancer: A Retrospective Analysis, *Journal of Cancer Science & Therapy*, ISSN:1948-5956, 2019.Nov.2 DOI:10.4172/1948-5956.1000584
2. Kiichi Sugimoto, Tomoaki Ito, Alicia Hulbert, Chen Chen, Hajime Orita, Masahiro Maeda, Hiroshi Moro, Takeo Fukagawa, Toshikazu Ushijima, Hitoshi Katai, Ryo Wada, Koichi Sato, Kazuhiro Sakamoto, Wayne Yu, Michael Considine, Leslie Cope, Malcolm V. Brock: DNA methylation genome-wide analysis in remnant and primary gastric cancers. *Gastric Cancer*: 12 March 2019 <https://doi.org/10.1007/s10120-019-00949-5>
3. Shunsuke Sakuraba, Shuhei Ueda, Satoshi Tokuda, Tomoaki Ito, Tomoyuki Kushida, Mutsumi Sakurada, Hiroshi Maekawa, Koichi Sato : .Group A streptococcal toxic shock-like syndrome in a male presenting as primary peritonitis: A case report and a review in Japan. *Case Report in Gastrointestinal Medicine*, Dec 2019 doi10.1155/2019/4984679
4. Shuhei Ueda Hajime Orita, Tomoaki Ito, Satoshi Tokuda, Shunsuke Sakuraba, Tomoyuki Kushida, Mutsumi Sakurada, Hiroshi Maekawa, Koichi Sato : A Case of Laparoscopic -assisted Percutaneous Edoscopic Gastrostomy (LAPEG) for Gastric Volvulus: Case report in *Medicine*.03 Dec 2019. <https://doi.org/10.1155/2019/3468084>
5. Tomoaki Ito, Ryo Matoba, Hiroshi Maekawa, Mutsumi Sakurada, Tomoyuki Kushida, Hajime Orita, Ryo Wada, Koichi Sato: Detection of gene mutations in gastric cancer tissues using a commercial sequencing panel, *Molecular and clinical oncology* 11:455-460, 2019 DOI: 10.3892/mco.2019.1926
6. Satoshi Tokuda, Shunsuke Sakuraba, Hajime Orita, Mutsumi Sakurada, Tomoyuki Kushida, Hiroshi Maekawa, Koichi Sato: Aneurysms of Pancreaticoduodenal Artery due to Median Arcuate Ligament Syndrome, Treated by Open Surgery and Laparoscopic Surgery, DOI 10.1155/2019/1795653
7. Nadege T. Fackche, Matthew Garner, Tomoaki Ito, Malcolm V. Brock: Use of Esophageal stents, *Current Surgical Therapy* 13th edition, p70-75, 2019

### 和文原著

田中 顕一郎, 氷室 貴規, 安藤 美沙, 小泉 明博, 村井 勇太, 加藤 永記, 山本 陸, 上田 脩平, 櫻庭 駿介, 徳田 智史, 朝倉 孝延, 伊藤 智彰, 櫛田 知志, 折田 創, 櫻田 睦, 前川 博, 佐藤 浩一, 齊藤 光江 : 国民が期待する外科医像 行政の観点も考慮して 高齢化、過疎化、遠隔地の3重苦に打ち克つ 伊豆半島

## 国内学会

1. 田中顕一郎、氷室貴規、安藤美沙、小泉明博、村井勇太、加藤永記、山本陸、  
上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、伊藤智彰、櫛田知志、折田創、櫻田睦、前川博、佐藤  
浩一、齋藤光江：高齢化・過疎化・遠隔地の3重苦に打ち克つ；伊豆半島の新たな医療の取り組み（大  
阪、大阪国際会議場）第119回日本外科学会定期学術集会,2019.4.19
2. 前川博、ポスターセッション（大阪、大阪国際会議場）第119回日本外科学会定期学術集会,2019.4.20
3. 村井勇太、櫻庭駿介、小泉明博、加藤永記、山本陸、上田脩平、徳田智史、  
朝倉孝延、折田創、櫻田睦、櫛田知志、前川博、田中顕一郎、佐藤浩一：S状結腸憩室炎による子宮  
全摘術後の結腸腔瘻の1例（金沢、ANAクラウンプラザホテル金沢）第44回日本外科系連合学会総  
会、2019,6,19
4. 渡邊武大、山本陸、村井勇太、小泉明博、加藤永記、上田脩平、徳田智史、櫻庭駿介、朝倉孝延、  
櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：胆石イレウスの1例（金沢、ANAクラ  
ウンプラザホテル金沢）第44回日本外科系連合学会総会、2019,6,20
5. 徳田智史、村井勇太、小泉明博、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、氷室貴規、櫛田知志、  
折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：膝頭十二指腸切除を施行する症例における、腹腔  
動脈の狭窄・閉塞を合併する割合の検討（金沢、ANAクラウンプラザホテル金沢）第44回日本外科系  
連合学会総会、2019,6,21
6. 山本陸、村井勇太、小泉明博、加藤永記、上田脩平、徳田智史、櫻庭駿介、朝倉孝延、櫛田知  
志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：内膀胱上窩ヘルニア嵌頓による絞扼性イレ  
ウスの1例（金沢、ANAクラウンプラザホテル金沢）第44回日本外科系連合学会総会、2019,6,21
7. 加藤永記：急性腹症-救急外来での対応-（東京、本院）第10回「臨床研修医のための学術集会」2019,7,5
8. 櫻庭駿介：鏡視下食道切除「第8回御茶ノ水消化器外科フォーラム」東京、御茶ノ水ソラシティカ  
ンファレンスセンター1F,2019.7.6
9. 田中顕一郎、氷室貴規、小泉明博、村井勇太、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、櫛  
田知志、折田創、櫻田睦、前川博、佐藤浩一、和田了、齋藤光江：当科におけるジーラスタの評価（東京、京  
王プラザホテル）第27回日本乳癌学会学術総会,2019,7,11
10. 加藤永記：症例報告・病理診断①デジタルポスター（東京、京王プラザホテル）第27回日本乳癌学  
会学術総会,2019,7,11
11. 村井勇太、田中顕一郎、小泉明博、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、氷室貴規、  
朝倉孝延、櫛田知志、折田創、櫻田睦、前川博、佐藤浩一、齋藤光江、和田了、中村佳代子、山田  
真紀：皮膚浸潤乳癌に対するMohs軟膏の効果を高める新たな治療法（東京、京王プラザホテル）第  
27回日本乳癌学会学術総会,2019,7,11

12. 安藤美沙：進行乳癌、皮膚、肺転移で肺動脈血栓を発症した1例（京王プラザホテル）第27回日本乳癌学会学術総会,2019,7,11
13. 山本陸：病理：非浸潤癌・Paget（京王プラザホテル）第27回日本乳癌学会学術総会,2019,7,12
14. 前川博：膵癌組織における脂肪酸結合蛋白5発現の免疫組織学的検討（グランドニッコー東京台場）第50回日本膵臓学会大会2019,7,13
15. 徳田智史：腎周囲皮膜浸潤を伴う膵体尾部癌の3症例（グランドニッコー東京台場）第50回日本膵臓学会大会2019,7,14
16. 櫻庭駿介：左胃静脈の解剖に基づいたOutside-in approachによる膵上縁郭清の工夫（グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール3F）日本消化器外科学会,2019.7.18
17. 前川博：膵癌組織のCHFR遺伝子のメチル化と病理組織因子の関連についての検討（グランドプリンス新高輪）第74回日本消化器外科学会総会2019,7,19
18. 安藤美沙、田中顕一郎、小泉明博、村井勇太、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、氷室貴規、朝倉孝延、伊藤智彰、櫛田知志、折田創、櫻田睦、前川博、佐藤浩一、齋藤光江：男性乳癌の一例（名古屋コンベンションホール）第16回日本乳癌学会中部地方会2019,8.31
19. 山本陸、安藤美沙、小泉明博、村井勇太、加藤永記、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、伊藤智彰、櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、和田了、佐藤浩一：鼠径部子宮内膜症を合併した成人Nuck管水腫の1例（静岡商工会議所4F、401・402会議室）静岡県外科医会第241回集談会2019,8.31
20. 小泉明博、村井勇太、山本陸、加藤永記、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、伊藤智彰、櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、和田了、佐藤浩一：回腸脂肪腫による成人腸重積症の1例（静岡商工会議所4F、401・402会議室）静岡県外科医会第241回集談会2019,8.31
21. 村井勇太、安藤美沙、小泉明博、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：メシル酸イマチニブによるNeoadjuvant Therapyにて完全切除し得た直腸GISTの1例（静岡市産学交流センターB-nest“プレゼンテーションルーム”6F）第75回静岡県癌治療研究会2019.9.14
22. 徳田智史：膵頭十二指腸切除前の減黄処置の比較（マリンメッセ福岡1Fアリーナ）日本癌治療学会 2019.10.24
23. 田中顕一郎：当院におけるアベマシクリブの使用経験（ホテル日航高知旭ロイヤル2F）第81回日本臨床外科学会総会,2019.11.14
24. 上田脩平、安藤美沙、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、伊藤智彰、櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：十二指腸下行脚の表在性非乳頭腫瘍に対して腹腔鏡内視鏡合同手術を施行しえた1例（ホテル日航高知旭ロイヤル2F）第81回日本臨床外科学会総会,2019.11.14
25. 仁平高朔、上田脩平、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、徳田智史、櫻庭駿介、朝倉孝延、伊藤智彰、櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：保存的加療が奏効した気腫性胃炎の2例。第81回日本臨床外科学会総会、

2019.11.14、三翠園

26. 朝倉孝延、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、上田脩平、徳田智史、櫻庭駿介、伊藤智彰、榎田知志、折田創、櫻田陸、田中颯一郎、前川博、佐藤浩一：NOMIに対して広範囲小腸切除を施行し、術後短腸症をきたした1例（ホテル日航高知旭ロイヤル2F）第81回日本臨床外科学会,2019.11.16
27. 加藤永記：腹腔鏡下S結腸切除、前方切除における縫合不全に対する当院の工夫（パシフィコ横浜）第32回日本内視鏡外科学会、2019.12.7

## 国際学会

- 1 .Ito T, Saeki H, Guo X, Shah P.S., Coulter J, Tamashiro K, Orita H, Sato K, Hulbert A, Rodgers K, Beverly Lee, Garner M, Fackche N, Mei Y, Brock M.V., Kathleen Gabrielson: Prenatal Stress Enhancement of NNK-Induced Lung Tumors in AJ Mouse Offspring ASC 14<sup>th</sup>, 2019.2.7 Houston, Texas, USA
2. Tomoaki Ito, Kiichi Sugimoto, Hajime Orita, Masahiro Maeda, Hiroshi Moro, Toshikazu Ushijima, Hitoshi Katai, Ryo Wada, Kazuhiro Sakamoto, Koichi Sato, Malcolm V Brock, DNA Methylation Genome-Wide Analysis in Remnant and Primary Gastric Cancers. AACR2019, 2019.3.31 Atlanta, Georgia, USA

## 講演・座長等

- 1、 上田脩平：講演「消化器癌の化学療法を中心とした治療戦略についての講演」静岡、大鵬薬品工業株式会社 2019.4.16
- 2、 佐藤浩一：司会「第119回日本外科学会定期学術集会」大阪、大阪国際会議場 2019.4.20
- 3、 村井勇太：講演「癌患者の術前歯科治療」、静岡、田方医師会館 2019.5.9
- 4、 田中颯一郎：講師「乳癌化学療法外部講師勉強会」、静岡、中外製薬 三島オフィス 2019.6.5
- 5、 田中颯一郎：講師「乳癌化学療法外部講師勉強会」、静岡、中外製薬 三島オフィス 2019.6.5
- 6、 前川博：座長、「静岡県東部NSTフォーラム」静岡、プラザヴェルデ 402 会議室、2019.6.18
- 7、 伊藤智彰：講師「血液維持透析患者における腹部消化器外科手術症例の検討」静岡、大鵬薬品工業、沼津出張所 2019.6.19
- 8、 山本陸：講師「消化器癌の化学療法を中心とした治療戦略について」静岡、大鵬薬品工業、沼津出張所 2019.6.19
- 9、 佐藤浩一：開会の辞「第8回御茶ノ水消化器外科フォーラム」東京、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター1F,2019.7.6
- 10、 佐藤浩一：座長「第8回御茶ノ水消化器外科フォーラム」東京、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター1F,2019.7.6
- 11、 櫻庭駿介：発表「第8回御茶ノ水消化器外科フォーラム」東京、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター1F,2019.7.6
- 12、 伊藤智彰：講演「胎児期ストレスによる成人期発症疾患への影響ー肺腫瘍と動脈硬化ー」お茶の水がん学アカデミア第156回集会、東京、順天堂大学附属順天堂医院,2019.7.24
- 13、 朝倉孝延：講演「消化器癌の化学療法を中心とした治療戦略についての講演」静岡、大鵬薬品工業、沼津出張所 2019.7.25

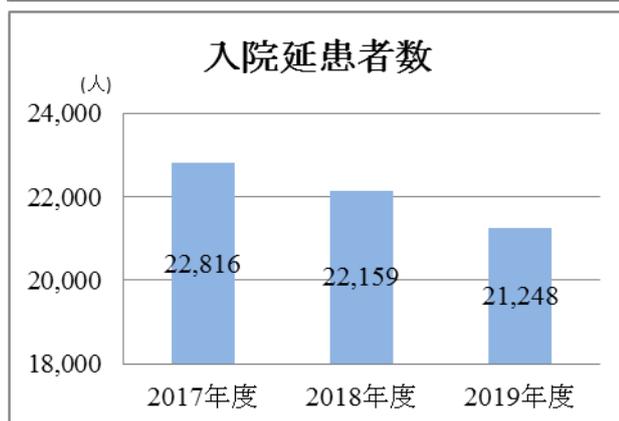
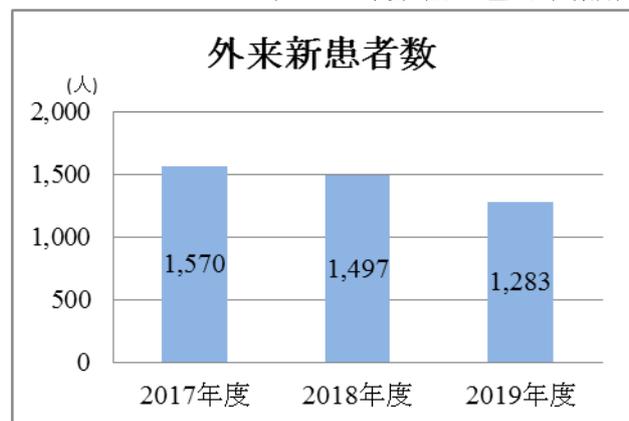
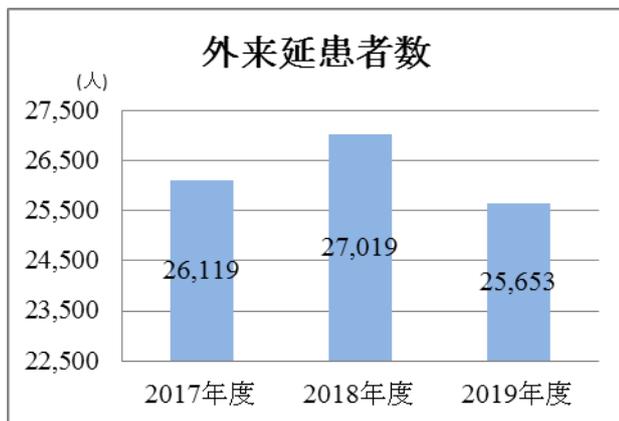
- 14、 徳田智史：講演「消化器癌の化学療法を中心とした治療戦略についての講演」静岡、大鵬薬品工業、沼津出張所 2019.7.25
- 15、 田中顕一郎：講演「第5回静岡県東部乳癌懇話会」静岡、沼津リバーサイドホテル、2019.7.26
- 16、 佐藤浩一：座長「しずおか大腸癌学術講演会、特別講演」静岡、ホテルセンチュリー、2019.7.27
- 17、 前川博：座長「第4回静岡県東部膵癌治療研究会」静岡、みしまプラザホテル、2019.8.30
- 18、 佐藤浩一：閉会の辞「大腸癌 Expert Meeting」Session3 静岡、三島プラザホテル、2019.9.5
- 19、 櫻田睦：座長「大腸癌 Expert Meeting」Session2 静岡、三島プラザホテル、2019.9.5
- 20、 徳田智史：講演「治療に迷う右側結腸癌」Session3「大腸癌 Expert Meeting」静岡、三島プラザホテル、2019.9.5
- 21、 田中顕一郎：司会「静岡県東部がん教育セミナー」静岡、三島市民文化会館小ホール、2019.9.19
- 22、 田中顕一郎：座長「第15回静岡乳がんセカンドライン研究会」静岡、ホテルアソシア、2019.10.4
- 23、 佐藤浩一：閉会の辞、静岡県東部がん免疫治療セミナー、静岡、沼津プラザヴェルデ、2019.10.11
- 24、 伊藤智彰：座長、静岡県東部がん免疫治療セミナー、静岡、沼津プラザヴェルデ、2019.10.11
- 25、 佐藤浩一：開会の辞、座長、Colorectal Cancer Conference in 静岡東部 2019, 2019.10.31
- 26、 佐藤浩一：座長「～Regorafenib～GIST・CRC セミナー、大腸癌薬物療法」静岡、ホテルシティオ静岡 5F 葵、2019.11.2
- 27、 佐藤浩一：評議委員、第98回日本消化器内視鏡学会、2019.11.22
- 28、 上田脩平：講義「消化器外科診療について」静岡、三島商工会議所、2019.11.27
- 29、 加藤永記：講義「消化器外科診療について」静岡、三島商工会議所、2019.11.27

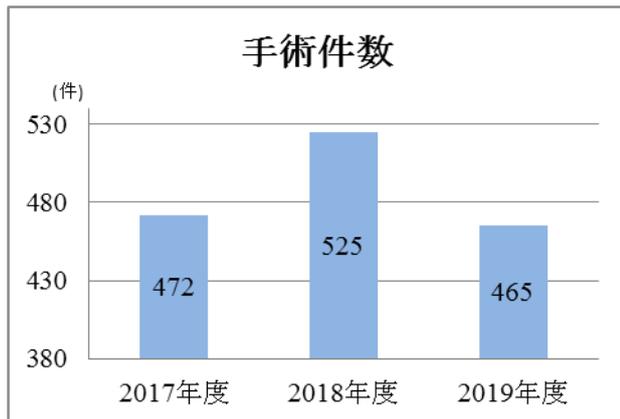
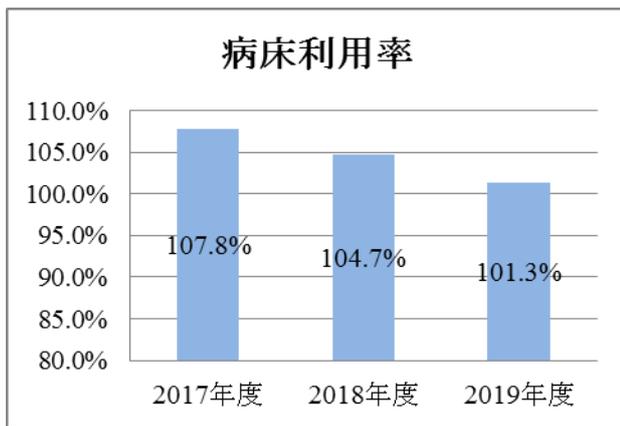
## 2-10 脳神経外科

### 診療実績

病床数	58 床
外来新患者数	1347 人
年間入院数	1187 人
手術総数	595 件
腫瘍(脳、脊髄、眼窩)	67
動脈瘤	75
AVM	6
その他の血管障害	124
外傷	130
感染症	15
脊髄・脊椎疾患	3
機能外科	8
その他	25
血管内手術	64
緊急手術数	350(58.8%)
集光照射	22

(グラフ：年度(4月～翌3月)集計)





## 研究実績

### 英文原著

1. Toyooka T, Wada K, Otani N, Tomiyama A, Takeuchi S, Tomura S, Nishida S, Ueno H, Nakao Y, Yamamoto T, Mori K : Potential Risks and Limited Indications of the Supraorbital Keyhole Approach for clipping Internal Carotid Artery Aneurysms. World Neurosurgery X, 2019[in press]
2. Otani N, Mori K, Wada K, Tomiyama A, Toyooka T, Takeuchi S, Nakao Y, Yamamoto T, Arai H : Limited Indications for Clipping Surgery of Paraclinoid Aneurysm Based on Long-Term Visual Morbidity. World Neurosurgery, 2019[in press]

### 学会発表 (国外)

1. Yamamoto T : Current Status of the endoscopic hematoma evacuation and surgical innovations for the intracerebral hemorrhage. WICH2019, Granada, Spain, May. 21, 2019

### 和文総説

1. 山本拓史 : 高齢化時代の心原性脳塞栓症～脳卒中二次予防を考える～, 中西医報 中京西部医師会, 2019; 139: 2

### 和文著書

1. 山本拓史 : 内視鏡下血腫除去術, 専門医を目指す医師のための器具の使い方と基本手技 新 NS Now Neurosurgery, メジカルビュー社 Vol. 20 : p140-149, 2019

2. 山本拓史：「令和」時代の脳神経外科医へ～巻き戻しシミュレーションの勧め，脳神経外科速報，メディカ出版 Vol.29 no.6：672-673, 2019
3. 山本拓史：内視鏡下血腫除去術で disorientation にならないためには？，疾患・術式別 脳神経外科手術合併症の回避・対処法 Q&A156, 脳神経外科速報，メディカ出版, 77-83, 2019

#### 症例報告

1. 渡邊瑞也、井口 整、川村海渡、藤田修英、上野英明、中尾保秋、山本拓史、和田 了：破裂末梢性後下小脳動脈瘤（cortical segment）の2例 脳神経外科 47（6）：673-681, 2019
2. 鈴木一幹、川村海渡、井関征祐、上野英明、渡辺瑞也、中尾保秋、山本拓史：ダビガトランによる抗凝固療法中の外傷性頭蓋内出血に対するイダルシズマブ使用例 Neurosurg Emerg 24：190-195, 2019

#### 学会発表（国内）

1. 泉 響介：神経膠芽腫の治療中に髄膜種内に浸潤性進展を来した一例. 第96回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 岐阜, Apr. 20, 2019
2. 堀越 恒：腎臓原発性転移性頭蓋内滑膜肉腫の1例. 第97回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 石川, Sep. 21, 2019
3. 西岡和輝：左側頭葉脳挫傷によって漢字の失読失書を呈した von Willebrand 病の一例. 第139回一般社団法人日本脳神経外科学会関東支部学術集会, 東京, Sep. 21, 2019
4. 北村高之：脳梗塞の病因による血栓回収療法の特徴—アテローム血栓性脳梗塞と心原性脳塞栓症の比較—. 日本脳神経外科学会第78回学術総会, 大阪, Oct. 9, 2019
5. 山本拓史：脳神経外科疾患の急性期栄養管理～Recovery Journey に基づく栄養療法の実践～. 日本脳神経外科学会第78回学術総会(ランチョンセミナー), 大阪, Oct. 10, 2019
6. 渡邊瑞也：慢性硬膜下血腫とサルコペニアとの関連性. 日本脳神経外科学会第78回学術総会, 大阪, Oct. 10, 2019
7. 上野英明：DOAC時代の非外傷性脳出血の登録研究. 日本脳神経外科学会第78回学術総会, 大阪, Oct. 10, 2019
8. 堀越 恒：破裂末梢性後下小脳動脈瘤の検討. 日本脳神経外科学会第78回学術総会, 大阪, Oct. 10, 2019
9. 宇藤 優：クモ膜下出血で発症した頭蓋内頭蓋頸椎移行部 Perimedullary AVF の直達手術における術中補助検査の検討. 日本脳神経外科学会第78回学術総会, 大阪, Oct. 10, 2019
10. 黒田清隆：急性硬膜下血腫にて発症する傍矢状静脈洞硬膜動静脈瘻の検討. 日本脳神経外科学会第78回学術総会, 大阪, Oct. 10, 2019
11. 山本拓史：内視鏡下血腫除去術の有効性と包括的手術適応の構築. 日本脳神経外科学会第78回学術総会, 大阪, Oct. 11, 2019
12. 杉山夏来：Lateral wall paraclinoid aneurysms. 日本脳神経外科学会第78回学術総会, 大阪, Oct. 11, 2019
13. 石元玲央：頭蓋形成術におけるリン酸カルシウム素材とチタン骨格のハイブリッドタイプ OSSDSIGN®の使用経験とその有効性. 日本脳神経外科学会第78回学術総会, 大阪, Oct. 11, 2019
14. 山本拓史：内視鏡下血腫除去術の標準化のための手技の工夫. 第26回一般社団法人日本神経内視鏡学会(シンポジウム), 神奈川, Nov. 7, 2019
15. 山本拓史：内視鏡下血腫除去術における合併症回避のための On-The-Job Training の実践. 第26回一

般社団法人日本神経内視鏡学会(ブラッシュアップセミナー), 神奈川, Nov. 8, 2019

16. 西岡和輝: PRES に伴う脳浮腫に対して五苓散が有用であった一例. 第 28 回日本脳神経外科漢方医学会, 東京, Nov. 9, 2019
17. 西岡和輝: 末梢性中大脳動脈瘤に対する血管内治療. 第 35 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 福岡, Nov. 21, 2019
18. 北村高之: 院内発症脳梗塞に対する血栓回収療法の現状と課題. 第 35 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 福岡, Nov. 21, 2019
19. 杉山夏来: Lateral wall paraclinoid aneurysms. 第 35 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 福岡, Nov. 22, 2019
20. 山本拓史: 高齢化地域脳卒中センターにおける隣接医療圏との連携と課題. 第 25 回日本脳神経外科救急学会, 埼玉, Feb. 8, 2020
21. 中尾保秋: 医師の働き方改革が都市圏外の三次救急病院にもたらしたもの—現状と問題点—. 第 25 回日本脳神経外科救急学会, 埼玉, Feb. 8, 2020
22. 堀越 恒: くも膜下出血を発症した重複後下小脳動脈瘤を伴う椎骨動脈解離性動脈瘤の一例. 第 17 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会, 東京, Feb. 15, 2020
23. 堀越 恒: 外傷性椎骨動脈損傷に対する血管内治療の 1 例. 第 43 回日本脳神経外傷学会, 神奈川, Mar. 6, 2020
24. 西岡和輝: 左側頭葉脳挫傷によって漢字の失読失書を呈した von Willebrand 病の 1 例. 第 43 回日本脳神経外傷学会, 神奈川, Mar. 7, 2020

#### 講演会

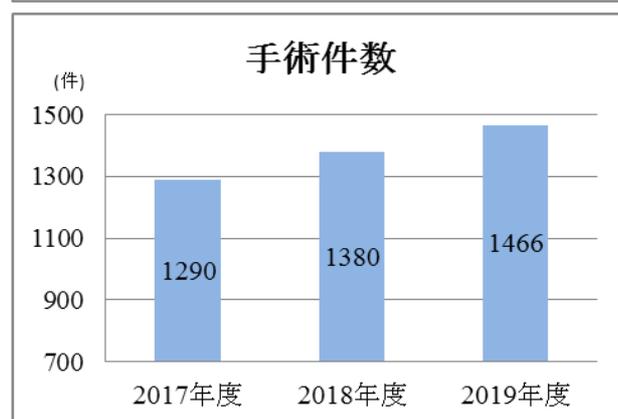
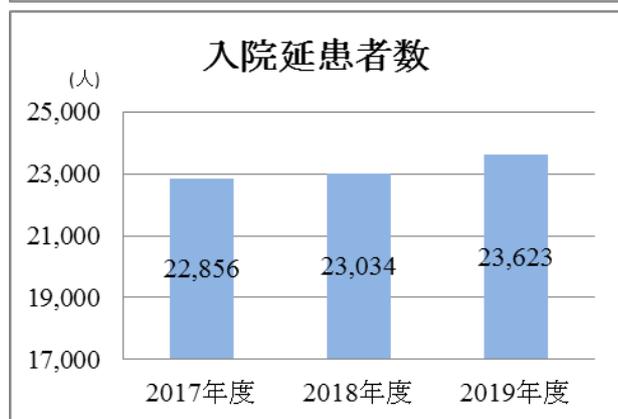
1. 山本拓史: 高齢化時代の心原性脳塞栓症～脳卒中二次予防を考える～. 循環器医療連携セミナー, 愛知, Apr. 4, 2019
2. 山本拓史: 日常診療で遭遇するてんかんへのアプローチ～当院におけるペランパネルの使用経験と可能性～. <第一報>フィコンパ®インターネットライブセミナー, 静岡, Apr. 17, 2019
3. 山本拓史: 高齢化時代の心原性脳塞栓症～脳卒中二次予防を考える～. 高齢者のトータルケアを考える会, 佐賀, Apr. 23, 2019
4. 山本拓史: 非弁膜症性心房細動による心原性脳塞栓症の最新の知見と出血性合併症へ対応. 田方医師会学術講演会, 静岡, May. 16, 2019
5. 山本拓史: 高齢化時代の心原性脳塞栓症～脳卒中二次予防を考える～. 第 162 回学術集談会, 京都, May. 25, 2019
6. 山本拓史: 脳卒中 Up to Date. 伊東市医師会学術講演会, 静岡, May. 31, 2019
7. 山本拓史: 多発性脳動脈瘤に対する手術手技. 第 26 回静岡脳神経外科ビデオシンポジウム, 静岡, Jun. 8, 2019
8. 山本拓史: 抗血栓療法時の頭蓋内出血～DOAC 時代の出血性合併症の傾向と対策. Neuro Café 2019, 静岡, Jun. 12, 2019
9. 山本拓史: 重症患者への早期経腸栄養の重要性. 松山赤十字病院 NST セミナー, 愛媛, Jun. 17, 2019
10. 山本拓史: 早期回復に向けた脳卒中症例における経腸栄養. 静岡県東部 NST フォーラム, 静岡, Jun. 18, 2019
11. 山本拓史: 高齢化時代の心原性脳塞栓症～脳卒中二次予防を考える. 第 71 回千葉神経外科学研究会, 千

葉, Jul. 5, 2019

12. 山本拓史：防ごう脳卒中！急ごう脳卒中！～脳卒中の予防と最新治療。市民公開講座，静岡，Aug. 20, 2019
13. 山本拓史：高齢化時代の心原性脳塞栓症～脳卒中二次予防を考える～。第4回上小地域脳卒中治療研究会，長野，Aug. 23, 2019
14. 山本拓史：日常診療で遭遇するてんかんへのアプローチ～ペランパネルの使用経験と可能性。非専門医のためのてんかん診療セミナー，福島，Aug. 26, 2019
15. 山本拓史：日常診療で遭遇するてんかんへのアプローチ～当院におけるペランパネルの使用経験と可能性～。いわきてんかんセミナー，福島，Sep. 9, 2019
16. 中尾保秋：高齢者の頭部外傷と抗凝固療法—重症化を防ぐために—。富士富士宮抗凝固療法学術講演会，静岡，Sep. 11, 2019
17. 山本拓史：急性症候性発作と脳卒中後てんかんのマネージメント。三重脳卒中医療連携カンファレンス，三重，Nov. 11, 2019
18. 山本拓史：脳卒中2次予防と脳卒中関連てんかんへの対応。東海エリア抗血栓療法WEBセミナーNov. 19, 2019
19. 中尾保秋：抗血栓療法と頭蓋内出血。田方脳卒中治療講演会～病診連携～，静岡，Nov. 19, 2019
20. 山本拓史：脳卒中UP TO DATE。川崎学術講演会，神奈川，Dec. 2, 2019
21. 山本拓史：日常診療で遭遇するてんかんへのアプローチ～ペランパネルの使用経験と可能性～。てんかんを考える会 in 川口，埼玉，Dec. 12, 2019
22. 山本拓史：脳関連疾患に伴うてんかんへの早期治療介入の意義～基礎・臨床から見えてきたペランパネルの可能性～ フィコンパ インターネットライブセミナー～急性期病院で遭遇する「発作」～ 静岡，Dec. 18, 2019
23. 杉山夏来：急性期脳梗塞における血栓回収療法の現状。脳卒中治療学術講演会，静岡，Jan. 21, 2020

## 2-11 整形外科

### 診療実績



## 研究・教育活動

### 論文

1. 諸橋 達、神田章男、最上敦彦、岩瀬秀明、金子和夫:

股関節感染症例の鑑別における $\alpha$ -デیفエンシン検出キット:シノバシユアの有用性. Hip Joint 45、355-360, 2019.

2. Femoral nerve injury due to technical errors during acetabular reconstruction surgery with the kerboul-type acetabular reinforcement device: Case report.

Shimura A, Maezawa K, Gomi M, Kudo T, Yuasa T, Maruyama Y, Nozawa M, Kaneko K

JOURNAL Orthopedic SCIENCE 2019 7. Pii: S0949-2658(18)30392-0. doi: 10.1016/j.jos.2018.21.021

3. 当院手外科センターにおける Terrible Triad 損傷に対する治療成績

志村有永 市原理司 原章 鈴木雅生 石井紗矢佳 日本肘関節学会誌(1349-7324)25 巻 2 号 62-65(2018)

### 発表

1. 糸井 陽 頰椎脱臼整復に伴った椎間板ヘルニアの再発機序と損傷型の特徴

第20回圧迫性脊髄研究会 2019年1月19日(東京)

2. 牛牧 誉博 水頭症を合併した環軸椎垂直脱臼 第20回圧迫性脊髄研究会 2019年1月19日(東京)

3. 大林 治 静岡ウマチ懇話会 座長 2019年1月26日(静岡)

4. 鶴上 浩規 皮膚疾患を有する橈骨遠位端骨折に対して鋼線連結型創外固定器 JuNctio を用いて治療した1例

第33回東日本手外科研究会 2019年2月1日-2日(新潟)

5. 神田 章男

前方アプローチで行った人工股関節全置換術の術後筋量計測前方アプローチで行った人工股関節全置換術の術後筋量計測

第49回日本人工関節学会 2019年2月15-16日(東京)

6. 諸橋 達 ショトステム Fitmore の使用経験～術中骨折及び術後大腿部痛症例に関する考察～

第49回日本人工関節学会 2019年2月15-16日(東京)

7. 東村 潤 人工膝関節周囲大腿骨顆上骨折の治療成績

第49回日本人工関節学会 2019年2月15-16日(東京)

8. 玉川 翔太 第14回お茶の水脊椎セミナー 2019年2月23日(東京)

9. 最上 敦彦 人工膝関節(TKA)周囲大腿骨骨折に対する逆行性髄内釘固定～その適応と限界～

一般演題6:骨折4(上肢) 座長 第32回日本創外固定・骨延長学会 2019年3月1日-2日(秋田)

10. 大林 治 第41回静岡県骨軟部腫瘍研究会 一般講演/特別講演 座長

11. 神田 章男 ポータブルナビゲーション HipAlign を用いた仰臥位人工股関節全置換術

第3回静岡県東部整形外科難治性感染症研究会 2019年3月6日(静岡)

12. 最上 敦彦 フックピンネイルを用いた大腿骨転子部骨折治療～カブトムシは昆虫の王様～

NPO 法人日本脆弱性骨折ネットワーク学術集會 2019年3月8日-10日(福島)

13. 糸井 陽

骨粗鬆症性椎体骨折の疼痛持続例の早期CT像-受傷1ヶ月の疼痛残存の早期スクリーニングにはMRIよりCTが有用-

第191回静岡県整形外科医会 集談会 2019年3月16日(静岡)

14. 神田 章男 体位で骨盤傾斜が変化する症例の人工股関節全置換術-HipAlign を用いた正確なカップ設置-

第191回静岡県整形外科医会 集談会 2019年3月16日(静岡)

15. 志村 有永 高度寛骨臼形成不全症に対して偏心性寛骨臼回転骨切り術を施行した1例

第191回静岡県整形外科医会 集談会 2019年3月16日(静岡)

16. 最上 敦彦 座長 第24回救急整形外傷シンポジウム 2019年3月22日-23日(沖縄)

- 17.糸井 陽 腰椎椎間板ヘルニアについて 科研製薬株式会社 外部講師勉強会 2019年3月22日(静岡)
- 18.最上 敦彦 本シンポジウムにおけるナイトセッションの座長 第24回救急整形外傷シンポジウム 2019年3月22日(沖縄)
- 19.西嶋 智子 高エネルギー外傷による大腿骨骨幹部骨折の治療時期の検討  
第24回救急整形外傷シンポジウム 2019年3月22日-23日(沖縄)
- 20.鶴上 浩規 手関節装具による前腕回内外制限の検証  
第62回日本手の外科学会学術集会 2019年4月18日-19日(北海道)
- 21.最上 敦彦 症例検討会② インプラント周辺骨折 講師  
第8回黒潮整形外傷カンファレンス 2019年3月30日(高知)
- 22.糸井 陽  
骨粗鬆症性椎体骨折の受傷後1ヶ月まで痛みが長期化する例の早期スクリーニングにはCTがMRIより有用  
第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2019年4月18日-20日(神奈川)
- 23.神田 章男 手術前後の骨盤傾斜変化がポータブルナビゲーションシステムを用いた寛骨臼カップ設置に与える影響  
第92回日本整形外科学会学術集会 2019年5月9日-12日(神奈川)
- 24.糸井 陽  
骨粗鬆症性椎体骨折の受傷後1ヶ月まで痛みが長期化する例の早期スクリーニングにはCTがMRIより有用  
第92回日本整形外科学会学術集会 2019年5月9日-12日(神奈川)
- 25.諸橋 達  
股関節関節感染症例の鑑別におけるα-デフェンシン検出キット、シハシユアの有用性  
第92回日本整形外科学会学術集会 2019年5月9日-12日(神奈川)
- 26.佐々 恵太 マロロクスを用いたアドリアミン耐性骨肉腫における代謝変動の解析  
第92回日本整形外科学会学術集会 2019年5月9日-12日(神奈川)
- 27.最上 敦彦 Osteoporosis Expert Meeting 講演/座長 2019年6月7日(東京)
- 28.神田 章男 骨粗鬆症の診断と治療について  
旭化成ファーマ社内勉強会「骨粗鬆症の診断と治療に」 2019年6月7日(静岡)
- 29.最上 敦彦 第12回横浜骨折治療研究会 講師 2019年6月8日(神奈川)
- 30.志村 有永 頸椎後方除圧術後後麻酔の血腫除去後に高圧酸素療法を併用し改善を得た1例  
第19回日本高気圧環境・潜水医学会 関東地区会学術集会 2019年6月22日(静岡)
- 31.東村 潤 非アスリートのSLE患者に生じた両側第5中足骨疲労骨折(Jones骨折)の1例  
第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2019年6月13日-15日(北海道)
- 32.守屋 秀一 第5中足骨骨端症(Iselin病)の2例  
第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2019年6月13日-15日(北海道)
- 33.最上 敦彦  
大腿骨顆部・顆上骨折の髓内釘治療～これまでとこれから(From the Past to the Future)～  
メラフックピンネイルを用いた大腿骨転子部骨折の治療  
シンポジウム2 病的骨折に対する治療戦略 座長  
シンポジウム3 整形外傷女性医師の活躍 座長  
インプラント委員会報告「そのインプラントでいいの?歴史から学ぶインプラント選び髓内釘の巻」座長  
第45回4日本骨折治療学会 2019年6月28日-29日(福岡)
- 34.諸橋 達 DTOOにおける髓内釘固定の試み ポスタ-32 下腿1 座長  
第45回4日本骨折治療学会 2019年6月28日-29日(福岡)
- 35.神田 章男 ポスタ-05 足関節・足部3 座長  
第45回4日本骨折治療学会 2019年6月28日-29日(福岡)
- 36.西嶋 智子

- 女性であることは整形外傷を専門とするのに障害となりうるのか  
恥骨骨折の膀胱穿刺をきたした骨盤輪骨折の1例  
第45回4日本骨折治療学会 2019年6月28日-29日(福岡)
- 37.守屋 秀一 上腕骨近位端3パト,4パト骨折に対する治療成績  
第45回4日本骨折治療学会 2019年6月28日-29日(福岡)
- 38.最上 敦彦 MITEK セミナ-in 名古屋 上腕骨近位端骨折を考える 座長 2019年7月6日(愛知)
- 39.波多江 文俊 大腿骨頸部骨折をきたした21トツミ-(ダウン症)の1例  
第192回静岡整形外科医会集談会 2019年7月20日(静岡)
- 40.大林 治 静岡東部 骨粗鬆症レジメンサービスカンファレンスフォローアップの会 座長 2019年7月18日(静岡)
- 41.西嶋 智子 橈骨遠位端骨折の治療について 静岡県東部整形外科医会 2019年7月19日(静岡)
- 42.大林 治 骨粗鬆症治療における必要な検査とタイミング 第3会 Roche Medical Science Day 2019年7月27日(愛知)
- 43.大林 治 治外傷後スワンネック変形を呈した3例 座長  
第67回静岡手外科・マイクロサージャリ研究会 2019年8月3日(静岡)
- 44.西嶋 智子 橈骨遠位端骨折に対するInitial R の使用経験  
第67回静岡手外科・マイクロサージャリ研究会 座長 2019年8月3日(静岡)
- 45.糸井 陽 牽引性脊髄損傷による頸髄損傷の9例  
第44回静岡整形外科脊椎研究会 2019年9月27日(静岡)
- 46.志村 有永 頸椎後方除圧後麻痺の血腫除去後に高圧酸素療法を併用し改善を得た1例  
第44回静岡整形外科脊椎研究会 2019年9月27日(静岡)
- 47.玉川 翔太 外傷から半年後に遅発性麻痺を来した強直性脊椎障害を伴う胸椎椎体骨折の1例  
第44回静岡整形外科脊椎研究会 2019年9月27日(静岡)
- 48.寺本 樹里 頸椎脱臼の自然征服に椎骨動脈のコイルングを行った1例  
第44回静岡整形外科脊椎研究会 2019年9月27日(静岡)
- 49.諸橋 達 DTOOにおける髄内釘固定の試み  
第44回日本足の外科学会学術集会 2019年9月26日-27日(北海道)
- 50.神田 章男 テーパー型ジョイントシステム Optimys のステムアライメント別による骨反応  
第46回日本股関節学会学術集会 2019年10月25日-26日(宮崎)
- 51.最上 敦彦  
寛骨臼骨折に対する治療戦略-外傷外科医、股関節外科医のそれぞれの立場から- (座長)  
第46回日本股関節学会学術集会 2019年10月25日-26日(宮崎)
- 52.諸橋 達 股関節骨膜骨腫症に対して股関節鏡で摘出した1例  
第46回日本股関節学会学術集会 2019年10月25日-26日(宮崎)
- 53.志村 有永 高度寛骨臼形成不全に対して ERAO を施行した1例  
第46回日本股関節学会学術集会 2019年10月25日-26日(宮崎)
- 54.守屋 秀一 テープ縫合糸を用いた鏡視下骨孔法による腱板修復術の小経験  
第46回日本肩関節学会 2019年10月25日~26日(長野)
- 55.鶴上 浩規 上腕骨骨幹部骨折に対するRIアプローチが術後可動域に与える影響  
第46回日本肩関節学会 2019年10月25日~26日(長野)
- 56.玉川 翔太 受傷後半年で遅発性麻痺を来した強直性脊椎障害を伴う胸椎椎体骨折の1例  
第54回日本脊髄障害医学会 2019年10月31日-11月1日(秋田)
- 57.糸井 陽 「牽引性脊髄損傷」による頸髄損傷の9例  
第54回日本脊髄障害医学会 2019年10月31日-11月1日(秋田)
- 58.志村 有永 頸椎後方除圧術後麻痺の血腫除去後に高圧酸素療法を併用し改善を得た1例

第54回日本脊髄障害医学会 2019年10月31日-11月1日(秋田)

59.水野 洋佑 外傷性股関節症に対する人工股関節全置換術の成績

第193回静岡県整形外科医会 集談会・総会 2019年11月9日(静岡)

60.寺本 樹里 ヘルテス様扁平骨頭に対する大腿骨骨切り併用偏心性寛骨臼回転骨切り術

第193回静岡県整形外科医会集談会・総会 2019年11月9日(静岡)

## 特別講演

1.最上 敦彦 第7回伊豆整形外傷スプリングセミナー(静岡)

2.最上 敦彦 (座長) 上腕骨近位端・骨幹部骨折に対する革新的髓内釘固定方～成功するための秘訣と注意点～  
第28回山口県骨折治療研究会 2019年3月16日(山口)

## 参加

1.大林 治 第44回静岡ウマチ懇話会 2019年1月26日(静岡)

2.最上 敦彦 第31回日本肘関節学会学術集会

3.鶴上 浩規 日本整形外科超音波学会 第73回乳幼児股関節エコーセミナー 2019年2月25日-26日(新潟)

4.大林 治 第41回静岡骨軟部腫瘍研究会(座長) 2019年3月2日(静岡)

5.大谷 慧 第92回日本整形外科学会学術集会 2019年5月9日-12日(神奈川)

6.東村 潤 第92回日本整形外科学会学術集会 2019年5月9日-12日(神奈川)

7.大林 治 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2019年6月13日-15日(北海道)

8.最上 敦彦 第6回日本重度四肢外傷シンポジウム 2019年7月13日-14日(北海道)

9.西嶋 智子 第6回日本重度四肢外傷シンポジウム 2019年7月13日-14日(北海道)

10.糸井 陽 第27回日本腰痛学会 2019年9月13日-14日(兵庫)

11.最上 敦彦 第44回日本足の外科学会学術集会 2019年9月26日-27日(北海道)

12.水野 洋佑 第47回日本救急医学会総会学術集会 2019年10月2日-4日(東京)

13.寺本 樹里 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会 2019年12月13-15日(京都)

## 講演

1.大林 治 座長 静岡ウマチ懇話会 2019年1月26日(静岡)

2.大林 治 座長 第41回静岡骨軟部腫瘍研究会 2019年3月2日(静岡)

3.神田 章男 ポータブルナビゲーション HipAlignRを用いた横臥位人工股関節全置換術

第3回静岡県東部整形外科難治性感染症研究会 2019年3月6日(静岡)

4.最上 敦彦 講師 症例検討会② インプラント周辺骨折

第8回黒潮整形外傷カンファレンス 2019年3月30日(高知)

5.最上 敦彦 講演 座長 Osteoporosis expert Meeting 2019年6月7日(東京)

6.最上 敦彦 第12回横浜骨折治療研究会 2019年6月8日(神奈川)

7.最上 敦彦 MITEK セミナ in 名古屋 上腕骨近位端骨折を考える 2019年7月6日(愛知)

8.大林 治 座長 静岡東部 骨粗鬆症リエンサビスカンファレンス フォロアップの会 2019年7月18日(静岡)

9.西嶋 智子 橈骨繊維端骨折の治療について 静岡東部整形外科医会 2019年7月19日(静岡)

10.大林 治 骨粗鬆症治療における必要な検査とタイミング 第3回Roche Medical Science Day 2019年7月27日(東京)

11.最上 敦彦 上腕骨近位端骨折における髓内釘固定法 ～求められる機能と成功のための秘訣～

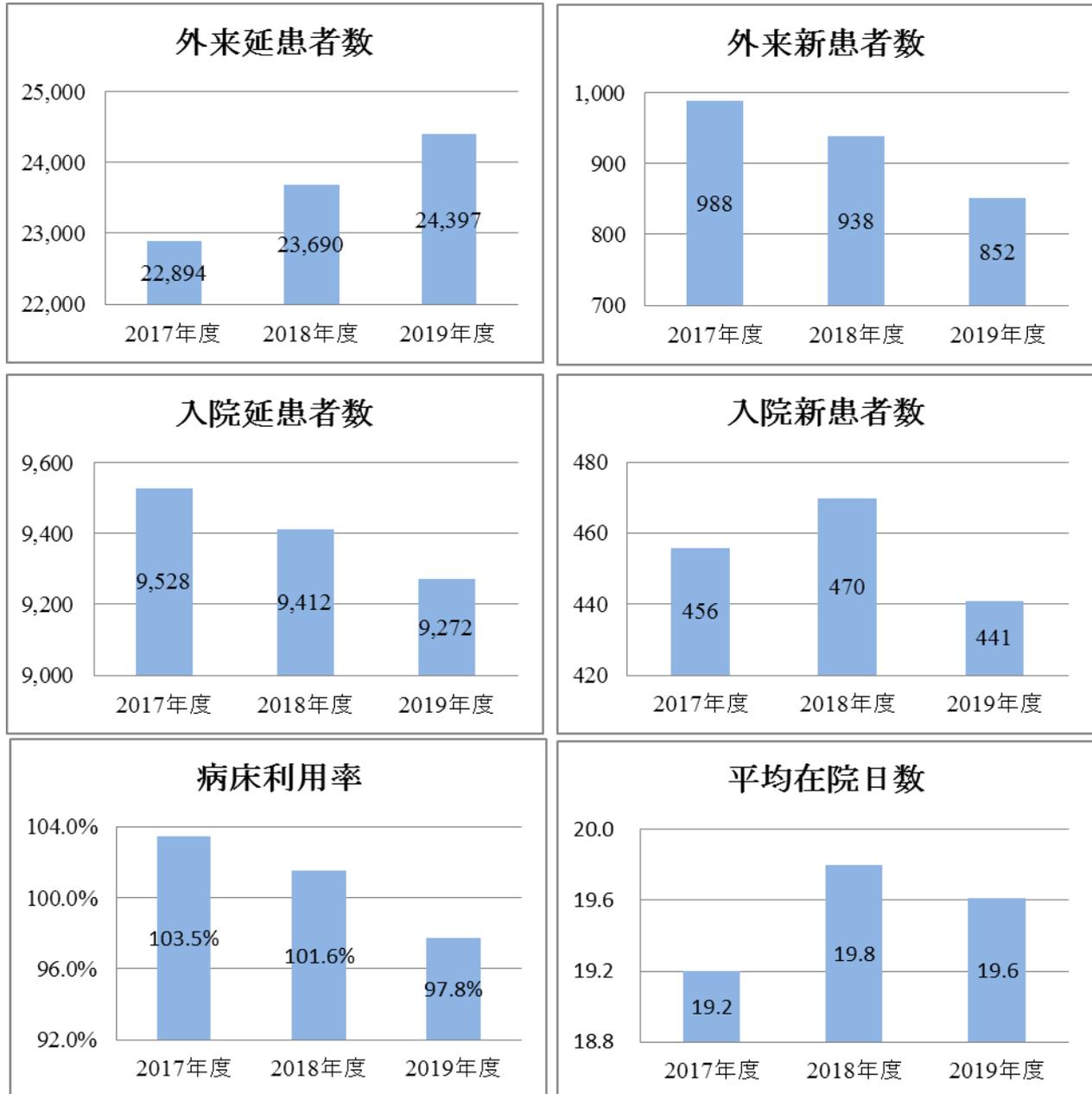
第37回なみはや整形外傷21世紀フォーラム 2019年7月27日(大阪)

12.神田 章男 講師 Anatomy Workshop in Sydney 2019年8月16-17日(スイス)

- 13.最上 敦彦 熊本髄内釘セミナー 2019年8月17日(熊本)
- 14.最上 敦彦 講師 DPS Cadaveric course 2019年8月24-25日(タイ)
- 15.大林 治 座長 第7回静岡県東部骨粗鬆症学術講演会 2019年8月29日(静岡)
- 16.最上 敦彦 Spinal Instrumentation を用いた不安定性型骨盤輪骨折の治療戦略  
京整会 Seminar in Hamamatsu 2019年9月7日(静岡)
- 17.最上 敦彦 講師 久留米大学 Trauma Customized Bioskill Course における講師 2019年9月13-14日(タイ)
- 18.最上 敦彦 大腿骨近位部骨折に対する新たな治療戦略～頸部骨折から転子下骨折まで～  
骨折治療 Up To Date Web セミナ 2019年9月19日
19. 最上 敦彦 上腕骨近位端骨折の治療戦略～保存療法!プレート?髄内釘!!!リハ-ス TSA?!～  
2019年度日本骨折治療学会研修会 2019年9月22日(兵庫)
- 20.最上 敦彦 2019年度日本骨折治療学会研修会ランチセミナーにおける講師  
日本骨折治療学会研修会 2019年9月23日(兵庫)
- 21.西嶋 智子 自施設はどこまでできる?各施設に応じた strategy -送る側の立場から-  
基礎から学ぶ重度四肢外傷セミナー-2019 2019年9月28日(東京)
- 22.最上 敦彦 セミナ-世話人 第6回 TMED2019 2019年10月5-6日(東京)
- 23.最上 敦彦 講師 順天堂大学 Trauma Customized Bioskill Course 2019年11月23-24日(タイ)
- 24.最上 敦彦 Kisco Hip Fracture Seminar in Tokyo 2019年12月14日(東京)
- 25.守屋 秀一 野球選手の投球障害について Mitek Baseball Meeting In shizuoka 2019年12月7日(静岡)

## 2-12 脳神経内科

### 診療実績



### 【はじめに】

平成 31 (2019) 年度の静岡病院脳神経内科では、診療科長を拝命し 3 年が経過しました。医局員の先生方共々、忙しい日々を送ってまいりましたが、大きな問題もなく順調な運営に協力して頂き感謝申し上げます。

当科は引き続き、静岡県東部地区の数少ない神経内科専門の診療科の使命を全うすべく、以下の点に注意し診療活動を行っております。外来診療では、初診や紹介患者は来院してから待ち時間を最小限にするよう、可及的速やかな初期対応を継続しております。外来患者数も徐々に増加傾向であります。入院

患者の診療でも医師同士の連携を密に行い、私も1日1回は必ず病棟を自分で回診するなどのサポートを継続し、医療安全の面でも最善を尽くして参ります。

研究面では、恵まれた環境を生かして約18年の間1度も欠かさず地方会発表を継続し、発表例を含め、臨床上意義のある症例は論文として発表して参りました。少しずつ論文化を継続しております。

初期研修医の教育も重要です。静岡病院は1ヶ月ずつのローテーションなので、まず神経学のエッセンシャルを吸収していただければと思います。1年目に脳内をローテーションして興味を持ち、2年目にも選択してくれる研修医も出てきて、大変ありがたいことであると感じます。学生さん(M4からM5)も2週間ごとに4名ずつ静岡病院脳神経内科をラウンドし、これらの教育を通じて静岡病院の初期研修医を増やし、さらには神経学教室への入局者増加に貢献したいと考えております。

当科の人事ですが、安藤真矢と城 崇之医師らが中核として、診療及び教育にリーダーシップを発揮してくれています。安藤真矢医師は、准教授に昇進し静岡病院の各科と緊密に連携しリーダーシップを発揮しております。城 崇之医師は、医局の中心として診療のみならず後輩の指導を熱心に行っております。さらには、本年から自治医大出身で下田メディカルセンター勤務の医師を週1日受け入れ、専門医として教育を行ってくれています。当科の筋電図の件数を減らすことなく継続しております。これまでの歴代教授・医局長・教室の諸先生のご理解に感謝するとともに、今後とも一層のご指導・ご支援を賜ればありがたく存じます。

### 【スタッフ(R1年12月現在)】

野田和幸(科長 先任准教授)、大熊泰之(教授)、城 崇之(助教)、安藤真矢(医局長兼病棟医長、准教授)、2名の助手はローテーションで、卒後3-5年目の各先生が3ヶ月ごとに2名ずつ勤務し、病棟・救急外来等で活躍してくれました。

### 【診療データ】

外来患者数ですが、初診は月平均134人で昨年とほぼ同等で、再診は月平均1871人と増加傾向でした。例年通り沼津、三島、伊豆半島全域をはじめ、熱海、湯河原、御殿場、裾野、富士、富士宮などから通院しておられます。静岡市、東京都、山梨県からもパーキンソン病や運動障害の患者さんが通院されました。富士市の池辺クリニック、静岡市の城西クリニック、富士宮市の東静岡神経センター、三島市の森本神経内科クリニックといった、当科出身の諸先生方からも随時ご紹介頂き、大変光栄に思います。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

### 【週間外来表(30年12月現在)】

	曜日	月	火	水	木	金	土
午前	1診	城	野田	安藤	野田	城	交代制
	2診	初診医	安藤	初診医 (野田)	大熊	大熊	第4筋電図 (野田)
午後	1診	城		安藤	野田	城	
		ボトックス			城(筋電図)		

病棟は4B病棟で眼科と脳神経内科の2科体制になって3年経ちました。看護師さんらスタッフも眼科は動ける患者さんが多いものの入退院が激しく、脳神経内科は介護度が高く大変だと思いますが、慣れてきたようです。入院患者の総数は490人(兼科含む)で昨年と横ばいでした。パーキンソン病の入院患者が最も多く、次いで脳梗塞の患者でした。その次がALS、痙攣などの運となっております。その他、ほぼ神経学のすべての領域の症例を診療しております。平均在院日数は、ほぼ年間を通じて20日以内達成を継続できており、MSWや退院支援ナースの働きには常に感謝しています。

病病連携、病診連携の重要性も常に認識しています。また長岡リハビリテーション病院、松崎研一郎院長はじめスタッフの皆様には、患者さんだけでなく教室員が毎度お世話になっております。さらに日頃からお世話になっている病院・医院の先生方や施設の方々にも心から御礼申し上げます。

## 【研究】

### 1. パーキンソン病等 Movement disorders の病態および治療に関する研究：

大熊は関東パーキンソン病勉強会の主要メンバーとして、数々の共同研究に参加してきました。パーキンソン病の姿勢異常の研究では自治医大ステーションクリニック藤本先生が論文投稿目前まで来ています。また新しい共同研究として、東京女子医大飯嶋先生を中心に嗅覚障害とレム睡眠行動異常(RBD)を中心に調べており、昨年症例登録が終了しました。解析結果が楽しみです。

重度嗅覚障害をともなうパーキンソン病患者において、ドネペジルが認知症発症を予防できるかどうかを前向きに調べるDASH-PD試験も無事終了しました(厚生労働科学研究費補助金[現AMED臨床研究・治験推進研究事業]；平成24年～28年度[分担研究者])。イベント発生率が少ない関係で1年間延長になりましたが、当院では全国で4番目に多い12例をエントリーしてフォローしています(大熊、野田)。さらにドネペジルの歩行に対する効果を客観的にみるために、患者さんの携帯歩行計記録を行っています(大熊)。

大熊はオランダのProf. Bas Bloemと共同で、日内変動とすくみ足を有するパーキンソン病における転倒の前方視的調査を行いました。また携帯歩行計を用いてパーキンソン病や関連疾患の歩行解析を行っています。パーキンソン病患者さんの家庭での転倒とすくみ足を客観的に評価する試みを継続しています。

野田は不随意運動を呈する例をこれまでに多数英文で症例報告しました。今後も診療と並行して、症例報告を継続しようと考えております。

さらに、徳島大学主導での高用量E0302の筋萎縮性側索硬化症に対する第Ⅲ相試験-医師主導治験-に参加し、症例を登録いたしました。

### 2. 脳血管障害に関する研究：

脳血管障害グループの先生からの依頼で、心房細動の実態把握と予後調査のための患者登録研究(RAFFINE)に参画し、17例登録を行い無事終了となりました。

### 3. 神経免疫学的研究：

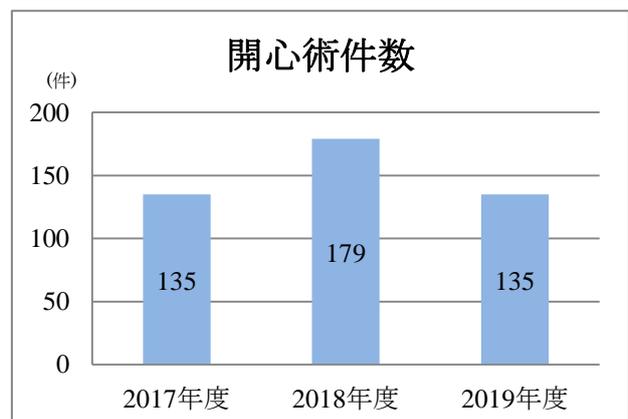
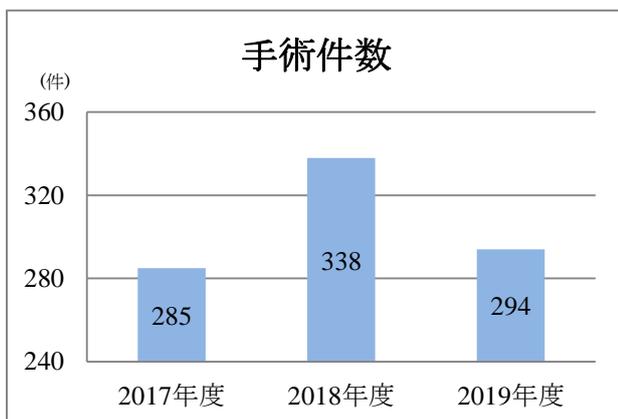
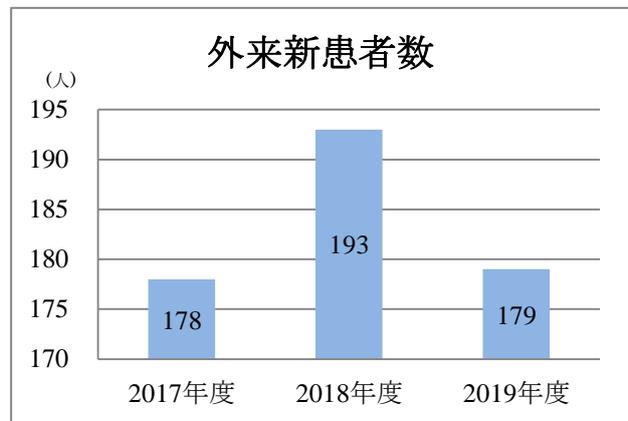
多発性硬化症に対して使用できるようになった種々のDisease modifying therapy(DMT)を試みて症例を蓄積しています。

## 【研究業績, 活動等】

日本神経学会関東地方会へ年4回欠かさず報告しております。

## 2-13. 心臟血管外科

### 診療実績



## 診療活動

順天堂大学医学部附属静岡病院心臓血管外科では、平成 2019 年度の 1 年間で心臓・大血管（腹部大動脈を含む）手術 176 例、末梢血管手術その他 118 例で計 294 例の手術を施行しました。緊急手術はそのうち 89 例でした。このうちいわゆる開心術（心拍動下冠動脈バイパス術＋体外循環症例）は 135 例あり、これは成人開心術では静岡県東部地域で最多症例数でした。これはひとえに、院内で循環器科、麻酔科、手術部をはじめとする医師やコメディカルの方々、および地域の皆さまの御支援・御協力によって達成できたものと考えており、この場をお借りして深く御礼申し上げます。手術成績は、緊急手術を合わせて院内死亡率は約 5% でした。いわゆる開心術に限定すれば、お断りすることなく重症例を多く引き受けている当科において、全国平均（Japan SCORE）とほぼ同等の成績でした。

なお、平成 24 年度より胸部のステントグラフト実施施設として認定され、当科で腹部のみならず胸部の大動脈瘤についてもステントグラフト治療が実施できるようになっています。また、下肢静脈瘤についても積極的に外科治療を行い、良好な成績を上げています。平成 29 年度からは低侵襲心臓外科手術（MICS）も開始し、大動脈弁置換術・僧帽弁形成術/置換術を右開胸で 5-8cm の小さい皮切で施行しています。今年度は MICS 6 例（大動脈弁 2 例、僧帽弁 4 例）を施行し、手術・院内死亡 0 でした。

地域の皆さまに頼りにされる診療科として医療に貢献すべく、成人の心臓血管手術全般でいっそうの手術成績の向上を図っていく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 次年度目標

2019 年度は、臨床面では前年度に比べて、開心術数、全手術数ともにわずかに昨年を下回りました。静今後とも地域の方々にいっそう信頼していただけるように、たゆまぬ努力が必要であると肝に銘じています。手術成績自体は、全国平均（Japan SCORE）並みですが、動脈の性状が悪い症例や重症の透析例なども積極的に引き受けしており、引き続き成績向上に向けてたゆまぬ努力を続けてまいります。麻酔科・手術部の方々のご協力に感謝を申し上げます。

2020 年度も引き続き、臨床面においては手術成績の向上により重点を置いて、県東部地域の基幹病院としての地位を確固たるものとするを目標といたします。また、静岡病院発（静岡病院のスタッフが筆頭著者・責任著者となっているもの）の研究発表を発信していき、研究面でも地域・業界に寄与すべく各種地方会や研究会に積極的に演題を発表してまいります。

すなわち、診療・研究・教育の 3 分野で、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構における基幹施設にふさわしい活動を年間通じて継続してまいりますので、みなさま方からのご指導・ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 研究・教育活動

### ① 原著（英文）

1. Yatsu S, Yanagawa Y, Nagasawa H, Tambara K, Suwa S. Successful treatment of cardiac tamponade due to rupture of the heart performing an open-chest pericardiotomy. *Cureus*. 2020;12:e7101.

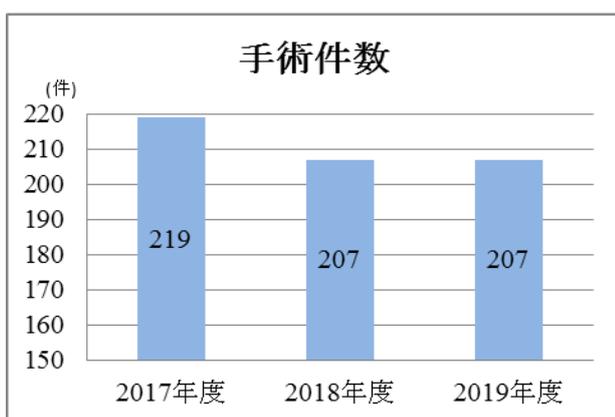
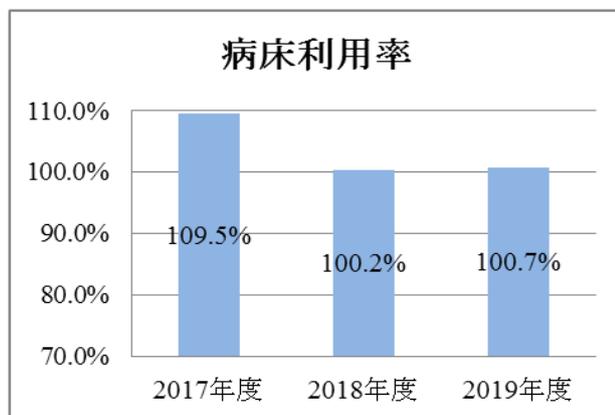
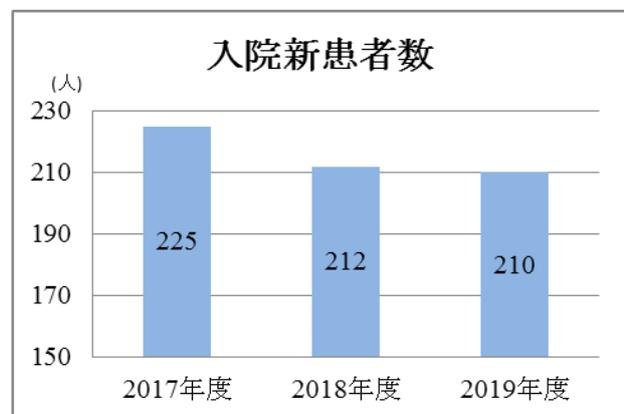
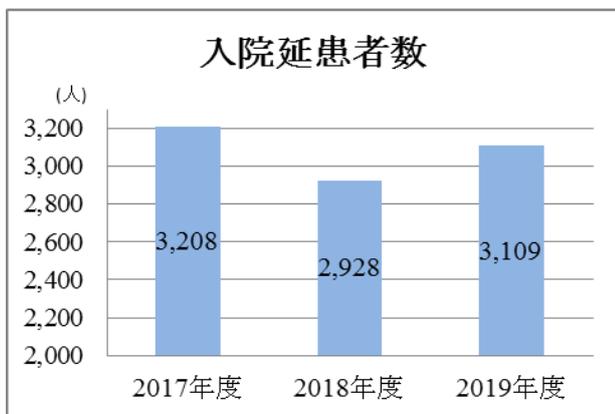
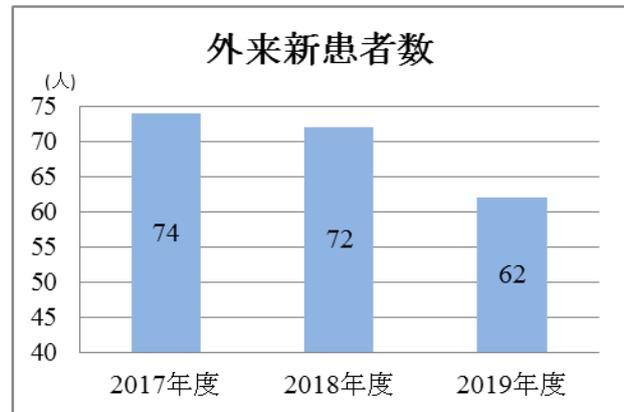
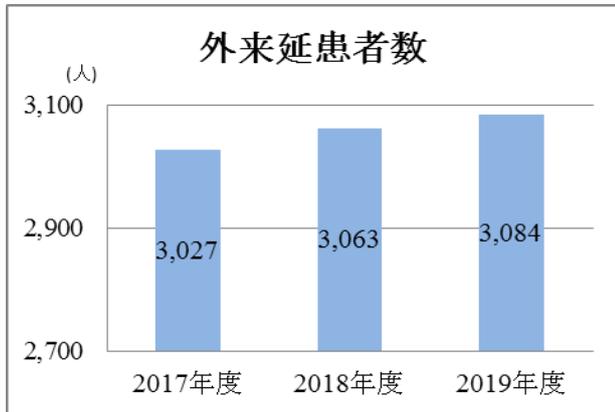
### ② 学会発表（国内）

1. 齋藤洋輔, 丹原圭一, 土肥静之, 稲葉博隆, 山本平, 鶴田亮, 廣瀬仁, 天野篤. 糖尿病患者におけるスケルトナイズド法により採取した両側内胸動脈を用いた心拍動下冠動脈バイパス術の有益性について. 第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会. 2019年 10 月 31 日.

2. 宮崎豪, 丹原圭一, 齋藤洋輔, 町田洋一郎. MICS-MVP. 第13回静岡県東部心臓外科・循環器科連携の会. 2020年2月14日.

## 2-14 呼吸器外科

### 診療実績



## 研究・教育活動

### ① 論文業績

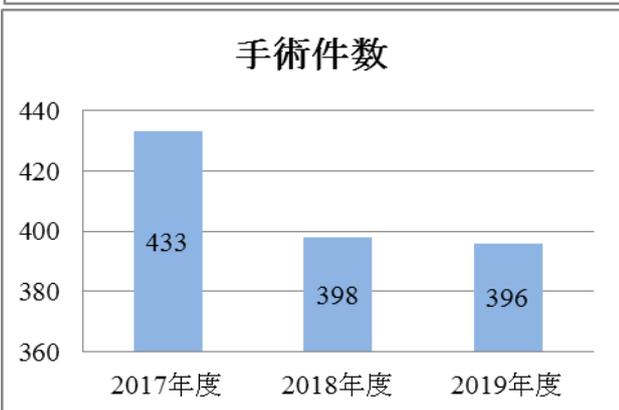
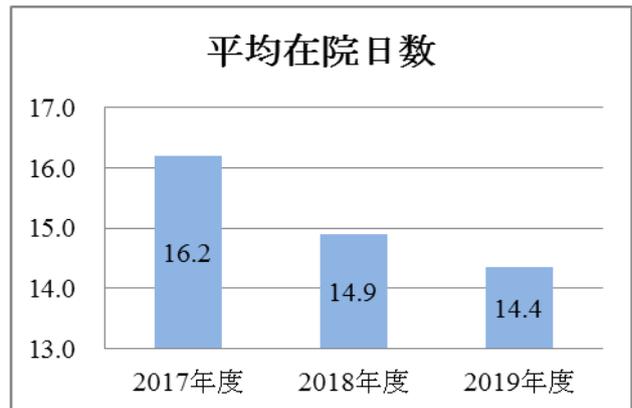
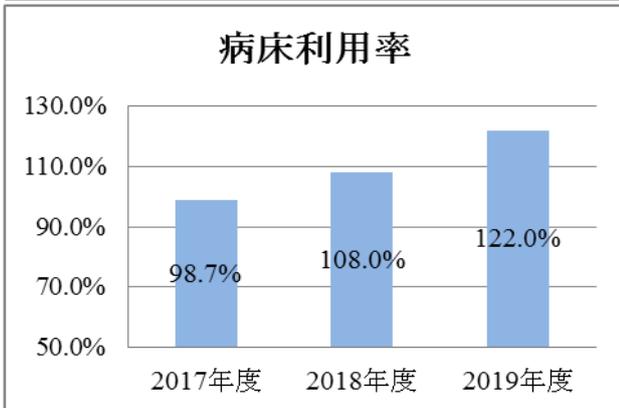
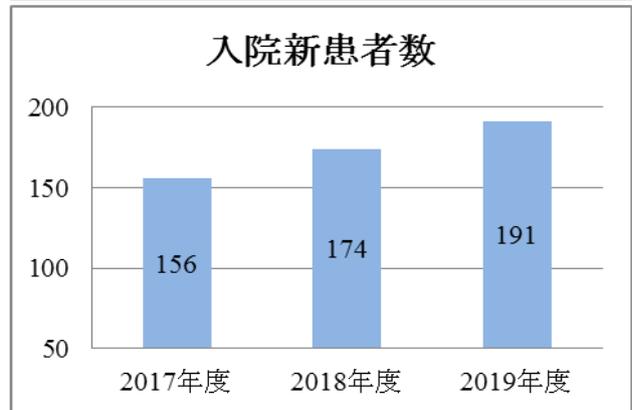
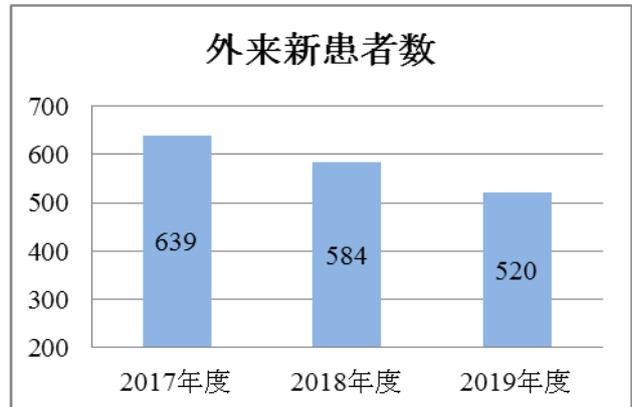
1. Uchida S, Tsuta K, Kusumoto M, Shiraishi K, Kohno T, Watanabe SI. Radiopathologic correlation of collision lung cancer with ground-glass opacity. Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2019;27:45-48.
2. Uchida S, Yoshida Y, Ohe Y, Nakayama Y, Motoi N, Kobayashi A, Asakura K, Nakagawa K, Watanabe SI. Trimodality therapy for superior sulcus tumor: experience of a single institution over 19 years. Eur J Cardiothorac Surg. 2019;56:167-173.
3. Uchida S, Watanabe SI, Yoshida Y, Kobayashi A, Asakura K, Nakagawa K. Aberrant mediastinal trunk of pulmonary artery: J Surg Case Rep. 2019;1:1-3.

### ② 学会発表

1. 平山俊希: 肺悪性腫瘍に対する両側肺切除の短期および長期成績 -両側肺葉切除の安全性と有用性について-. 第36回日本呼吸器外科学会, 大阪, 2019年5月16日
2. 平山俊希: 当院におけるロボット支援下肺葉切除 100例の周術期成績. 第36回日本呼吸器外科学会, 大阪, 2019年5月16日
3. 平山俊希: 当院におけるロボット支援下肺区域切除 31例の周術期成績. 第36回日本呼吸器外科学会, 大阪, 2019年5月17日
4. 平山俊希: 当院におけるロボット支援下縦隔腫瘍摘出術 53例の周術期成績. 第36回日本呼吸器外科学会, 大阪, 2019年5月17日
5. 平山俊希: 呼吸器外科領域におけるロボット支援下手術の新規導入. 第73回手術手技研究会, 東京, 2019年5月24-25日
6. 平山俊希: 呼吸器外科領域におけるロボット支援下手術の現状. BaCuLu Network2020~Homecoming~, 東京, 2020年2月22日
7. 平山俊希: シンポジウム, ロボット支援下肺葉切除の周術期成績 ~168例の経験から得たもの~. 第12回日本ロボット外科学会, 東京, 2020年2月22日
8. 平山俊希: ランチョンセミナー, -より効率的なロボット支援下肺癌手術を目指して-. 第12回日本ロボット外科学会, 東京, 2020年2月22日
9. 内田 真介: 肺および胸腺原発カルチノイド腫瘍の細胞増殖能と SSTR2A 発現動態. 第108回日本病理学会総会, 東京, 2019. 5. 9
10. 内田 真介: 80歳以上の高齢者肺癌に対する手術成績. 第36回日本呼吸器外科学会総会, 大阪, 2019. 5. 16
11. 内田 真介: インドシアニングリーン(ICG)蛍光法を用いた肺区域間同定法-手術手技の詳細と含気虚脱法との比較. 第36回日本呼吸器外科学会総会, 大阪, 2019. 5. 16
12. 小西泰人, Sauer's danger zone からの穿通性外傷であったが、心臓、肺への損傷が無かった1例 静岡呼吸器外科医会(平成31年度夏期例会)、沼津、2019.6.1
13. 小西泰人, 重症筋無力症合併胸腺腫に対してロボット支援下拡大胸腺全摘術を行った1例 静岡呼吸器外科医会(平成31年度冬期例会)、沼津、2020.1.11

## 2-15 形成外科

### 診療実績



## 研究・教育活動

学会発表（国際）      ポスター

1. Senda D, Shimoji K, Hiroshi M and Komuro Y  
**Surgical procedures of non-syndromic sagittal craniosynostosis by the type of cranial shape**  
18<sup>th</sup> Congress of International society of craniofacial surgery (Paris, France, 2019)
2. Senda D, Shimoji K, Hiroshi M and Komuro Y  
**Surgical procedures of non-syndromic sagittal craniosynostosis by the type of cranial shape**  
47<sup>th</sup> Annual meeting of International society of Pediatric Neurosurgery (Birmingham, UK, 2019)

学会発表 国内 シンポジウム

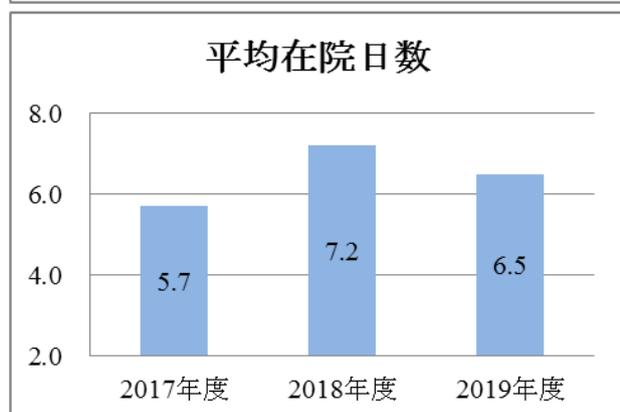
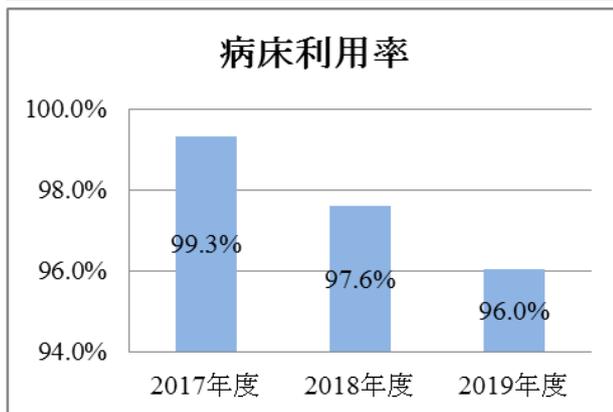
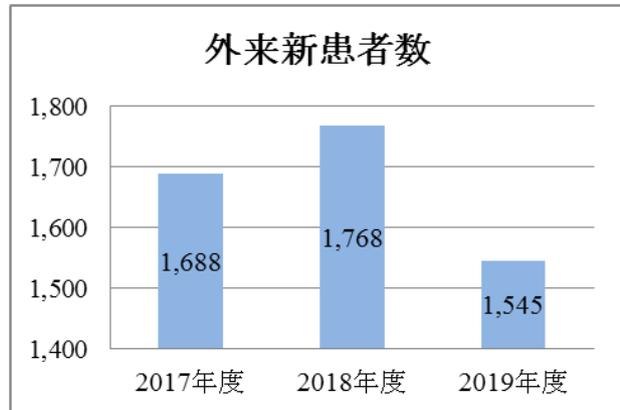
1. 千田大貴、下地一彰、小室裕造  
Posterior cranial vault distraction osteogenesis を軸とした頭蓋骨縫早期癒合症の治療先着  
第 37 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会（2019 年 東京）

学会発表（国内）

1. 市川佑一、千田大貴、新行内芳明、水野博司  
Vitom 3D 体外視鏡と 3D モニターを用いた新しいマイクロサージャリーの経験  
第 24 回日本形成外科手術手技学会（2019 年 横浜）
2. 千田大貴、阪本浩一朗、下地一彰、宮嶋雅一、新井 一、水野博司、小室裕造  
頭蓋骨縫合早期癒合症におけるPIEZOSURGERY使用の経験  
第62回日本形成外科学会総会・学術集会（2019年 札幌）
3. 千田大貴、阪本浩一朗、下地一彰、宮嶋雅一、新井 一、水野博司、小室裕造  
頭蓋骨縫合早期癒合症におけるPIEZOSURGERY使用の経験  
第47回日本小児脳神経外科学会学術集会（2019年 新潟）
4. 千田大貴、下地一彰、水野博司、小室裕造  
頭蓋骨縫合早期癒合症を伴う非常に稀なSensenbrenner syndromeの男児が術後腸管穿孔 に伴うseptic shockで死亡した1例  
第15回クラニオ研究会（2019年 東京）
5. 千田大貴、下地一彰、水野博司、小室裕造  
頭蓋骨縫合早期癒合症におけるPIEZOSURGERY使用の経験  
第15回クラニオ研究会（2019年 東京）

## 2-16 眼科

### 診療実績



## 研究・教育活動

### 原著（和文）

1. 小森 翼, 土至田 宏, 朝岡 聖子, 大谷 洋揮, 市川 浩平, 林 雄介, 松崎 有修, 太田 俊彦: 複数回の再発を繰り返した翼状片の 1 例. 臨床眼科 73(4): 477-482, 2019.04.
2. 市川 浩平, 大谷 洋揮, 朝岡 聖子, 林 雄介, 松崎 有修, 土至田 宏, 太田 俊彦: 順天堂大学医学部附属静岡病院における過去 10 年間の開放性眼外傷の検討. 臨床眼科 73(4): 515-521, 2019.04.
3. 反田 蓉子, 市川浩平, 朝岡聖子, 土至田宏, 蕪城俊克, 太田俊彦: 小児に発症したネコ引っ掻き病によるぶどう膜炎が疑われた 1 例. 臨床眼科 73(10): 1327-1333, 2019.10.

### 総説

1. 太田俊彦: 【眼内レンズ偏位・脱臼に対する手術-最新版】 IOL 偏位・脱臼に対する強膜内固定 T-fixation technique と L-ポケット切開法を併用した整復術. 臨床眼科 73(2): 171-180, 2019.02.
2. 太田俊彦: 【眼内レンズ偏位・落下の対処法】 眼内レンズ偏位・落下の現状と対処法. 日本の眼科 90(2): 116-124, 2019.02.
3. 松崎有修, 太田俊彦: 【眼内レンズ偏位・落下の対処法】 わかりやすい臨床講座 眼内レンズ偏位・落下の対処法 眼内レンズ強膜内固定術. 日本の眼科 90(2): 132-139, 2019.02.
4. 太田俊彦: 【後囊破損】後囊破損の新しい対処法 Mt.Fuji technique. IOL & RS 33(1): 15-22, 2019.03.
5. 土至田 宏: 【眼科スタッフのための眼鏡合わせマニュアル】(9 章)CL 合わせに必要な検査 CL 合わせのための屈折検査と視力検査. 眼科ケア 2019 秋季増刊 258-262, 2019.10.
6. 土至田 宏: 【眼科スタッフのための眼鏡合わせマニュアル】(9 章)CL 合わせに必要な検査 前眼部の観察. 眼科ケア 2019 秋季増刊 252-257, 2019.10.
7. 土至田 宏: 【眼精疲労とコンタクトレンズ】不同視・眼位異常などにおけるコンタクトレンズ処方. あたらしい眼科 36 (10) : 1275-1279, 2019.10.
8. 土至田 宏: コンタクトレンズ用語集(第 23 回) 医療機器のクラス分類. 日コレ会誌 60(2) 119-120, 2018.6 (発刊遅延).
9. 土至田 宏: CL 装用と感染症(第 45 回) コンタクトレンズ眼障害例における視力予後について. 日コレ会誌 60 (3) 156-15, 2018.9 (発刊遅延) .
10. 土至田 宏: CL バトルロイヤルサードステージ 53 角膜不正乱視に対する大型ハードコンタクトレンズの処方. 企画にあたって. 日コレ会誌 60 (3) 122, 2018.9 (発刊遅延) .
11. 太田俊彦: 【中途失明の可能性のある疾患 Q&A】水晶体脱臼・亜脱臼に対する治療を教えてください. あたらしい眼科 36 (臨増) : 167-172, 2019.11.
12. 市川浩平: 【眼内レンズセミナー】L-ポケット切開法と眼内レンズ摘出. あたらしい眼科 36(11): 1419-1420, 2019.11.
13. 松崎有修, 太田俊彦: CCC マーカー. IOL & RS 33(4): 608-612, 2019.11.

## 報告

1. 土至田宏: 研究用輸入角膜を用いた内皮移植用ドナー角膜作成の試み. 第 72 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2019 年 1 月 19 日.
2. 小野純治, 土至田宏, 太田俊彦: マイクロモノビジョン法と両眼正視狙いを用いた焦点深度拡張型多焦点眼内レンズの術後成績. 第 72 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2019 年 1 月 19 日.
3. 反田蓉子, 土至田宏, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 太田俊彦: 重症ドライアイに対する涙小管焼灼と涙点縫合による観血的涙点閉鎖術. 第 72 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2019 年 1 月 19 日.
4. 朝岡聖子: アーメド術後に低眼圧をきたした症例. 第 21 回『JON 研究会』講演会, 東京都, 2019 年 6 月 22 日.
5. 杉田丈夫: 当院で経験した小児緑内障の検討. 第 21 回『JON 研究会』講演会, 東京都, 2019 年 6 月 22 日.
6. 市川浩平, 朝岡聖子, 林雄介, 東千晶, 反田蓉子, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦: iMics1 (MP70) の術後早期成績. 第 73 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2019 年 8 月 24 日.
7. 朝岡聖子, 松田彰, 東千晶, 反田蓉子, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: 当院におけるアーメド緑内障インプラント挿入術の術後 1 年の成績. 第 73 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2019 年 8 月 24 日.
8. 反田蓉子, 東千晶, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦: 乳癌に対するパクリタキセル療法中に嚢胞様黄斑浮腫を認めた 1 例. 令和元年度静岡県東部眼科医会放談会, 沼津市, 2019 年 9 月 12 日.
9. 杉田丈夫, 東千晶, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦, 石川浩平: 当院で経験した脈絡膜母斑の 1 例. 令和元年度静岡県東部眼科医会放談会, 沼津市, 2019 年 9 月 12 日.
10. 反田蓉子, 東千晶, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦: 乳癌に対するパクリタキセル療法中に嚢胞様黄斑浮腫を認めた 1 例. 第 330 回 症例検討会, 順天堂大学, 2019 年 9 月 18 日.

## 著書

1. Toshihiko Ohta (2019) "Chapter 39 T-Fixation Intrasccleral Haptic Fixation Technique" In David F. Chang(ed), Advanced IOL Fixation Techniques: Strategies for Compromised or Missing Capsular Support, Thorofare, NJ: SLACK Incorporated, pp. 291-297, 2019.05.

## 学会発表 (国際)

1. Kohei Ichikawa, Yusuke Matsuzaki, Toshihiko Ohta: Postoperative Results of the Mt. Fuji Technique Used for Posterior Capsule Rupture. 米国白内障・屈折矯正手術学会 (ASCRS), サンディエゴ(米国), 2019 年 5 月 3 日~7 日. (一般講演)
2. Kohei Ichikawa, Yusuke Matsuzaki, Toshihiko Ohta: Postoperative Results of the Mt. Fuji Technique

Used for Posterior Capsule Rupture. 欧州白内障屈折矯正手術学会 (ESCRS), パリ, 2019年9月14日～18日.(一般講演)

3. Kohei Ichikawa: Postoperative Results of the Mt. Fuji Technique Used for Posterior Capsule Rupture. アジア太平洋白内障屈折矯正手術学会 (APACRS), 京都市, 2019年10月3日～5日.(一般講演)

#### 学会発表 (国内)

1. 朝岡聖子, 松田彰, 大谷洋揮, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: アーメド緑内障インプラント挿入術の短期成績. 第42回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019年2月1日～3日.(一般講演)
2. 土至田宏: 輸入角膜を用いた DMEK 用ドナー角膜作成の試み. 第42回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019年2月1日～3日.(一般講演)
3. 松崎有修, 反田蓉子, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 土至田宏, 太田俊彦: 眼内レンズ強膜内固定後に逆瞳孔ブロックを認めた1例. 第42回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019年2月1日～3日.(学術展示)
4. 大谷洋揮, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: 眼内レンズ強膜内固定術施行眼の長期術後成績. 第42回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019年2月1日～3日.(学術展示)
5. 反田蓉子, 土至田宏, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 太田俊彦: 重症ドライアイに対する涙小管焼灼と涙点縫合の併用による観血的涙点閉鎖術. 第42回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019年2月1日～3日.(学術展示)
6. 太田俊彦, 稲村幹夫, 鈴木久晴, 市川一夫, 柴琢也: CCC を極める!. 第42回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019年2月1日～3日.(インストラクションコース)
7. 太田俊彦: 新しい多目的分割ディバイダーの試作. 第42回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019年2月1日～3日.(一般講演)
8. 市川浩平, 反田蓉子, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: IOL 摘出時のL-ポケット切開法の中期術後成績. 第42回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019年2月1日～3日.(一般講演)
9. 林雄介, 土至田宏, 反田蓉子, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 市川浩平, 松崎有修, 太田俊彦: 線維柱帯切除術の濾過胞嚢孔に対し結膜被覆術が有効であった1例. 第42回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019年2月1日～3日.(学術展示)
10. 土至田宏: 翼状片切除術+Host 結膜反転縫合法併用有形弁移植の術後成績. 角膜カンファレンス2019, 京都市, 2月7日～9日(一般講演).
11. 東千晶, 鶴将司: 426 種々の部位に感染巣が認められた侵襲性肺炎球菌感染症の一例. 医学生研修医の日本内科学会ことはじめ2019名古屋, 名古屋市, 2019年4月27日.(学術展示)
12. 杉田丈夫, 横山利幸, 武居敦英, 宮川由紀子, 南千智, 尾上美樹, 篠原大佑: 当院で経験した小児緑内障の検討. 第75回日本弱視斜視学会総会・第44回日本小児眼科学会総会 合同学会, 浜松市, 2019年6月14日～15日.(学術展示)
13. 太田俊彦: 強膜内固定: 鑷子法, 「IOL 縫着術 VS 強膜内固定術」. 第34回 JSCRS 学術総会, 京都市, 2019年6月28日～6月30日.(シンポジウム講演)

14. 小野純治, 土至田宏, 太田俊彦: マイクロモノビジョン法を用いた焦点深度拡張型多焦点眼内レンズの術後成績. 第34回 JSCRS 学術総会, 京都市, 2019年6月28日～6月30日. (一般講演)
15. 土至田宏: 治療的・虹彩付きレンズ, 「コンタクトレンズの新たな可能性をさぐる」. 第62回日本コンタクトレンズ学会総会, 京都市, 2019年7月6日～7月7日. (シンポジウム講演)
16. 土至田宏: 火山灰によるヒト角膜への影響. 第62回日本コンタクトレンズ学会総会, 京都市, 2019年7月6日～7月7日. (一般講演)
17. 土至田宏, 太田俊彦: 帯状角膜変性症に対するキレート剤併用角膜切除後にみられた合併症の検討. 第39回日本眼薬理学会, 名古屋市, 2019年9月14日～15日.
18. 土至田宏, 松崎有修, 東千晶, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 太田俊彦: 過去3年間における入院を要した角膜潰瘍の検討. 第73回日本臨床眼科学会, 京都市, 2019年10月24日～27日. (一般講演)
19. 朝岡聖子, 松田彰, 東千晶, 反田蓉子, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: 当院におけるアーメド緑内障インプラント挿入術の術後1年の成績. 第73回日本臨床眼科学会, 京都市, 2019年10月24日～27日. (一般講演)
20. 市川浩平, 朝岡聖子, 林雄介, 東千晶, 反田蓉子, 杉田丈夫, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: iMics1(MP70)の術後早期成績. 第73回日本臨床眼科学会, 京都市, 2019年10月24日～27日. (一般講演)
21. 太田俊彦, 江口秀一郎, 小早川信一郎, 松島博之, 西村栄一: IOL 縫着術と強膜内固定術 A to Z. 第73回日本臨床眼科学会, 京都府, 2019年10月24日～27日. (インストラクションコース)
22. 大内雅之, 太田俊彦, 永田万由美, 飯田嘉彦: 前眼部術者のための、破囊合併症処理. 第73回日本臨床眼科学会, 京都府, 2019年10月24日～27日. (インストラクションコース)
23. 土至田宏: CL 世代別処方のコツ, 「人生100年時代を見据えた屈折矯正」. 第73回日本臨床眼科学会, 京都府, 2019年10月24日～27日. (シンポジウム講演)
24. 市川浩平: 白内障手術プレミアリーグ～OPL in Japan～ (チーム ROCKs). 第8回 JSCRS ウィンターセミナー, 東京都, 2019年11月30日～12月1日.

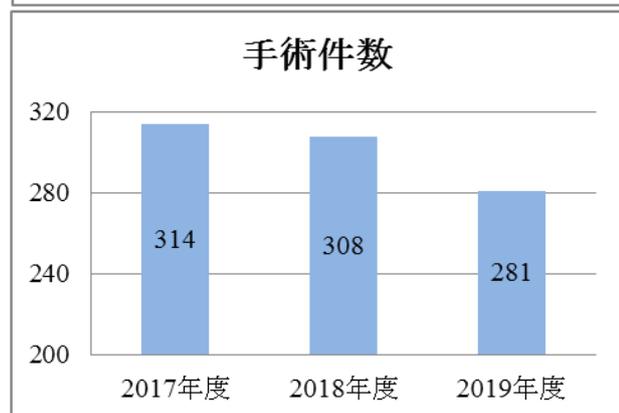
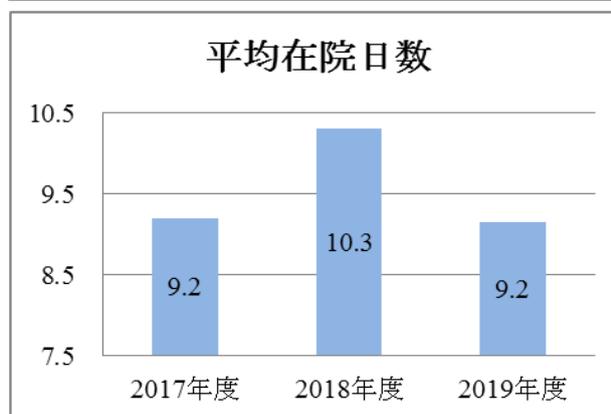
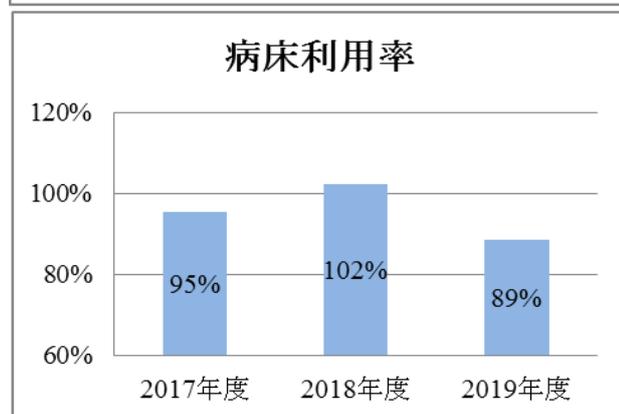
## その他

1. 土至田宏: コンタクトレンズに関する医療情報. 平成30年度 医療機器・販売業の管理者に対する継続的研修. 水戸市, 2019年1月25日.
2. 土至田宏: 「コンタクトレンズに関する医療情報」(発展講習). 平成30年度 医療機器・販売業の管理者に対する継続的研修. 静岡市, 2019年1月26日.
3. 土至田宏: 結膜断端部反転縫合法の応用と評価. 翼状片手術を極める(総会長企画). 第42回日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019年2月1日～3日.
4. 松崎有修: 視器の構造. 第41回眼科コメディカル静岡県講習会, 静岡市, 2019年2月10日.
5. 太田俊彦: 白内障手術のトラブルシューティング. KOWA Ophthalmic Seminar in Gifu 2019. 岐阜市, 2019年3月3日.
6. 太田俊彦: 白内障手術のトラブルシューティング. 眼科学術講演会～ROCK in NAGOYA～. 名古屋市, 2019年3月14日.
7. 太田俊彦: 白内障手術のトラブルシューティング. 第211回茨城県眼科医会学術講演会. 水戸市, 2019年3月17日.

8. 土至田宏: 原理と角膜への影響. オルソケラトロジー講習会. 第 123 回 日本眼科学会総会, 東京都, 2019 年 4 月 21 日.
9. 土至田宏: 障害者総合支援法と円錐角膜、SJS に対する希少疾患用医療機器・輪部支持型 HCL: 処方  
の留意点, 「CL 白熱教室 2019: 処方の基礎と応用」, コンタクトレンズ講習会. 第 62 回日本コンタクト  
レンズ学会総会, 京都市, 2019 年 7 月 6 日～7 月 7 日.
10. 土至田宏: 原理と角膜への影響. オルソケラトロジー講習会. 第 62 回日本コンタクトレンズ学会総会,  
京都市, 2019 年 7 月 6 日～7 月 7 日.
11. 土至田宏: 「コンタクトレンズの医療情報」. 医療機器販売業等の営業所管理者等に対する継続的研  
修, 神戸市, 2019 年 7 月 9 日.
12. 土至田宏: 「コンタクトレンズに関する医療情報」(発展講習). 2019 年度 医療機器・販売業の管理者  
に対する継続的研修. 静岡市, 2019 年 7 月 13 日.
13. 土至田宏: 原理と角膜への影響. 日本眼科学会オルソケラトロジー講習会. 第 72 回日本臨床眼科学  
会, 京都市, 2019 年 10 月 24 日～10 月 27 日.
14. 土至田宏: コンタクトレンズに関する医療情報. 平成 31 年度 医療機器・販売業の管理者に対する継  
続的研修. 千葉市, 2019 年 11 月 30 日.
15. 太田俊彦: 強膜内固定術. 第 2 回城東オフサルミックセミナー. 東京都, 2019 年 12 月 3 日.
16. 太田俊彦: 白内障手術のトラブルシューティング. 第 61 回湖西眼科臨床フォーラム. 相模原市, 2019  
年 12 月 12 日.
17. 土至田宏: 解剖・生理「眼科系」. 消防職員専科教育救急科に係る講師, 静岡市, 静岡県消防学校,  
2019 年 1 月 10 日.
18. 市川浩平: APACRS2018 印象記. IOL & RS 33(1): 200-202, 2019.03.
19. 松崎有修: コンサルテーションコーナー エキスパートに聞く. IOL & RS 33(2): 375-382, 2019.06.
20. 松崎有修: 第 7 回 JSCRS ウィンターセミナー印象記. IOL & RS 33(2): 393-394, 2019.06.
21. 太田俊彦: 最新の白内障手術で頼れるクリニック・病院, 週間文春 7 月 4 日号, 108-109, 2019.07.(監  
修)
22. 土至田宏: 目の充血 目が赤くなった! 危険? それとも?. 順天堂大学医学部附属静岡病院 第  
79 回 市民公開講座, 2019 年 7 月 18 日.
23. Ohta T: Skills Transfer Labs (LAB107); No Capsule, No Problem: Intrasccleral Haptic Fixation of IOLs.  
米国眼科学会議 (AAO), サンフランシスコ(米国), 2019 年 10 月 12 日～15 日(instructor).
24. Ohta T: Skills Transfer Labs (LAB106A); Pupilloplasty Techniques and Innovations in Iris Repair. 米国  
眼科学会議 (AAO), サンフランシスコ(米国), 2019 年 10 月 12 日～15 日(instructor).
25. 堀 裕一, 土至田 宏. ドライアイがうつリスク招く? 角膜と視機能を守るケア. 日経電子版. 日経ウェル  
エイジング. <https://style.nikkei.com/article/DGXMZO50995830V11C19A0000000?page=3> 2019.10.23.
26. 土至田 宏. 現代人の角膜が危ない? 対応のヒントを探る. 日経電子版. 日経ウェルエイジング.  
<https://style.nikkei.com/article/DGXZZO51787050V01C19A1000000/> 2019.11.16.
27. 土至田 宏. 肌だけじゃない! これからの季節 目の乾燥にも注意. テレビ朝日、羽鳥慎一モーニング  
ショー. 2019.11.7.
28. 土至田 宏. 令和時代の角膜危機. 角膜上皮障害の対処法とビタミン A. メディアセミナー. 2019.11.8.

## 2-17 耳鼻咽喉科

### 診療実績



## 研究・教育活動

### 英文原著

Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yanai A, Sonoda K, Saikawa Y, Wada R, Ikeda K .

Tracheal stenosis due to an abscess from thyroid tumor. J Oto Rhinol 2019,8 ; 2

Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yanai A, Hara S, Saito K, Wada R, Ikeda K .Neuroendocrine carcinoma arising in a wound after endoscopic sinus surgery for maxillary sinusitis. J Oto Rhinol 2019,8 ; 2

Ikeda K, Ito S, Hibiya R, Homma H, Ono N, Okada H, Kidokoro Y, Shiozawa A, Kusunoki T.

Postoperative management of eosinophilic chronic rhinosinusitis with polyps: Impact of high-dose corticosteroid nasal spray. In Arch Otorhinolaryngol 2019;23:101-103.

Hara S, Kusunoki T, Kidokoro Y, Homma H, Ikeda K. Efficacy of the additional effect of hyperbaric oxygen therapy in combination of systemic steroid and prostaglandin E1 for idiopathic sudden sensorineural hearing loss. America Journal of Otolaryngology-Head and Neck Medicine and Surgery. Am J Otolaryngol 2020,41 102363

### 和文原著

楠 威志: 耳垢型の決定遺伝子 *ABCC11* と中耳真珠腫の発症リスク 耳鼻臨床 112 : 478-479、2019.

城所淑信、楠 威志: 咽頭症状で初発した EB ウィルス関連血球貪食症候群の一例 額帯鏡 59 : 15-18、2019

楠 威志: 災害時医療機関機能停止時における、気道系疾患に対する「自宅でできる腹式呼吸を重点に置いた音声訓練法」の有用性. 平成 30 年度 静岡災害医学研究センター紀要 48-49、2019 .

城所淑信、楠 威志: 咽喉頭出血で初発した後天性血友病 A 例 耳鼻臨床 112 : 640-641、2019.

### その他

東海・関東医事新報社「今月のピックアップ耳鼻咽喉科」2019年10月20日

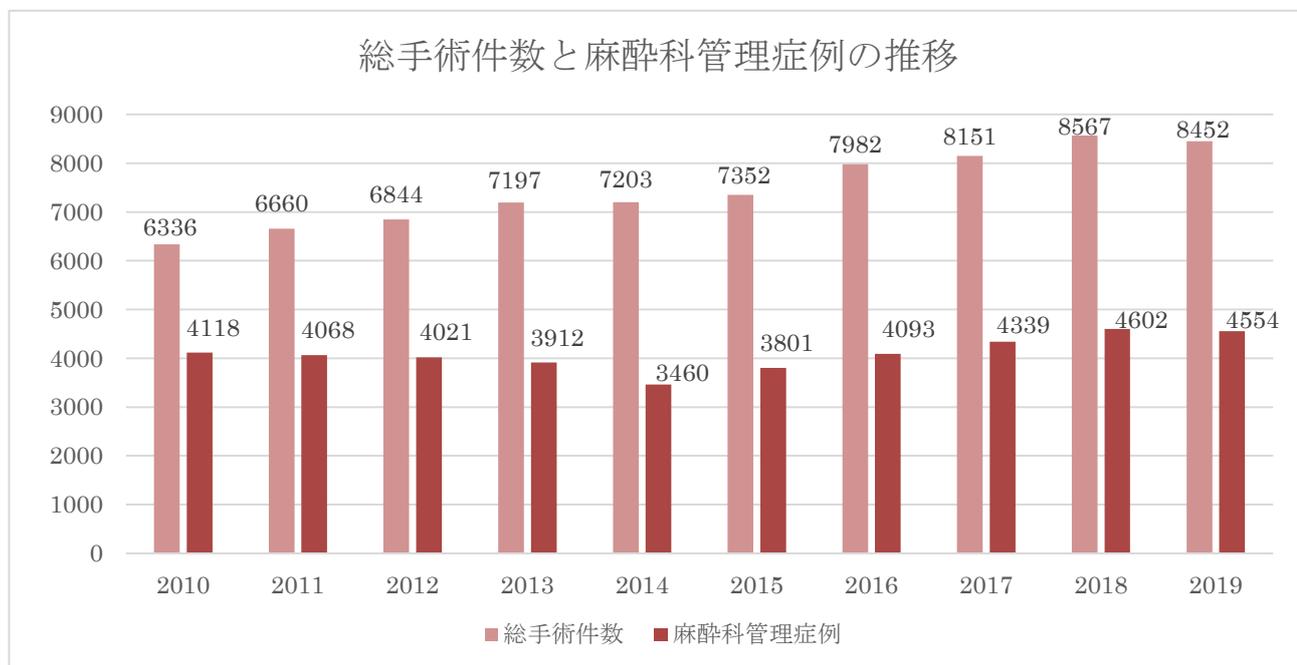
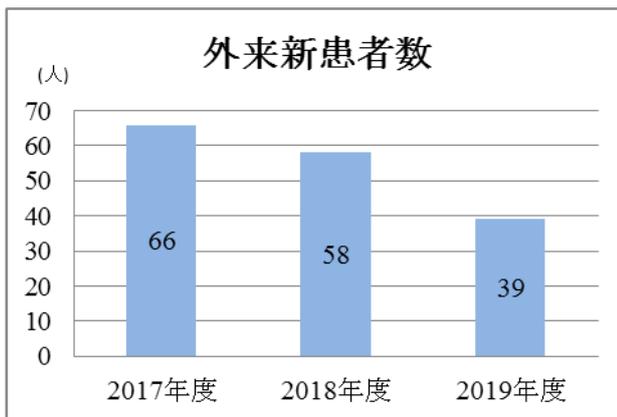
小学写真新聞社 小学保険ニュース「鼻呼吸と腹式呼吸の重要性」2020年3月8日

### 科研費

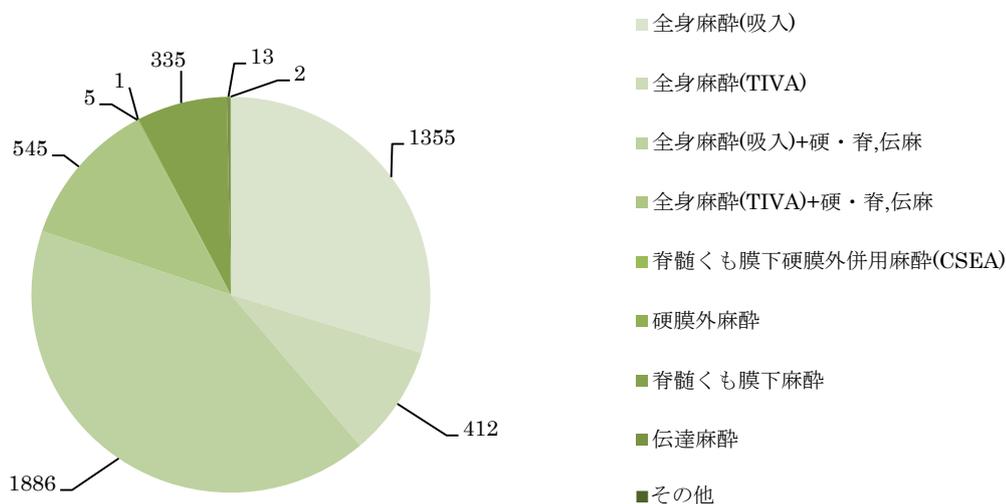
1. 楠 威志 2018年度科学研究費補助金 基盤研究C 新規採択
2. 城所淑信 2018年度科学研究費補助金 若手研究 新規採択
3. 本間博友 2019年度科学研究費補助金 基盤研究C 新規採択

## 2-18 麻酔科

### 診療実績



### 2019年麻酔法別手術件数(麻酔科管理症例)



## 教育研究活動

### 原著 (英文)

1. Sho Yamazaki. Takeshi Omae. Keito Kho. Sonoko Sakuraba. Yosuke Katsuda. and Masateru Kumemura. Fixation of intracapsular fracture of the femoral neck using combined peripheral nerve blocks and transthoracic echocardiography in a patient with severe obstructive hypertrophic cardiomyopathy: a case report. JA Clinical Reports, 2019;5:64
2. Takeshi Omae. Keito Koh. Masateru Kumemura. Sonoko Sakuraba. Yosuke Katsuda. Perioperative management of patients with atrial fibrillation receiving anticoagulant therapy, Journal of Anesthesia, 2019;33:551-561
3. Ichiro Kondo. Masateru Kumemura. Tomoki Yamaguchi. Kentaro Yamakawa. Yuichiro Nonaka. Masatoshi Iijima. Shoichi Uezono. Accuracy of a Novel Oxygen Mask Designed for Mainstream Capnometer in Non-intubated Pediatric Patients. Journal of Anesthesia & Clinical Research, 2019;10:2 DOI:10.4172/2155-6148.1000877

### 学会発表 (国内)

1. 洪景都 久米村正輝 櫻庭園子 藤野隆史 頸椎手術の術後鎮痛における ESPB の有効性の検討  
日本区域麻酔学会第 6 回学術集会 高知市 2019 年 4 月 20 日
2. 藤野隆史 久米村正輝 櫻庭園子 洪景都 尾前毅 Pericapsular Nerve Group(PENG)block の効果範囲についての検討 日本区域麻酔学会第 6 回学術集会 高知市 2019 年 4 月 18 日
3. 岡崎敦 洪景都 真弓雅子 ペインクリニック外来に受診する患者のしびれが生活に影響しているかの調査  
日本ペインクリニック学会第 53 回大会 熊本 2019 年 7 月 19 日
4. 伊東由圭 洪景都 勝田陽介 久米村正輝 筋強直性ジストロフィー合併患者に多裂筋膜面ブロックを併用し安全に麻酔管理できた 1 例 日本麻酔科学会東海・北陸支部第 17 回学術集会 名古屋 2019 年 9 月 7 日
5. 平井歌織 福田征孝 佐藤大三 洪景都 ロボット支援膀胱全摘術後にコンパートメント症候群を起こした一症例 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会 東京 2019 年 9 月 7 日
6. 伊東由圭 勝田陽介 櫻庭園子 久米村正輝 洪景都 岡崎敦 尾前毅 心臓カテーテル治療による合併症に対する全身麻酔時に経食道心エコーが有用であった一例  
日本臨床麻酔学会第 39 回大会 軽井沢町 2019 年 11 月 8 日
7. 太田正孝 久米村正輝 櫻庭園子 洪景都 勝田陽介 岡崎敦 尾前毅 抜管後に残存筋置換薬の影響により再挿管が必要になった症例の検討 日本臨床麻酔学会第 39 回大会 軽井沢町 2019 年 11 月 8 日
8. 平井歌織 櫻庭園子 久米村正輝 洪景都 尾前毅 気切孔からの換気が困難となった原因が食道拡張によるものと考えられた一例 日本臨床麻酔学会第 39 回大会 軽井沢町 2019 年 11 月 9 日

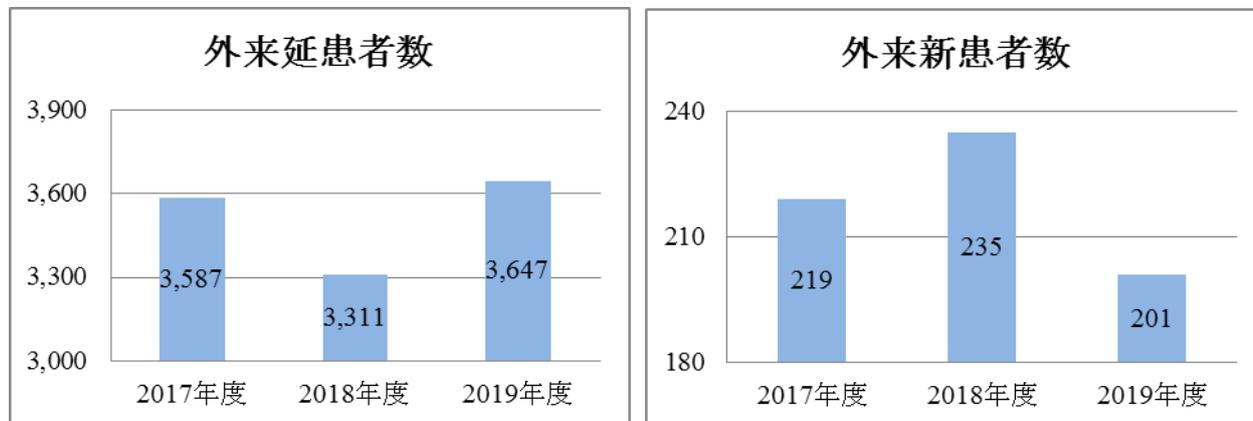
### その他

1. 岡崎敦 ACLS プロバイダーコース (ファシリテーター)  
日本 ACLS 協会静岡東部トレーニングサイト 伊豆の国市 2019 年 6 月 15、16 日
2. 岡崎敦 新しい局面に入った神経障害性疼痛治療  
三島市薬剤師会研修会 駿東郡清水町 2019 年 6 月 25 日
3. 岡崎敦 がん性疼痛も慢性疼痛  
日本麻酔科学会 東海・北陸支部第 17 回学術集会 共催セミナー 名古屋、2019 年 9 月 7 日
4. 岡崎敦 BLS ヘルスケアプロバイダーコース (ファシリテーター)  
日本 ACLS 協会静岡東部トレーニングサイト 伊豆の国市、2019 年 9 月 7 日

5. 尾前毅 シンポジウム5 (症例報告: 症例をどう選ぶ? どう管理する?) 症例報告を書こう  
日本心臓血管麻酔学会 第24回学術大会 京都 2019年9月21日
6. 尾前毅 専門医コースレクチャー 麻酔科文献レビュー: 新しい抗凝固薬に対する周術期の対処  
日本心臓血管麻酔学会 第24回学術大会 京都 2019年9月22日
7. 尾前毅 ランチョンセミナー12 Point of care モニターを核とした心臓血管手術時の血液凝固戦略  
日本心臓血管麻酔学会第24回学術大会 京都 2019年9月22日
8. 尾前毅 輸血と輸液と循環管理 宮城バイタルサインセミナー 仙台市 2019年10月26日
9. 岡崎敦 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会における講義 (ファシリテーター)  
順天堂大学静岡病院緩和ケア研修会 伊豆の国市 2019年10月27日
10. 久米村正輝 (インストラクター) ハンズオンセミナー1 小児の神経ブロック  
日本小児麻酔学会第25回大会 米子市 2019年11月16日
11. 久米村正輝 (インストラクター) ハンズオンセミナー2 小児のABCD-sonography  
日本小児麻酔学会第25回大会 米子市 2019年11月17日
12. 岡崎敦 ACLS プロバイダーコース (ファシリテーター)  
日本 ACLS 協会静岡東部トレーニングサイト 伊豆の国市 2019年11月16、17日
13. 尾前毅 輸液・血行動態管理 輸液管理・血行動態について  
生体情報モニターの有効活用~ (セミナー) 岡山市 2019年12月4日
14. 岡崎敦 ACLS プロバイダーコース (ファシリテーター)  
日本 ACLS 協会静岡東部トレーニングサイト 伊豆の国市 2019年12月7、8日

## 2-19 放射線科

### 業務実績



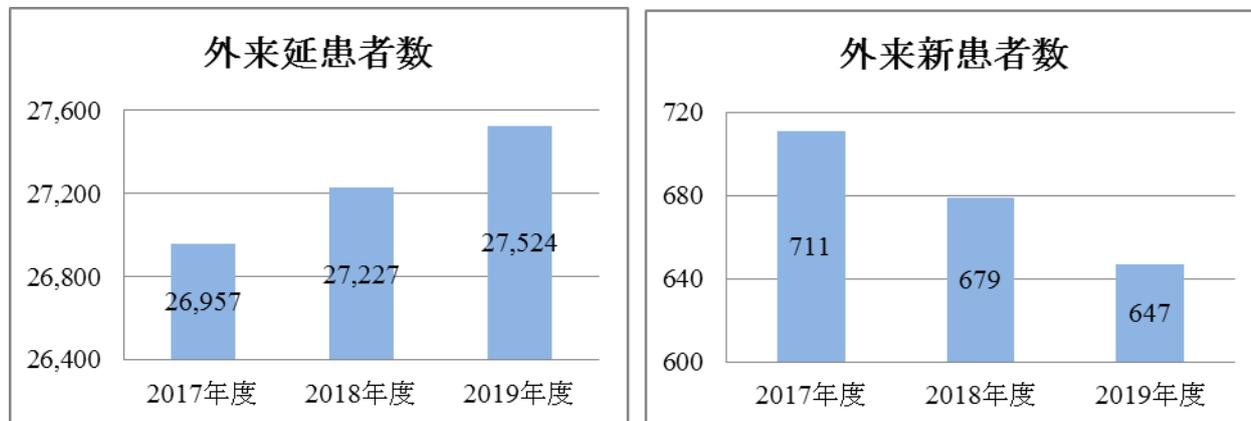
### 研究活動

2015年 日本医学放射線学会秋季臨床大会 silver medal 受賞 : 松波 環

2017年 JJR (日本医学放射線学会雑誌) 論文掲載 : 松波 環

## 2-20 メンタルクリニック

### 診療実績



### 診療活動

患者数は県内トップクラスの外来患者数を維持しています。新患者でも県内1を維持しています。病棟からのコンサルテーション数も多く、せん妄や抑うつなどを身体科と連携して治療しています。自殺企図患者などを救急科による身体的治療と並行して、必要に応じて地域の精神科病院に転院させるネットワークも構築され、順調に機能しています。他院で受け入れ困難な精神疾患患者の身体疾患も、各科と連携して受け入れています。

児童思春期の患者も引き続き多数来院しており、他院では対応できないケースを受け入れることも多くなっています。児童に限らず、近年は非薬物療法のニーズが高いことに応え、臨床心理士と連携して、ペアレントトレーニング・ソーシャルスキルトレーニング・認知行動療法・遊戯療法などの非薬物療法を充実させてきました。成人の発達障害患者も増加傾向にあります。児童の学習障害の治療プログラムも開始しました。

研究では、桐野は functional MRI と脳波の同時測定による functional connectivity の研究を継続しています。児童思春期のメンタルヘルスなどのテーマで講演依頼も多く、地域医療に貢献しています。

### 研究活動

#### 英文原著

1. **Kirino E**, Tanaka S, Fukuta M, Inami R, Inoue R, Aoki S: Functional connectivity of the caudate in schizophrenia evaluated with simultaneous resting-state fMRI and Electroencephalography Recordings. *Neuropsychobiology*. 77 (4): 165-175. 2019 doi: 10.1159/000490429. Epub 2018 Jul 26. PMID :30048962
2. Inami R, **Kirino E (corresponding author)**: Nicotine Effect on Mismatch Negativity in Smoking and Non-smoking Patients with Schizophrenia. *Schizophrenia Research* 208:496-497, 2019 PMID:30630703 DOI:10.1016/j.schres.2019.01.002
3. Tanaka S, **Kirino E**: Increased functional connectivity of the angular gyrus during imagined music performance. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2019 Mar 18;13:92. doi: 10.3389/fnhum.2019.00092. eCollection 2019
4. **Kirino E**, Hayakawa Y, Inami R, Inoue R, Aoki S: Simultaneous fMRI-EEG-DTI Recording of MMN in patients with schizophrenia. *PLoS ONE*: 14(5): e0215023. doi: 10.1371/journal.pone.0215023. eCollection 2019

- Hattori A, Kamagata K, **Kirino E**, Andica C, Tanaka S, Hagiwara A, Fujita S, Maekawa T, Irie R, Kumamaru KK, Suzuki, M, Wada A, Hori M, Aoki S: White Matter Alterations in Adult with Autism Spectrum Disorder Evaluated using Diffusion Kurtosis Imaging. *Neuroradiology*. 2019 Dec;61(12):1343-1353. doi: 10.1007/s00234-019-02238-5. Epub 2019 Jun 18. PMID: 31209529
- Kirino E**: Difficulty differentiating a case of posterior cortical atrophy from a psychogenic disturbance of vision. *Psychogeriatrics*. 2019 Apr 17. doi: 10.1111/psyg.12455.
- Usui C, **Kirino E**, Tanaka S, Inami R, Nakajima T, Nishioka K, Inoue R: Music intervention reduces the persistent fibromyalgia pain and alters functional connectivity between the insula and default mode network. *Pain Medicine*, pnaa071, <https://doi.org/10.1093/pm/pnaa071>
- Sudo MM, Mochizuki AA, **Kirino E**, Itoh K: Effects of coordination exercises on social functioning: Evidence from fMRI and social-ability measures. *Juntendo Medical Journal* doi: 10.14789/jmj.2020.66.JMJ19-OA21

#### 和文総説

- 桐野衛二**: 統合失調症とDefault Mode Network.(特集 Default Mode Network—脳を操る陰の主役—Default Mode Networkと疾患・診断・治療) *Clinical Neuroscience* 37巻2号: 210-211, 2019

#### 和文報告

- 桐野衛二**: 統合失調症におけるデフォルトモードネットワーク異常. 平成30年度順天堂精神医学研究所紀要: 1-,4 2019
- Inami R, **Kirino E**: Nicotine Effect on Mismatch Negativity in Smoking and Non-smoking Patients with Schizophrenia. *Schizophrenia Research*. 平成30年度順天堂精神医学研究所紀要: 5-9, 2019
- 桐野衛二**, 田中 昌司, 永井 康仁, 服部 亜紀, 鎌形 康司, 臼井 千恵, 稲見 理絵, 井上 令一, 青木 茂樹: 精神疾患の神経生理学 成人自閉症スペクトラム障害患者におけるfunctional connectivityのrs-fMRIおよびDKI を用いた検討. *臨床神経生理学* 47 (5):346, 2019
- 桐野衛二**, 田中 昌司, 永井 康仁, 臼井 千恵, 稲見 理絵, 井上 令一: 精神医学と神経生理学的ニューロイメージング統合失調症の脳内ネットワーク異常のrs-fMRI・脳波同時計測を用いた検討. *臨床神経生理学* 47 (5):372, 2019
- 寒竹 正人, 有井 直人, 大川 夏紀, 馬場 洋介, 宮林 和紀, **桐野衛二**: 児精神疾患のエピジェネティックな観点からみた考察 *日本小児科学会雑誌* 123(11) 1711 - 1711 2019

#### 和文学会発表 (招待講演)

- 桐野衛二**: 成人自閉症スペクトラム障害患者における functional connectivity の rs-fMRI および DKI を用いた検討. 第49回日本臨床神経生理学会学術集会 シンポジウム1 精神疾患の神経生理学 2019年11月28~30日(発表28日)
- 桐野衛二**: 統合失調症の脳内ネットワーク異常の rs-fMRI・脳波同時計測を用いた検討. 第49回日本臨床神経生理学会学術集会 シンポジウム14 精神医学と神経生理学的ニューロイメージング 2019年11月28~30日(発表29日)

#### 和文学会発表

- 寒竹正人, 有井直人, 大川夏紀, 馬場洋介, 宮林和紀, **桐野衛二**: 小児精神疾患のエピジェネティックな観点からみた考察. 第149回日本小児科学会静岡地方会 静岡市 2019年6月2日
- 大沼徹, 馬場元, **桐野衛二**, 八田耕太郎, 鈴木利人, 新井平伊: 順天堂大学における精神疾患の包括的研究組織 第115回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019年6月20-22日
- 桐野衛二**, 田中昌司, 福田麻由子, 稲見理絵, 新井平伊, 井上令一: 統合失調症の皮質線条体ネットワークのrs-fMRI・脳波同時計測を用いた検討 第二報. 第22回日本薬物脳波学会学術集会, 東京 2019年7月19-20日(発表19日)

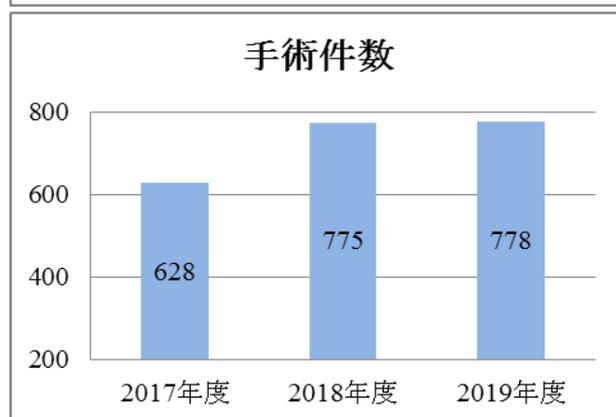
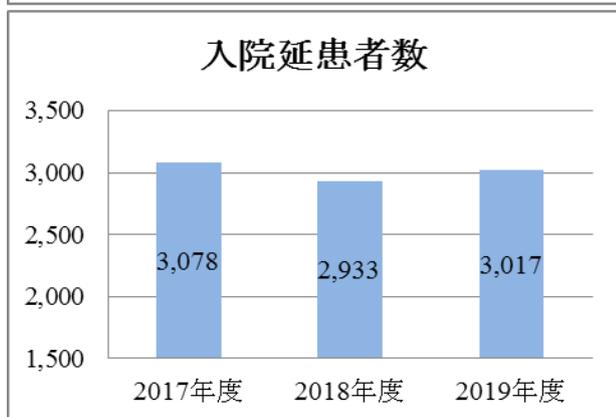
4. 白井千恵, 稲見理絵, 田中昌司, 桐野衛二, 井上令一: 安静時fMRIを用いた線維筋痛症患者に対する音楽効果の検討 第22回日本薬物脳波学会学術集会, 東京 2019年7月19-20日(発表19日)

#### 主な競争的資金の獲得状況

1. 平成 31-令和 5 年度 基盤研究(C) (研究代表者 桐野衛二) 課題番号 19K08026 fMRI 脳波 拡散 MRI 同時計測による統合失調症 connectivity の検討 Simultaneous fMRI-EEG-DTI Recording of Functional Connectivity in Patients with Schizophrenia. ¥4,290,000 (直接経費¥3,300,000)
2. 2019年度笹川スポーツ研究助成 (研究代表者 須藤 路子 分担研究者 桐野衛二 他) ¥751,000

## 2-21 皮膚・アレルギー科

### 診療実績



## 研究活動

### 原著（英文）

1. Maeda Y, Hasegawa T, Komiyama E, Hirasawa Y, Tsuchihashi H, Ogawa T, Kim J, Ando S, Nagasaka A, Miura N, Ikeda S: Analysis of vein variety in patients with various diseases using finger vein authentication technology. J Biophotonics e201800354, 2019

### 原著（和文）

1. 住吉 泰子, 野口 篤, 長谷川 敏男, 池田 志孝: 炎症性線状疣贅状表皮母斑の 1 例. 皮膚科の臨床 62:350-354, 2020
2. 高橋 美帆, 平澤 祐輔, 長谷川 敏男, 池田 志孝, 末原 義之: 【これだけは知っておきたい間葉系腫瘍】両上肢に多発した多中心性脂肪肉腫. 皮膚病診療 42:430-433, 2020
3. 吉村 智子, 長谷川 敏男, 清水 智子, 野口 篤, 吉池 高志, 三浦 圭子, 池田 志孝: 左前腕に生じた有茎性巨大汗孔腫のまとめ. 臨床皮膚科 74(10), 2020

### 著書

1. 長谷川敏男: 疥癬, ケジラミ症. 今日の治療指針 2019 年版-私はこう治療している 福井次矢, 高木 誠, 小室一成編, 医学書院, 東京, 2019, 1282-1283 項

### 学会発表（国際）

1. Yamanashi H, Boeglin WE, Morisseau CM, Davis RW, Sulikowski GA, Hammock BD, Brash AR, Hasegawa T, Ikeda S: Hypothesis of a role for EH3 and she in skin barrier function. Japan-Singapore International Skin Conference 2019, 2019, Singapore
2. Hasegawa T: The potential of adipose-derived stem cells (ADSCs) for skin regenerative medicine. The 11<sup>th</sup> Juntendo University in collaboration with 18<sup>th</sup> annual conference at Mae Fah Luang University, 2019, Bangkok

### 学会発表（国内）

1. 長谷川敏男: 近赤外光を用いた指静脈の解析. 第 31 回日本レーザー治療学会 シンポジウム「光治療の未来への展望」2019, 東京
2. Yamanashi H, Boeglin WE, Morisseau C, Davis RW, Sulikowski GA, Hammock BD, Brash AR, Hasegawa T, Ikeda S: Hypothesis of a role for EH3 and she in skin barrier function. 第 118 回日本皮膚科学会総会, 2019, 名古屋
3. 金宗訓, 長谷川敏男, 前田佑一郎, 平澤祐輔, 土橋人土, 小川尊資, 込山悦子, 長坂晃朗, 三浦直人, 池田志孝: 各種疾患の静脈変化評価における指静脈認証技術の応用可能性 第 2 段. 第 118 回日本皮膚科学会総会, 2019, 名古屋
4. 影嶋優香子, 木蜜徹, 住吉泰子, 野口篤, 長谷川敏男: 帝王切開手術創に壊疽性膿皮症を生じた 1 例. 第 118 回日本皮膚科学会総会, 2019, 名古屋
5. 住吉泰子, 野口篤, 長谷川敏男: エリスリトールによりアナフィラキシーを呈した 1 例. 第 124 回日本皮膚科学会静岡地方会, 2019, 静岡

6. 松田晃徳, 野口篤, 野々垣香織, 温井勇希, 高橋美帆, 長谷川敏男: 右手背に生じた *Mycobacterium marinum* 感染症の 1 例. 第 125 回日本皮膚科学会静岡地方会, 2019, 三島
7. 温井勇希, 野口篤, 松田晃徳, 野々垣香織, 長谷川敏男: 著明な液状変性と付属器細胞浸潤を認めた Blaschkitis の 1 例. 第 125 回日本皮膚科学会静岡地方会, 2019, 三島
8. Kim J, Hasegawa T, Wada A, Maeda Y, Ikeda S: Effects of adipose-derived stem cells differentiated into keratinocyte-like cells on wound healing. The 44<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 2019, Aomori
9. 吉村智子, 平澤祐輔, 長谷川敏男, 池田志孝: 右外陰部に生じた顆粒細胞腫の 1 例. 第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会, 2019, 東京

#### その他

1. 長谷川敏男: 脂肪組織由来幹細胞による難治性皮膚疾患の治療法開発. 2019 年 5 月 11 日 第 23 回 東信地区皮膚科形成外科懇話会, 佐久, 長野
2. 長谷川敏男: 一般医のための皮膚診療-湿疹・皮膚炎群を中心に-. 2019 年 7 月 16 日 西東京市医師会学術講演会, 西東京市, 東京
3. 長谷川敏男: 美しく健康な肌のために～皮膚科医にできること～. 2019 年 10 月 27 日 千葉県皮膚科医会「皮膚の日講演会」千葉県医師会医学会第 20 回学術集会分科会, 千葉

## 2-22 泌尿器科

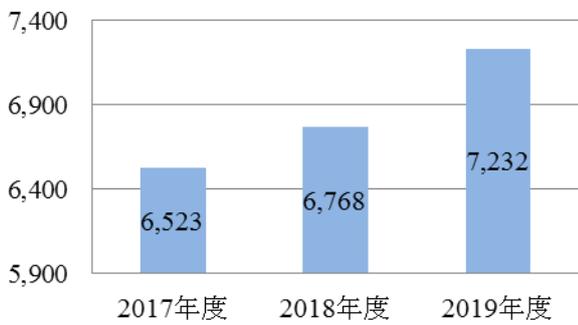
### 外来延患者数



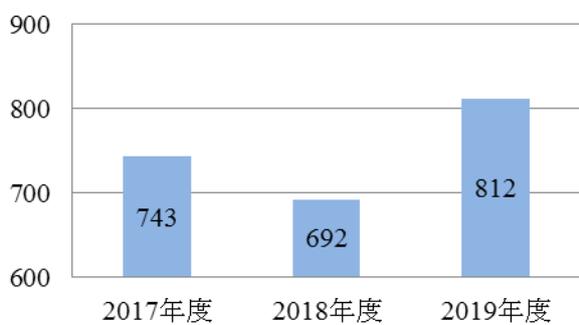
### 外来新患者数



### 入院延患者数



### 入院新患者数



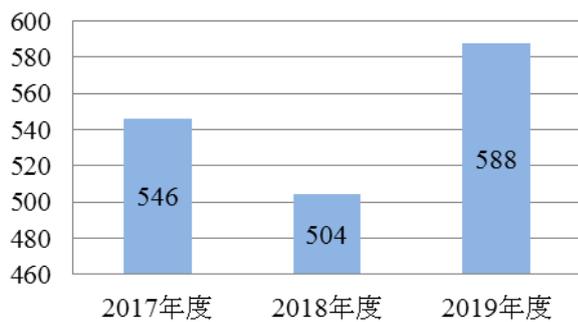
### 病床利用率



### 平均在院日数



### 手術件数



## 診療活動

外来患者数、入院患者数、手術件数が増加した。また緊急処置を要する症例が多く他病院から紹介されてきた。膿腎症に対する、ステント留置は、国内でも極めて多い施設である。

本年度から前立腺全摘にロボット手術を導入した。膀胱頸部温存および膀胱—尿道吻合での連続吻合がより確実になった。術後の排尿状態も良好で、入院期間も短縮した。

腹腔鏡下に副腎腫瘍、腎癌および腎盂尿管癌、前立腺癌の手術を行っている。褐色細胞腫など難易度の高い手術も行った。腹腔鏡下腎摘出は後腹膜アプローチが多かった。技術が安定し、合併症が少なかった

大きな腎癌に対して開腹で根治的腎摘除術を行っている。下大静脈浸潤のある腎癌には心臓血管外科と手術を行った。4センチ以下の小径腎癌では開腹による腎部分切除を積極的に行っている。

前立腺肥大症の手術に HoLEP 手術を導入し、48 症例行った。出血量、手術時間、術後のカテーテル抜去時間に著明な改善が見られた。また、術後の排尿状態は極めて良好で、失禁もほとんどなかった。

経尿道的尿管結石破砕術においては、細径の尿管鏡によるホルミウムヤグレーザーを用いて破砕している。硬性鏡だけでなく軟性尿管鏡も用いて腎結石の治療を行っている。手術時間の短縮および破砕率が向上した。破砕した結石も、器具で体外に取り出すようにしている。

## 診療実績

### (1) 腹腔鏡下手術

腹腔鏡下副腎摘除術 11 例

腹腔鏡下腎摘除術 6 例

腹腔鏡下尿管全摘除術 9 例

ロボット補助下腹腔鏡下前立腺全摘除 20 例

### (2) 開腹手術

根治的腎摘除術 6 例（下大静脈腫瘍塞栓1）

腎部分切除術 4 例

尿管全摘除術 1 例

膀胱全摘除術 9 例

前立腺全摘除術 5 例

高位精巣摘除 6 例

陰嚢水腫根治術 3 例

### (3) 内視鏡手術

TUR-Bt 105 例

TUR-P 0 例

PVP 2 例

HoLEP 48 例  
ESWL 21 例  
TUL 71 例  
PNL 0 例  
尿管ステント留置 533 例  
腎瘻造設 38 例

## 次年度目標

前立腺のロボット手術の件数を増加させる。膀胱全摘、腎部分切除にロボット手術を導入する。  
尿管結石のレーザー手術を増加させる。女性泌尿器科の手術を開始する。  
腹腔鏡手術の若手術者を指導する。

## 研究・教育活動

保健看護学部 授業

藤田和彦 泌尿器総論

藤田和彦 泌尿器非腫瘍性疾患

藤田和彦 泌尿器腫瘍性疾患

医学部 M4 授業

藤田和彦 尿路感染症、泌尿器救急、外傷

斎藤恵介 排尿障害・尿失禁・前立腺肥大症

2019 年 業績

原著

尿路感染症に伴う閉塞性腎盂腎炎における重症度予測スコア

今泉健太郎、藤田和彦、石川圭祐、野口尊弘、中島晶子、斎藤恵介、清水史孝、堀江重郎、日本泌尿器科学会雑誌。110. (2) 100-105、2019

遊走腎（腎下垂）

藤田和彦

今日の治療指針 2020

医学書院、東京

核病院へ長距離通院が必要な伊豆半島南部で PSA 検診導入と前立腺がん地域医療連携の構築をめざす。

藤田和彦、中島晶子、池田正見、吉田正

地域包括新時代 11. 10-13, 2019

学会発表

気腫性腎盂腎炎の治療方針

藤田和彦、白川智也、脇田春彦、増田奈々子、野口尊弘、中島晶子、  
斎藤恵介、堀江重郎

第 84 回日本泌尿器科学会東部総会。ダイベートセッション 2、2019 年 10 月 4 日、お台場

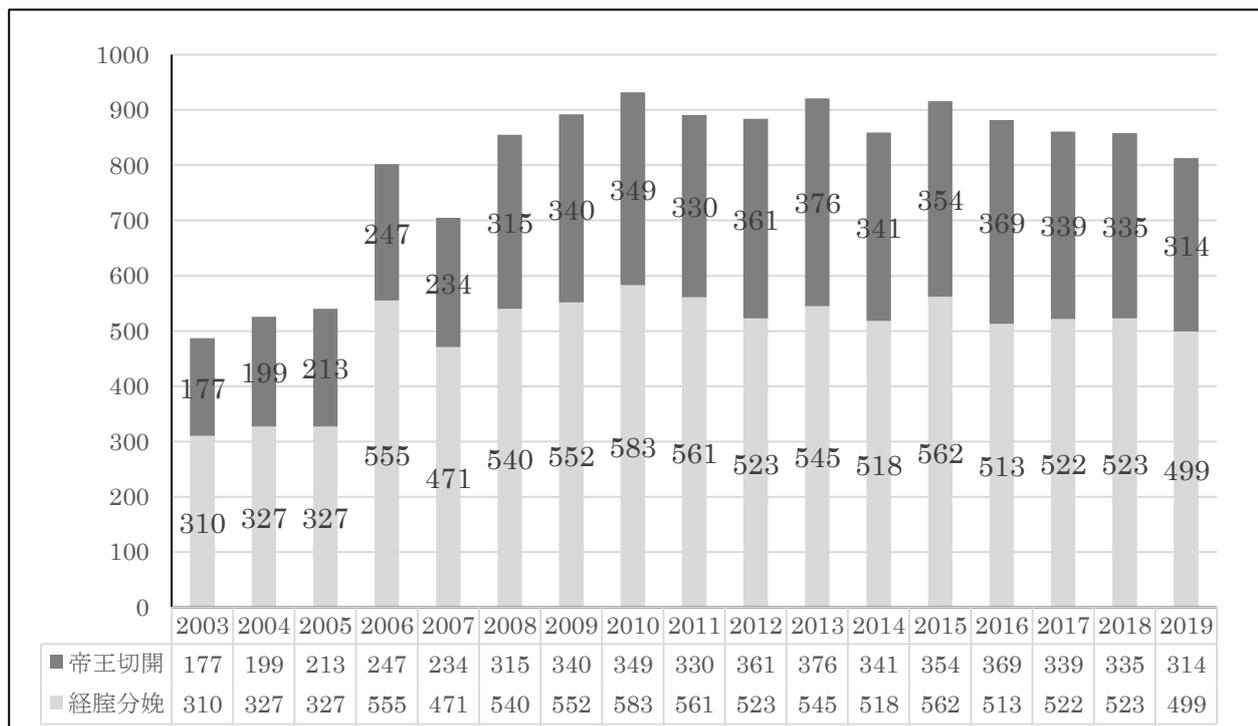
## 2-23 産婦人科・総合周産期母子医療センター

### 診療実績

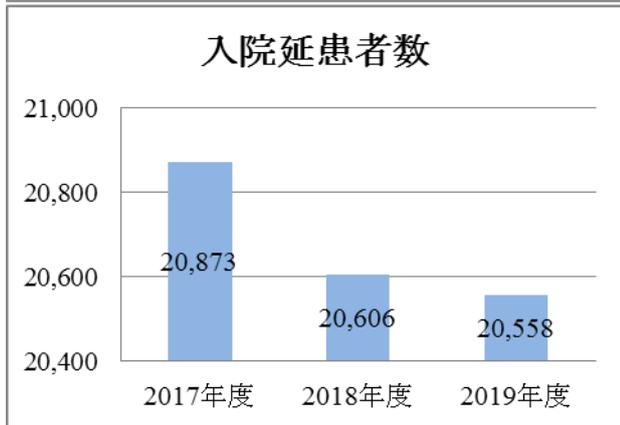
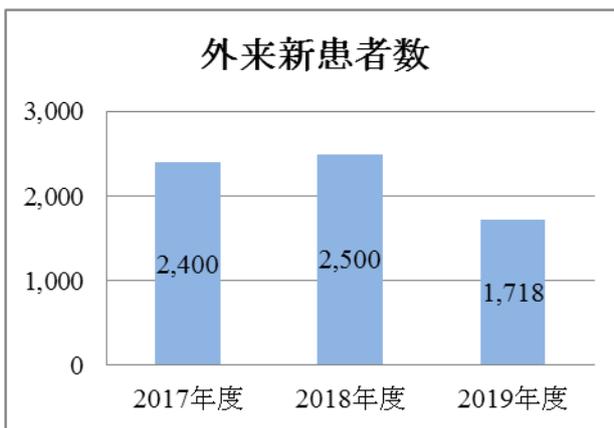
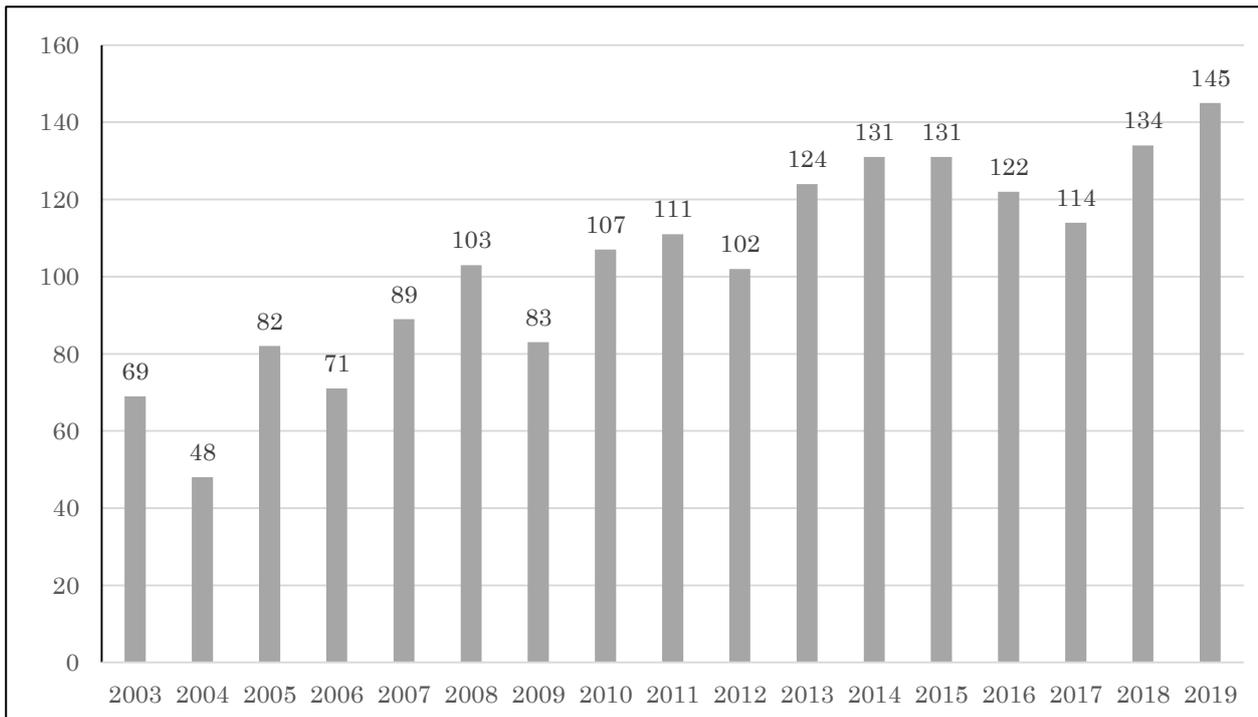
#### 【手術件数】

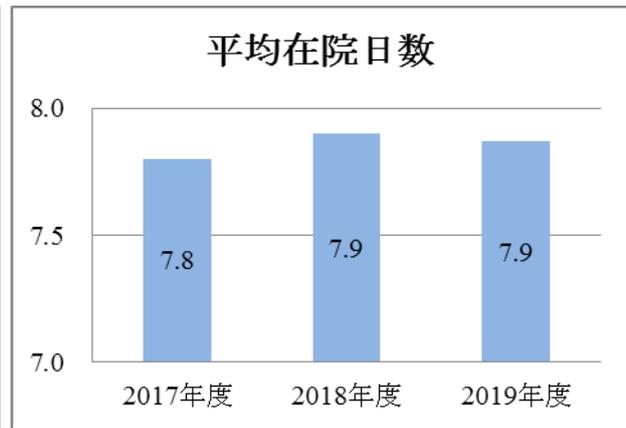
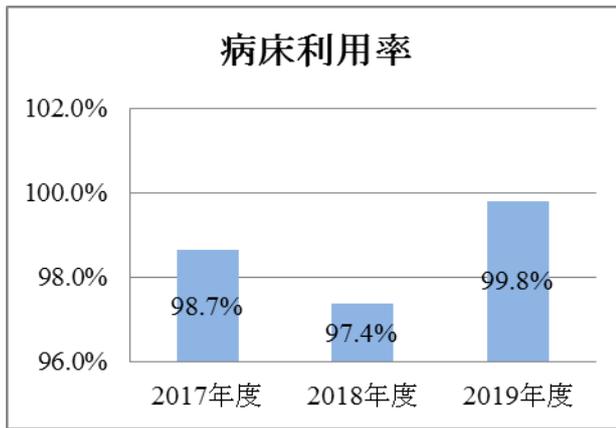
		2015	2016	2017	2018	2019
腹腔鏡	卵巣	59	65	83		80
	子宮	1	0	1	1	0
	子宮外妊娠	12	21	15	26	11
	その他	1	0	0	0	2
開腹手術	帝王切開術	354	369	334	330	314
	良性	199	309	341	265	229
	悪性	88	78	72	70	68
悪性手術内訳	子宮頸癌	20	15	5	12	6
	子宮体癌	39	36	39	32	29
	卵巣癌	20	25	23	25	28
	その他	9	2	5	1	5
腔式手術	円錐切除	16	36	34	30	30
	頸管縫縮術	13	14	16	21	8
	子宮脱根治術	5	13	9	9	6
	陰閉鎖術	14	24	10	9	4
	その他	9	8	13	8	9
合計		859	937	928	848	829

#### 【分娩件数推移】



【母体搬送数推移】





## 研究活動

原著（英文）

1. Ultrasound evaluation of fetal critical aortic stenosis using the left atrium area/cardiac area ratio and the Doppler patterns in the pulmonary veins.  
Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital  
Sukegawa S, Yamamoto Y, Sato K, Tanaka S, Tanaka T, Mitsuhashi N.  
J Med Ultrasonics. 2019; 46: 267-272

原著（和文）

1. 帝王切開後に形成された子宮仮性動脈瘤の1例  
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科  
正岡駿, 田中里美, 伊藤早紀, 助川幸, 西澤しほり, 村瀬佳子, 植木典和, 矢田昌太郎, 金田容秀, 田中利隆, 三橋直樹  
静岡産科婦人科学会雑誌, 2019; 8: 52-60
2. 卵巣温存した若年子宮腺肉腫の1例  
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科  
柳原康穂, 金田容秀, 小熊響子, 小林徹, 伊藤早紀, 松澤奈々, 鷺野しほり, 村瀬佳子, 田中里美, 矢田昌太郎, 田中利隆, 三橋直樹  
静岡産科婦人科学会雑誌, 2020; 9: 15-21

総説（和文）

1. 【産婦人科救急・当直対応マニュアル】 産科編 妊産褥婦の合併疾患への対処法 消化器疾患 急性虫垂炎/急性胆嚢炎  
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科  
田中利隆  
医学書院 2019; 73: 295-300
2. 【研修ノート】産科異常出血への対応 手術療法（子宮摘出）  
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科  
田中利隆

学会発表（国内）

1. Management of uterine artery pseudoaneurysm: Spontaneous resolution of uterine artery pseudoaneurysm  
Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital  
Yasuho Yanagihara, Toshitaka Tanaka, Kyoko Oguma, Toru Kobayashi, Saki Ito, Nana Matsuzawa, Shihori Uno, Yoshiko Murase, Shotaro Yata, Satomi Tanaka, Hiroshi Kaneda, Naoki Mitsuhashi  
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会 名古屋 2019.4.12
2. A case of Dedifferentiated endometrioid adenocarcinoma of the uterus  
Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital  
Hiroshi Kaneda, Yasuho Yanagihara, Kyoko Oguma, Toru Kobayashi, Saki Ito, Nana Matsuzawa, Shihori Uno, Yoshiko Murase, Satomi Tanaka, Shotaro Yata, Toshitaka Tanaka, Naoki Mitsuhashi  
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会 名古屋 2019.4.12
3. A case of hypergonadotropic amenorrhea in adolescent without chromosomal abnormality  
Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital  
Nana Matsuzawa, Yasuho Yanagihara, Kyoko Oguma, Toru Kobayashi, Saki Ito, Shihori Uno, Yoshiko Murase, Satomi Tanaka, Shotaro Yata, Hiroshi Kaneda, Toshitaka Tanaka, Naoki Mitsuhashi  
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会 名古屋 2019.4.12
4. Prenatal spontaneous disruption of the dividing membrane in monochorionic diamniotic twins  
Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital  
Satomi Tanaka, Yasuho Yanagihara, Kyoko Oguma, Toru Kobayashi, Saki Ito, Nana Matsuzawa, Shihori Uno, Yoshiko Murase, Shotaro Yata, Hiroshi Kaneda, Toshitaka Tanaka, Naoki Mitsuhashi  
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会 名古屋 2019.4.12
5. 帝王切開術後創部に壊疽性膿皮症を発症した一例  
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科  
小熊響子、田中里美、松澤奈々、柳原康穂、伊藤早紀、小林徹、村瀬佳子、矢田昌太郎、金田容秀、田中利隆、三橋直樹  
令和元年度静岡産科婦人科学会春季学術集会 静岡 2019.5.19
6. 超音波により子宮のローテーションを伴った嵌頓子宮と診断した子宮筋腫合併妊娠の 2 例  
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科  
田中利隆、伊藤早紀、小林徹、松澤奈々、村瀬佳子、田中里美、矢田昌太郎、金田容秀、三橋直樹  
日本超音波医学会第 92 回学術集会 東京 2019.5.25
7. 腹膜癌との鑑別に苦慮した結核性腹膜炎の一例  
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科  
村瀬佳子、金田容秀、小熊響子、柳原康穂、伊藤早紀、小林徹、松澤奈々、田中里美、矢田昌太郎、田中利隆、三橋直樹  
第 137 回関東連合産科婦人科学会学術集会 東京 2019.6.16
8. 当院における妊娠 36～37 週で出産となった前置胎盤症例の児の呼吸障害発症率  
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

松澤奈々、田中利隆、小熊響子、柳原康穂、小林徹、伊藤早紀、村瀬佳子、矢田昌太郎、  
田中里美、金田容秀、三橋直樹

第 55 回日本周産期・新生児医学会学術集会 松本 2019.7.13

9. 帝王切開術後創部に壊疽性膿皮症を発症した一例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

小熊響子、田中里美、松澤奈々、柳原康穂、伊藤早紀、小林徹、村瀬佳子、矢田昌太郎、  
金田容秀、田中利隆、三橋直樹

第 55 回日本周産期・新生児医学会学術集会 松本 2019.7.13

10. 胎児骨系統疾患の診断・管理

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

柳原康穂、田中利隆

第 41 回静岡県東部周産期研究会 静岡 2019.7.26

11. 不育症について考える（ランチョンセミナー）

順天堂大学医学部附属静岡

田中利隆

第 32 回静岡県母性衛生学会学術集会 静岡 2019.9.8

12. タナトフォリック骨異形成症の分娩時対応

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

田中里美、正岡龍、小熊響子、柳原康穂、伊藤早紀、小林徹、松澤奈々、村瀬佳子、矢田昌太郎、  
金田容秀、田中利隆

第 138 回関東連合産科婦人科学会学術集会 前橋 2019.10.20

13. 当院における AYA 世代と医原的閉経となった婦人科腫瘍の検討

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

金田容秀、五十嵐優子、正岡龍、柳原康穂、小熊響子、伊藤早紀、小林徹、松澤奈々、村瀬佳子、  
矢田昌太郎、田中里美、田中利隆

第 34 回日本女性医学学会学術集会 福岡 2019.11.2

14. 血友病保因者の妊娠・分娩管理の一例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

田中里美、正岡龍、川田美里、小熊響子、伊藤早紀、小林徹、松澤奈々、村瀬佳子、矢田昌太郎、  
金田容秀、田中利隆

日本人類遺伝学会第 64 回大会、長崎、2019.11.8

15. 胎児期に低フォスファターゼ症周産期重症型を強く疑いカウンセリングを行い出生直後より酵素  
補充療法を開始した 1 例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科 新生児科

田中利隆、田中里美、正岡龍、川田美里、小熊響子、伊藤早紀、小林徹、松澤奈々、村瀬佳子、  
矢田昌太郎、金田容秀、宮林和紀、大川夏紀、寒竹正人

日本人類遺伝学会第 64 回大会、長崎、2019.11.9

16. 切開排膿後に敗血症を生じたバルトリン腺膿瘍の一例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

正岡龍、矢田昌太郎、川田美里、小熊響子、小林徹、松澤奈々、村瀬佳子、田中里美、金田容秀、

田中利隆

令和元年度静岡産科婦人科学会秋季学術集会 静岡 2019.11.17

17. 妊娠中に問題となる感染症の取り扱い

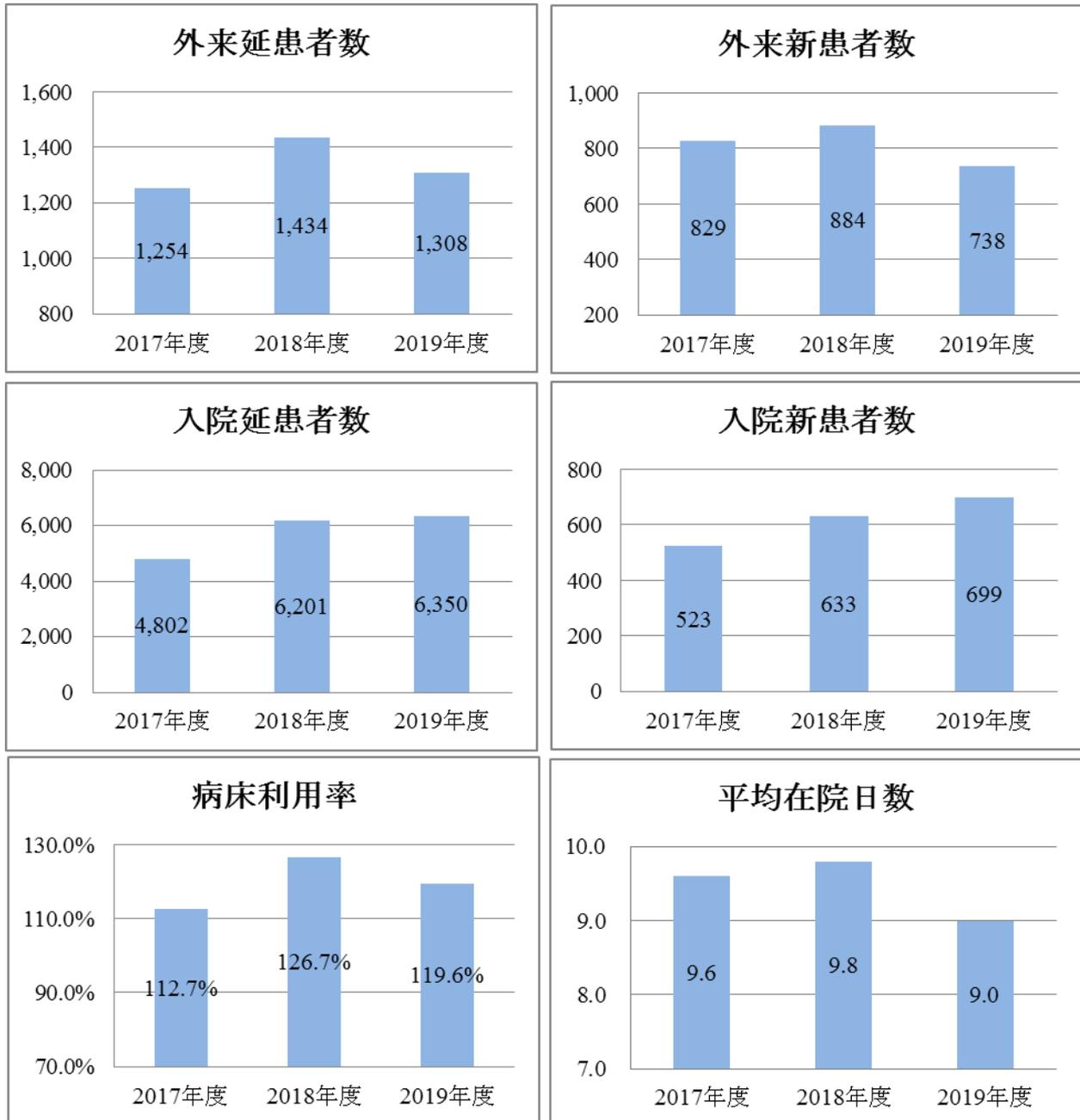
順天堂大学医学部附属静岡病院

川田美里、田中利隆

第42回静岡県東部周産期研究会 静岡 2019.12.12

## 2-24 救急診療科

### 診療実績



### 研究・教育活動

#### 英文論文

1. Ohsaka H, Jitsuiki K, Yanagawa Y. Delayed Sudden Respiratory Arrest After a High-energy Motorcycle Accident. Cureus December 17, 2019.

2. Muramatsu KI, Omori K, Kushida Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Ohsaka H, Oode Y, Yanagawa Y. Convulsion Treated by a Physician-Staffed Helicopter. *Air Med J.* 2019 Nov - Dec;38(6):437-439.
3. Shitara J, Jitsuiki K, Yanagawa Y. Gas in coronary artery: A case of fatal decompression sickness evaluated by computed tomography. *Undersea Hyperb Med.* 2019 Sep - Dec - Fourth Quarter;46(5):633-634.
4. Suzuki M, Yanagawa Y, Sakamoto A, Sugiyama H, Nozawa Y.. Prevalence and risk factors for post-traumatic stress disorder in Japanese relatives of out-of-hospital cardiac arrest patients after receiving a pamphlet concerning process of grief reaction. *Resuscitation* 2019; 142(S1):e92.
5. Yanagawa Y, Madokoro S, Matsunami T, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Takahashi N, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K. Mountain sickness with delayed signal changes in the corpus callosum on magnetic resonance imaging: a case report. *J Rural Med.* 2019 Nov;14(2):253-257.
6. Yanagawa Y, Ohsaka H, Oode Y, Omori K. A case of fatal trauma evaluated using a portable X-ray system at the scene. *J Rural Med.* 2019 Nov;14(2):249-252. doi: 10.2185/jrm.3002. Epub 2019 Nov 20.
7. Yanagawa Y, Nagasawa H, Takuchi I, Madokoro S, Jitsuiki K, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K. An analysis of patients evacuated by a civilian physician-staffed helicopter from a military base. *J Rural Med.* 2019 Nov;14(2):231-235. doi: 10.2185/jrm.3012.
8. Takeuchi I, Omori K, Nagasawa H, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Ishikawa K, Yanagawa Y. Prognostic indicators among laboratory data on arrival to assess the severity of mamushi bites. *J Rural Med.* 2019 Nov;14(2):222-225.
9. Yanagawa Y, Muramatsu KI, Nagasawa H, Takeuchi I, Kushida Y, Jitsuiki K, Ohsaka H, Oode Y, Omori K. An analysis of reports concerning overdose evaluated by abdominal computed tomography. *Acute Med Surg.* 2019 May 31;6(4):352-357.
10. Omori K, Yanagawa Y, Muramatsu KI, Nagasawa H, Takeuchi I, Madokoro S, Jitsuiki K, Yatsu S, Ohsaka H, Ishikawa K. Experience using a portable X-ray system at the scene transported by a physician-staffed helicopter. *Acute Med Surg.* 2019 May 23;6(4):396-399.
11. Yanagawa Y, Onitsuka M, Nozawa Y, Nagasawa H, Ikuto T, Jitsuiki K, Madokoro S, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K. The Significance of a Cooperative Medical System for Treating Decompression Illness on the Izu Peninsula in Japan. *Wilderness Environ Med.* 2019 Sep;30(3):268-273.
12. Omori K, Yanagawa Y. A Case of Acute Myocardial Infarction in a Patient Whose Initial Complaints Were Hematemesis and Epigastric Discomfort. *Case Rep Emerg Med.* 2019 May 23;2019:5984251
13. Yanagawa Y, Oode Y, Adegawa Y, Muramatsu KI, Kushida Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Ohsaka H, Omori K. Japanese civilian and US military interaction in the evacuation of casualties from Camp Fuji. *J R Army Med Corps.* 2019 Jun 29. pii: jramc-2019-001247.
14. Takeuchi I, Yanagawa Y, Nagasawa H, Jitsuiki K, Madokoro S, Takahashi N, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K. Decrease in Butyrylcholinesterase Accompanied by Intermediate-like Syndrome after Massive Ingestion of a Glyphosate-surfactant. *Intern Med.* 2019 Oct 15;58(20):3057-3059.
15. Muramatsu KI, Ohsaka H, Takahashi N, Yanagawa Y. Multiple Injuries Sustained When Hit by a Truck While Playing the Smartphone Game Pokemon Go. *J Emerg Trauma Shock.* 2019 Apr-Jun;12(2):165-166.
16. Yanagawa Y, Ohsaka H, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Omori K. An Analysis Using Modified Rapid Ultrasound for Shock and Hypotension for Patients with Endogenous Cardiac Arrest. *J Emerg Trauma Shock.* 2019 Apr-Jun;12(2):135-140.

17. Omori K, Muramatsu KI, Nagasawa H, Takeuchi I, Madokoro S, Jitsuiki K, Ohsaka H, Ishikawa K, Yanagawa Y. The Utility of a Portable X-ray System. *Air Med J.* 2019 May - Jun;38(3):212-214.
18. Yanagawa Y, Nakamura M, Saoyama Y, Mimura S. Lessons Learned in Helicopter Operations During a Large Multiagency Disaster Prevention Drill in Japan. *Air Med J.* 2019 May - Jun;38(3):202-208.
19. Nagasawa H, Nakanishi H, Saito K, Matsukawa T, Yokoyama K, Yanagawa Y. Cardiac arrest induced by the intentional ingestion of boric acid and mirtazapine treated by percutaneous cardiopulmonary bypass: a case report. *J Med Case Rep.* 2019 May 16;13(1):147.
20. Yanagawa Y, Jitsuiki K, Nagasawa H, Takeuchi I, Madokoro S, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Suwa S. A Smartphone Video Transmission System for Verification of Transfusion. *Air Med J.* 2019 Mar - Apr;38(2):125-128.
21. Omori K, Takeuchi I, Yanagawa Y. Accidental Strangulation with Cervical Nerve Root Injury Caused by the Entrapment of Clothing in a Soybean Milling Machine. *Case Rep Emerg Med.* 2019 Feb 5;2019:4706278.
22. Nagasawa H, Yanagawa Y. In Reply to Drs Joob and Wiwanitkit. *Wilderness Environ Med.* 2019 Mar;30(1):105.
23. Kondo A, Jitsuiki K, Osaka H, Takeuchi I, Ishikawa K, Omori K, Yanagawa Y. Multiple Patients With Burn Injury Induced by a Chemical Explosion Managed by Physician-Staffed Helicopters. *Disaster Med Public Health Prep.* 2019 Aug;13(4):799-805.
24. Nagasawa H, Omori Kazuhiko, Takeuchi I, Jitsuiki K, Ohsaka H, Yanagawa Y. Clinical Significance of C-Reactive Protein in Patients with Trauma on Arrival. *Juntendo Med J.* 2019;65:451-455.
25. Takeuchi I, Ishikawa K, Nagasawa H, Nagasawa K, Kondo A, Ohsaka H, Omori K, Yanagawa Y. The Clinical Significance of C-Reactive Protein in Patients with *Gloydius blomhoffii* Bite. *Juntendo Med J.* 2019;65:456-60.
26. Nagasawa H, Dotare T, Takeuchi I, Jitsuiki K, Madokoro D, Takahashi N, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Yanagawa Y. A Case of Repetitive Consciousness Disturbance with Hypercapnia due to Nonconvulsive Status Epilepticus in Klippel-Feil Syndrome. *Scho J Emerg Med Crit Care* 2019;3:67-70.
27. Nagasawa H, Yanagawa Y, Kutsumi S, Muramatsu KI, Kushida Y, Takeuchi I, Ohsaka K, Jitsuiki K, Omori K, Oode Y. Subacute Lethal Bilateral Leg Time-Lag Infection by *Streptococcus dysgalactiae*. *Arch Clin Med Case Rep* 2019; 3 (4): 153-157.
28. Muramatsu KI, Nagasawa H, Youichi Yanagawa Y. Case report Gas with cardiac arrest due to decompression illness. *East African Scholars Journal of Anaesthesiology and Critical Care.* 2019;1:11-2.
29. Omori K, Nagasawa H, Takeuchi I, Madokoro S, Jitsuiki K, Ohsaka H, Ishikawa K, Yanagawa Y. The Usefulness of a Portable X-Ray System in Obtaining Chest X-Rays at the Scene. *Sch J Med Case Rep,* February, 2019; 7 (2): 162–165.
30. Takahashi N, Yanagawa Y, Nagasawa H, Takuchi I, Madokoro S, Jitsuiki K, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Suwa S. A Successful Outcome of Cardiac Arrest Transported by a Doctor-Helicopter. *Sch J Med Case Rep,* February, 2019; 7 (2): 121–123.
31. Ishikawa K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Madokoro S, Ohsaka H, Omori K, Yanagawa Y. Significance of Prehospital Care Provided By a Doctor Car in Eastern Shizuoka. *Sch J App Med Sci,* January, 2019; 7 (1): 357-362.
32. Nagasawa H, Takeuchi I, Madokoro S, Jitsui K, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Yanagawa Y. Usefulness of

Abdominal Computed Tomography for the Detection of Drugs in the Stomach. *Sch J Med Case Rep*, January, 2019; 7 (1): 26–27.

33. Saito K, Kaneko S, Furuya Y, Asada Y, Ito R, Sugie K, Akutsu M, Yanagawa Y. Confirmation of synthetic cannabinoids in herb and blood by HS-SPME-GC/MS. *Forensic Chemistry*. 34

In press

1. Muramatsu KI, Nagasawa H, Takeuchi I, Yanagawa Y. Transient Left Hemiparesis Due to Aortic Dissection. *J Emerg Trauma Shock*.
2. Yanagawa Y, Ishikawa K, Nagasawa H, Takuchi I, Jitsuiki K, Madokoro S, Kondo A, Ohsaka H. A case in which focal convulsion was the initial sign of fatal aortic dissection. *Aorta*.
3. Kushida Y, Omori K, Muramatsu KI, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Ohsaka H, Oode Y, Ito H, Yanagawa Y. Epidemiology of a Femur Shaft Fracture in an Acute Critical Care Center in a Rural Area of Japan. *The Open Orthopaedics Journal*
4. Takeuchi I, Muramatsu KI, Nagasawa H, Yanagawa Y. A Case of Triphasic Anaphylaxis. *J Emerg Trauma Shock*.
5. Omori K, Muramatsu KI, Nagasawa H, Takeuchi I, Kushida Y, Ohsaka H, Jitsuiki K, Oode Y, Yanagawa Y, Experience of the Usage of a Portable X-ray System. *Air Med J*
6. Yanagawa Y. Preparedness, including preparation of a physician-staffed helicopter, for the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games in Shizuoka Prefecture. *Juntendo Med J*.
7. Yanagawa Y, Muramatsu KI, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Ohsaka H, Omori K, Oode Y. Training drill for a terrorist attack on a train and railway station. *EMS World*.
8. Yanagawa Yoshiko, Yanagawa Y, Muramatsu KI, Nagasawa H, Takeuchi I. Three Cases of Corneal Injury after Diving. *International Journal of Advances in Science, Engineering and Technology*.
9. Nagasawa H, Yanagawa Y. An Analysis of Patients with Carbon Monoxide Poisoning Transported by a Physician-Staffed Helicopter. *Academic Journal of Life Sciences ISSN(e): 2415-2137, ISSN(p): 2415-5217*.

## 和文論文

1. 柳川洋一. 落雷による傷害. *救急医学* 2019;43:1081-4.
2. 厚生労働科学特別研究事業: 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての救急・災害医療体制の構築に関する研究. 統括研究者: 横田裕行. 銃創、爆傷等における外傷医療体制の構築. 分担研究者: 木村昭夫. 日本外傷学会: 東京オリンピック・パラリンピック特別委員会委員長: 大友康裕. 委員: 五十嵐豊、霧生信明、黒住健人、角山泰一朗、廣江成欧、山元良、齋藤大蔵、柳川洋一、井上潤一. 銃創・爆傷患者診療指針. 2019. 簡易パンフレット.
3. 柳川洋一. 災害医療の現状と問題点. *脳神経外科ジャーナル* 2019;28:561-6/
4. 柳川洋一. 「交通事故で救急搬送された Kounis 症候群を疑われた 1 例」の報告へのコメント. *日救急医学会誌*. 2019; 30: 250-1.
5. 大森一彦. 高気圧酸素治療 今日の治療指針 2019

## 国内発表

- 1月13日 日本成人病学会  
重症軟部組織感染症を合併した **Super-super obesity** の一例 柳川洋一
- 1月19日 第7回静岡プライマリケアフォーラム  
蛋白同化ホルモンを用いた神経性食思不振症 柳川洋一
- 1月23日 静岡県東部地区救命救急医学研修会  
**Kounis** 症候群の一例 柳川洋一  
救急医療における お薬手帳の有用性 間所俊介
- 1月26日 第33回日本中毒学会 東日本地方会  
当地域で一酸化炭素中毒症例のマネージメントの紹介 村松賢一  
多彩な臨床症状を呈した次亜塩素酸ナトリウム中毒の一例 間所俊介  
蜂刺傷時の **sting mark** の臨床的意義 長澤宏樹
- 2月1日 日本脳神経外科救急学会  
もう一度ライフラインを考えてみる 柳川洋一  
災害・テロ対策 座長 柳川洋一
- 2月8日 第38回静岡県東部循環器救急医学会  
胸部外傷を契機に心筋梗塞を合併した症例 柳川洋一
- 3月1-3日 第46回日本集中治療学会  
心停止となった神経性やせ症に蛋白同化ホルモンを用いた集学的治療を  
行った一例 柳川 洋一  
ミルタザピン過量内服とホウ酸摂取により致命的経過を辿った1例 長澤宏樹  
偶発性低体温症、心室細動に対する迅速な **PCPS** 導入により  
社会復帰した一例 石川 浩平  
止血に難渋した大腿血腫の一例 米本周平  
当院の救命救急センターにおけるリハビリテーションの課題とは 森島克明  
当院 **ICU** における早期気管切開術施行患者に対する  
早期リハビリテーションの効果 阿妻伸幸  
外傷患者における早期リハビリテーションの徹底は離床までの  
日数を短縮させる 渡邊大輔
- 3月8-9日 第42回日本脳神経外傷学会  
脊髄震盪のマネージメント 初期診療医の苦悩 柳川 洋一
- 3月18日 第24回日本災害医学会  
**MCLS** 開催に当たって、**MC** 協議会支援の有無が人材育成に与える影響 柳川洋一
- 5月31日 第22回日本臨床救急医学会総会  
病院前診療を強化した重症外傷診療への伊豆半島での挑戦 柳川洋一  
**Pokemon GO** プレイ中にトラックに衝突されて受傷した多発外傷の一例  
村松 賢一
- 6月6日 第33回日本外傷学会総会  
外傷における来院時 **CRP** 上昇の臨床的意義 長澤宏樹
- 6月15日 第54回日本高気圧環境・潜水医学会総会

減圧症の勉強会がドクターヘリによる病院前活動に与えた影響 柳川洋一

6月22日 第19回日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会

当院における一酸化炭素中毒マネージメント方法の紹介 長澤宏樹

潜水後の眼痛や眼前白濁症状は減圧症？ 柳川良子

減圧症との鑑別に超音波による気泡探索が有用だったと判断した

脳梗塞症例 竹内郁人

肝臓内にガスがCT上判明した減圧症の一例 近藤彰彦

減圧症による心停止症例のCT画像 村松賢一

7m潜水でII型減圧症が発生した1例 日域佳

圧外傷により肺胞出血をきたした一例 板倉萌

ドクターヘリによる減圧症マネージメントの紹介 大森一彦

ドクターカーを用いて医療介入した減圧症の一例 石川浩平

7月21日 第41回日本中毒学会総会

急性医薬品中毒患者に対する腹部CT撮影報告の検討 柳川洋一

7月25日 第39回静岡県東部循環器救急医学会

感冒症状で来院した劇症型心筋炎の一例 日域佳

下腹部痛、めまいを主訴で急死した一例 武石白馬

10月3-5日第47回日本救急医学会総会

静岡県東部の御殿場市小山町地区における救急地域医療の現状と

活動報告 大坂 裕通

ドクターヘリ搬送されたクモ膜下出血患者の現場と病院間搬送の

比較検討 石川 浩平

マウス敗血症モデルで、CIRP(Cold-inducible RNA-binding protein)は

肺でのNETs(Neutrophil Extracellular Traps)を誘導する. 大出 靖将,竹内 郁人, 長澤 宏樹,  
日域 佳, 石川 浩平, 大森 一彦, 大坂 裕通, 大出 靖将,静岡県東部地域における心停止症例の  
病院前活動の検討 竹内郁人

心停止症例に対するRapid Ultrasound for Shock and Hypotension(RUSH)

studyの検討結果 柳川 洋一

出血性ショックの輸血対応は病院前から始まっている 大森一彦

外傷2 座長 大森一彦

岸壁にて放尿中に、イノシシに突き飛ばされて海へ墜落し、死にかけた災難な一例

長澤 宏樹

情報伝達システムを用いた医療の展開 柳川 洋一

11月8-9日 第26回日本航空医療学会総会

運航と診療の質を保つていくための安全教育、研修システムの構築 大森一彦

ウェアラブルカメラを用いたフライトドクター教育 長澤宏樹

静岡県東部ドクターヘリにおけるマスギャザリングのリスク検討 大坂裕通

「診療！・教育！・研究！」大森一彦

脳卒中の疑いでヘリ要請となったが、急性心筋梗塞であった1例 竹内郁人

疾患：小児・産科・周産期 座長 大森一彦

11月23日 日本救急医学会中部地方会

静岡県東部ドクターヘリを用いた救急医療の展開 柳川洋一

細菌性髄膜炎を合併した多発性骨髄腫疑いの一例 濱本諒

外傷性大動脈損傷と外傷性クモ膜下出血の合併例 野口正意

IgG4 関連疾患後腹膜線維症疑いによる腎後性の急性腎障害をきたした一例

市川尚寛

11月29-30日 第32回日本外科感染症学会

人食いバクテリア *Streptococcus dysgalactiae*

もしくは *Streptococcus canis* 感染の1例 串田好宏

## 国際学会発表

1. Yanagawa Y: Analysis of the usage of a portable X-ray system transported to the scene by a physician-staffed helicopter. Abstract of 27th Annual Critical Care Transport Medicine Conference 2019. P11, 2019. Hotel Albuquerque, New Mexico.
2. Yanagawa Y: Confusion at the scene regarding multiple patients with burn injury induced by a chemical explosion. Prehosp Disaster Med 2019;34:S8. The World Association for Disaster and Emergency Medicine 2019 at Brisbane, Australia.
3. Yanagawa Y, Yanagawa Y, Muramatsu K, Nagasawa H, Takeuchi I. Three cases of corneal injury after diving. Proceedings of Researchfora International Conference, Cairo, Egypt, 12th-13th July 2019
4. Suzuki M, Yanagawa Y, Sakamoto A, Sugiyama H, Nozawa Y. Prevalence and risk factors for post-traumatic stress disorder in Japanese relatives of out-of-hospital cardiac arrest patients after receiving a pamphlet concerning process of grief reaction. Resuscitation 2019:Congress of the European Resuscitation Council in Ljubljana, Slovenia.
5. Nagasawa H, Takeuchi I, Kushida Y, Jitsuiki K, Shitara J, Omori K, Ohsaka H, Ohde Y, Yanagawa Y. Clinical significance of C-reactive protein in patients with trauma on arrival. Xth Mediterranean Emergency Medicine Congress (MEMC), in Dubrovnik, Croatia 2019.

## 講演

2月4日 富士山南東消防署 日本災害医学会が考える CBRNE 対応について 柳川洋一

2月4日 三島市医師会 ドクターヘリの最新の知見 柳川洋一

2月7日 開渠側溝に潜む危険 日域佳

2月13日 小林誠人 ドクターヘリを活かす救急医療システム ここだけのお話

2月18日 循環器疾患フォーラム 救急医療に関する最新治験 柳川洋一

8月2日 伊豆縦貫自動車道建設促進 賀茂地域から救急車両で搬送された傷病者の現状 柳川洋一

7月25日 第39回静岡県東部循環器救急医学会 ACS に潜む“あぶら”の病気～病態の整理と最新の治療動向～ 国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部 脂質代謝研究室 小倉正恒 先生

10月21日 現場救護所の活動について 田方MC研修会 柳川洋一

11月9日 大仁中学校 中学1年生の職業講話実習 日域佳

11月13日 沼津医師会 日本における災害医療の現状と問題点 柳川洋一

11月18日 オリンピック開催時に必要な知識、技術、医療体制について 柳川洋一

## 講義

1月30日 静岡県消防学校 病態別応急処置「出血」「アナフィラキシー」 大森一彦  
2月18日 静岡県消防学校 災害医療 柳川洋一  
4月11日 順天堂大学 外傷の基礎 柳川洋一  
6月24日 防衛医科大学校 頭部外傷 柳川洋一  
8月23日 防衛医科大学校 頭部・脊椎の外傷・疾病、脳死、移植 柳川洋一  
9月11日 順天堂大学 生命徴候 柳川洋一

## 訓練

2月7日 DMAT 技能維持訓練 インストラクター参加 柳川洋一  
2月15日 大仁警察主催 修善寺駅 テロ対策訓練 柳川洋一  
7月14,15日 DMAT 技能維持訓練 インストラクター参加 柳川洋一  
8月2日 駿東伊豆消防本部第2方面 夏季訓練検証官 柳川洋一  
9月6日 内閣府防災訓練 柳川洋一  
9月18,25日 御殿場小山消防 指令室勉強会 大坂裕通  
10月7日 伊豆ペロドローム オリンピックテストイベント 日域佳、柳川洋一  
10月24日 静岡東部地区消防大規模災害合同訓練 長澤宏樹  
10月24日 災害医療コーディネーター訓練 大坂裕通  
11月14日 下田消防テロ対策訓練 大坂裕通  
11月27日 御殿場小山消防 隊員会議 日域佳 大坂裕通 大森一彦  
11月28,29日 DMAT 技能維持訓練 大坂裕通  
12月9日 災害医療コーディネーター訓練 大坂裕通

## 消防勉強会

9月19日 駿東伊豆消防本部第3方面 日域佳  
11月4日 熱海市消防本部「ドクターヘリの目的」 長澤宏樹

## 災害実働

10月12日 台風19号院内対応 柳川洋一 大坂裕通 設楽準 日域佳  
10月13日 台風19号 DMAT 活動 大坂裕通 竹内郁人  
10月14日 台風19号 災害医療コーディネーター 大坂裕通

## オスキー

1月12日 JATEC 国立国際医療センター インストラクター 大森一彦  
1月27日 JPTEC 第84回静岡県外傷セミナー CMD 柳川洋一  
1月30日 御殿場 ICLS ディレクター 柳川洋一  
3月30日 JMECC/ICLS コース ディレクター 柳川洋一  
アシスタントインストラクター 大坂裕通

- 6月26日 TSA ICLS コース ディレクター 柳川洋一
- 7月28日 順天堂大学保健看護学部 ICLS インストラクター 柳川洋一
- 9月14日 順天堂大学 JATEC コースコーディネーター 柳川洋一
- 10月28日 東伊豆 JPTEC ディレクター 柳川洋一
- 10月31日 DMAT 隊員養成研修 インストラクター 柳川洋一
- 11月2-3日 静岡県 L-DMAT 隊員養成研修 インストラクター 柳川洋一
- 11月15日 JMECC 沼津市立病院 ディレクター 柳川洋一

## 会議

- 1月31日 静岡県メディカルコントロール(MC)協議会 県庁 柳川洋一
- 2月5日 熱海 MC 協議会 大坂裕通
- 2月12日 賀茂 MC 協議会 下田消防 石川浩平
- 3月29日 ドクターヘリ事後検証会 当院 司会 大森一彦 出席はスタッフ一同
- 7月2日 駿東田方地域MC協議会 沼津北消防 柳川洋一
- 8月1日 静岡県 MC 協議会 県庁 柳川洋一
- 8月9日 熱海伊東地域 MC 協議会 熱海市役所 柳川洋一
- 8月28日 静岡県東部ドクターヘリ運航調整委員会 三島プラザ 柳川洋一 大森一彦
- 9月27日 ドクターヘリ事後検証会 当院 司会 大森一彦 出席はスタッフ一同
- 10月15日 オリピック VMO 会議 東京 柳川洋一
- 12月4日 賀茂 MC 協議会 下田消防 柳川洋一
- 12月17日 駿東田方地域 MC 協議会事後検証委員会 三島消防 柳川洋一

## 海外留学生受け入れ

University of Leicester

Queen Mary University of London

Imperial College London

University of Manchester

University of Burgundy

Charité Universitätsmedizin Berlin

## 2-25 病理診断科

### 診療実績

2019 年度

(2019 年 4 月～2020 年 3 月)

組織診断：6960 例

細胞診断：8193 例

病理解剖診断：9 例

### 研究・教育活動

#### 【英文原著】

1. Sugimoto K, Ito T, Hulbert A, Chen C, Orita H, Maeda M, Moro H, Fukagawa T, Ushijima T, Katai H, Wada R, Sato K, Sakamoto K, Yu W, Considine M, Cope L, Brock MV : DNA methylation genome-wide analysis in remnant and primary gastric cancers. *Gastric Cancer* , 22:1109-20, 2019
2. Shimizu Y, Wakabayashi K, Hayashi Y, Hara K, Aoyama R, Niimi T, Tomino Y, Wada R, Hata M, Suzuki Y : MPGN Type 3 Associated with Pemphigus Herpetiformis Mimicking PGNMID and Dermatitis Herpetiformis. *Case Rep Nephrol Dial.* 21;9(1):15-24, 2019
3. Ito T, Matoba R, Maekawa H, Sakurada M, Kushida T, Orita H, Wada R, Sato K : Detection of gene mutations in gastric cancer tissues using a commercial sequencing panel. *Molecular and Clinical Oncology* 11 : 455-460, 2019

#### 【和文原著】

1. 渡邊瑞也、井口 整、川村海渡、藤田修英、上野英明、中尾保秋、山本拓史、和田了：破裂末梢性後下小脳動脈瘤（cortical segment）の 2 例. *脳神経外科* 47:673-681, 2019

#### 【英文著書】

1. Yao T, Wada R : Pathology of Gastric Cancer. *Gastric Cancer*. Edited by Shiotani A, Springer, Singapore, p63-75, 2019

#### 【和文総説】

1. 八尾隆史、大城由美、和田 了：小腸疾患の分類と病理診断. *胃と腸* 54:440-449, 2019

#### 【講演・発表（主なもの）】

1. 和田 了：病理診断の現状とそのスキル伝承の難しさ～病理診断の今後の展開予測～「病理医」の日常業務のあれこれ. 第 160 回 n-bio バイオセミナー（特別講演）2019.2.27（長浜市）
2. 和田 了：臨床診断に役立つ胃炎の病理. よかしゃん研究会（馬場塾・東京胃会・東京 Jr.胃会）

合同開催) (講演) 2019.3.2 (東京都)

3. 和田 了: ヒト大腸癌の発生とその予防について—大腸腺腫内 Paneth 細胞出現性からの考察, ワークショップ 2「分子形態学に基づいた消化器腫瘍の新知見」 第 51 回 日本臨床分子形態学会 総会・学術集会 (ワークショップ) 2019.9.20 (久留米市)

業務実績



研究・教育活動

発表、報告

1. Tanuma A, Sanada K, Makuuchi R, Miki Y, Endo K, Kanda T, Tsumaki H, Terashima M  
Creation of deglutition screening system for elderly gastric cancer patients to prevent postoperative pneumonia  
13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress, Kobe, 2019/6/9-13
2. 田沼明  
乳がん・婦人科がん術後および続発性リンパ浮腫に対するリハビリテーション治療  
第56回日本リハビリテーション医学会学術集会 神戸 2019/6/12-16
3. 石井啓太、小川舞、宮下春紀、下島健斗、若尾房美、城崇之、安藤真矢、大熊泰之、野田和幸  
当院入院中の筋萎縮性側索硬化症患者の退院時 ALSAQ-40 と関連する因子の検討  
第60回日本神経学会学術大会 大阪 2019/5/22-25
4. 石井啓太、松延郁恵、青木直美、若尾房美  
急性横断性脊髄炎により両上肢麻痺を呈した乳児に対する理学療法の経験  
第23回静岡県理学療法士学会 静岡 2019/6/15-16
5. 阿妻伸幸、渡邊大輔、鳥屋優太、河原一剛、宮下春紀  
ICUにおいて急性腎不全を呈した症例に対する早期リハビリテーションの経験  
～PICS 予防を目的とした低強度での Early mobilization～  
第23回静岡県理学療法士学会 静岡 2019/6/15-16
6. 河原一剛、渡邊大輔  
緩和ケアを行っているがん患者の移動動作能力に対する理学療法の効果  
第2回がん理学療法研究会 埼玉 2019/10/5-6

7. 小池教文、小林敦郎  
変形性股関節症における体幹筋断面積と自覚的脚長差の関係性  
第 46 回日本股関節学会 宮崎 2019/10/25-26
8. 石井啓太、渡邊大輔  
MI-E の導入が困難であった ALS 患者の要因の検討  
第 29 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 愛知 2019/11/11-12
9. 宮下春紀、河原 一剛  
足関節底屈レジスタンス運動が起立性低血圧の軽減に有用であった糖尿病透析患者の一症例  
第 10 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 東京 2020/2/22-23
10. 海東健太  
感染椎体の搔把術とセメントスペーサー留置後重度嚥下障害を呈した頸椎化膿性脊椎炎の 1 例  
令和元年度静岡県言語聴覚士会全体研修会 静岡 2020/2/24

## 2-27 臨床検査科

(特任教授 田内一民)

### 診療実績

1. 日本医師会精度管理調査での点数 98.0 点、
2. 静岡県医師会精度管理調査は全て A ランクで問題点なし。
3. 日臨技精度管理調査では (A) (B) 評価 97.8 %  
(A・B 評価以外の項目は各部署にて検討、報告書提出、是正を確認)
4. 臨床検査技師を対象に勉強会「知得会」を開催 (第 59～69 回)。
5. 院内の検査データの意義、検査結果の考え方について作成した検査説明パンフレットを改訂 (基準範囲について 6 病院統一値、測定単位の変更) し、採血室・受付等に配布。
6. パニック値の検討 (6 病院で統一。実施は 2020.6)
7. ALP、LD 測定法変更 (IFCC 法) 検討。

### 研究・教育活動

1. 第 36 回 静岡県臨床検査精度管理調査報告書、2019.10
2. 日本総合健診医学会第 47 年次 臨床検査精度管理報告書、2020.3
3. 日本総合健診医学会施設調査票集計結果報告 (平成 30 年度)、日本総合健診医学会誌 46 (6) 2019 39～64
4. 総合健診における臨床検査の役割と将来展望、日本総合健診医学会誌 46 (2) 2019 219～225



### 3. 部門報告



## 3-1 薬剤科

薬剤師：33名うちGCPセンター（調剤業務兼務）に3名、薬剤管理指導業務担当7名、手術室業務1名 注射薬払い出しおよび無菌製剤業務1名、外来調剤業務18名、外来・入院化学療法2名、医薬品情報室1名にて業務をおこなっている。（2020年3月31日現在）

### 1. 業務内容

- |            |   |
|------------|---|
| ① 調剤       | 外来・入院調剤                                       |
| ② 製剤       | 約束処方・院内特殊製剤                                   |
| ③ 注射薬の取り揃え | 入院一般注射薬・化学療法用注射薬（外来・入院とも）                     |
| ④ 注射薬の無菌製剤 | 中心静脈栄養・化学療法（外来・入院とも）                          |
| ⑤ 薬品管理     | 薬品発注・在庫管理・麻薬管理                                |
| ⑥ 医薬品情報提供  | 院内医薬品集(昨年度より電子化)の発行・新規採用薬中止薬の案内・副作用情報等の収集・提供  |
| ⑦ 薬剤管理指導業務 | 科ごとに薬剤師を担当させているが、ICU・CCUは持参薬管理のみ<br>ブレイクボイド報告 |
| ⑧ 手術室業務    | 麻酔薬の準備・使用後の確認など麻酔科医業務支援および麻薬管理                |
| ⑨ その他      | 学会発表など  |

### 1. 調剤業務

処方内容については、調剤監査システムにて相互作用、重複投与等のチェックを行った後処方せんを発行し調剤を実施している。外来および退院処方については「薬剤情報提供書（あなたのおくすり）」を添付して患者への医薬品情報提供を実施している。合わせて、お薬手帳用薬剤一覧も毎回発行・配布している。外来処方せんは院内にて調剤を行い、院外処方せんについては希望者のみとしている。

#### ● 2019年度調剤業務（処方せん枚数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	28,496	27,137	26,316	28,479	27,587	26,256	28,254	26,831	27,731	26,740	25,892	26,800
入院	13,027	13,444	12,801	13,416	13,327	12,640	13,020	12,998	13,649	13,398	13,087	13,684
合計	41,523	40,581	39,117	41,895	40,914	38,896	41,274	39,829	41,380	40,138	38,979	40,484
院外	498	460	431	496	441	434	508	461	520	537	504	607

### 2. 製剤

院内製剤は点眼薬、点鼻薬、点耳薬、軟膏、処置薬などを調製している無菌的な操作の必要なものはクリーンベンチ内で調製している。

### 3. 注射薬の取り揃え

入院一般注射薬：前日までにオーダーされている注射薬を個人別にセットし、専用カートにて各病棟に払い出す。金曜日は土曜日・日曜日分を、土曜日は月曜日分のセットをしている。

#### ●2019年度注射薬処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	3,133	3,178	3,199	3,270	3,367	3,082	3,207	3,293	3,167	3,098	3,013	2,924
入院	18,665	18,809	19,207	18,972	18,994	18,188	19,050	18,872	19,141	18,653	18,508	10,107

### 4. 注射薬の無菌製剤

外来・入院化学療法：前日までにオーダーされている外来化学療法の注射薬を個人別にセットし、担当者がレジメン内容の監査を行なう。

実施日当日は治療続行の指示に従って、がん治療センターの安全キャビネット内で直前に混注業務を行っている。

中心静脈栄養（IVH）：当日 13:00 まで（土曜及び休日は 8:00）にオーダーされたものを、クリーンベンチ内で調製し病棟に払い出している。

#### ●2019年度無菌製剤件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来化学療法	629	677	613	657	676	617	663	637	609	656	603	650
入院化学療法	151	206	158	139	151	111	143	164	139	167	164	164
IVH	179	167	162	240	114	107	130	145	95	115	149	211

### 5. 薬品管理

採用薬は 2020 年 3 月 31 日時点で内服薬：944 品目・注射薬：512 品目、合計 1456 品目である。

### 6. 医薬品情報提供業務

医薬品の安全かつ、適正使用のための情報収集および情報提供を実施。

院内医薬品集(電子版)の作成(毎月更新)・新規採用薬、採用中止薬、包装・剤形変更の情報は薬剤科からのお知らせにて院内配布(電子版も併せ)。

## 7. 薬剤管理指導業務

内科、外科、脳外科、産婦人科、眼科、耳鼻科、整形外科、泌尿器科、神経内科、呼吸器外科、形成外科に、科ごとに配置している。持参薬の検索、服薬指導、薬歴から相互作用、併用禁忌などの薬学的管理を行なっている。

医療安全対策のひとつとしてプレアボイド報告（薬学的ケアの実施によって、副作用・相互作用・治療効果不十分などを回避あるいは軽減した事例の報告）を行っており 2019 年度は 1354 件（前年比 136%）の報告を行った。

### ●2019 年度薬剤管理指導算定件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
算定件数	1104	996	1045	1127	1056	1006	1053	992	1009	1012	955	1055

## 8. その他

### 学会発表

細菌検査および ATP 分析による調剤機器の汚染状況調査～その調剤機器は本当にきれいですか～  
第 67 回日本化学療法学会年会 2019

○中島 隆良 1)、岩神 真一郎 2)

1. 順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科 2. 順天堂大学医学部附属静岡病院呼吸器内科

高齢者地域における在宅でのアドヒアランス調査に基づく検討

第 8 回日本くすりと糖尿病学会年会 2019

○木下 史一

順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科

レンバチニブにおける有害事象の発生とその因子の解析

第 29 回日本医療薬学会年会 2019

○中島隆良

順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科

糖尿病合併症の心不全患者における SGLT2 阻害剤とループ利尿薬の併用による尿酸値と BNP の変動

第 29 回日本医療薬学会年会 2019

○堀井 一輝、山下 功祐

順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科

慢性疼痛患者を対象としたロキソプロフェンナトリウムの先発医薬品と後発医薬品における臨床的効果の比較検討

○植松 卓也

第29回日本医療薬学会年会 2019

順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科

論文

ATP分析と細菌検査による調剤機器の衛生状態および調剤時の手指衛生状況調査

○植松卓也 1), 松浦亨 1), 鈴木美沙子 2), 後藤由紀子 2)

1 順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科, 2 順天堂大学医学部附属静岡病院検査科

日本病院薬剤師会雑誌 55(9): 1063-1069 2019

## 2020年度の目標

- ① 研究活動の充実と臨床スキル（薬学的管理）の向上  
6病院合同研究会の開催 人事交流によるキャリアパスの取得など。
- ② 改正薬剤師法に準拠した医薬品適正使用および医療安全への貢献  
医薬品安全管理マニュアルの見直し（継続）
- ③ 調剤のロボット化、IT化をすすめる。

## 3-2 栄養科

### 業務実績

#### (1) 栄養管理業務

- ① 医師の指示のもとに、外来患者および入院患者へ栄養食事指導を実施した。  
糖尿病の教育入院(2週間)が毎週定期的にあり、入院中には患者に寄り添った栄養食事指導を行い、退院後も定期的にフォローアップを行った。糖尿病療養指導士の取得者は3名である。栄養指導実施件数の推移は2017年度3,352件、2018年度3,484件、2019年度3,593件であった。
- ② 栄養サポートチーム(NST)を中心に、患者の栄養状態改善を図るため、毎週木曜日にNST回診を実施した。管理栄養士が活動をまとめる中で、NSTリンクナースを中心に活動はより充実し、回診方法等の定期的な見直しを行った。NST専門療法士取得者は、管理栄養士2名、看護師2名、薬剤師1名となり、それぞれの立場から専門性を発揮し、連携を深めた。NST介入延べ患者数の推移は2017年度844人、2018年度873人、2019年度860人であった。また、他職種にて摂食・嚥下向上チームを立ち上げ、さらなる改善・向上に取り組んでいる。

#### (2) 給食管理業務

- ① 適時適温給食の実施、安心して安全な食事の提供を行なった。
- ② 医師の指示に従い、また患者の状態に寄り添った個々人の対応を行なった。
- ③ 年4回の嗜好調査により患者の希望を捉え、献立作成に生かした。
- ④ 選択メニューを実施し、患者満足度を向上させた。

①給食実施状況 (単位:食)

区分	食種名	食数
一般食	常食	176,666
	授乳食	8,175
	お祝い膳	786
	学童食	1,819
	小児食	3,911
	離乳食	756
	軟食	69,292
	流動食	5,650
	小計	267,055
	特別食	エネルギー塩分食
蛋白コントロール食		21,962
糖質調整食		66,989
胃腸病食		19,204
脂質制限食		6,823
低残渣食		2,717
無菌食		350
注腸食		1
濃厚流動食		43,605
ミルク		30,045
小計	223,801	
患者合計	490,856	
職員合計	81,795	
付添い合計	1,253	
おやつ合計	3,807	
5回食合計	1,428	

②栄養食事指導実施状況 (単位:件)

区分	指導名	入院	外来	合計	
個人指導	糖尿病食	514	731	1245	
	腎臓病食	159	87	246	
	減塩食	806	170	976	
	肝臓病食	48	20	68	
	胃腸病食	286	8	294	
	肥満食	4	13	17	
	脂質異常食	11	48	59	
	痛風食	0	3	3	
	貧血食	0	2	2	
	高血圧食	6	8	14	
	その他	242	59	301	
	小計	2076	1149	3225	
	集団指導	指導名	回数	人数	
		糖尿病教室	26	132	
心臓病教室		26	139		
糖尿病会食		10	40		
母親教室		10	57		

③NST介入延べ人数(各科別)

診療科	延べ人数
膠原病内科	18
消化器内科	76
呼吸器内科	85
血液内科	72
腎臓内科	51
糖尿・内分泌内科	1
外科	129
脳神経外科	53
循環器科	72
心臓血管外科	84
呼吸器外科	8
脳神経内科	29
整形外科	33
形成外科	15
救急診療科	80
小児科	0
眼科	0
耳鼻咽喉科	3
産婦人科	26
皮膚科	6
泌尿器科	19
メンタルクリニック	0
合計	860

### 3-3 放射線室

放射線室実績（2019年）

放射線業務患者数（単位 人）												
	単 純	ポータ	造影	Angio	C T	MR I	骨密度	マンモ	R I 検査	PET /CT	放射線 治療	月 計
1月	6383	2518	301	213	3644	1205	13	94	91	66	347	14875
2月	6087	2349	320	227	3253	1146	114	92	79	80	428	14175
3月	6737	2435	261	238	3776	1239	156	153	87	82	492	15656
4月	7690	2534	297	209	3693	1367	141	92	91	74	414	16602
5月	6525	2595	293	198	3789	1277	147	111	93	78	427	15533
6月	6412	2525	304	223	3641	1316	138	120	90	54	430	15253
7月	6636	2544	357	204	3587	1364	154	158	98	72	392	15566
8月	6384	2555	322	169	3525	1292	120	128	84	72	430	15081
9月	6266	2299	302	202	3581	1204	120	115	84	54	443	14670
10月	6422	2441	333	196	3722	1350	144	205	83	80	477	15453
11月	6482	2452	299	195	3694	1304	138	170	79	75	532	15420
12月	6548	2640	281	219	3638	1307	132	147	89	75	578	15654
合計	78572	29887	3670	2493	43543	15371	1517	1585	1048	862	5390	183938

その他	
3 T	血管内 治療
MRI	
336	112
353	111
376	125
451	111
396	105
381	111
403	103
368	92
360	107
409	106
405	108
369	126
4607	1317

2019 年度 患者総計
183938 人

血管内治療 年間患者数
1317 人

3 T MRI 年間患者数
4607 人

#### 研究活動

1. 中村 登紀子  
Tha Reasons and Enviroment Prerenting Female RadiologicalTechndogists Improve Their career  
Prospects  
第 35 回診療放射線技師学術大会  
埼玉、2019 年 9 月 14 日
2. 中村 登紀子  
Digital Breast Tomosynteis における OSL 線量計を用いた深部線量測定 of 検討  
第 12 回中部放射線技師医療技術学術大会  
浜松、2019 年 11 月 30 日
3. 落合 史朗  
カテーテル アブレーションにおける C T 画像の運用について  
静岡 IVR 懇話会  
静岡、2019 年 11 月 30 日

#### 論文

1. 中村 登紀子  
A Survey About Breast Cancer and Manmmograph in The Philipines : Comparison  
between hospital employees and company employes  
Philipine association of radiological technologist.inc  
2019 年 12 月 19 日
2. 中村 登紀子  
A more accurate and safer method for the measurement of scattered radiation in X-  
ray examination rooms  
2019 年 12 月 19 日
3. 平入 哲也  
Dual energyCT を用いた仮想単色 X 線画像におけるビームハードニング改善効果に検証  
ファントムスタディ  
2020 年 2 月 20 日

2019 年度 放射線関連有資格者数 (全 49 名)

医学物理士 (1)  
第 I 種放射線取扱主任者 (2)  
医療福祉学研究科修士課程修了 修士 (1)  
保健衛生学修士課程修了 修士 (1)  
国際社会開発研究科修士課程修了 修士 (1)  
放射線治療品質管理士 (1)  
磁気共鳴専門技師 (1)  
放射線治療専門放射線技師 (2)  
救急撮影認定技師 (3)  
検診マンモグラフィー撮影認定技師 (5)  
X 線 C T 認定技師 < 6)

第 I 種作業環境測定士 (2)  
臨床実習指導者 (2)  
PET 研修セミナー修了者 (4)  
I-131 アブレーション外来治療適正講習会修了者 (1)  
日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 (4)  
放射線機器管理士 (3)  
被ばく相談員 (1)  
放射線管理士 (2)  
災害支援認定放射線技師 (1)  
医療放射線安全管理責任者 (1)  
医療画像情報精度管理士 (1)  
画像等手術支援認定放射線技師 (3)

### 3-4 検査室

#### 業務実績

平成 31 年度検査件数

	検体検査数	病理検査数 細胞診数	生理検査数 腹部エコー数	採血件数	委託検査数	総検査数
4 月	386,786	1,254	4,551	9,697	12,032	414,320
5 月	398,809	1,148	5,207	9,576	14,022	428,762
6 月	380,211	1,324	4,353	9,456	13,761	409,105
7 月	405,449	1,304	4,626	9,930	12,835	434,144
8 月	395,298	1,291	4,243	9,424	13,313	423,569
9 月	375,460	1,284	4,151	9,154	13,464	403,513
10 月	394,450	1,381	4,475	9,706	12,952	422,964
11 月	384,181	1,288	4,434	9,768	13,103	412,774
12 月	397,221	1,252	4,319	9,347	13,608	425,747
1 月	387,290	1,154	4,193	9,260	12,007	413,904
2 月	370,532	1,211	4,199	9,082	12,939	397,963
3 月	387,276	1,269	4,443	9,321	13,621	415,930
計	4,662,963	15,160	53,194	113,721	157,657	5,002,695
平均	388,580	1,263	4,433	9,477	13,138	416,891

検体検査数の内訳

	生化学	血清	一般	輸血検査 血型	血液 凝固	細菌	計
4 月	282,202	36,494	9,441	3,594	48,957	6,098	386,786
5 月	293,380	36,729	9,530	3,823	49,361	5,986	398,809
6 月	271,452	35,872	9,045	3,513	54,257	6,072	380,211
7 月	295,375	38,606	9,967	3,739	51,318	6,444	405,449
8 月	288,277	36,531	9,700	3,673	50,656	6,461	395,298
9 月	274,329	35,505	8,902	3,614	49,255	5,556	375,460
10 月	288,133	37,725	8,680	3,850	47,792	5,807	394,450
11 月	280,894	35,035	10,816	3,801	47,792	5,843	384,181
12 月	289,997	37,648	9,518	3,842	49,973	6,243	397,221
1 月	282,357	37,095	9,171	3,836	48,720	6,311	387,290
2 月	270,844	34,821	9,032	3,393	46,637	5,805	370,532
3 月	281,936	37,155	9,600	3,731	48,897	5,957	387,276
計	3,399,176	439,216	114,402	44,209	593,377	72,583	4,662,963
平均	283,265	36,601	95,334	3,684	49,448	6,049	388,580

## 研究活動

1. 学会発表
  - ・日本臨床微生物学会 学術集会 1 演題
  - ・日本臨床検査自動化学会発表 1 演題
  - ・静岡県東部血液セミナー発表 2 演題
2. 静岡県標準化事業 東部意見交換会開催
3. 順天堂6病院技師長会、各分科会において業務の標準化を進める
4. 毎月1回の検査室内勉強会(知得会)の開催 若手技師のプレゼンテーション
5. 日本臨床検査標準協議会より精度保証施設認定

## 資格取得状況

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| 1. 二級臨床検査士資格(延べ数) | 21 資格 |
| 2. 緊急検査士          | 5 名   |
| 3. 細胞検査士          | 4 名   |
| 4. 超音波認定技師        | 2名    |
| 5. 認定病理検査士        | 1 名   |
| 6. 衛生工学衛生管理者      | 1名    |
| 7. 遺伝子分析科学認定士(初級) | 1名    |
| 8. 認定精度管理検査士      | 1 名   |

## 3-5 手術室

### 業務実績

#### 1) 手術件数の推移

令和1年の年間手術件数 8555 件、定時外も含む稼働率は、88.9%であり、昨年度より 122 件/年増加している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	575	572	630	621	655	576	652	559	609	592	578	668	7,287
平成27年度	628	547	631	646	658	578	650	579	604	590	633	689	7,433
平成28年度	666	656	728	698	705	671	670	619	657	647	652	657	8026
平成29年度	587	626	703	691	743	715	735	691	704	678	717	736	8326
平成30年度	705	690	758	742	746	643	744	713	695	636	643	722	8437
令和1年	697	661	668	796	730	699	762	699	739	706	657	741	8555

#### 2) 手術室の有効利用

手術のインターバルは前期 33 分後期 31 分と短縮でき、手術室の稼働率は良好であった。

今後も各部門と連携し有効利用に努める。また、土曜日の手術枠調整、シャント室増設に伴い、核診療科の手術枠を増加したことも手術件数、有効利用に繋がった。

#### 3) 手術室看護師の業務効率化

前年度より引き続き、鋭利物混入の確認や廃棄の補助、機材の同時カウントにより時間短縮を図った。そして、キット化をより整備したことで、術前準備の短縮ができた。また、病棟との申し送りを麻酔科と協働することで、時間短縮が図れ、そのことが術前訪問・術後訪問件数の増加・術間短縮にもつながっている。今後も、業務効率化のために業務の評価、修正を適宜行っていく。また、業務の効率化を図るため、定期的にマニュアルの見直し修正を継続する。

#### 4) 手術室看護師の知識と技術向上

手術室では患者が安心・安全に手術を受けられるように術前訪問に取り組んでいる。術前訪問で得られた情報をもとに手術室環境の整備、周手術期の看護に活用している。また、術後訪問の実施により、看護の振り返りにつなげ、他部署との連携により手術看護の質の向上を目指している。今年度は、外来相談室での術前オリエンテーションをはじめている。入院前患者との関わりを持ち、より安全に安心な手術を受けてもらえる体制作りをしていく必要がある。

#### 5) コスト削減の推進

各診療科、用度課と連携をとり、手術室内の診療材料、衛生材料などの在庫の見直しを行った。

## 3-7 血液浄化センター

### 業務内容

腎臓内科専門医師 4 名・看護師 8 名・臨床工学技士 9 名、看護助手 1 名により運営された。移動困難な重症例は病室へ出張し、血液浄化療法を施行した。合併症の加療のため入院した維持透析患者の血液透析の管理を行い、他科からの依頼による単純血漿交換・二重濾過血漿分離交換・エンドトキシン吸着・血液吸着・顆粒球吸着などの血液浄化療法および腹水の濃縮還元療法を行った。近年、外科領域・神経内科・膠原病内科などにおけるエンドトキシン吸着・二重濾過膜血漿交換・血液吸着などの件数が増加し、血液浄化療法の適応が拡大している。また、悪性腫瘍の治療中に発症する急性腎障害や末期腎不全へなど Onconeurology 分野の業務が増加している。

### 診療実績

	HD	ECUM	PMX	PE	DFPP	血漿吸着	血液吸着	CHDF	CART	合計
26 年度	5,981	122	101	56	37	52	29	572	72	7,022
27 年度	5,136	120	137	56	7	52	90	838	84	6,520
28 年度	6,006	62	136	27	5	29	164	968	58	7,455
29 年度	5,650	80	168	56	31	144	161	1,021	77	7,388
30 年度	5,714	99	131	19	111	61	141	1,017	109	7,402
R1 年度	5,804	123	113	63	40	124	96	1,071	103	7,537

### 研究・教育活動

#### 英文原著

1. Wakabayashi K, Yanagawa H, Hayashi Y, Aoyama R, Shimizu Y, Tomino Y, Suzuki Y: Progressive Renal Dysfunction due to IgG4-Related Kidney Disease Refractory to Steroid Therapy: A Case Report. *Case Rep Nephrol Dial.* 9: 1-7. doi: 10.1159/000496465, 2019
2. Shimizu Y, Wakabayashi K, Hayashi Y, Hara K, Aoyama R, Niimi T, Tomino Y, Wada R, Hata M, Suzuki Y: MPGN Type 3 Associated with Pemphigus Herpetiformis Mimicking PGNMID and Dermatitis Herpetiformis. *Case Rep Nephrol Dial* 9:15-24. doi: 10.1159/000498939, 2019
3. Shimizu Y, Wakabayashi K, Totsuka A, Hayashi Y, Nitta S, Hara K, Akira M, Tomino Y, Suzuki Y: Exercise-Induced Acute Kidney Injury in a Police Officer with Hereditary Renal Hypouricemia. *Case Rep Nephrol Dial.* 2019 9: 92-101. doi: 10.1159/000501877, 2019

#### 和文図書

1. 清水芳男: 透析膜の種類と効果・限界. 血液透析の理論と実際. 富野康日己編, 中外医学社, 東京, p66-76, 2019

2. 清水芳男: IgA 腎症の発症にかかわる抗原刺激. IgA 腎症の病態と治療. 川村哲也, 鈴木祐介編, 中外医学社, 東京 p54-61, 2019

#### 学会発表

1. 原一彰、若林啓一、橋本彩、桑澤雅子、清水芳男、鈴木祐介. 多臓器不全と血球貧食症候群を来たし、成人発症 Still 病が疑われた一例. 第 64 回日本透析医学会学術集会・総会. 横浜. 2019 年 6 月 28 日-30 日.
2. 若林啓一、原一彰、明樂麻衣子、清水芳男、鈴木祐介. 好酸球増多症を伴った透析困難症の一例. 第 64 回日本透析医学会学術集会・総会, 横浜. 2019 年 6 月 28 日-30 日.
3. 岩崎裕幸、清水芳男、若林啓一、原一彰、岸田千晶、鈴木祐介. 多発性リンパ節腫大と腎機能障害を呈した IgG4 関連腎臓病の一例. 第 49 回日本腎臓学会東部学術大会. 東京. 2019 年 10 月 4 日-5 日.
4. 肥後 雅秀、清水 芳男、若林 啓一、中野 岳彦、丹原 圭一. 弓部大動脈手術時における低体温循環停止法 (DHCA) の腎機能への影響. 第 30 回日本急性血液浄化学会学術総会. 浜松. 2019 年 10 月 26 日.
4. 岸田 千晶、岩崎 裕幸、若林 啓一、清水 芳男. 内頸静脈エコー下穿刺による血流確保の試みーカテーテル感染の防止ー. 第 54 回静岡県腎不全研究会. 静岡. 2019 年 10 月 6 日.
5. 岸田 千晶、若林 啓一、岩崎 裕幸、原 一彰、清水 芳男. 関節リウマチ治療中にリンパ節腫脹がみられ、ネフローゼ症候群が続発した一例. 第 59 回静岡腎セミナー. 静岡. 2019 年 9 月 7 日.

### 3-7 臨床工学室

#### 業務実績

##### 人工心肺装置操作業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
業務件数	14	13	8	14	9	7	11	9	9	9	10	15	128

##### 血液浄化業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
HD	487	526	456	531	528	384	427	456	449	528	523	509	5804
ECUM	7	5	4	9	11	8	7	10	17	34	6	5	123
PMX	12	13	8	10	5	14	7	4	16	0	11	13	113
PE	0	6	3	0	2	0	3	12	14	3	7	13	63
DFPP	7	9	2	1	1	4	1	7	7	0	1	0	40
PA	8	5	32	30	0	1	1	10	19	11	1	6	124
HA	0	0	7	18	8	17	28	2	5	5	6	0	96
CHDF	144	76	78	91	98	67	21	125	112	48	100	111	1071
CART	12	14	13	12	12	5	10	8	4	5	5	3	103
合計	677	654	603	702	665	500	505	634	643	634	660	660	7537

##### 高気圧酸素療法業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
業務件数	44	18	35	13	57	41	63	45	32	23	26	47	444

心臓カテーテル室業務実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ポリグラフ	CAG	19	31	25	27	9	14	24	21	27	26	14	25	262
	PCI	63	54	42	55	39	69	61	65	64	51	44	47	654
	PPI	3	6	3	1	4	1	0	0	7	3	1	3	32
	PTA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右心カテ	1	1	1	5	1	3	2	1	1	3	3	0	22
	左心カテ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	両心カテ	1	1	0	2	0	0	0	1	2	2	1	1	11
	EPS	12	10	14	10	15	13	14	5	14	13	9	11	140
	Abration	11	9	13	10	14	13	14	4	13	12	9	11	133
IVUS		60	47	39	43	33	61	53	54	57	47	35	45	574
FFR		16	30	25	24	9	15	23	23	23	22	12	16	238
OCT		4	8	10	14	12	5	7	12	12	8	12	5	109
Rota		2	3	1	4	3	2	1	1	4	5	2	3	31
CROSSER		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IABP		5	4	8	12	5	8	6	4	12	6	4	9	83
PCPS		3	1	1	2	0	1	3	3	5	2	1	1	23
Pacemaker	植え込み	10	4	9	8	7	4	3	10	8	5	11	8	87
	交換	3	3	3	2	1	2	1	2	5	3	2	3	30
ICD	植え込み	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	7
	交換	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3
CRT	植え込み	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
	交換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ループレコーダー		0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3
SICD		0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	3

## 3-8 輸血室

### 業務実績

年間輸血検査件数

- ・血液型検査 (ABO、Rh) 11797 件 (時間外 3519 件)
- ・不規則抗体検査 10311 件 (時間外 2931 件)
- ・交差適合試験 10297 件 (時間外 1747 件)
- ・クリオプレシピテート調製 130 件
- ・新生児用輸血小分け調製 18 件
- ・緊急 O 型赤血球輸血対応 44 件

年間輸血使用量

赤血球製剤 13947 単位、自己血 552 単位、新鮮凍結血漿 6120 単位、  
血小板製剤 14530 単位

診療科別輸血使用量

	赤血球製剤	自己血	新鮮凍結血漿	血小板製剤
血液内科	3162	0	94	9415
心臓血管外科	2340	0	1812	2435
循環器科	1046	0	230	110
外科	1104	0	314	180
救急診療科	1136	0	694	240
整形外科	800	512	68	40
消化器内科	876	0	84	100
産婦人科	862	36	448	180
脳神経外科	544	0	134	560
泌尿器科	618	0	12	310
腎臓内科	222	0	604	30
呼吸器外科	80	0	18	0
呼吸器内科	174	0	18	160
新生児科	100	0	140	170
形成外科	54	0	2	20
麻酔科	542	4	1066	390
膠原病内科	56	0	60	120
皮膚科	8	0	0	0
耳鼻咽喉科	12	0	0	0

小児科	13	0	6	30
糖尿病・内分泌内科	14	0	0	0
脳神経内科	62	0	316	40
眼科	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0
メンタルクリニック	4	0	0	0
計	13945	552	6120	14530

廃棄（有効期限切れ、払い出し後の未使用・温度管理不備）

赤血球製剤 34 単位（廃棄率 0.2 %）

新鮮凍結血漿 12 単位（廃棄率 0.2 %）

血小板製剤 0 単位（廃棄率 0.0 %）

## 研究活動

学会発表（国内）

土屋明実、岩尾憲明、重光文子、白須智奈美、伊藤彩花、片山瑞希、小池道明

「MDS の経過中に D 抗原の発現が著しく減弱したと考えられる一症例」

第 66 回 日本輸血・細胞治療学会総会（令和元年 熊本）

## 3-9 看護部

### 【理念】

私たちは「仁」の心をもって、患者さんとご家族が満足できる最善の看護をめざします。

### 【基本方針】

1. 専門職としての倫理を遵守し、思いやりのある看護を実践します。
2. 根拠に基づく安全な看護を提供します。
3. 教育・実践・研究を通して看護の発展に貢献します。
4. 他の医療職者と協働し、健全な病院運営に参画します。
5. 地域と連携した看護を推進します。

### 【ビジョン】

大学附属病院、基幹病院としての機能強化し、看護の質向上を目指す。

### 【2019年度 目標】

1. 患者さんの尊厳を守り、安全で質の高い看護を提供する。
2. 外来・病棟が連携し、暮らしに視点を置き切れ目のない看護を提供する。
3. 働きがい・働きやすさを感じられる健康で安全な職場環境をつくる。

### 【2019年度 目標の評価】

目標1に関しては、誤薬・確認ミスの低減(322件以下)は409件発生しており目標達成できなかった。事故の発生要因は確認不足が多く、6Rの確認不足やダブルチェックが依存型になっており、機能していないことが挙げられる。次年度に向けて、点滴作成時の手順の見直しを行い、手元確認を強化し事故低減に努める。転倒・転落発生率は1.44%から1.91%へとわずかに増えた。危険度Ⅱの患者アセスメント不足による対応遅れが要因と考える。3b以上の転倒・転落率は0.04%目標のところ0.02%であり減少できた。センサーマットの使用や今年度導入した赤外線センサー使用により早期発見し対応できた結果と考える。褥瘡推定発生率は、1.86%で目標値0.71%を大きく下回った。医療機器関連圧迫創傷も目標値を下回っており、次年度は部署全体の大きな課題として管理者を中心に取り組んでいく。

目標2に関しては、介護支援連携指導書は360件以上目標のところ340件と目標値を達成できなかった。各部署のステージⅢ・Ⅲ超と合わせて地域連携を強化していく。また、外来看護師参加の退院カンファレンス件数も80件と実施件数が増加していることから、部署を超えての入退院支援を強化していくことで院内の連携も図れるため、積極的に取り組んでいく。

目標3に関しては、超過勤務時間は、外来・手術室部門では月1人平均14.31時間であった。一般病棟は22.6時間、特定病棟は18.56時間と差があった。いずれも全国平均と比較し高値であるため、次年度超過勤務削減に取り組んでいく。新卒離職率3.8%、既卒離職率8.9%と全国平均より低く、評価できる。

次年度は患者さんの尊厳を守り、安全で質の高い看護、暮らしに視点を置き切れ目のない看護提供ができるよう取り組んでいく。また、スタッフが働きがい、働きやすさを感じられ、ハラスメントのない心身ともに健康な職場環境を整え、看護職員の定着と育成のため、ペアナーシング制が充実するよう働きかけていく。

# 2019年度 看護部 BSC

	戦略目標	重要成功要因	成果指標(成果尺度)	目標値	中間評価	期末評価(2月)	担当部署
財務の視点	病院運営に参画	看護が関係する収益の向上	①平均在院日数	11日以下	11.3日	11.4日	入院業務課
			②病床回転率	一般病棟3.0 特定病棟5.5	一般病棟2.8(7月) 特定病棟5.2(7月)	一般病棟2.8 特定病棟5.1	入院業務課
顧客の視点	患者・職員満足度の向上	1. 安全・安心な療養環境の提供	①薬剤 確認ミスの低減	322件以下	156件	409件	看護医療安全 対策委員会 看護安全管理課
			②転倒・転落率 3b以上の転倒・転落率	1.44%以下 0.04%以下	1.88% 0.02%	1.91% 0.02%	
			③看護手順(輸液管理)遵守率	90%以上	62.0%	86.0%	
			④アルコール手指衛生使用回数/患者/日	自部署の目標値に到達する	1/16部署	2(3B・6A)/16部署	看護感染対策委員会 看護安全管理課
			⑤看護手順(防護具の着脱)遵守率	1回合格率70%以上	実施中のため期末で評価	75%	
			⑥褥瘡推定発生率	0.71%以下	1.69%	1.86%	褥瘡対策委員会
			⑦医療関連機器圧迫創傷発生率	0.27%以下	1.02%	1.69%	
			⑧褥瘡関連看護計画立案率	50%以上	77%	71%	
			⑨BCPに基づく防災時看護師活用の内規作成	完成	9月～ワーキング開催	完成	災害対策委員会
			⑩術後・処置後の鋭利物廃棄忘れ件数	40件以下	9件	29件	外来業務課
2. 患者満足度の向上	①患者満足度調査(入院・外来)結果口	やや満足・とても満足の向上	11月調査予定	結果済み (報告書別紙)	外来・入院業務課		
	②看護職員身だしなみ・応対調査	できていない人:0%	身だしなみ全項目平均 0.92% 品位ある対応全項目平均 4.75%	身だしなみ全項目平均0 0.5% 品位ある対応全項目平均 2.09%	接遇・マナー委員会		
	③ご来院皆様の声(苦情割合)	苦情率:9.53% 以下	16.67%	14.20%	接遇・マナー委員会		
3. 職員満足度の向上	①WLBINDEX調査	上司・職場環境・キャリア認識前年 度より5%上昇	調査中	別紙参照	看護総務課		
	②超過勤務時間減少	20時間以下	18:52	一般:22.6 特定18.56 外来・手術14.31/月末			
業務プロセスの視点	1. チーム医療実践の向上	①介護支援連携指導書の件数	360件以上	141件	340件	入院業務課	
		②退院時共同指導書の件数	120件以上	59件	121件		
		③外来看護師参加退院カンファレンス件数	70件以上	33件	80件	入院業務課 外来業務課	
	2. 適正な看護記録の記載	①「看護記録」の監査と評価のフィードバック ②自部署監査 2回/年	部署課題の改善	6月の1回目の監査結果から自部署の課題、取り組み計画の立案を実施。 12月に2回目の監査を実施し評価。	6月、12月に自部署監査実施 9/14部署が改善項目増加	記録委員会	
		③「重症度、医療・看護必要度」の監査と評価のフィードバック 委員会監査 3回/年、自部署監査 1回/月	1、ナースングスキル(テスト:100点) 2、評価者研修参加全員 3、適切な評価(記載漏れの内容) 4、部署監査集計 3回/年 5、部署監査 1回/月	1、ナースングスキル100点率97% 2、受講率87% 3、監査結果:判断ミス50%記載なし34%記載あり入力なし19% 4、1回/年 5、毎月	1、ナースングスキル100点率98% 2、受講率93% 3、監査結果:判断ミス22.8%記載なし31.5%記載あり入力なし7.8% 4、3回/年 5、毎月	必要度委員会	
		④「キャリアラダー別調査・看護の核となる実践能力・基礎的役割遂行能力・自己教育・研究能力」	ラダー別A評価8割以上	期末評価	別紙参照	教育課	
1. 臨床実践能力の向上	①院内研修会(与薬・転倒転落・感染)研修参加率(ビデオ聴講も含む)	100%	98%	与薬151% 転倒転落78% 感染 57%	看護医療安全対策委員会 看護安全管理課		
	②個人目標達成度	平均80点以上	期末評価	77点	教育課		
	③看護研究発表者数(年報より)	27件以上	期末評価	22件			
2. 自己教育力の向上	④院外研修参加数	50%以上	期末評価	36.3%			

2019年度 看護部委員会 成果と課題

2019年3月31日

	成果指標	目標値	結果	年間評価
医療安全	薬剤確認関連事故件数	261件以下	289件	年1回の院内ラウンドの中で、危機管理委員会の内容把握において確認すると、ほとんどのスタッフが返答できていない現状があった。次年度は、内容の周知徹底方法についての具体的な対策の立案が必要である。輸液管理手順の改訂があり、手順遵守に対して取り組みを行った。目標値に到達していない部署がある。手順のどの部分が行っていないのかを把握し、次年度の取り組みに繋げていく。各部署の課題に対しての取り組みについては、ほとんどの部署が実施、評価を行っていた。しかし、部署によっては、ナーシングスキルと自部署の手順の照らし合わせまでしかできていない。リンクナースでの引き継ぎをしっかりと行ってもらい、実施、評価まで繋げていく。3b以上の転倒転落率は目標達成。リンクナースの目標達成度もほぼ目標達成されている。リンクナースの自己研鑽を課題解決取り組みに繋げ、安全な看護の提供を行っていく必要がある。
	転倒転落率	1.44%以下	1.91%	
	3b以上転倒転落率	0.04%以下	0.02%	
	リンクナース目標達成度	80%以上	77%	
	輸液管理手順遵守率	100%	86%	
	各部署課題に対する取り組み	80%以上	76%	
	医療安全危機管理委員会参加率	100%	98%	
	院外研修・講演会参加率	80%	61%	
感染対策	CLA-BSI感染率が改善した部署数	4/4部署	0/4部署	リンクナースが自部署の問題を分析し、目標の数値化、具体的なアクションプランのもと1年間活動を行った。その結果、成果指標11項目のうち達成できたのは3項目のみであった。特に、感染予防に直結するアルコール手指衛生使用回数、それと関連するアルコール手指衛生の実施率・遵守率も伸び悩んだ。この背景として、リンクナースによる手指衛生モニタリングの力量の差(観察視点の甘さ)や自部署への結果のフィードバックの差が要因であったと考える。また、血流・尿路感染率を改善するための取り組みにおいても活動に差があり、十分な結果が得られなかったと分析する。以上の結果を受け、次年度はリンクナースが適切な知識・技術のもと各種監査(手指衛生・環境整備・サーベランス)ができること、自部署スタッフへのフィードバックや指導的関わりができることが課題である。この課題がクリアすることで部署毎の感染対策の質向上を目指していきたい。具体的なケア介入が実践できる看護師の育成を目的に、リンクナースの教育に力を入れる必要がある。
	UTI感染率が改善した部署数	14/14部署(2C・新生児以外)	4/14部署	
	手指衛生遵守率70%以上達成部署数	11/22部署	5(2C・3A・5A・5C・9A) / 22部署	
	アルコール手指衛生使用回数/患者/日の自部署の目標達成部署数	16/16部署(病棟のみ)	2(3B・6A)/16部署	
	計画達成度が1/3点以上の人数	13/22人	13/22人	
	リンクナースの補佐を1人以上育成	22/22部署	12/22部署	
	リンクナース用チェックリストによる監査数(環境監査)	毎月(8回/年)	8回/年	
	リンクナース用チェックリストにて80点以上の部署数	22/22部署	21/22部署	
	経路別対策の実施率が60%達成した部署数	16/16部署(病棟のみ)	7(2C・新生児・3EICU・5C・6A・7A・9A) / 16部署	
	研修参加2回(感染・抗菌薬)以上	22/22部署	19/22部署	
手指衛生+PPE研修1回目での合格率	70%	75%		
褥瘡予防対策	褥瘡発生件数	130件以下	147件	褥瘡発生件数、医療機器関連圧迫創傷の件数ともに目標値の達成には至らなかった。要因としては研修参加率に表れているように、褥瘡発生を問題視する意識が全体的に乏しい傾向にあることが考えられる。看護計画の立案率は昨年と比べ上昇しているが、計画に基づいた実施ができておらず褥瘡発生、医療関連機器圧迫創傷の発生となっている。リンクナースは年間計画をたて部署にて目標に向かって活動をしているため目標達成度は、目標値への到達はしていないものの66%と中間評価より上昇することができている。しかし、働きかけが有効となっていない。計画の評価を実施し、具体的にケアをイメージしてリンクナースが関わっていけるように、委員会としてサポートしていく必要がある。次年度は、委員会の回数を増やし、リンクナースのサポートを強化すること、委員会として具体的な手技の習得と改善に向けて活動を行っていくことが課題である。
	医療関連機器圧迫創傷発生件数	120件以下	224件	
	リンクナースの活動充実度	平均70%以上	67%	
	褥瘡発生者の予防ケアの立案率	50%	71%	
	リンクナースの目標達成度	平均80%以上	66%	
	研修参加率	60%以上	20%	
災害対策	1.看護師の具体的な参集人数の把握	1.各部署の夜勤・日勤時の参集者シミュレーション最低1回ずつ	看護管理会議にて開催1回	看護部参集基準を作成し、看護管理会議にて、参集可能なスタッフ数の把握を行った。委員会メンバーにおいては生活圏のマッピングを作成したが、スタッフ移動に伴う更新ができなかった。管理師長のアクションカードの作成のもと、看護管理会議でシミュレーションを行い、周知を図った。次年度も継続した活動を行い、新師長向けのシミュレーションも実施する予定としている。
	2.各部門のスタッフの生活圏マッピング作成	2.各部署スタッフの生活圏マップ作成完了	達成	
	3.日直・夜勤管理師長のアクションカード作成	3.管理師長アクションカード作成完了	達成	
	4.発災から24時間までの看護師活用ルール策定	4.看護師活用ルール内規の作成(受援体制も含む)	達成	

		成果指標	目標値	結果	年間評価
記録検討委員会	クリニカルパス	在院日数	10日以内	11.4日	パス使用率は、45.6%と昨年度より増加しているが目標値までには至らなかった。要因の一つに、医師の異動等の理由により、使用率が低下してしまう時期が存在することが考えられる。 新規パスの作成や既存のパスの見直しの件数は増加傾向である。これは、今年度初開催したパス大会による知識の向上やパス作成のレクチャー等の影響が考えられる。しかし、在院日数を見ると11.4日と前年度から横ばいである。次年度の課題として、使用率を維持・向上させるために、新任医師への対策やバリエーション調査から精度の高いパスに改良していく必要があると考える。引き続き、パス大会の開催を行い、他職種で連携していける仕組みを構築していきたい。
		パスの使用率	50%	45.6%	
		新規パス数	プラス30件	38件	
		既存パスの見直し件数	50件	60件	
		勉強会の開催	3回/年	3回/年	
		院外研修の参加人数	1名/各病棟(12名)	6名	
	記録	現任研修での看護記録研修	看護記録STEP1、2の開催	7月、10月に開催	他部門や他職種との連携が見える記録、診療報酬の算定に必要な記録が漏れなくできることを目指し、記録監査を重点に活動を行った。外来部門は、監査票を見直すことから活動を開始した。監査は、リンクナースだけでなく、研修を終えた病棟スタッフを巻き込んで実施し、それをフィードバックすることで、病棟の記録の質の向上を目指した。記録の効率化も目標に掲げ、記録時間の短縮に向けた各部署の活動も実施した。身体抑制に関する記録については、テンプレートを作成し、記録と監査双方ともに効率化を図ることができた。
		部署に合った記録監査の実施	外来部門の記録監査用紙作成	作成済	
		各部署での記録監査の実施	年2回の記録監査実施	6月、12月に実施	
		記録監査結果の向上	前期と比較して後期の向上	9/14部署が向上	
	必要度	必要度割合の維持	一般25%・重症70%・ハイケ780%以上	一般32%重症 3A81%3E4.9%ハイケ797.9%	正しい評価が行え、施設基準が遵守できるように、評価を行う病棟看護師の受講率を各病棟の師長の協力の元多数の参加を得ることができた。学習の効果や他職種との連携もあり必要度の割合も達成できている。評価の根拠となる患者状態の記録のテンプレートの見直しを行い、わかりやすく評価した状態を記録に残すことができるようになった。病棟に持ち帰り、多数の看護師の意見を聞きながら反映させることができた。次年度は、診療報酬の改定があるため改定に速やかに対応していきたい。
		自部署監査	3回/年	3回/年	
		院内研修(3時間1時間含む)	評価対象病棟看護師	441/472名受講率93%	
		B項目テンプレート見直し	グループワーク検討	3回検討 2/1~新テンプレート開始	
	マナー向上委員会	ご来院の皆様の声 苦情率	9.53%以下	14.22%	自己・他者評価を病棟で実施後に院内ラウンドをコアメンバーで実施し、身だしなみの改善を図った。目標値には到達できなかったが、中間値より改善にはつなげることができた。身だしなみは接遇の基本であり、継続して活動することで改善を図る必要がある。また、病棟毎で身だしなみに対する意識の違いが大きく、接遇の基本であり病棟の取り組みとして意識変革の取り組みが必要だと考える。
身だしなみ 部署評価		全項目 0%	0.50%		
品位ある応対 部署評価		全項目 0%	2.09%		
キャリア開発委員会	研修評価	70%以上	98%以上	現任研修では新人:99.1、I:98.3、II:99.3、III100%と評価を得た。委員会内で研修内容の検討と評価を行い、次年度に向けラダーレベルに合わせた研修内容の再検討を行った。また、事前課題でナースングスキルを活用しているが、ラダーI認知症、看護倫理、新人看護師のエンゼルケアについてはナースングスキル視聴の研修とした。今後集合研修の形式を検討していく必要がある。今年度コンピテンシー第2ステップ事例検討を2事例ずつ行った。委員会メンバーがファシリテーターとなり、フィードバックを行い支援した。次年度昇格者は自部署での学習支援となる。	
	管理ラダーI 管理的側面自己評価	昨年度より増	59%		
	研修企画・運営支援	現任教育検討	毎月実施		
	ナースングスキルを活用した研修企画	研修要綱の作成	3項実施口		
	コンピテンシー学習会	第2ステップ事例検討実施	毎月2事例実施		
基準手順委員会	各部署の基準・手順、パンフレットの監査	5.6月回収分年度末すべて終了	終了	看護部業務基準看護師長業務手順は適宜修正。看護基準は主任会を通し各病棟主任へ依頼し、次年度までの継続となった。補助者・事務員業務手順の見直しは、終了した。患者説明用パンフレットは、マニュアル作成し、師長業務マニュアルに入れ、新規申請のものは、その都度検討を実施。運用は継続となり、申請時に対応していく。次年度は、看護基準の見直しとともに、新規パンフレットの検討を継続していく。また、研修に参加し、知識を深めていく。	
	マニュアルの完成	年度末にマニュアル完成	完成 終了		
	基準手順5項目見直し	年度末にすべて終了	3項目終了 60%		
	委員会での情報収集、共有	毎月実施	毎月実施 100%		
	院内、院外研修参加率	1人1回以上参加 100%	14%		

2019年度 看護部責任者・他部門看護師責任者の配置

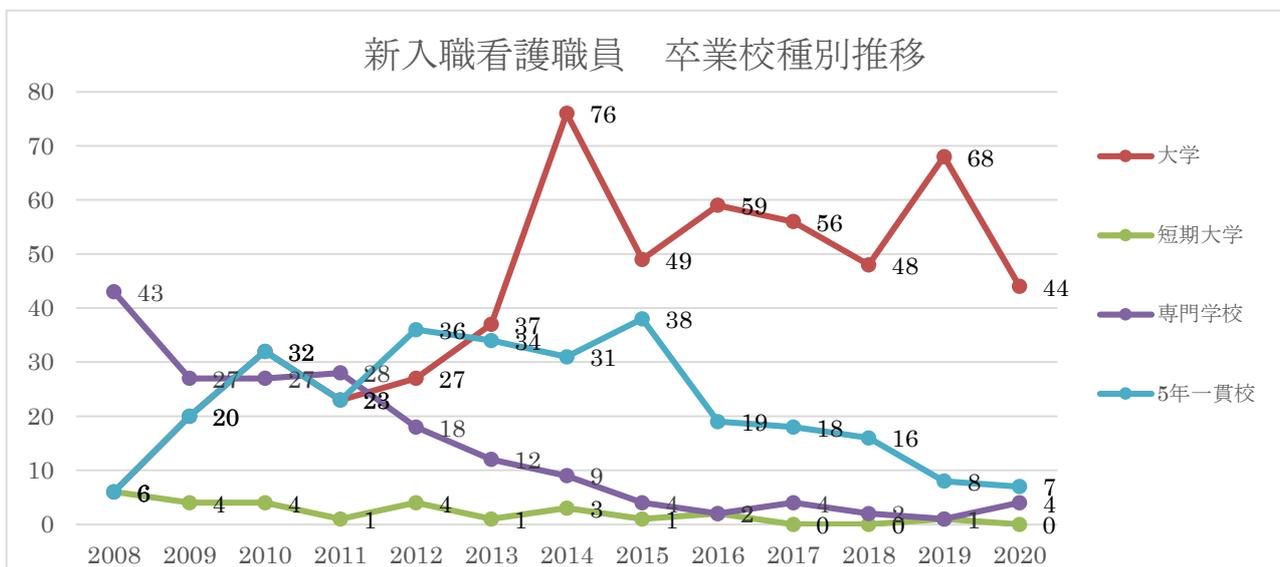
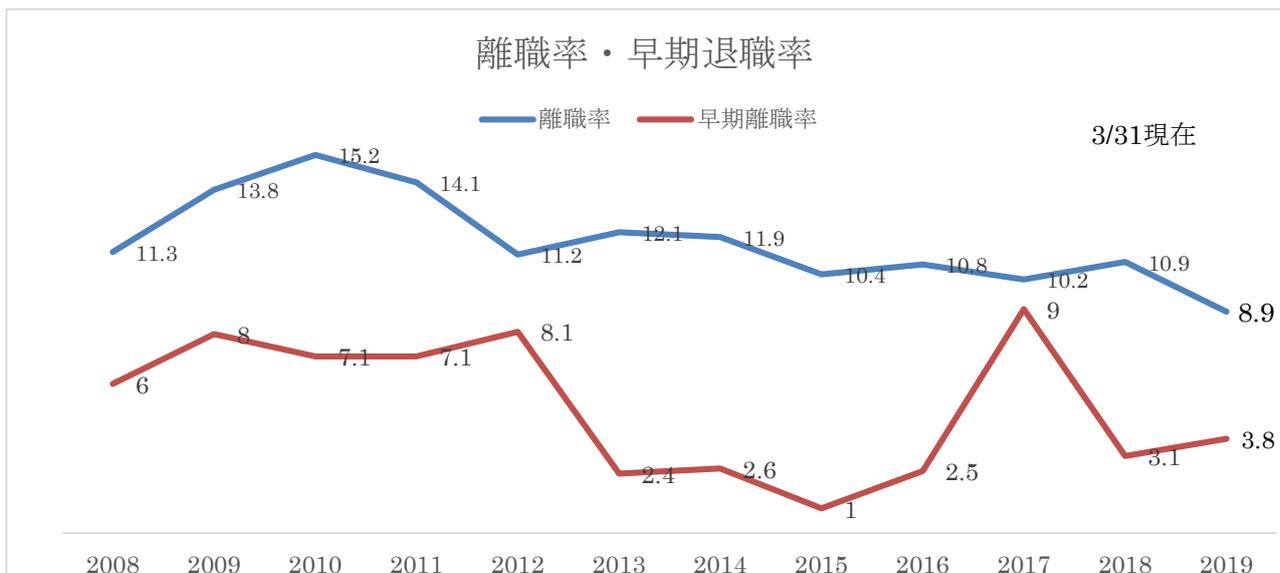
2019年4月1日

2019年度 看護部責任者・他部門看護師責任者の配置				
				看護部
病棟	病床数	主な診療科	師長	主任
A棟 3階 3A	20	救命救急センター ICU・CCU	野澤 陽子	多田 真也・鈴木 英子
A棟 5階 5A	33	産婦人科	栗原 未黄	三角 百合子・石井 彰子
MFICU	6			勝又 理恵
A棟 6階 6A	56	脳外・形成・救急診療科	佐々木 史乃	飯田 沙耶香・山口 嘉美
A棟 7階 7A	56	外科・呼吸器外科	鈴木 美佐	飯田 敏秀・石田 桃子
A棟 8階 8A	52	循環器・心外・血内	山本 希	綾部 彰美・土佐谷 忍
A棟 9階 9A	36	混合（全個室）	三枝 英美	古屋 曜子
B棟 3階 3B	38	耳鼻科・泌尿器・整形・救急	村田 文明	長谷川 亜弥
B棟 4階 4B	47	脳内・眼科	宮澤 初美	森 みどり・佐野 安由美
B棟 5階 5B	46	整形	藍澤 真澄	土屋 智洋
C棟 2階 2C	16	小児科	佐々木 智子	増田 友香
C棟 3階 3C	37	消化器内科・外科	加藤 清美	加藤 和歌子
C棟 4階 4C	33	呼内・腎内・皮膚科	土井 尚美	渡辺 ひとみ
C棟 5階 5C	44	婦人科・内科系	田村 美紀	小柴 安奈・松岡 なつみ
E棟 2階	12	NICU	長谷川 智美	大木 直美
新生児センター	18	GCU		田爪 千里
E棟 3階 3E	20	救命救急センター 全科	長友 節子	松尾 正人
E棟 3階 3EICU	7	全科 術後ICU	島田 奈津美	山崎 裕也
病棟合計	577	16病棟 18看護単位	16	25

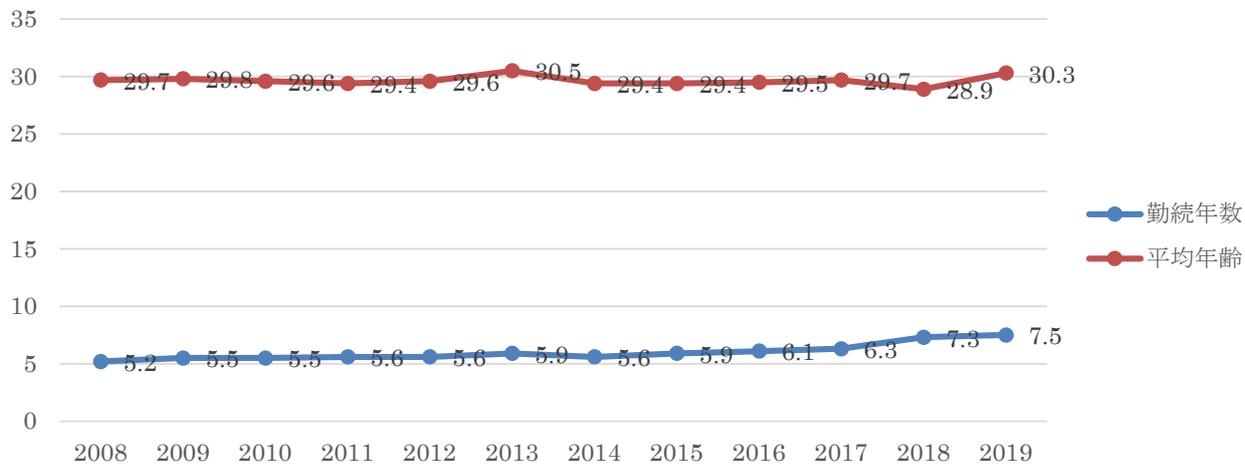
外来部門	ブロック	診療科	師長	主任
A棟 2階・(1階)	A	循環器・外科・心外・呼外 脳外・整形・形成・(泌尿器科)	杉山 希	望月 佳澄
B棟 2階	B	脳神経内科	(宮澤 初美)	三島 めぐみ
		耳鼻科	(村田 文明)	
		小児科	(佐々木 智子)	
A棟 2階	C	消内・血内・腎内 呼内・膠内・糖内・麻酔科 メンタルクリニック	杉山 希	瀧田 千草
E棟 1階		眼科		
A棟 1階	B	皮膚科	(土井 尚美)	一杉 あけみ
A棟 1階		産婦人科	(栗原 未黄)	
E棟 1階		救急外来	(野澤 陽子)	勝間田 敏宏・石倉 美穂子
D棟 地下	検査 部門	アンギオ・シネアンギオ	櫻井 操	
F棟 1階		回復室・CT室・内視鏡		
G棟 1階		がん治療・予防医学センター		
F棟 2階		血液浄化センター		
F棟 地下		放射線治療		
A棟 4階・3階	手術・ 滅菌室		山口 礼	藤本 ゆうこ・内田 佳月
合計			3	8

看護部		氏名	他部門	
役職			部門	師長 主任
部長		堀江 みどり	医療安全推進センター 感染対策室 医療安全管理室 医療サービス支援センター 医療福祉相談室 患者・看護相談室 療養支援	
看護総務課 課長		堀込 克代		長富 美恵子
入院業務課 課長補佐		荻島 真弓		高橋 真紀子
外来業務課 課長		田中 ひとみ		
看護安全管理課 課長		矢田 みどり		山下 小夜子 森 久美 渡邊 光香
	主任	杉山 美和		
看護教育課 課長補佐		濱口 真知子		
	師長	間部 幸	白川 啓子	
役職者数（合計）	67			渡邊 あつ子
部長・課長	1・5			
師長	24	(看護部 20 他部門 4)		
主任	37	(看護部 34 他部門 3)		

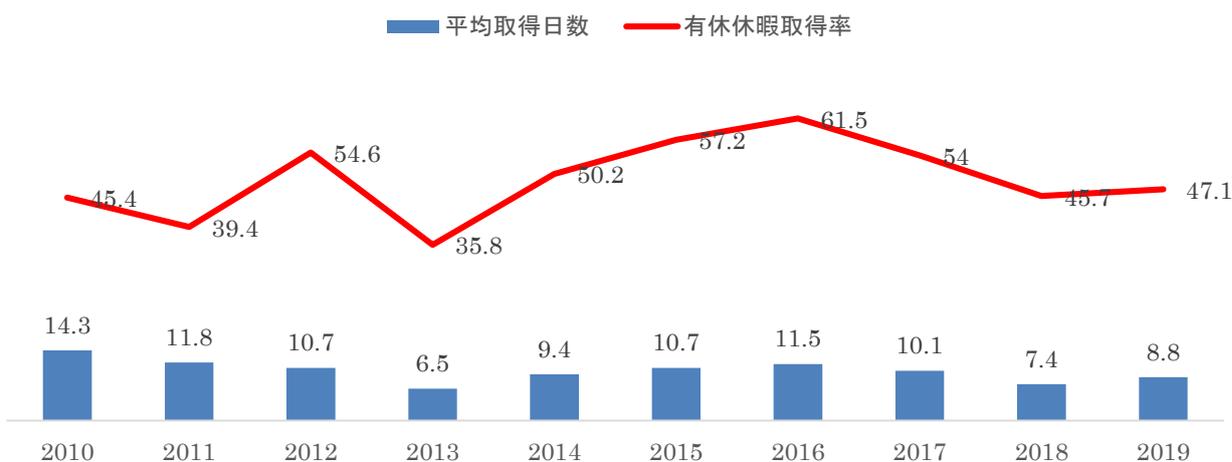
### 3-9 (1) 看護総務課



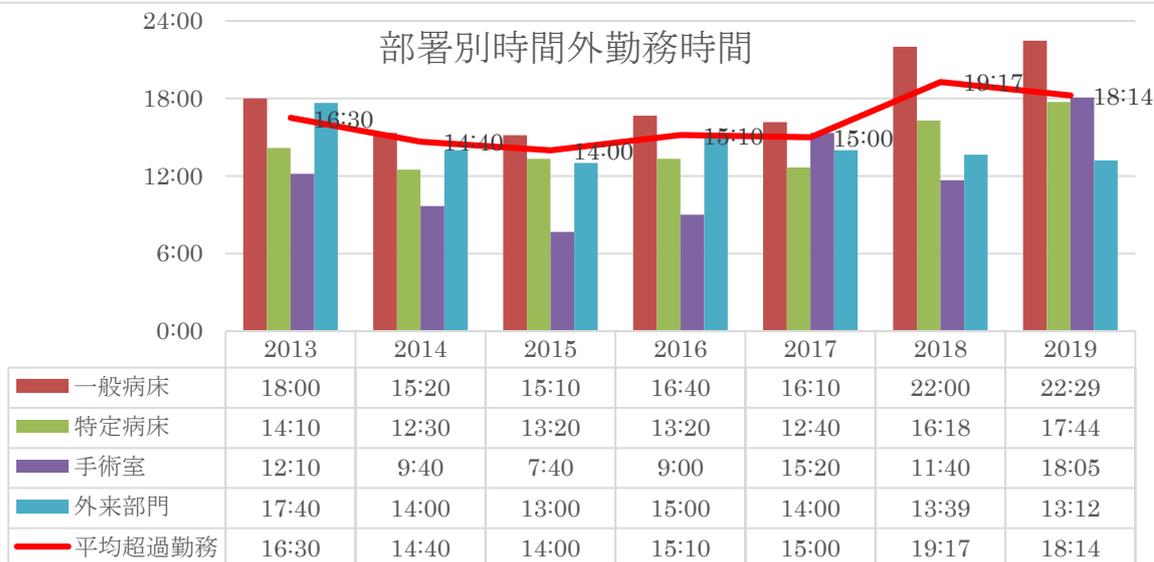
### 看護職員勤続年数・平均年齢



### 年休取得率と平均取得日数



### 部署別時間外勤務時間



## 3-9(2) 看護外来業務課

### 1. 外来

1) 「外来」と「病棟」、「外来」と「地域」の連携強化を目的に活動してきた。退院後初診の患者に関しては、退院時の継続看護問題についてや退院時指導が活かされているか、患者の状態を把握し病棟と連携して看護できるように記録することが定着した。看護記録は 28286 件/年で外来看護を記録することが徹底されている。また病棟－在宅－外来とシームレスな連携を図る目的で、「外来スクリーニングシート」を作成後、70 件/月実施し入退院支援の必要な患者の情報を入退院支援室と情報共有してきた。地域との連携においては、「在宅間連携シート」と「電話相談」件数が 261 件/年で、地域との情報共有を実施した。

更なる看護連携のために、外来看護記録の充実に向けて電子カルテ内で外来での継続看護の可視化や地域との連携が必要な患者の評価が統一できるようにシステムを再構築することを計画している。

2) 2019 年度末から、「外来」と「病棟」の一元化を撤廃した。外来と検査部門を 4 ブロックに編成し、ブロック内での相互支援が実施できるようにした。休暇や超過勤務に偏りがないように労働環境の改善につながっている。

#### 3) 専門分野による看護指導件数

	2018 年度	2019 年度
リンパ浮腫指導件数	108 件	58 件
骨粗鬆症指導件数	202 件	145 件
間歇導尿指導件数	51 件	47 件
禁煙看護指導件数	78 件	73 件
自己血輸血件数	211 件	370 件
糖尿病療養指導件数	-	93 件

#### 4) 外来部門各資格者数 (2019 年度 有資格取得者を含む)

- ・リンパ浮腫療法士 (1 名)
- ・学会認定骨粗鬆症マネージャー (1 名)
- ・学会認定内視鏡検査技士 (5 名)
- ・学会認定臨床輸血看護師 (1 名)
- ・学会認定自己血輸血看護師 (1 名)
- ・快適 CIC 指導士 (間歇導尿指導) (2 名)
- ・静脈注射造影剤コース院内認定看護師 (9 名)
- ・日本禁煙学会禁煙認定指導看護師 (2 名)

- ・インターベンションエキスパートナース（2名）
- ・日本リウマチ財団 リウマチケア看護師（1名）
- ・肝疾患医療コーディネーター（2名）
- ・特定化学物質作業主任者（3名）
- ・有機溶剤作業主任者（1名）
- ・ホスピタル・プレイ・スペシャリスト（1名）
- ・糖尿病療養指導士（1名）
- ・腎臓病療養指導士（1名）

## 2. 手術室

- 1) 2019年度の年間手術件数 8,555 件、定時外も含む稼働率は、89.3%であり、昨年度より 118 件/年増加している。  
手術室を効率よく運用するために、術間清掃内容や人員、部屋準備時の看護補助者業務の見直し等委託業者の協力を得、術間のインターバルを 30 分に短縮し、効率よく手術室の活用ができています。
- 2) 術間のインターバルを 30 分にして手術を実施しているが、手術室入室時の書類の不備や患者の身体的な準備が整っていないなどの不備による入室の遅れが、20 件/月あり定期的に不備状況について注意喚起している。
- 3) 手術が効率的に実施され、術前術後訪問に行く時間の確保ができたことや手術室看護師の患者が安全・安心に手術を受けられるようにという意識の下、患者訪問が実施されている。術前より患者と良好なコミュニケーションをとることで、不安の軽減や合併症予防など術中看護計画立案に反映されている。また、術後訪問を実施し、手術室環境や手術看護実践の評価をし、看護師の振り返りにつなげたり、周術期に携わる看護師と継続問題の情報共有をしている。
- 4) 手術室での褥瘡発生件数は 2018 年度 24 件から 2019 年度 7 件と減少し、このうち術中に発赤し重症化した件数は 0 件であった。手術室入室時・退室時の皮膚観察の徹底でスキントラブルの早期発見と迅速な対応に努め、術中のポジショニングや除圧について検証をして再発防止の徹底をしている。

## 3. 滅菌室

株式会社リジョイスカンパニーの業務が安定し、業者からは教育システムの強化、及び T-DOC システムによるバーコード管理の実施が進められているが、100%バーコード管理には至っていない。管理者間での情報共有と問題について検討を行い、問題が生じた際には迅速に対応されており、安全・安心な手術の一役を担っている。

### 3-9(3) 看護教育課

#### 業務内容

#### I. 2019年度 現任教育必修研修一覧

##### 1.必修集合研修一覧

月	日	研修時間	ラダー	研修名	研修内容(教育要綱参照)	担当者*担当責任者
4	27(土)	午前8:30~12:00 午後13:00~16:30(午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	医療安全研修	誤薬防止・転倒転落予防	医療安全管理課・医療安全委員会
5	13(月)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	I	指導者研修STEP1 (エルダー役割)	実地指導者(エルダー)になるための学習	勝又・教育課
	20(月)					
	17(金)	8:30~12:00	II	臨床実習指導者研修(1回目)	実習指導者の役割について	三角・本間・鈴木由
	23(木)	17:00~18:00	II	事例研究STEP2①	研究計画書の書き方・事例研究の進め方	田爪・山口嘉
	27(月)	8:30~12:30	III	リーダーシップ研修3①	SWOTを用いた現状分析	部長・教育課
6	29(水)	午前9:00~12:00 午後13:00~16:00 (午前午後入れ替え制)	介護福祉士・看護補助者	看護補助者技術研修	職業上知っておくべき倫理(身体固定を含む) AED使用を含む救急蘇生法	加藤和・渡邊美・内田千
	5(水)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制) 18日は午前のみ	II	指導者研修STEP2 (メンター役割)	後輩の成長を支援する指導者(メンター)となるために・成人教育とは	増田・鈴木英・内田佳
	18(火)					
	10(月)	午前8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	フィジカルアセスメントSTEP1	フィジカルアセスメント	瀬田・渡辺あ・一杉・石井 森島・野中
	20(木)					
14(金)	8:30~16:40	II	臨床実習指導者研修(2回目)	実習指導案について	三角・本間・鈴木由	
27(木)	午前9:00~12:00 午後13:00~16:00 (午前午後入れ替え制)	介護福祉士・看護補助者	看護補助者技術研修	職業上知っておくべき倫理(身体固定を含む) AED使用を含む救急蘇生法	加藤和・渡邊美・内田千	
7	3(水)	8:30~12:00	IV	看護倫理STEP4①	看護実践に必要な倫理	田村・宮澤・古屋・勝又
	8(月)	8:30~16:10	新人看護師以外	学内認定看護師教育課程静脈注射コース(1回目)		石倉・山崎裕・松岡・佐野ま・菊地
	5(金)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	看護記録STEP1	看護記録・看護過程1	古屋・記録委員会
	17(水)					
	26(金)	8:30~16:30	III	リーダーシップ研修2①	問題解決技法	松尾・多田・大木・(土屋智)
8	7(水)	13:30~16:00	介護・補助者・クラーク	看護補助者研修	医療制度・組織・安全・感染(標準予防策)	看護総務課・安全管理課・感染対策室
	9(金)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	I	フィジカルアセスメントSTEP2	教育要綱参照	土佐谷・倉田・松下・田代
	19(月)					
	14(水)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	多重課題・4か月の振り返り	多重課題・4か月の振り返り	渡辺ひ・佐野安・小島
	21(水)					
29(木)	13:30~16:00	介護・補助者・クラーク	看護補助者研修	医療制度・組織・安全・感染(標準予防策)	看護総務課・安全管理課・感染対策室	
9	3(火)	17:00~18:30	IV	指導者研修STEP3	指導3観について	教育課
	9(月)	8:30~16:10	新人看護師以外	学内認定看護師教育課程静脈注射コース(2回目)		石倉・山崎裕・松岡・佐野ま・菊地
	18(水)	8:30~12:00	III	看護倫理STEP3①	教育要綱参照	田村・宮澤・古屋・勝又
	18(水)	13:30~16:00	介護・補助者・クラーク	看護補助者研修	医療制度・組織・安全・感染(標準予防策)	看護総務課・安全管理課・感染対策室
	19(木)	17:00~18:00	I	看護研究STEP1 事例レポート	事例レポートの書き方	山口嘉・田爪
26(木)						
10	2(水)	13:00~16:30	IV	看護倫理STEP4②	教育要綱参照	田村・宮澤・古屋・勝又
	11(金)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	救急看護	急変時の対応・机上シミュレーション	藤本・望月佳・飯田秀・三島 ・稲葉・山田
	16(水)					
	21(月)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制) 30日は午前のみ	II	看護記録STEP2	記録の監査方法・指導	森み・記録委員会
30(水)						
11	6(水)	17:00~18:15	新人看護職員研修	退院支援・連携	退院支援の流れ・スクリーニングシートの書き方	森久美・渡邊光
	14(木)					
	28(木)					
	12(火)	17:00~18:30	II	実習指導リフレクション研修	平成30年度以前の受講生と指導の経験を語る会	三角・本間・鈴木由
21(木)	17:00~17:40	介護福祉士 全員参加	ケーススタディー・研修報告会	ケーススタディー発表・研修報告	教育課	
12	9(月)	8:30~16:10	新人看護師以外	学内認定看護師教育課程静脈注射コース(3回目)		石倉・山崎裕・松岡・佐野ま・菊地
	12(木)	16:30~17:30	III	リーダーシップ研修2②	問題解決技法成果発表	松尾・多田・大木・(土屋智)
	18(水)	17:00~18:30	III	リーダーシップ研修3②	SWOT成果発表	教育課
	19(木)	13:00~16:10	III	看護倫理STEP3②	事例発表会	田村・宮澤・古屋・勝又
1	15(水)	17:00~18:30	II	事例研究STEP2①	事例研究発表	田爪・山口嘉・各部署
	20(月)	午前8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	I	リーダーシップ研修1	リーダーになるための心構え	飯田紗・杉山美
	29(水)					
2	5(水)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	メンバーシップ研修	メンバーシップ・1年間の振り返り	勝間田・石田桃
	13(木)					
	19(水)	13:30~16:00	介護・補助者・クラーク	看護補助者研修	医療制度・組織・安全・感染(標準予防策)	看護総務課・安全管理課・感染対策室
	20(木)	8:30~12:00	II	臨床実習指導者研修(3回目)	実習指導実施報告会	三角・本間・鈴木由
	27(木)	13:30~16:00	介護・補助者・クラーク	看護補助者研修	医療制度・組織・安全・感染(標準予防策)	看護総務課・安全管理課・感染対策室

##### 2. 必修課題研修一覧

6	10日までに受講申し込み	I	認知症看護	ナースNAVITで受講入力した方に課題を配布、指定した期限内に課題を実施
11	11日までに受講申し込み	I	看護倫理STEP2	ナースNAVITで受講入力した方に課題を配布、指定した期限内に課題を実施
12	10日までに受講申し込み	新人看護職員研修	エンゼルケア	ナースNAVITで受講入力した方に課題を配布、指定した期限内に課題を実施

## II.2019年度 キャリアアップ研修計画

### 【看護教育研究会】

月	日	研修時間	ラダー	研修名	研修内容(教育要綱参照)	担当者
9	12(木)	17:00~18:30	Ⅱ以上	看護教育研究会(1回目)	伝達講習・研究・取り組み発表	教育課
2	13(木)			看護教育研究会(2回目)	伝達講習・研究・取り組み発表	

### 【中間管理者コースI/ベーシック】 \*主任昇格予定者受講必修研修

月	日	研修時間	ラダー	研修名	研修内容	担当者
6	12(水)	17:00~18:30	ラダーⅣ・管理Ⅰ(主任)*本年度ファーストレベル受講予定者除く	中間管理者になるために	組織における看護部の役割・管理者の役割	看護部長
7	10(水)				ヘルスケアサービス・医療経済	狭島・田中
9	11(水)				医療安全管理	矢田
10	9(水)				組織運営と目標管理	三枝・長友
11	13(水)				リーダーシップとチーム医療	山本・山下
12	11(水)				キャリア開発と看護実践計画書の書き方	教育課
1	8(水)				看護倫理	長富
2	12(水)				労務管理・ストレスマネジメント	堀込・宮澤
2020年4月計画発表					実践計画発表	
2021年2月実践報告					実践報告	教育課

### 【専門看護コース】

#### 1. 入退院支援、連携研修 ※全5回出席

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
6	11(火)	17:00~18:30	各部署にてチームリーダーを担うスタッフ	第1回 講義	山下・森渡
7	9(火)			第2回 講義	
8	8(火)			第3回 訪問看護実習	
10	10(火)	17:00~18:30	第4回 シンポジウム		
12	10(火)		第5回 事例検討発表		

#### 2. 窒息時の対応を身につけよう！STOP！CPA！

月	日	研修時間	対象者	受講予定部署	研修内容	担当者
7	26(金)	8:30~12:30	ラダーⅠ以上(新人以外)	2C/3C/3B/3E/5A	要項参照	◎増永・野澤・杉山・多田・石田・鈴木・松尾・森島・田上・丸塚・加藤・内田・井ノ口
10	25(金)			4B/4C/5B/5C/6A/外来		
11	22(金)			3A/7A/8A/9A/手術室		

#### 3. 褥瘡ケアコース ※全3回出席

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
6	6(木)	17:00~18:00	ラダーⅠ以上	第1回 講義(褥瘡・ポジショニングについて)	岡岡・間部・今野
7	4(木)			第2回 演習(ポジショニングの技術)、グループワーク	
12	5(木)			第3回 実践事例検討会	

#### 4. 認知看護ケアベーシック

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
10	3(木)	17:00~18:30	ラダーⅠ	講義	遠藤・瀬川・増嶋

#### 5. 認知症看護研修 ※全2回出席

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
9	5(木)	17:00~18:30	認知症看護ベーシック修了者またはラダーⅡ以上	第1回 講義	古屋・渡藤・瀬川・増嶋・勝亦
11	7(木)			第2回 事例検討	

#### 6. ケアに活かそう！サーバイランス ※全2回出席

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
6	20(木)	17:00~18:30	ラダーⅢ以上(管理ラダー含む)*Ⅳは必須	第1回 講義	長富・杉山
3	5(木)			第2回 発表	

#### 7. 院内認定呼吸ケアナース研修 ※全3回出席

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
6・7・8月		8:40~16:40	人工呼吸器に携わる部署のリーダー看護師で部長推薦のある者	講義、実技、事例検討、机上シミュレーション	鈴木英・多田・土佐谷・富田

#### 8. 呼吸ケアナースフォローアップ研修

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
11・12・1月		16:30~17:30	呼吸ケアナース	講義・実技(ジャクソソリースの使用法について)	鈴木英・多田・富田

#### 9. がん看護研修

月	日にち	研修時間	対象者	研修内容	担当者
1	16(木)	17:00~18:30	ラダーⅡ以上	①化学療法	中村・渡邊美高島・菊地山田
2	20(木)			②がん放射線療法	
3	19(木)			③緩和ケア	

#### 10. 摂食・嚥下障害看護コース ※全3回出席

月	日にち	研修時間	対象者	研修内容	担当者
7	18(木)	17:00~18:30	ラダーⅠ以上	①摂食嚥下のしくみ	◎山口・佐野福田・浜田梢
8	1(木)			②摂食嚥下障害、誤嚥・窒息予防の必要な知識	
11	21(木)			③嚥下スクリーニングテスト	
				④嚥下スクリーニングテスト演習	

#### 11. リンパ浮腫予防指導コース ※全3回出席

月	日にち	研修時間	対象者	研修内容	担当者
9	19(木)	17:00~18:30	経験年数3年以上	①リンパの解剖生理・リンパ浮腫について	望月
10	17(木)			②日常生活指導内容・セルフリンパドレナージ・圧迫療法・運動療法・スキンケアについて	
12	19(木)			③リンパ浮腫指導管理料のしくみ・方法・算定書類について	

#### 12. Family Nursing-患者・家族との関係づくりを学んでみよう！- ※全3回出席

月	日にち	研修時間	対象者	研修内容	担当者
5	16(木)	17:00~18:30	ラダーⅡ~Ⅳ	第1回 ベッドサイドでの関係づくり	勝又
8	15(木)			第2回 個人面接での関係づくり	
2	2(木)			第3回 複数面接での関係づくり	

#### 13. 看護必要度研修(3時間コース)

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
毎月第3土曜日		13:00~16:00	新人以外 3時間コース未受講者 全員	講義・テスト	記録・必要度委員会 加藤・宮澤・村田

#### 14. 看護必要度研修(1時間コース)

月	日	研修時間	対象者	研修内容	担当者
毎月第3土曜日		16:30~17:30	3時間コース修了者	講義・テスト	記録・必要度委員会 加藤・宮澤・村田

Ⅲ. 2019 年度 看護教育研究会 開催一覧

第 1 回 看護教育研究会 9 月 12 日 (木) 17:00~18:00	部署 氏名
<研究> NICU, GCUにおけるアルコール擦式手指消毒薬による手指衛生の実態調査	新生児センター 稲葉 擁亮
<実践報告> サーベイランスの取り組み	新生児センター 田爪 千里
<実践報告> フライトナースの業務負担と職務満足度からみた課題の検討	3E 病棟 松尾 正人

第 2 回 看護教育研究会 2 月 13 日 (木) 17:00~18:30	部署 氏名
<実践報告> 肝細胞癌患者へ、癌リハビリテーションを導入する為の準備段階から導入開始まで	3C 病棟 土屋千晶
<実践報告> 悪性リンパ腫患者の終末期における治療方針の決定について	9A 病棟 福澤恵美
<実践報告> 挿管チューブによるスキントラブルについて	3EICU 山田真実
<実践報告> 救命救急センター集中治療室における治療環境の把握	3A 病棟 松尾基樹
<実践報告> 新人看護職員指導者研修を通してみえた自部署の今後の取り組み	3B 病棟 菊地あやか 大森雅朋
<研修報告> 臨地実習指導者研修会の実践報告:実習に専念できる環境づくりについて	6A 病棟 天野淳
<研修報告> 2019 年度 実習指導者研修に参加して	7A 病棟 山田菜穂子

#### IV. 2019 年度 院外教育活動

##### 1. 学会・研究会発表

テーマ	発表場所	発表者(部署)
救命救急センターにおける重症患者の経腸栄養投与の現状調査	日本集中治療医学会学術集会	鈴木英子(3A)
EICUにおけるリーダー看護師育成に向けた事前チェックリストの開発計画	日本教育工学会	増永恵子(3A)
集中治療室における脳卒中地域連携パスの運用の実際	救急医学会中部地方会	伊藤彰浩(3A)
次世代に伝承する救急看護の実践力	静岡県看護学会シンポジウム	野澤陽子(3A)
フライトスタッフの安全管理 訓練用シュミレーターを用いた安全教育	第26回日本航空医療学会総会シンポジウム	多田真也(3A)
弛緩出血に伴う出血性ショックを呈した 産褥婦への看護実践	第22回救急医学会中部地方会	田上佑一(3E)
ダイビング中に心肺停止状態になった患者への看護実践	第19回日本高気圧環境・潜水医学会 関東地方会・学術集会	田上佑一(3E)
緊急輸血に関する取り組みと現状報告	アクトシティ浜松 中部救命救急医学会	服部杏里(救急外来)
静岡県東部ドクターヘリにおける緊急輸血システムの導入に向けた取り組み	日本航空医学学会	小高優衣(救急外来)
Prevalance and risk factors for post-traumatic stress disorder in Japanese recarives of out-of-hospital cardiac arrest patients after re ceiving a pamphler concaning process of grief reaction	ERC congress2019 Ljubliana,Slovenia	鈴木めぐみ(救急外来)
開胸術後呼吸器管理下におけるせん妄予防に関わる因子考察	日本集中治療医学会第3回東海北陸支部学術集会アクトシティ浜松	山崎 裕也(3EICU)
ハルトマン術後正中離解剖部の腹腔内皮膚瘻に対するドレナージ管理の一例	第37回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会学術集会(静岡)	浦岡歩(3B)
一般病棟における倫理カンファレンス後のケアの変化と今後の課題	日本緩和医療会東海北陸支部学術大会	高島信世(3C)
JGIG療法を受けるパーキンソン病患者への看護 ～在宅生活を見据えた外来一病棟ケア実践の一時例を通して～	第50回日本看護学会一慢性期看護一	宮澤初美(4B)
産科危機的出血への対応	静岡県母性衛生学会	勝又 理恵(5A)
急性期病院における認知症看護の現状と課題	第50回日本看護学会一慢性期看護一	田村美紀(5C)
Factors influencing the improvement of clinical nurses	日中看護国際シンポジウム	佐々木史乃(6A)
急性期病院で行った高齢末期がん患者に対する意思決定支援～多職種の情報共有から患者理解が深まった一例～	日本老年看護学会第23回学的集会	古屋曜子(9A)

テーマ	発表場所	発表者(部署)
大災害時の輸血療法(静岡県におけるアンケート調査結果を踏まえて)	第67回日本輸血・細胞治療学会学術総会	今田春子 (がん治療センター)
急性期病院における認知症ケア加算2導入に向けた取り組み ー認知症ケア加算2導入準備から開始後1年半を振り返った今後の課題ー	第50回日本看護学会慢性期看護学術集会	荻島真弓 (看護入院業務課)
Nursing records for ensuring individuality of nursing care for patients accompanying use of clinical pathways	日中看護国際シンポジウム	濱口真知子 (看護教育課)
ストーマ近接部の難治性潰瘍に対するの装具選択の一考察 ～柔らかな凸面装具の潰瘍面へ圧迫の影響～	第37回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会学術集会(静岡)	間部 幸 (看護外来業務課)

## 2. 誌上発表

テーマ	書籍・雑誌名	著者(部署)
集中治療室で熟練看護師が実践する急性冠症候群患者へのセルフマネジメント支援	日本循環器看護学会誌	野澤陽子(3A)

## 3. 院外での講師としての教育活動

活動内容	活動場所	担当者(部署)
2019年度静岡県看護連盟看護代表者会議ワークショップ	あざれあ(静岡)	井上大輔(2C)
順天堂大学保健看護学部小児看護方法論	順天堂大学保健看護学部	川田みゆき(2C)
順天堂6病院集中ケア事例検討会 講義	順天堂練馬病院	鈴木英子(3A)
看護職を目指す高校生への職業講和	静岡県看護協会	森島克明(3A)
中学生への職業講和 ドクターヘリ	大仁中学校	森島克明(3A)
救命救急看護論「災害看護・DMATの実際」	順天堂大学保健看護学部	野澤陽子(3A)
救命救急看護論「インホスピタルケア(救急外来・集中ケアユニットにおける看護師の役割)」	順天堂大学保健看護学部	多田真也(3A)
疾病と治療 薬物治療Ⅱ(持続点滴中のカテコラミンの投与の調整のための治療管理とケア)	愛知医科大学大学院	多田真也(3A)
クリティカルケア特論(航空医療における診療看護師の活動)	愛知医科大学大学院	多田真也(3A)
高大接続プログラム	順天堂大学医療看護学部	小高優衣(救急外来)
プレホスピタルケアとインホスピタルケアの連携②ドクターカー・ドクターヘリの役割	順天堂大学保健看護学部	鈴木めぐみ(救急外来)
ロジスティックの目線で災害看護を考える	静岡県看護協会	勝間田敏宏(救急外来)
災害支援看護師の役割	静岡県看護協会東部地区支部	勝間田敏宏(救急外来)
災害時看護師として出来ることとできないこと	災害リハビリテーション研究会	勝間田敏宏(救急外来)
ナースにできる災害支援	静岡県看護協会東部地区支部	勝間田敏宏(救急外来)
成人看護学持論Ⅳ	順天堂大学大学院 医療看護学研究科	宮澤初美(4B)
高齢者看護方法論Ⅰ	順天堂大学 保健看護学部	宮澤初美(4B)
CNS統合実習	順天堂大学大学院 医療看護学研究科	宮澤初美(4B)
CNS統合実習役割実習	順天堂大学大学院 医療看護学研究科	宮澤初美(4B)
看護の出前授業(命の大切さと健全な男女支援)	田方農業高等学校	勝又 理恵(5A)

活動内容	活動場所	担当者(部署)
エコマップを描こう	伊豆の国市	勝又 理恵(5A)
成人看護方法論Ⅱ	順天堂大学保健看護学部	田村美紀(5C)
看護過程、看護理論 15単位	順天堂大学保健看護学部	佐々木史乃(6A)
沼津市立病院 認定看護師としての活動	沼津市立病院	小林嘉美(6A)
臨床栄養学	順天堂大学保健看護学部	小林嘉美(6A)
田方脳卒中治療講演会「脳卒中患者の看護について」	ホテルサンバレー 富士見	倉田洋美(6A)
成人看護学Ⅳ 終末期の看護	静岡済生会看護専門学校	渡邊美佐子(7A)
せん妄ケア、認知症ケアの講義	順天堂大学保健看護学部	古屋曜子(9A)
2019年度(公社)静岡県放射線技師会県民公開講演会 講師	三島商工会議所	谷口真紀 (がん治療センター)
ランチョンセミナー講師 テーマ:安全管理と多職種間の情報即時共有	第30回日本看護管理学会 学術集会	荻島真弓 (看護入院業務課)
医療と看護管理講師	順天堂大学保健看護学部	荻島真弓 (看護入院業務課)
看護管理講師	順天堂大学保健看護学部	堀込克代 (看護総務課)
職業講座	静岡県立三島北高等学校	矢田みどり (看護安全業務課)
医療におけるリスクマネジメント	順天堂大学保健看護学部	矢田みどり (看護安全業務課)
令和元年度 地区別看護職員研修交流会 講師	静岡県看護協会	間部幸 (看護外来業務課)

## V. 公開講座

研修会のテーマ	もし窒息を発見したら…あなたはどのようにする？ 窒息予防と窒息発生時の初期対応		
開催日時	①2019年6月5日(水)17:00～18:00 ②2020年1月8日(水)17:00～18:00		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第1会議室		
参加人数	①50人、②20人 合計70人	院外からの参加者数	0人
研修会のテーマ	認知症高齢者の転倒・転落をアセスメントしよう		
開催日時	2019年7月3日 水曜日 17:00～18:00		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第一会議室		
参加人数	35人	院外からの参加者数	0人
研修会のテーマ	改めて考えよう！優しい失禁ケア ～おむつと睡眠とリハビリの関係性～		
開催日時	2019年 9月 4日(水)17:00～18:00		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第1会議室		
参加人数	28人	院外からの参加者数	0人

研修会のテーマ	レントゲン・採血データの見方		
開催日時	2019年10月2日(水)17:00～18:00		
会場	第1会議室		
参加人数	25人	院外からの参加者数	0人
研修会のテーマ	抗がん剤と分子標的治療薬と免疫療法		
開催日時	2019年12月4日		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第一会議室		
参加人数	19人	院外からの参加者数	0人
研修会のテーマ	死を考えることで生を学ぼう		
開催日時	2020年2月4日(水)17:00～18:00		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 管理棟4階第一会議室		
参加人数	26人	院外からの参加者数	2人

#### VI. 2019年度 教育活動状況

	項目	内容	期間
1	順天堂大学 医療看護学部実習	助産NICU実習	7月22日～8月2日
		助産分娩実習	7月22日～8月2日
	順天堂大学 保健看護学部実習	①保健医療福祉に携わる職種の 活動見学	5月30日
		②基礎看護実習Ⅰ	2020年1月6日～17日
		③基礎看護実習Ⅱ	8月19日～9月13日
		④成人看護実習	2019年9月30日～2020年2月21日
		⑤看護総合実習	7月8日～7月19日
	静岡県立看護専門学校	助産分娩実習	11月18日～11月29日
人間総合科学大学 養護教諭養成コース	看護実習	10月15日～10月18日	

2	インターンシップ	当院の医療・看護を実際に体験し、就職後のリアリティーショックを緩和する	8月5日～8月9日 2020年3月2日～3月13日
3	高校生1日ナース体験事業	看護実務体験を通して思いやりや看護する事の理解と関心を深め、看護職への志望を啓発する	8月1日・2日
4	中学生職場体験	勤労観・職業観を養うための学習の一環として近隣の各事業所、施設等で職務体験を実施	5月16日～17日 5月29日～30日 10月24日～25日 10月29日～30日

## 3-10 救命救急センター

### 業務内容

静岡県東部地域の救急医療の「最後の砦」の三次救急医療機関として、院内全診療科と各部門の協力・連携のもと、「断らない救急医療」の実践を継続している。二次救急医療についても駿東田方地域の広域輪番制で対応不能な場合は当センターが対応しており、同様に一次救急医療を担当する休日夜間急患センターなどの対象外地域や診療時間の空白時は、当センターが対応することが多い。

病院前救急医療としては、静岡県東部地域のドクターヘリ運航基地病院として、医師及び看護師の現場派遣と迅速な搬送を行うことで、特に伊豆半島と静岡市山間部の救急医療に重要な役割を果たしている。

入院診療では ICU13 床、CCU7 床を含む救急専用病床 40 床を利用し、重症傷病者の診療を行っている。

### 業務実績

平成 30 年

救急外来受診患者総数	13,916
救急入院患者総数	5,241
救急車搬送件数	5,371 件
ドクターヘリ運航件数	1,339 件

### メディカルコントロール活動

消防機関とのメディカルコントロール（MC）体制を確保・発展するために、地域 MC 協議会より要請された救急救命士の病院内実習の指導を行い、当院に収容した院外心肺停止症例についての事後検証を行った。静岡県 MC 協議会及び推進作業部会に参加し、救急救命士の業務プロトコール策定と事後検証に参加した。

地域においては、駿東田方地域 MC 協議会が開催する事後検証会に参加した。

### 次年度目標

- 救急搬送収容業務の円滑化と迅速化のため、救急応答事務員による救急対応体制への移行を順次実施する。
- 周辺地域における救急医療連携を強化し、医療情報ネットワークを構築する。
- ドクターヘリ活動と研究により積極的に介入し、適正かつ有効なドクターヘリ業務を推進する。
- コロナ感染拡大に伴う救急患者からの院内感染の発生を抑止する。

## 3-11 ドクターヘリ運航対策室

### 業務内容

当院は静岡県東部地域のドクターヘリ運航基地病院である。当院のフライトドクター及びナースがヘリでいち早く救急現場の傷病者と接触し、トリアージと応急処置を行い、適切な医療施設を選定して、目的地まで安全に搬送できるよう注意深い観察と対応を行っている。平成16年の指定以降、出動件数は年々増加傾向であり、当院を中心とする半径70kmの医療圏から年間700件以上の重症救急患者の広域ヘリ搬送を実施し、その約6割の患者を当院の救命救急センターに収容している。

### 次年度目標

- ・ ドクヘリ活動周知、啓発活動の継続
- ・ 消防との更なる連携強化
- ・ 県防災ヘリとの連携強化
- ・ 大規模災害、AACN等の訓練への参加
- ・ 海上保安庁との連携強化
- ・ 自衛隊との連携強化

### 2019年度ドクターヘリ出動件数・搬送人数

転 帰	人 数	
入 院	564	46.2%
外 来	339	27.8%
転 送	235	19.2%
キャンセル	83	6.8%
合 計	1221	100%

要請内容	件 数
現場搬送	882
現場キャンセル	81
病院間搬送	231
病院間キャンセル	2
合 計	1196

平成31年/ 令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (人)
入 院	45	55	49	48	50	53	46	53	47	35	43	40	<b>564</b>
外 来	30	40	19	16	41	37	23	28	27	33	17	28	<b>339</b>
転 送	26	21	26	13	26	22	13	22	19	18	17	12	<b>235</b>
キャンセル	12	8	9	7	10	4	8	2	6	6	4	7	<b>83</b>
月別合計	113	124	103	84	127	116	90	105	99	92	81	87	<b>1221</b>

平成31年/ 令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (人)
救急現場	87	88	73	63	92	86	64	75	80	65	53	56	<b>882</b>
転院搬送	12	26	21	14	19	24	15	28	13	19	23	17	<b>231</b>
キャンセル	12	8	9	7	10	4	8	2	6	6	4	7	<b>83</b>
月別合計	111	122	103	84	121	114	87	105	99	90	80	80	<b>1196</b>

## 出動実績

I-1 (件数)

出 動 内 容		
現 場		963
	(キャンセル 81 件含む)	
病院間		233
	(キャンセル 2 件含む)	
現 場		882
病院間		231
小 計		1113
キャンセル		83
合 計		1196

I-2 (件数)

(消防本部別)

消 防 本 部 名	転 院 搬 送		現 場 出 動	計
	病 院	診 療 所		
下田消防	76	22	148	246
駿東伊豆消防	30	9	390	429
熱海市消防	21	1	29	51
富士山南東消防	1	1	170	172
御殿場市・小山町消防	4	5	107	116
富士宮市消防	1	1	52	54
富士市消防	4	0	49	53
静岡市消防	1	1	16	18
その他消防	1	0	2	3
小 計	139	40	963	1142
消防との合流なし	54	0	0	54
合 計	193	40	963	1196

II-1 (人数) (診療科別)

診 療 科 名	(人数)
循環器科	244
脳神経外科	139
整形外科	94
外 科	22
呼吸器内科	6
小児科	34
膠原病内科	1
呼吸器外科	2
腎臓内科	1
消化器内科	14
心臓血管外科	17
脳神経内科	13
産婦人科	4
眼科	1
泌尿器科	3
形成外科	1
耳鼻咽喉科	
皮膚科	
新生児科	7

← 急性心筋梗塞 86 人、心不全 31 人

← 脳内出血 26 人

血液内科	1
糖尿病・内分泌内科	2
救急診療科	532
合 計	1138

／1138名（キャンセル 83件を除く）

※1196件の出動中

2名診療 15件                      5名診療                      1件  
 3名診療                      3件

II-2 (人数)

(収容先別)

出 動 別	当 院 (人数)	他 院 (人数)	合 計 (人数)
現 場	656	142	798
病 院 間	141	90	231
小 計	797	232	1029
現場のみ	12	97	109
合 計	797	232	1138

疾患別搬送件数

内因性疾患	件 数	内因性疾患	件 数
急性冠症候群	135	急性腹症	2
心不全	24	肝硬変	1
急性大動脈解離	36	虫垂炎	1
大動脈瘤破裂	4	吐血	4
完全房室ブロック	4	下血	2
心室細動	7	ショック	7
心室頻拍	6	肺炎	6
心房細動	4	尿管結石症	2
徐脈	4	腹部大動脈腸管瘻	1
頻脈	1	卵巣出血	1
不整脈	2	分娩	1
大動脈弁狭窄症	1	後腹膜腫瘍	1
下肢動脈閉塞症	3	肝腫瘍	1
肺梗塞	1	感染症	3
肺動脈狭窄	1	敗血症	5
急性循環不全	2	播種性血管内凝固症候群	1
心タンポナーデ	7	壊死性筋膜炎	2
胸痛	13	大血管転位症	3
脳内出血	11	めまい症	2
くも膜下出血	19	低血糖	11
脳梗塞	30	脱水	4

脳卒中	65	低カリウム血症	1
硬膜外膿瘍	1	迷走神経反射	3
一過性脳虚血発作	6	パニック障害	1
意識障害	17	口腔底膿瘍	1
意識消失発作	5	出血性ショック	1
けいれん発作	40	心肺停止	59
失神	20	不明	2
頭痛	5		
気胸	3		
呼吸不全	11		
喘息	2		
過換気症候群	3		
食道静脈瘤破裂	1		
胃潰瘍	1		
十二指腸潰瘍	1		
腸閉塞	3		
腸捻転	1		
腸管壊死	1		
上腸間膜動脈閉塞	1		
消化管穿孔	3		
消化管出血	4		
腹腔内出血	1		
胆嚢炎	2		
胆管炎	2		
腹膜炎	1	内因性疾患 小計	644

外因性疾患	件数	外因性疾患	件数
交通外傷	11	頭部外傷	40
転落外傷	20	脳挫傷	3
頭蓋内出血	7	肩挫傷	1
頭蓋骨骨折	4	胸部外傷	11
脊椎骨折	20	下肢挫傷	3
鎖骨骨折	2	外傷性気胸	3
胸骨骨折	6	血気胸	2
肋骨骨折	9	腹部外傷	7
骨盤骨折	34	腰部挫傷	1
上肢骨折	13	多発外傷	26
手関節骨折	2	動脈損傷	1
手指骨折	8	脊髄損傷	33

下腿骨骨折	20	脊髄振盪	1
股関節脱臼	1	肝損傷	1
足部骨折	5	腸管損傷	2
頰椎捻挫	3	電撃傷	1
頭部打撲	11	出血性ショック	1
頰部打撲	1	コンパートメント症候群	2
肩打撲	1	薬物中毒	2
胸部打撲	10	急性アルコール中毒	1
腹部打撲	6	溺水	17
腰部打撲	6	減圧症	6
股関節打撲	1	窒息	14
臀部打撲	1	熱中症	10
下腿打撲	3	酩酊	1
全身打撲	6	一酸化炭素中毒	2
頭部挫創	12	異物誤飲	2
上肢挫創	4	アナフィラキシー	27
上肢挫滅創	2	縊首	3
下肢挫創	11	熱傷	16
手指挫創	8	眼化学損傷	1
脳振盪	13	低体温	1
肺挫傷	2	心肺停止	9
上肢切断	3	不明	1
手指切断	30		
頰部切創	2		
下肢切創	2		
頰部刺創	1		
胸部刺創	1		
腹部刺創	2		
上肢切創	1		
上肢デグロービング損傷	3		
手指切創	6		
手指挫滅創	7		
下腿デグロービング損傷	1	外因性疾患	小計 577
擦過傷	3	内・外因性疾患	合計 1221

## 3-12 新生児センター

### 業務実績

総入院数と院内/院外出生の割合

	入院数
総入院数	358
院内出生	249
院外出生	109

出生体重別の入院数

	入院数
超低出生体重児 (1000g 未満)	18
極低出生体重児 (1000g-1500g 未満)	18

在胎週数別の入院数

在胎週数	入院数
22-23	2
24-27	8
28-33	46
34-36	81

新生児救急車

	出動件数
総出動件数	284
入院数	100
三角搬送	122

### 研究・教育活動

#### 総説

1. 寒竹正人. エピジェネティクスの世界 胎児期から小児期の環境による遺伝子修飾. 小児保健研究 7:490-493. 2019
2. 大川夏紀. 【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第3版】新生児・乳児編 栄養・排泄など 乳児期 母乳で育てていますが標準体重より小柄で心配です。ミルクを足したほうがよい場合を教えてください. 周産期医学 49 (増) : 631-632. 2019

#### 講演

1. 寒竹正人. SGA 児におけるエピゲノム解析. 第8回日本 DOHaD 学会学術集会, 東京. 2019.8.9
2. 寒竹正人. SGA 児のエピゲノム解析 IGF1 とグルココルチコイドレセプター. JCR ファーマ株式会社学術講演会, 名古屋. 2019.11.8
3. 横倉友諒, 大川夏紀. 新生児室で問題になる感染症の取り扱い. 第42回 東部周産期研究会, 静岡. 2019.12.12

## 学会発表

1. 寒竹正人, 清水俊明. NICU におけるストレスは児のグルココルチコイドレセプター遺伝子のメチル化を誘導する. 第 122 回日本小児科学会学術集会, 金沢. 2019.4.20
2. 寒竹正人, 有井直人, 大川夏紀, 馬場洋介, 宮林和紀, 桐野衛二. 小児精神疾患のエピジェネティックな観点からみた考察. 第 149 回日本小児科学会静岡地方会, 静岡. 2019.6.2
3. 大川夏紀, 齋藤雪香, 宮崎萌香, 乃木田正俊, 栗田健太郎, 加護祐久, 宮林和紀, 東海林宏道, 田久保憲行, 寒竹正人, 清水俊明. 日齢 0 より酵素補充療法を開始出来た低ホスファターゼ症の 1 例. 第 13 回新生児内分泌研究会, 横浜. 2019.10.5
4. 大川夏紀, 齋藤雪香, 栗田健太郎, 加護祐久, 宮林和紀, 池田奈帆, 東海林宏道, 寒竹正人, 清水俊明. 当院における早産児動脈管開存症に対するイブプロフェン製剤の使用状況. 第 64 回日本新生児成育医学会・学術集会, 鹿児島. 2019.11.27
5. 横倉友諒, 山崎晋, 仲川真由, 齋藤暢知, 岩崎友弘, 池野充, 久田研, 東海林宏道, 清水俊明. 重症新生児仮死に対して低体温療法を実施した後, 脳幹部低酸素性虚血性障害をきたした 1 例. 第 55 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 松本. 2019.7.15
6. 宮林和紀, 馬場洋介, 森下俊真, 西山樹, 大川夏紀, 有井直人, 寒竹正人, 清水俊明. 早産・低出生体重児における食物アレルギー発症に関する検討. 第 122 回日本小児科学会学術集会, 金沢. 2019.4.19
7. 宮林和紀, 馬場洋介, 山崎晋, 大川夏紀, 寒竹正人, 佐藤未織, 野村伊知郎, 吉田和恵, 清水俊明. 転帰が異なった Netherton 症候群の兄弟例. 第 43 回日本小児皮膚科学会学術大会, 大宮. 2019.7.20
8. 宮林和紀, 大川夏紀. 新生児科からみる胎児骨系統疾患. 第 41 回東部周産期新生児研究会, 静岡. 2019.7.26
9. 栗田健太郎, 大川夏紀, 池田奈帆, 東海林宏道, 寒竹正人, 福本弘二, 漆原直人, 清水俊明. 右肺分画症に気管支食道ろうを合併した気管支肺前腸奇形の 1 女児例. 第 55 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 松本. 2019.7.14
10. 加護裕久, 大川夏紀, 柏木項介, 阿部華子, 森下俊真, 栗田健太郎, 宮林和紀, 漆原直人, 寒竹正人. 気管支肺前腸奇形の 1 女児例 気管支食道ろうを合併した肺分画症. 第 149 回日本小児科学会静岡地方会, 静岡. 2019.6.2
11. 松田明奈, 西山樹, 徳島香央里, 中道伸彰, 加護祐久, 栗田健太郎, 宮林和紀, 齋藤暢知, 池田奈帆, 大川夏紀, 寒竹正人, 東海林宏道, 清水俊明. 新生児低体温療法を要した児におけるプロバイオティクス使用の効果についての検討. 第 122 回日本小児科学会学術集会, 金沢. 2019.4.20
12. 柏木項介, 阿部華子, 森下俊真, 栗田健太郎, 加護祐久, 池田奈帆, 大川夏紀, 寒竹正人. 診断に苦慮した新生児血小板減少症の 1 例. 第 148 回日本小児科学会静岡地方会, 静岡. 2019.3.3
13. 柏木項介, 大川夏紀, 阿部華子, 栗田健太郎, 加護祐久, 宮林和紀, 池田奈帆, 東海林宏道, 田久保憲行, 寒竹正人, 清水俊明. 日齢 0 より酵素補充療法を開始できた低ホスファターゼ症の 1 例. 第 53 回日本小児内分泌学会, 京都. 2019.9.26
14. 齋藤雪香, 栗田健太郎, 池田奈帆, 大川夏紀, 東海林宏道, 寒竹正人, 清水俊明. 診断に時間を要した新生児血小板減少症の 1 例. 第 64 回日本新生児成育医学会・学術集会, 鹿児島. 2019.11.29
15. 宮崎萌香, 宮林和紀, 大川夏紀, 齋藤雪香, 乃木田正俊, 栗田健太郎, 加護裕久, 寒竹正人. 出生後早期のエトレチナート投与で皮膚症状が著明に改善した道化師様魚鱗癬の 1 例. 第 150 回日本小児科学会静岡地方会, 静岡. 2019.11.10

### 3-13 がん治療センター

#### 業務実績

【がん治療センター運営委員会】 6回/年

【がん診療委員会(カンサーボード・レジメン審査)】 13回/年

【周辺機関合同研修会・カンファレンス・連絡会等】

5月23日	がん治療研修会(化学療法・放射線療法)
6月27日	カンサーボードカンファレンス
7月25日	がん治療研修会(早期診断・緩和ケア)
10月27日	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会
10月30日	カンサーボードカンファレンス
12月16日	がん患者の周術期口腔ケア研修会
1月9日	腫瘍循環器学研修会
2月6日	カンサーボードカンファレンス
2月19日	地域の先生方とがん治療センター(医療連携フォーラム内にて発表)

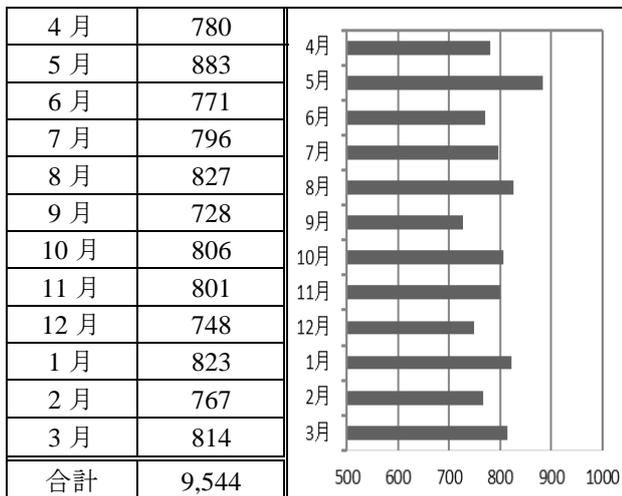
【市民公開講座】(がん関連テーマ)

2月24日	貧血のお話し～悪性疾患が隠れていることがあるので気をつけましょう～
12月17日	肝機能の数値が少し気になる方へ ～検査結果の見方とよくある肝臓病－脂肪肝とアルコール～

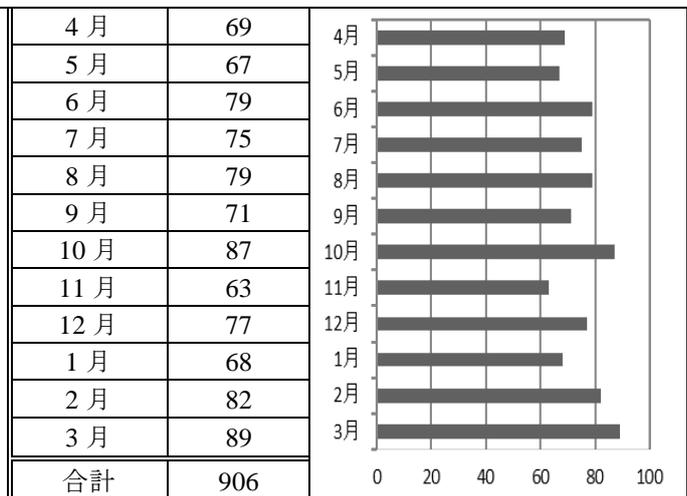
【がん登録件数】(H30.1.1～12.31)

総登録数	5大がん内訳	肺がん	157	大腸がん	219	乳がん	124
1,600		胃がん	145	肝がん	43		

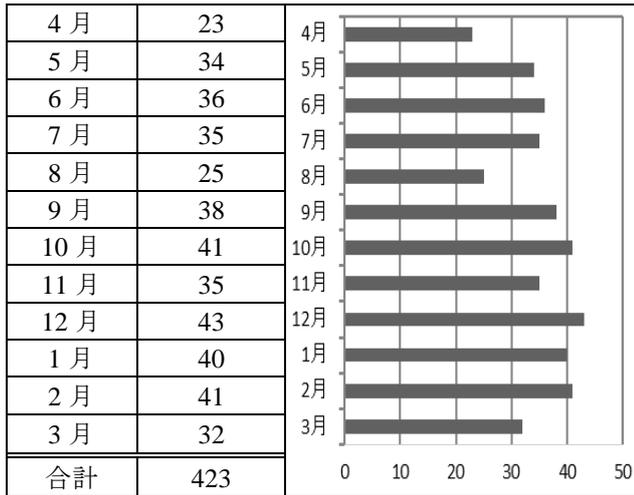
【化学療法実施件数】



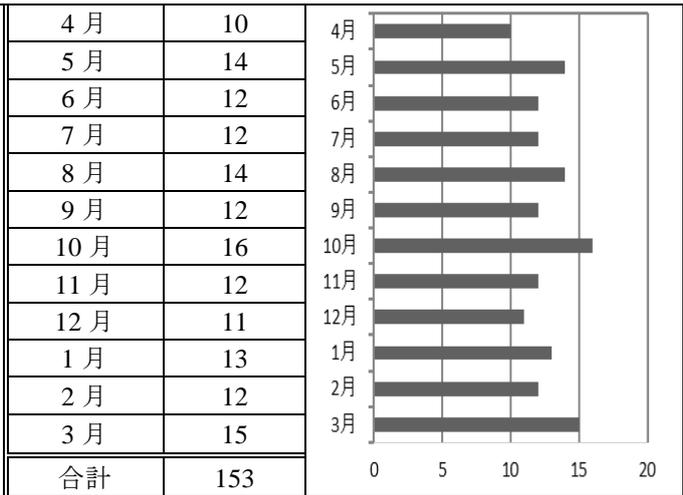
【がん手術件数】



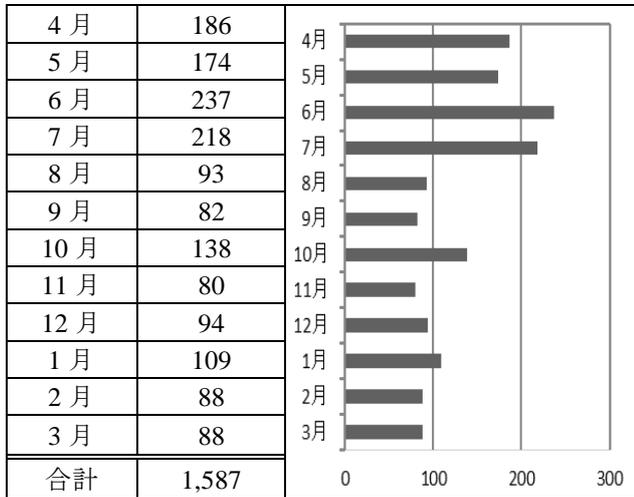
【放射線治療新規件数】



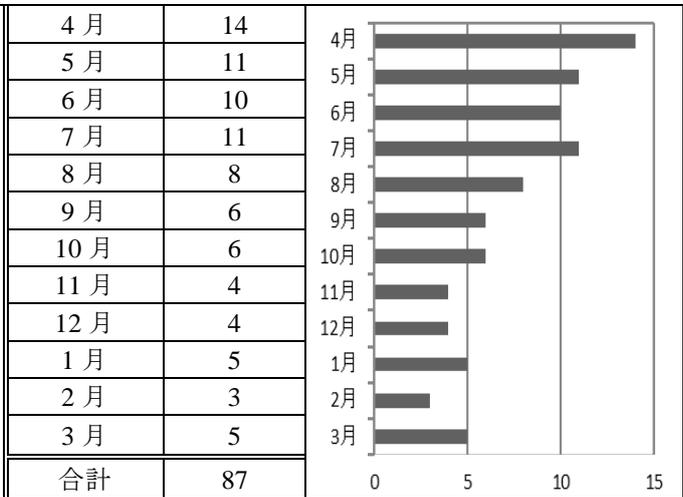
【緩和ケアサポートチーム新規介入患者数】



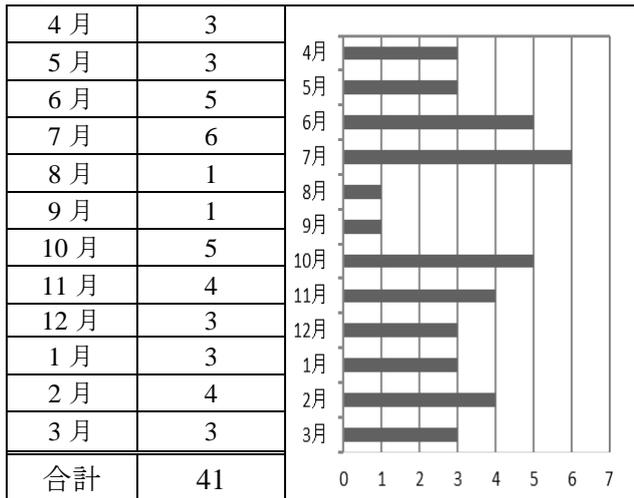
【がん相談件数】



【がん患者周術期口腔ケア医科歯科連携実施数】



【5大がん地域連携クリティカルパス新規導入件数】



連携届出施設数

総施設数	125
肺がん	92
胃がん	107
大腸がん	103
肝がん	33
乳がん	35

### 3-14 予防医学センター

#### (1)人間ドック集計(2019 年度)

##### (1)-1人間ドック男女別、月集計表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率(%)
日帰りコース	男	9	10	12	18	12	12	13	7	14	17	6	9	139	59.1%
	女	7	7	16	8	6	8	11	8	10	7	2	6	96	40.9%
	小計	16	17	28	26	18	20	24	15	24	24	8	15	235	
1泊2日コース	男	4	3	3	3	4	5	5	3	4	4	4	5	47	66.2%
	女	2	3	0	1	3	1	2	5	1	0	3	3	24	33.8%
	小計	6	6	3	4	7	6	7	8	5	4	7	8	71	
がんコース	男	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	6	54.5%
	女	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	5	45.5%
	小計	1	2	2	0	0	0	0	1	1	1	2	1	11	
PET-CTコース	男	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	3	7	50.0%
	女	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	2	7	50.0%
	小計	0	0	0	0	4	0	0	2	1	2	0	5	14	
脳ドックコース	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50.0%
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	50.0%
	小計	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	

(1)-2 人間ドック年齢別、男女別集計表

区分		年齢							合計	比率(%)
		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上		
総合日帰りコース	男	1	0	18	37	37	42	7	142	42.64%
	女	0	3	18	28	20	20	4	93	27.93%
	小計	1	3	36	65	57	62	11	235	70.57%
	比率(%)	0.30%	0.90%	10.81%	19.52%	17.12%	18.62%	3.30%	70.57%	
総合1泊2日コース	男	0	2	2	15	16	11	1	47	14.11%
	女	0	0	1	5	11	7	0	24	7.21%
	小計	0	2	3	20	27	18	1	71	21.32%
	比率(%)	0.00%	0.60%	0.90%	6.01%	8.11%	5.41%	0.30%	21.32%	
がんコース	男	0	0	1	1	0	4	0	6	1.80%
	女	0	0	0	3	1	1	0	5	1.50%
	小計	0	0	1	4	1	5	0	11	3.30%
	比率(%)	0.00%	0.00%	0.30%	1.20%	0.30%	1.50%	0.00%	3.30%	
PET-CTコース	男	0	0	1	1	2	3	0	7	2.10%
	女	1	0	0	3	1	2	0	7	2.10%
	小計	1	0	1	4	3	5	0	14	4.20%
	比率(%)	0.30%	0.00%	0.30%	1.20%	0.90%	1.50%	0.00%	4.20%	
脳ドックコース	男	0	0	0	1	0	0	0	1	0.30%
	女	0	0	0	0	0	0	1	1	0.30%
	小計	0	0	0	1	0	0	1	2	0.60%
	比率(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.30%	0.00%	0.00%	0.30%	0.60%	
合計	男	1	2	22	55	55	60	8	203	61%
	女	1	3	19	39	33	30	5	130	39%
	小計	2	5	41	94	88	90	13	333	100.0%
	比率(%)	0.60%	1.50%	12.31%	28.23%	26.43%	27.03%	3.90%	100.0%	

## (1)-3 年齢別総合判定区分集計

区分	～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	66～	合計
A: 異常はありません	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B: わずかな変化を認めますが 日常生活上心配ありません	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C: 経過観察を必要とします	0	3	6	2	7	7	4	0	29
D: 二次検査・精密検査を必要とします	2	5	1	1	24	15	14	1	63
E: 治療を必要とします	0	0	3	0	4	5	4	0	16
F: 治療・経過観察を継続してください	2	3	3	0	21	43	45	108	225
合 計	4	11	13	3	56	70	67	109	333

## 3-15 GCP センター

### 業務内容

当院では、治験や臨床研究が倫理的にまた安全に実施することができるか審査するために、治験審査委員会および倫理審査委員会が設けられています。GCP センターではその事務局を兼ねていて、治験の依頼者である製薬企業、臨床研究の実施者である医師等の相談にも対応しています。

また治験が安全にかつ円滑に実施されるために、治験コーディネーターが配置され実務をサポートしています。

### 業務実績

#### 治験

新規

治験を行う場合には、治験に参加される方々の安全と人権を守るために、国が定めた「医薬品の臨床試験の実施の基準（GCP といいます。）」を遵守しなければなりません。この GCP に従って、科学的小および倫理的な観点から、治験の実施や継続について調査・審議するため、順天堂大学医学部附属静岡病院治験審査委員会を設置しています。本治験審査委員会により内容が審議され、病院長より許可された治験のみが実施されます。

	件数	予定症例数
治験	8 件	43 症例
製造販売後臨床試験	0 件	0 症例
合計	8 件	43 症例

治験審査委員会 毎月 1 回(8 月休会)、治験の倫理性・安全性・科学的妥当性について審査します。

	安全性 報告	内容変更	継続審査	重篤な 有害事象	逸脱 (除 緊急の 危険回避)	その他の 審議事項	報告事項
治験	49 件	34 件	2 件	3 件	3 件	21 件	44 件
製造販売後 臨床試験	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
合計	49 件	34 件	2 件	3 件	3 件	21 件	44 件

終了

治験審査委員会に、治験が GCP に従って実施され、終了したことが報告されます。

	件数	実施症例数	同意取得数
治験	4 件	6 症例	14 症例
製造販売後臨床試験	0 件	0 症例	0 症例
合計	4 件	6 症例	14 症例

### 監査・モニタリング受け入れ回数

製薬メーカー及びCROのモニターが治験実施施設へ来訪し、治験の進行状況を調査し情報収集する。治験が治験実施計画書・標準業務手順書(SOP)・GCP及び適用される規制要件に従って、実施・記録及び報告されている事を保証する活動。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
治験	4回	0回	4回	3回	7回	2回	5回	4回	5回	4回	4回	3回	45回
製造販売後 臨床試験	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回						
合計	4回	0回	4回	3回	7回	2回	5回	4回	5回	4回	4回	3回	45回

### 製造販売後調査

医薬品が治験後に承認されて販売された後、引き続き医薬品の有効性・安全性について調査します。

新規契約 37件	使用成績調査・特定使用成績調査	27件
	副作用詳細調査	10件

### 倫理審査委員会

病気の原因、病態の理解及び患者さんの生活の質の向上を目的として実施される医学系研究であって、人を対象とするもの。

8月を除く毎月1回開催されて、倫理性・安全性・科学的妥当性について審査します。

	新規	内容 変更	実施 状況	SAE 報告	終了 報告	症例 報告	COI	迅速 審査	特定 臨床 研究 報告	その 他
倫理審査	77件	58件	75件	10件	41件	15件	11件	1件	35件	21件

## 3-16 臨床研修センター

### 業務実績

#### ■研修内容

##### <レクチャー>

臨床研修医を対象とした、基本的な勉強会である「モーニングレクチャー」18回（内2回をコメディカルが担当）、各科長クラスによるレポート提出症例に沿った内容を講義いただく「研修医レクチャー」を18回（内1回は縫合トレーニング）実施し、救急診療科を研修した研修医から、研修症例をまとめて発表していただく「救急診療科レクチャー」10回（毎月1回）実施した。

又、インタラクティブなレクチャーとして、レジデントアワーを実施しており、内容については学会発表を行った研修医数名が、発表した症例を他の研修医に向けレクチャーし、研修医同士でディスカッションを行う。更に学会発表の指導を行った各科医師にご協力いただき、補足等の意見を述べていただくというもので、活発な意見交換がなされた。

#### 【モーニングレクチャー】

	日	担当科	担当者		講義名
4月	11	呼吸器内科	原 宗央	助教	咳・痰
5月	9	感染対策室			中止
6月	6	消化器内科	高橋 翔	大学院生	救急外来で遭遇する消化器疾患
	13	医療安全管理室	高橋 真紀子	師長	医療事故防止のために
7月	4	放射線科	田畑 孝純	助手	ラジエーションハウスの実際
	11	形成外科	千田 大貴	助手	高齢化社会における形成外科
8月	1	膠原病内科	片桐 彰	准教授	ステロイド剤について
	8	脳神経内科	城 崇之	助教	パーキンソン病について
9月	5	メンタルクリニック	桐野 衛二	教授	うつ病患者に対する接し方
	12	血液内科	藤岡 功	助教	よく見る貧血の鑑別
10月	3	糖尿病・内分泌内科	杉本 大介	助教	血糖降下薬の使い方
	10	臨床検査科	田内一民	特任教授	検査値の考え方
11月	7	薬剤科	星野剛史		オピオイドの使い方
	14	新生児科	粟田 健太郎	大学院生	救急外来での初期対応
12月	5	循環器内科	和田 英樹	助教	AMIの解離などの救急外来で見逃してはいけない疾患
	12	麻酔科	勝田 陽介	助手	麻酔科でよく使う薬
1月	9	皮膚・アレルギー科	野口 篤	助教	带状疱疹
2月	6	小児科	江原 尚弘	助手	発熱で返していいかどうかの見分け方
	13	腎臓内科	前田 拓也		透析の種類と意義
3月	5	呼吸器外科			中止
	12	産婦人科			中止

【研修医レクチャー】

	日	担当科	医師	講義名
4月	15	産婦人科	田中 利隆	産婦人科領域に於ける救急疾患
	22	医歯責更新(R2) 糖尿病	の各薬剤の特性について(武田薬品)	
5月	20	腎臓内科	清水 芳男	浮腫
6月	17	循環器内科	谷津 翔一郎	心不全
	24	縫合トレーニング (外科)	徳田(脳外・宇藤)(整外・水野)(心外・丹原)(泌尿・脇田)(産婦・柳原)	
7月	22	整形外科	糸井 陽	腰痛
8月	19	麻酔科	岡崎 敦	慢性疼痛治療のガイドライン
	26	泌尿器科	斎藤 恵介	泌尿器科手術と排尿障害
9月	30	消化器内科	村田 礼人	嘔気・嘔吐
10月	21	呼吸器内科	原 宗央	胸部レントゲン※モーレクのテーマと重複の為変更
	28	心臓血管外科	宮崎 豪	胸痛(心臓)
11月	18	外科	前川 博	腹痛
	25	膠原病内科	岡田 隆	発熱
12月	16	眼科	土至田 宏	視力障害・視野狭窄
1月	20	血液内科	小池 道明	リンパ節腫脹
	27	脳神経内科	安藤 真矢	頭痛
2月	17	耳鼻咽喉科	城所 淑信	めまい
3月	16	メンタルクリニック	桐野 衛二	不眠・気分障害(うつ・躁鬱)→中止
	24	脳神経外科	中尾 保秋	中止

【救急診療科セミナー】

	日	医師	所属	講義名
4月	24	瀧美 皓介	R1	低体温症によって意識障害を来した一例
		美原 徳明	R1	馬による外傷で血気胸を来した一例
5月	29	小野里 匠也	R1	マムシ咬傷Grade IIの一例
		劉 奕阳	R1	入院後もアレルギー症状を繰り返したKounis症候群の一例
6月	26	久津見 整	浦安R2	Handle Bar Injuryによる脾損傷の一例
		尾原 祐樹	R1	自傷による気管損傷を来した一例
7月	26	加藤 究太	R1	交通外傷で鎖骨骨折を来した一例
		門倉 椋	R1	DKAIに自己炎症症候群を合併した症例
8月	30	吉田 昂平	R1	非典型的な症状から急性心筋梗塞と診断された一例
		菊池 遥太	R1	熱中症によると疑われた意識障害の14歳男児例
9月	27	野嶋 仁貴	R1	プールでの飛び込みで溺水による心肺停止と頸椎損傷を起こした一例
		延島 貴道	R1	コンパートメント症候群に対し切断術を行った症例
10月	25	河口 大洋	R1	電線工事による電撃症の一例
		小池 周一	R1	消化活動中に煤を吸い込んで気道熱傷を来した一例
11月	29	加藤 有紗	練馬R2	外傷性縦隔血腫を来した一例
		中島 若菜	練馬R2	DKA治療中に心停止を来し救命しえた症例
12月	27	五藤 千奈	R1	部分不安定性骨盤骨折に対して救急外来にて創外固定を行った一例
		野口 正意	R1	集団のスズメバチに襲われ同時にアナフィラキシーショックとなった2例
1月	31	櫻井 幹生	R1	臍胸と腸腰筋膿瘍を合併し化膿性脊椎炎が疑われた一例
		西村 周	R1	緊急帝王切開後に心機能低下を伴ったseptic shockの一例
1月	31	竹内 幹	R1	トリカブト中毒により致死的不整脈を呈した一例
		西方 英美	R1	破傷風の腸腰筋血腫を合併した一例

【レジデントアワー】

	日	学会発表者	指導医	講義名	
9月	21	長崎 勇典	松田 浩成	呼吸器内科	1gG4関連疾患による胸膜炎の一例
		渡邊 武大	山本 陸	外科	胆石性イレウスの一例
12月	21	村松 賢一	長澤 宏樹	救急診療科	皮内壊死、出血を伴った蜂刺傷後、横紋筋融解症を合併した一例
		阿部 圭希	谷津 翔一郎	循環器内科	急性心筋梗塞に合併した左室破裂を救命しえた一例
		仁平 高朝	上田 脩平	外科	保存加療が奏功した気腫性胃炎の二例

## <CPC・CRCデスカンファレンス（臨床病理・臨床放射線合同カンファレンス）>

年2回開催した。

実施日	症 例 内 容
7月2日	胃潰瘍（開放型, UI-IV・穿通）＋潰瘍底動脈破裂＋胃内の大量出血
12月20日	びまん性肺胞傷害（両側）、胸腺腫

## <日本救急医学会認定 ICLS コース>

4月4日 臨床研修医1年目が全員参加し、実際に即したシミュレーション実習を、1日かけて行った。

## <臨床研修医のための学術集会>

7月5日 順天堂大学4基幹病院全研修医による学術集会があり、静岡病院としてR1野嶋 仁貴先生による「糞便性イレウスを契機に閉塞性腸炎となった急性腹症の1例」の発表と外科 加藤 永紀先生による「急性腹症—救急外来での対応—」のミニレクチャーを行った。

## <研修医・指導医のための研修会>

令和元年9月28日(土)、9月29日(日) クロスウェーブ府中にて順天堂大学4基幹病院合同の研修があり、研修医1年目23名、「半年の研修を振り返り、プロフェッショナルリズムとキャリア形成も踏まえた研修の充実を考える」をテーマに研修を行った。

## <臨床研修修了証書授与式>

令和元年3月9日 新型コロナウイルスの影響にて順天堂大学4基幹病院合同の修了証書授与式は各附属病院での挙行となり、静岡病院 第一会議室にて研修医21名が授与された。

### ■研修管理委員会

新型コロナウイルスの影響にて研修管理委員会は縮小し、令和元年度の研修報告が行われた。

### ■臨床研修病院合同説明会への参加

令和元年度は県外3回、県内1回の合同説明会に参加した。説明会では、医学生が当院研修医と、気軽に臨床研修について質問、相談できる雰囲気を作り、多くの医学生に立ち寄っていただいた。

開催日	説明会	場所	参加人数
6月23日	レジナビフェア 2019in 東京	東京ビックサイト	15名
7月7日	レジナビフェア 2019in 大阪	インデックス大阪	55名
7月28日	静岡県臨床研修病院合同説明会 in 浜松	アクトシティ浜松	7名
2月16日	レジナビフェア 2020in 金沢	石川県産業展示館	25名

### ■令和元年度 初期臨床研修医採用について

静岡県東部地域で地域医療の最前線で日々奮闘している順天堂大静岡病院で多くの研修医が研修することには大きな意義がある。しかし、現在の傾向として都会の順天堂の関連病院や母校以外のより優秀な研修医が集まる有名病院で研修する人達が増加してきている。

そうした現状の中で、静岡病院での研修を積極的に希望する研修医がしだいに増加しつつある。

静岡病院の特徴は、静岡県東部地区の基幹病院として、救急車やドクターヘリにより連日多くの患者

が運ばれ、救急外来、病棟で多くの患者さんの治療を経験することができ、またその際に実践的に実技を習得することができる。科間の垣根が低く、迅速に全身の治療ができることにある。さらに指導医は専任のチューターを中心に、教育に力をいれており、レクチャー、症例発表会なども定期的に行った。その上、静岡病院では、研修医のための宿舎が整備され、部屋は広く、備品も整い、病院に近く、希望者全員が生活しているため、研修医同志の絆が形成し易く、相互に研鑽して有意義な研修生活を送っている。

#### <採用結果>

令和元年度医師臨床研修医は、基本プログラム 25 名、産婦人科・新生児・小児科プログラム 4 名の合わせて 29 名を採用した。(令和 2 年度採用)

定員	本学	他学	男子	女子	合計	マッチング率
29名	21	8	24	5	29	100.0%

※マッチング決定 29 名、採用は 29 名であった。

### 3-17 (1) 地域医療連携室

#### 業務実績

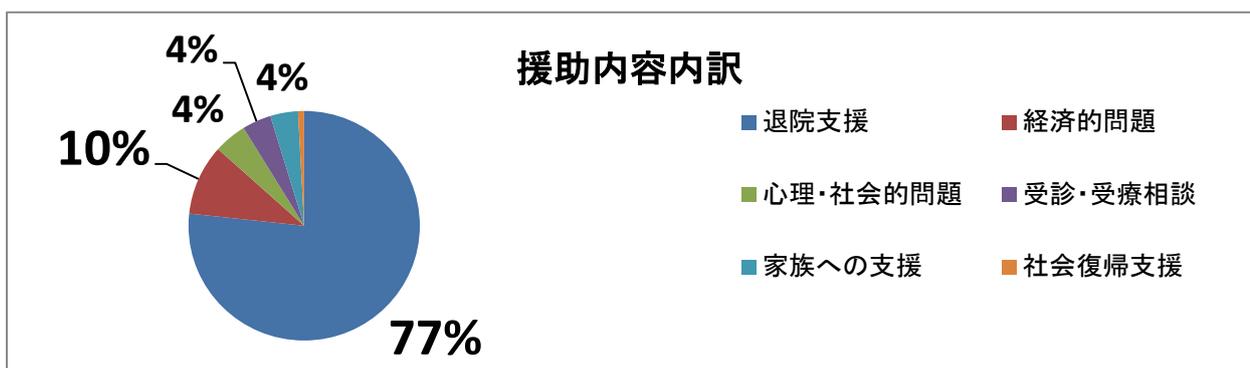
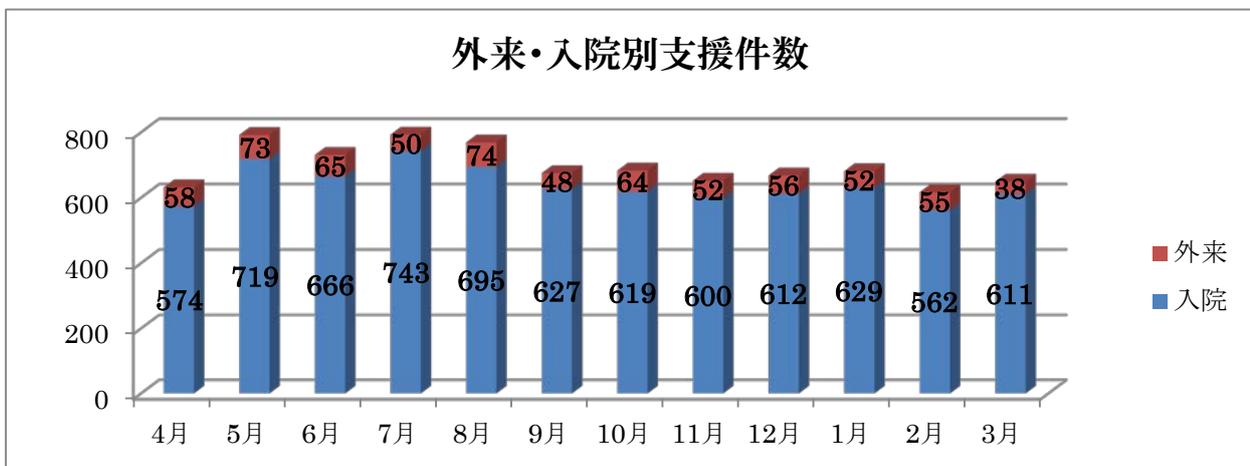
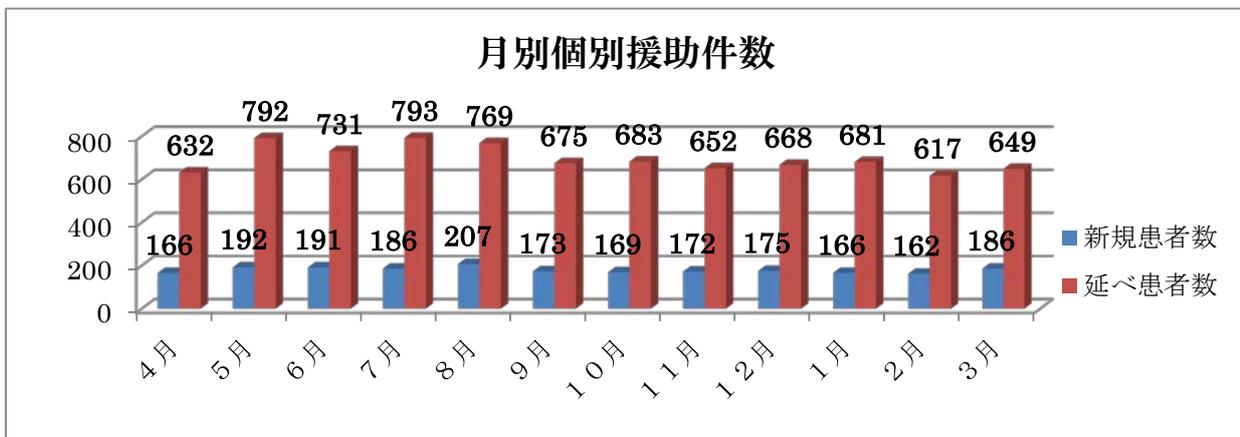
##### 地域別紹介患者数

2次保健医療圏		市町村	2017年度	2018年度	2019年度
静岡県	賀茂	下田市	638	618	624
		賀茂郡東伊豆町	178	181	215
		賀茂郡河津町	445	504	465
		賀茂郡南伊豆町	34	28	42
		賀茂郡松崎町	40	39	40
		賀茂郡西伊豆町	415	516	453
		小計	1,750	1,886	1,839
	熱海伊東	熱海市	469	499	562
		伊東市	1,924	2,053	2,024
		小計	2,393	2,552	2,586
	駿東田方	沼津市	2,378	2,403	2,553
		三島市	2,301	2,557	2,824
		御殿場市	850	880	997
		裾野市	582	757	761
		伊豆市	1,888	2,102	2,195
		伊豆の国市	2,619	3,111	3,104
		田方郡函南町	1,701	1,756	1,991
		駿東郡清水町	714	706	703
		駿東郡長泉町	690	723	746
		駿東郡小山町	39	46	39
		小計	13,762	15,041	15,913
		富士	富士宮市	85	133
	富士市		309	316	320
	小計		394	449	416
	その他		311	376	389
		県内合計	18,610	20,304	20,751
		県外	939	902	956
		総計	19,549	21,206	22,096

### 3-17 (2) 医療福祉相談室 (社会福祉士)

社会福祉士（ソーシャルワーカー）6名（内1名育休中）にて、入院・外来患者家族・地域に対し相談や調整業務を行っている。入院においては退院支援看護師と社会福祉士で病棟担当にて対応している。主な業務としては、転院・退院支援（地域連携パス含む）・外来相談、各種福祉制度・社会保障制度の紹介、経済的問題の支援である。心理的・社会的背景や傷病によって生じる生活上の課題を把握し、社会資源を活用しながら個別に支援を行っている。

#### 2019年度業務実績

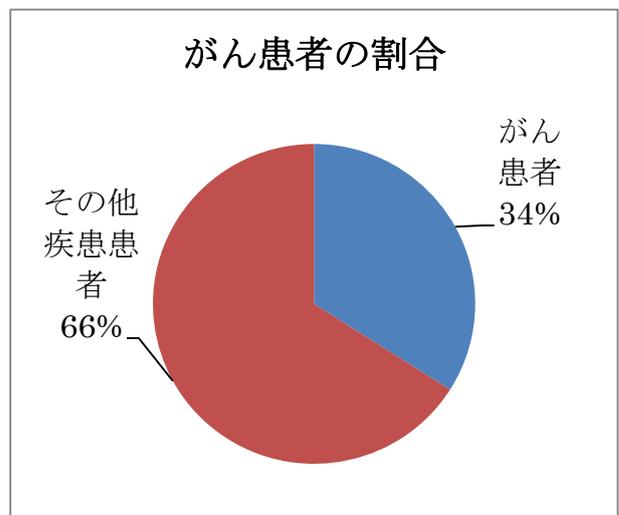
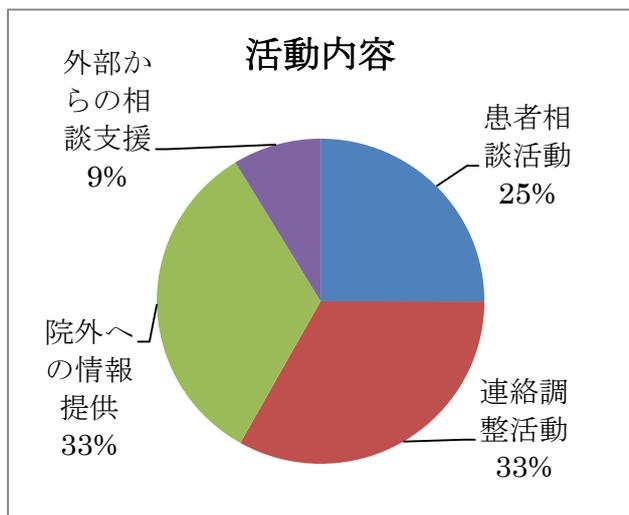
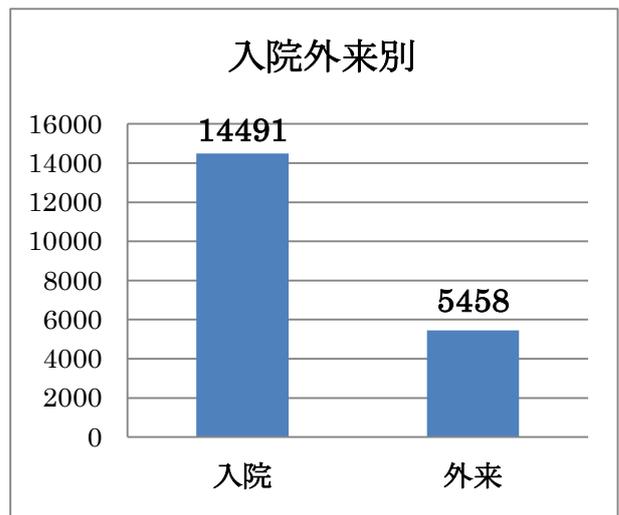
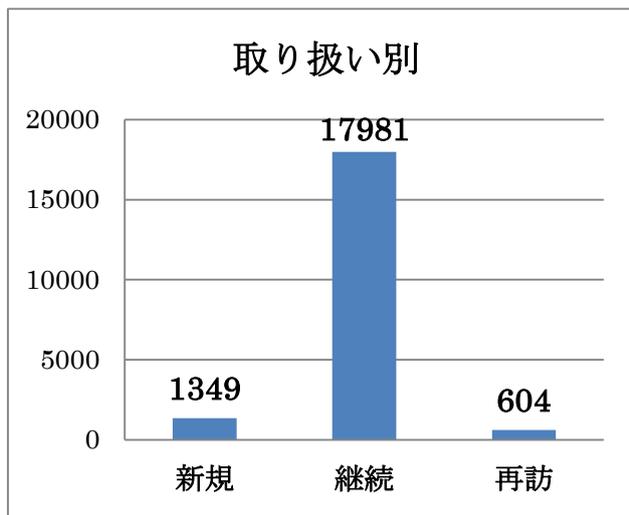


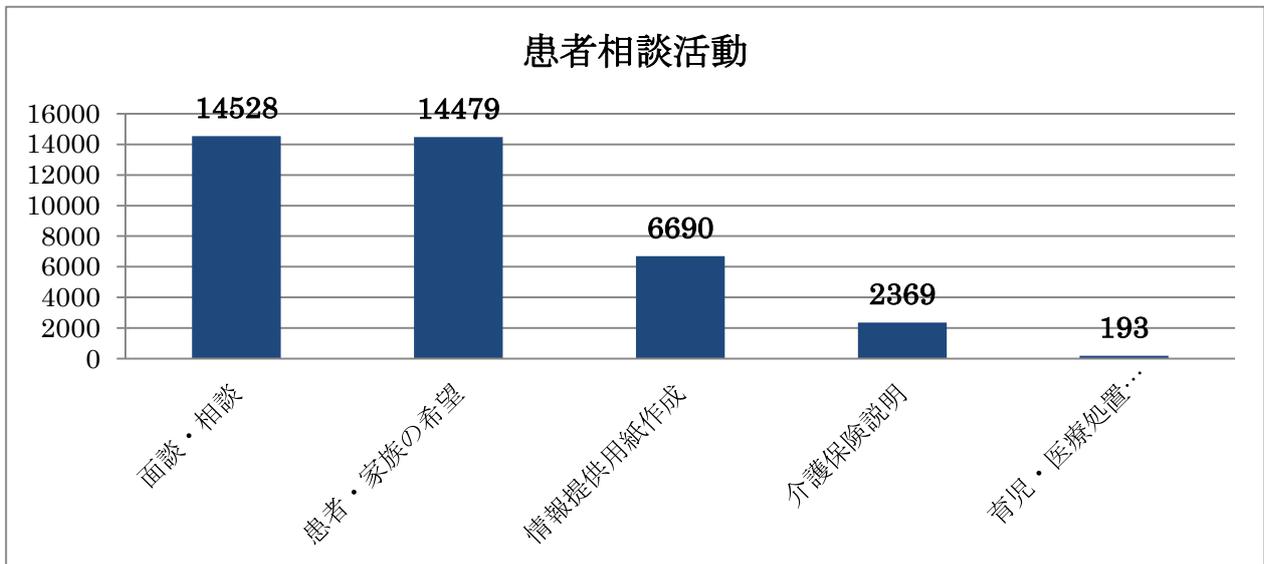
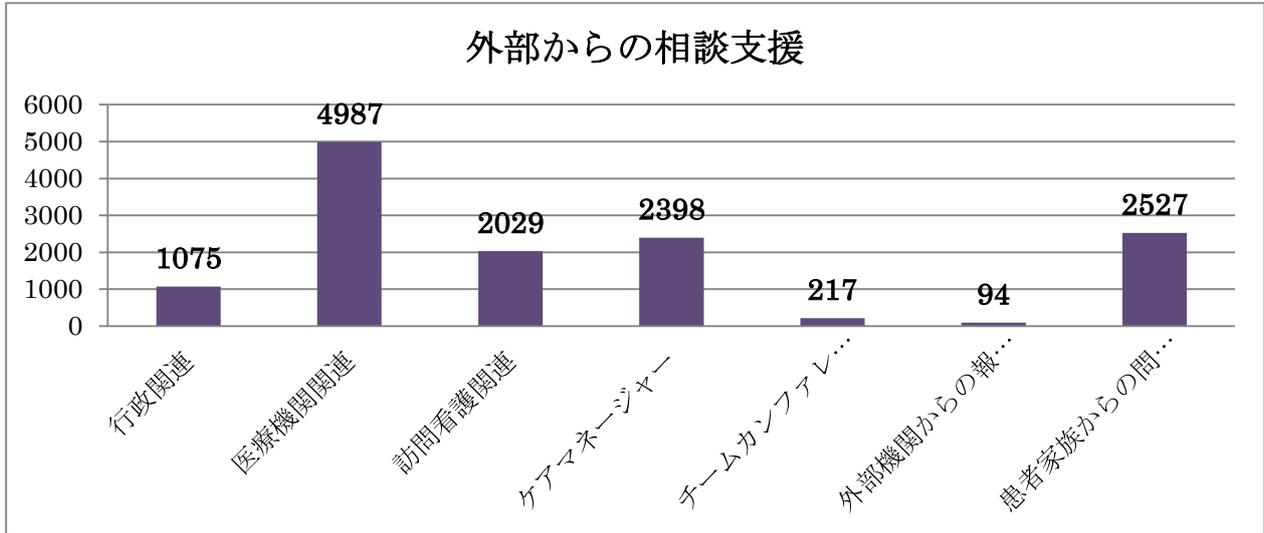
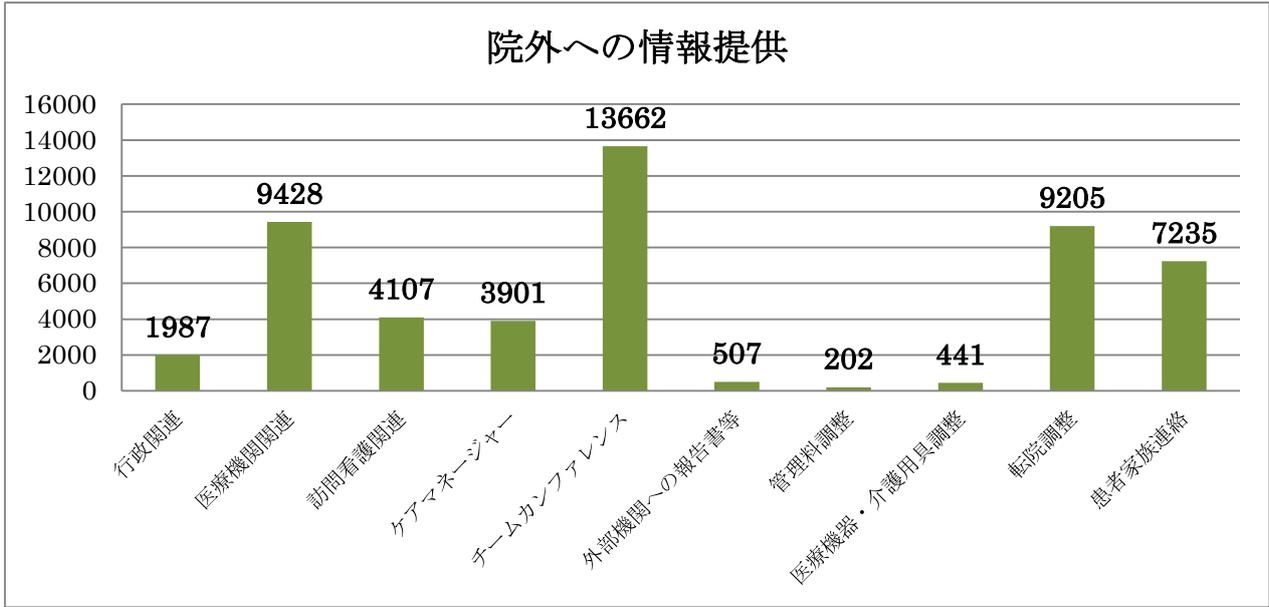
### 3-17(3).医療福祉相談室（入退院支援看護師）

2018年度に新設された「入院時支援加算」の算定件数は、2018年4月からの10ヶ月間が527件、2019年同月は274件と半減し伸び悩みが見えた。そのため、2020年2月から整形外科と脳外科の入院予定患者全員を対象に入院時支援を開始し、順次診療科を拡大することで入院前からの支援を手厚くすることとした。

「退院前・退院後訪問指導料」の制度を利用し、2019年10月から退院前・退院後訪問看護指導を開始した。入退院支援看護師を中心に、ケースによっては緩和ケア認定専従看護師を伴い訪問を行った。訪問実績は、医療依存度の高い新生児7名に対し計16回、成人ではがん末期の患者3名に対し計5回の訪問指導を実施した。

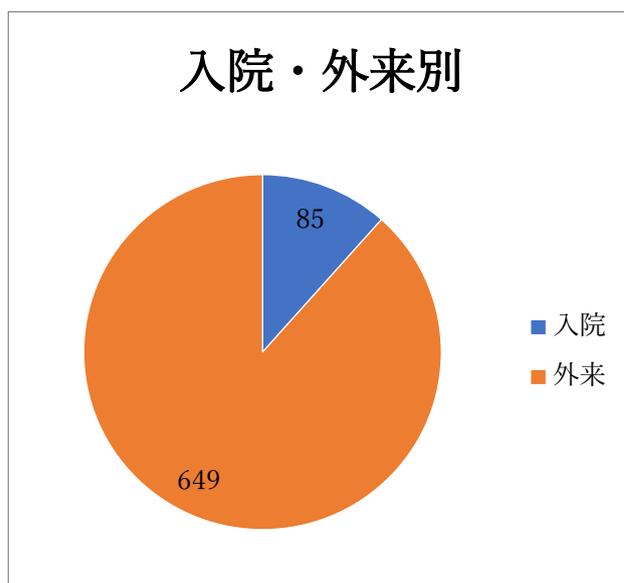
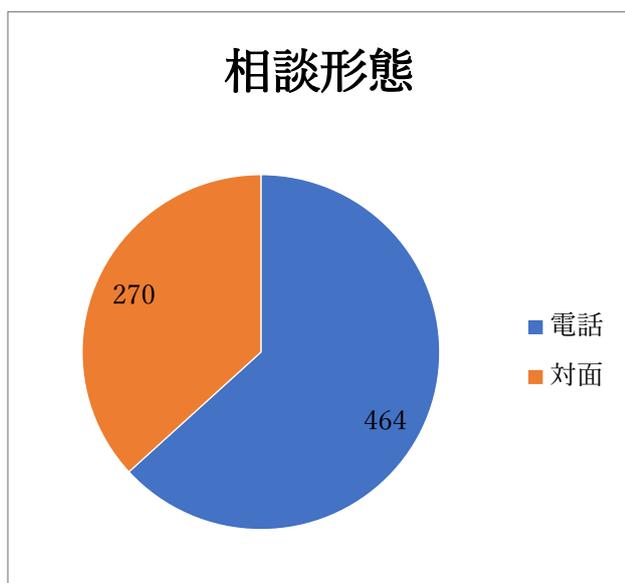
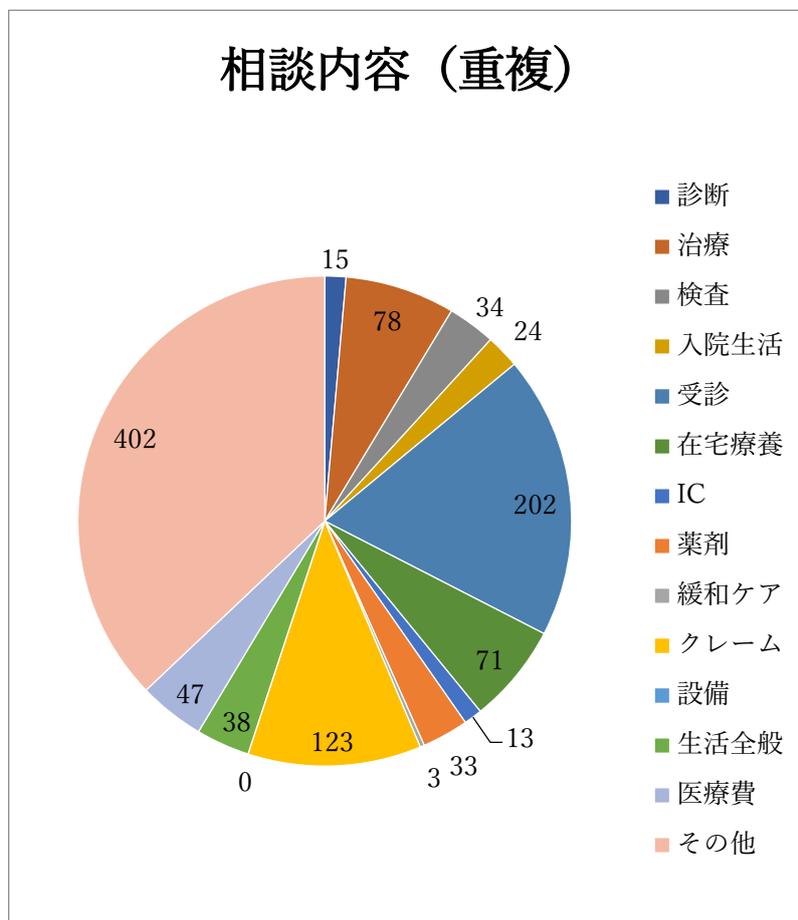
#### 業務実績





3-17 (4) 患者・看護相談室

業務実績



### 3-17(5) 受診相談・総合案内

#### 業務実績



内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受診相談	受診相談	383	380	386	415	431	383	408	375	343	409	322	297
	電話相談	121	123	131	156	154	117	161	131	144	145	130	134
	院内案内	361	343	322	341	335	307	322	330	347	352	311	334
	面会案内	260	262	197	227	226	186	199	215	228	191	145	489
	受付案内	292	268	282	316	288	269	263	273	281	296	267	241
	その他の相談等	690	522	527	526	505	498	496	547	531	505	481	457
総合案内	院内案内	1013	1074	1167	1200	1174	1115	1148	1149	1101	1011	895	1049
	面会案内	528	547	543	678	601	515	572	563	605	531	436	490
	受付案内	832	859	739	906	767	795	781	800	823	730	760	754
	その他の相談等	37	38	39	40	43	29	46	39	36	34	34	36

### 3-18.医療安全管理室

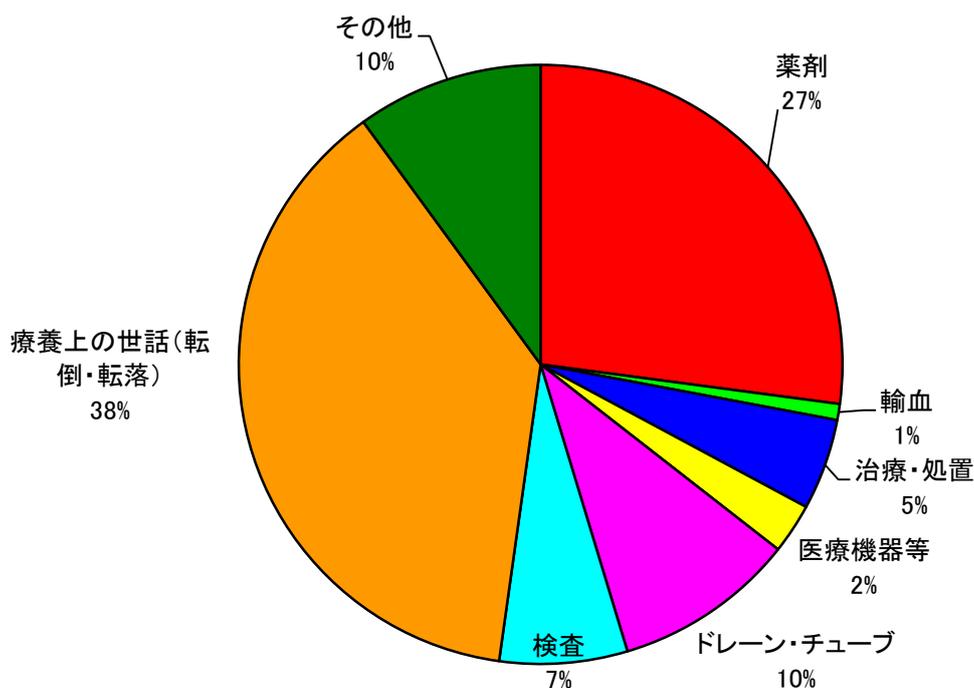
#### 主な活動と実績

医療安全管理室では、安全で質の高い医療を提供するため①医療の安全を確保するための改善方策に関すること ②医療安全管理のための職員への企画・運営および院内広報等の企画・実施 ③医療事故発生時の対応に関すること ④医療安全・危機管理委員会の円滑な運営に関すること ⑤医療安全管理に関する院内の連絡調整 ⑥医療安全に係るカンファレンスを週1回程度開催 ⑦その他医療安全管理に関する業務に取り組んでいる。

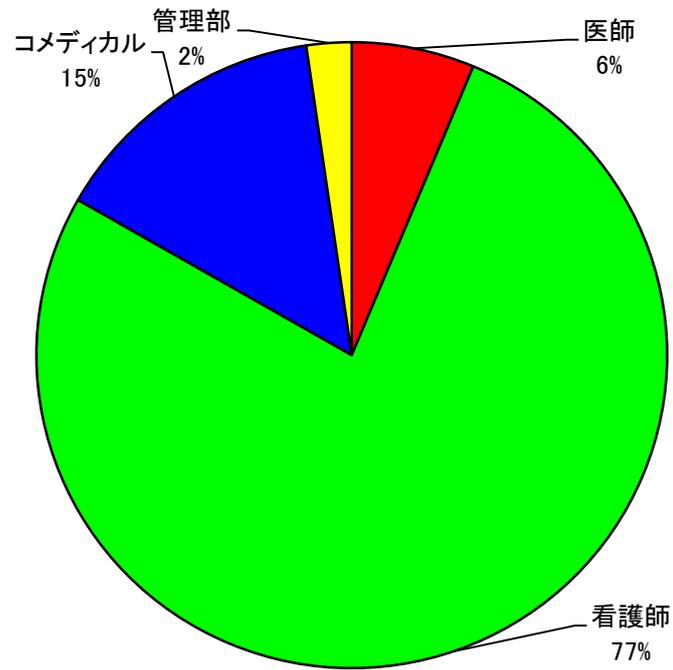
2019年度の主な実績は、これまでの医師2名、看護師1名、薬剤師1名、調査役1名、事務2名に臨床工学技士（臨床工学室兼任）1名を加えた8名とし、管理体制を強化した。患者による職員を対象とした無断撮影や院内での撮影記録をSNS等へ無断公開するなどのトラブルが発生したため、4月より院内における撮影等の許可基準を策定した。インシデント・アクシデントレポートについて、2018年度にインシデント管理システムを導入したことで報告件数は増加傾向にあったが、依然、医師からの報告は低調であったため、7月に医師が行うインシデント・アクシデント報告事項を定め報告の推進を図った。その結果、2019年度の報告件数は3113件と前年に比べ958件増加し、医師からの報告も196件と前年度に比べ56件増加した。このほか、医療安全危機管理委員会を毎月開催、医療安全研修を12回開催、医療安全に関する院内広報誌（リスクマネージメントニュースレター）を毎月発行した。また、苦情・クレームには公平中立な立場で対応し、適正な接遇への指導及び信頼回復に努めた。

2019年度 インシデント・アクシデントレポート報告割合

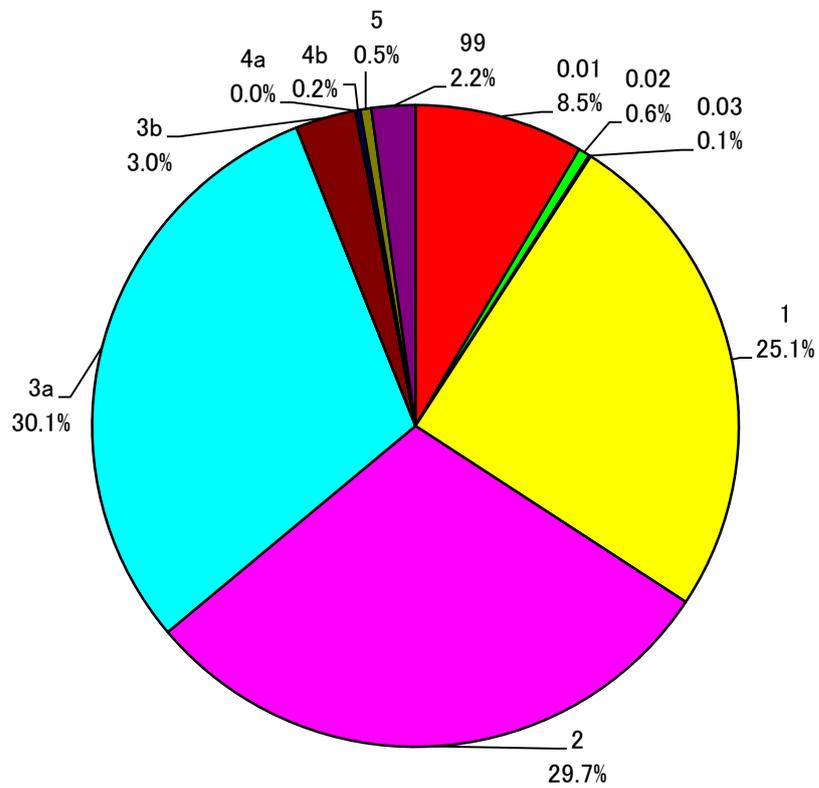
#### 1. 内容分類



## 2. 所属部門



## 3. 影響レベル



2019年度 医療安全対策研修会

日時	研修会内容	講師等	対象
5月17日	「採血時の検体取り扱いの注意点について」	検査室 永田 有里恵	全職員
6月6日	「眠剤と転倒・せん妄の関係性について」	メンタルクリニック 桐野 衛二	全職員
6月11日	「あるある情報セキュリティリスク」	NEC フィールディング (株) 熊田 治昭	全職員
7月4日	「医療ガス安全・管理について」	関東エアウォーター (株) 吉田 佑	全職員
7月24日	「ポンプの適性使用について」	テルモ (株) 伊藤 正明	全職員
8月22日	「褥瘡の予防について」	形成外科 千田 大貴 看護師 間部 幸	全職員
9月12日	「J-STAT コールの現状報告とコールのかけ方について」	看護師 森島 克明、鈴木 めぐみ	全職員
9月30日	「インシデント事例から考える輸血療法」	看護師 菊地 麻理 今田 春子 酒井 寛美 古谷 華菜	全職員
10月7日	「知っておきたいアナフィラキシーの知識」	薬剤科 野田 貴義	全職員
10月29日	「口から安全に食べてもらうための食事介助」	看護師 山口 嘉美	全職員
1月31日	「転倒予防について」	理学療法士 石井 啓太	全職員
2月27日	「褥瘡予防について」	形成外科 千田 大貴 看護師 間部 幸	全職員

## 3-19 感染対策室

### 業務内容

感染対策室では以下のような活動を行っている。

- ① 患者に対しては安全な医療環境を提供するために、診療上問題となる病原微生物が発生・伝播・拡散することを防ぐ活動。
  - 病原微生物の感染経路に応じて感染拡大を防止する対策を行う。
  - 手指衛生モニタリングを行い、アルコールゲルなどの使用状況に応じて各部署に指導を行う。
  - 耐性菌の発生率を減少させるために、広域抗菌薬や抗MRSA薬の使用に際して適正な使用状況にあるか、週1回程度のラウンドを行う。
  - 年間計画に沿って院内のいずれかの部署の環境ラウンドを週1回程度行い、病原微生物が繁殖する温床がないかチェックを行う。ハイリスク病棟は1回/週、他の病棟も1回/月、ハイリスク部署は1回/2ヶ月の頻度で行う。
  - 細菌検査室が耐性菌を中心とした報告書を週1回感染対策室に提出し、各病棟で問題となる病原微生物のアウトブレイクがないかチェックを行う。もし、アウトブレイクと判断した場合は、当該部署に指導を行う。
- ② 職員を感染曝露から防ぐための活動。
  - 針刺し、切創、粘膜曝露予防策及び発生時の対応方法を職員に指導している。
  - 安全衛生管理室と連携して職業感染予防のためのワクチン接種を推進している。
- ③ 院内感染対策の広報活動。
  - 院内感染対策を職員に浸透させるための定期的な研修会を開催している。
  - 不定期でニュースレターを発行している。
- ④ 近隣病院との連携。
  - 連携をしている近隣病院との合同カンファレンスを通して、各施設が抱えている問題点を提示し、それに対する対策に関して意見交換を行う。
  - 連携病院と相互に院内ラウンドを行い、第三者の目から改善点を指摘しあう。

### 業務実績

月	日(曜日)	
4月	1日(月)	新入職員オリエンテーション
	2日(火)	1年目臨床研修医オリエンテーション
	19日(金)	感染対策委員会
	22日(月)	感染対策研修会(針刺し・粘膜暴露対応・抗菌薬適正使用)
5月	13日(月)	感染対策研修会(点滴台・カートの管理・抗菌薬適正使用)
	17日(金)	感染対策委員会
	17日(金)	感染防止対策加算1・2合同カンファレンス

	27日(月) 27日(月)	感染対策研修会(小児の感染症) 東部地区感染対策担当者会議
6月	10日(月) 15日(土) 20日(火) 28日(金)	感染対策研修会(感染経路別対策・抗菌薬適正使用) 6病院感染対策連絡会議(J-ICT) 看護部キャリアアップ研修会(サーバイランス) 感染対策委員会
7月	8日(月) 26日(金)	感染対策研修会(耐性菌対策・抗菌薬適正使用) 感染対策委員会
8月	13日(月) 17日(土) 24日(金)	感染対策研修会(水周り・汚物室の管理・抗菌薬適正使用) 私立医科大学病院感染対策協議会(第11回) 感染対策委員会
9月	6日(金) 10日(月) 21日(土) 20日(金) 24日(火) 27日(金) 30日(月)	私立医科大学病院感染対策相互ラウンド(聖マリアンナ東横病院受入れ) 感染対策研修会(患者環境の整備・抗菌薬適正使用) 6病院感染対策連絡会議(J-ICT) 感染防止対策加算1・2合同カンファレンス 感染対策講演会(HIV) 感染対策委員会 東部地区感染対策担当者会
10月	3日(木) 18日(金) 28日(月) 28日(金)	感染対策研修会(インフルエンザ) 感染対策委員会 東部地区感染対策全体会 感染対策研修会(尿路・血流感染対策・抗菌薬適正使用)
11月	1日(月) 11日(月) 15日(金) 15日(金) 27日(水)	感染防止対策地域連携加算ラウンド(沼津市立病院受入れ) 感染対策研修会(ウイルス性疾患対策・抗菌薬適正使用) 感染防止対策加算1・2合同カンファレンス 感染対策委員会 私立医科大学病院感染対策相互ラウンド(聖マリアンナ東横病院訪問)
12月	18日(水) 21日(土) 27日(金)	感染対策講演会(クロイツフェルト・ヤコブ病) 6病院感染対策連絡会議(J-ICT) 感染対策委員会
1月	17日(土) 27日(月) 29日(水)	感染対策委員会 東部地区感染対策担当者会 感染防止対策地域連携加算ラウンド(静岡がんセンター受け入れ)
2月	5日(水) 10日(月) 17日(月) 28日(金)	東部地区感染対策合同カンファレンス(静岡がんセンター) 感染対策研修会(針刺し・粘膜暴露対応・抗菌薬適正使用) 感染対策講演会(肝炎) 感染対策委員会

3月	5日(木)	看護部キャリアアップ研修会(サーベイランス)
	13日(金)	感染防止対策加算1・2合同カンファレンス
	27日(金)	感染対策委員会

### 次年度目標(2019年度の総括と次年度の目標)

#### ① 2019年度の総括

- アウトブレイク発生はなかったが、5例のVRE新規感染者を認めた。
- 抗菌薬ラウンドで広域抗菌薬や抗MRSA薬の使用適正化を進めた。
- 手指衛生は直接観察法をICN、リンクナースが実施し質担保に努めているが、実施率63%、遵守率32%にとどまる。アルコールゲル使用量は13.5回/患者/日程度と改善は認められない。
- 環境衛生についてはICTラウンドの実施、看護部リンクナースと協働し衛生的な病院環境の提供に努め、再ラウンド時に改善を確認している。
- CLA-BSI/CA-UTIサーベイランスでは、ほとんどの部署で感染率が横ばい状態。
- MRSAレベルゼロシステムは各部署の主体的な活動にはつながっていない。

#### ② 2020年度の目標

- 抗菌薬ラウンドと血液培養陽性症例のラウンドを行い、抗菌薬の適正使用の更なる推進を図る。
- CLA-BSI/CA-UTI感染率は2019年度データを下回る。
- アウトブレイクマニュアルを改訂し、耐性菌対策遵守の自主的な活動を促し、実践能力の向上を目指すための支援を行う。

### 3-20 安全衛生管理室

#### 2019年度 安全衛生管理室行事

年 月	日	曜 日	行 事
2019年 4月	3	水	新入職員オリエンテーション
	4	木	雇い入れ時健康診断
	24	水	安全衛生委員会
5月	7~17	月~金	春季健康診断、ストレスチェック
	中旬~下旬	月~金	新入職員面談
	22	水	安全衛生委員会
6月	上旬	月~金	新入職員面談
	3~7	月~金	胃検診(胃透視検査)
	26	水	安全衛生委員会
7月	24	水	安全衛生委員会
	31~8/2	水~金	B型肝炎ワクチン接種
8月	7~9	水~金	麻疹・風疹ワクチン接種
	28	水	安全衛生委員会
9月	4~6	水~金	B型肝炎ワクチン接種
	18~20	水~金	麻疹・風疹ワクチン接種
	25	水	安全衛生委員会
10月	24	水	安全衛生委員会
11月	5~8	月~金	秋季健康診断
	14~16	水~金	インフルエンザ予防接
	27	水	種安全衛生委員会
12月	24	火	校医会・法人安全衛生委員会
	25	水	安全衛生委員会
2020年 1月	15~17	水~金	ムンプス・水痘ワクチン接種
	22	水	安全衛生委員会
2月	19~21	水~金	B型肝炎ワクチン接種
	26	水	安全衛生委員会
3月	4~6	水~金	ムンプス・水痘ワクチン接種
	25	水	安全衛生委員会
	24~25	火~水	雇い入れ時健康診断

【月毎定例行事】 飲食物取扱従事者検便<<毎月第2火曜日>>  
 ※6月~9月は、第2・4火曜日(月2回)実施  
 託児所業務従事者検便<<毎月第2火曜日>>

【随 時】 雇い入れ時健康診断

## 業務実績

### 定期健康診断受診率

	春 季			秋 季		
実施期日	2019年5月7日～10日、13日～17日			2019年11月5日～8日		
実施項目	身体測定、血液検査、尿検査、血圧測定、視力検査、聴力検査、心電図検査、胸部X線、胃透視検査(40歳以上希望者)			身体測定、血液検査、尿検査、血圧測定、視力検査、聴力検査		
受 診 率	全 体	1,265/1,265	(100.0%)	全 体	808/808	(100.0%)
	医 師	231/231	(100.0%)	医 師	188/188	(100.0%)
	コメディカル	182/182	(100.0%)	コメディカル	59/59	(100.0%)
	看護部	728/728	(100.0%)	看護部	558/558	(100.0%)
	事務部	121/121	(100.0%)	事務部	3/3	(100.0%)
	研究センター	3/3	(100.0%)			

## 4. 統計



#### 4-1 病床利用率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度
病 床 数	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577
病 床 利 用 率	99.3%	98.2%	99.6%	100.0%	99.3%	98.9%	97.5%	98.8%	99.5%	97.7%	100.3%	97.0%	98.8%

#### 4-2 在院日数

(単位:日)

診療科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度
内 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膠原病内科 ・リウマチ科	11.6	21.1	13.2	11.9	7.5	15.2	15.2	25.9	28.8	11.7	10.5	10.2	13.6
血 液 内 科	20.8	26.3	25.6	25.4	19.3	27.3	21.0	24.8	26.7	31.6	30.1	23.7	24.6
消 化 器 内 科	9.9	12.9	12.7	11.4	10.8	10.0	11.2	10.7	10.0	10.2	10.4	9.5	10.8
呼 吸 器 内 科	15.1	21.1	14.9	14.0	18.7	15.2	14.2	21.5	15.6	18.5	17.2	16.2	16.7
腎 臓 内 科	15.2	20.6	18.1	13.9	15.8	19.3	24.0	18.9	17.1	15.9	15.2	17.2	17.3
糖 尿 病 ・ 内 分 泌 内 科	9.1	12.6	11.7	12.0	11.9	10.7	14.3	13.9	11.6	12.0	15.4	14.5	12.4
循 環 器 内 科	7.7	8.4	6.2	7.7	8.9	8.3	7.8	8.1	7.1	8.9	7.4	8.3	7.9
小 児 科	6.9	5.0	5.7	4.8	4.7	4.4	4.6	5.6	4.7	4.6	5.6	6.7	5.3
新 生 児 科	21.2	26.5	24.6	26.5	40.6	41.4	27.0	33.4	29.2	23.5	37.2	35.3	29.3
外 科	10.0	10.5	10.8	9.7	10.4	10.7	10.3	10.1	9.0	10.4	9.5	9.1	10.0
脳 神 経 外 科	15.6	18.0	15.2	17.5	16.9	19.6	14.9	17.9	17.9	20.9	22.2	19.0	17.8
整 形 外 科	17.7	18.5	17.9	17.0	17.1	17.2	17.8	18.4	16.3	18.0	18.4	13.7	17.2
脳 神 経 内 科	22.5	21.3	19.3	22.3	24.5	22.7	18.6	14.1	15.7	18.4	18.0	20.9	19.6
心 臓 血 管 外 科	16.8	22.3	21.7	24.3	27.4	14.8	17.0	18.0	23.2	24.7	20.1	23.0	20.8
呼 吸 器 外 科	11.6	12.9	13.6	12.9	14.1	13.7	14.9	14.6	11.3	13.7	14.5	11.4	13.2
形 成 外 科	9.2	11.8	22.3	15.7	12.7	14.9	15.3	11.7	17.3	22.6	14.2	10.0	14.4
眼 科	5.7	6.9	7.2	6.1	6.1	6.2	7.4	7.0	6.9	6.6	6.5	5.6	6.5
耳 鼻 咽 喉 科	9.4	8.5	8.7	10.6	9.1	9.6	7.7	9.9	8.4	10.6	12.3	6.8	9.2
麻 酔 科 ・ ペインクリニック	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放 射 線 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メ ン タ ル ク リ ニ ッ ク	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮 膚 科 ・アレルギー科	9.9	11.0	6.4	6.4	6.7	7.9	6.9	8.2	8.6	12.7	9.3	7.2	8.2
泌 尿 器 科	10.2	9.0	8.3	8.3	7.4	8.2	6.7	7.4	7.4	7.1	8.8	7.0	7.9
産 婦 人 科	7.5	7.2	7.7	7.4	7.2	8.6	7.6	7.5	7.8	8.1	8.5	9.1	7.8
救 急 診 療 科	12.5	7.7	6.8	7.9	7.0	11.7	10.0	7.3	8.0	9.6	10.4	10.8	9.0
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	11.1	11.9	11.1	11.2	11.3	11.8	11.1	11.6	10.9	12.1	11.8	11.1	11.4

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

### 4-3 診療科別延患者数(外来)

(単位:人)

診療科	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
内科		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
膠原病内科学 ・リウマチ科		1,464	1,373	1,357	1,414	1,353	1,235	1,486	1,383	1,348	1,340	1,275	1,372	1,367	16,400	16,015	102.4%
血液内科		1,241	1,235	1,188	1,244	1,324	1,194	1,255	1,210	1,235	1,158	1,119	1,194	1,216	14,597	13,767	106.0%
消化器内科		1,956	1,794	2,015	2,058	1,884	1,905	2,082	1,968	2,171	1,923	1,883	1,878	1,960	23,517	23,213	101.3%
呼吸器内科		1,872	1,856	1,884	1,957	1,823	1,859	1,910	1,971	1,941	1,847	1,741	1,749	1,868	22,410	22,288	100.5%
腎臓内科		1,176	1,153	1,030	1,168	1,159	1,073	1,114	1,135	1,137	1,248	1,119	1,150	1,139	13,662	13,503	101.2%
糖尿病・内分泌内科		2,162	1,980	2,113	2,219	2,176	2,095	2,253	2,157	2,301	2,166	2,128	2,228	2,165	25,978	23,363	111.2%
循環器科		4,178	3,978	3,870	4,045	4,033	3,737	4,159	3,924	4,122	3,890	3,892	3,813	3,970	47,641	47,396	100.5%
小児科		1,380	1,311	1,316	1,516	1,590	1,360	1,427	1,356	1,364	1,336	1,265	1,431	1,388	16,652	17,562	94.8%
新生児科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0%
外科		2,433	2,285	2,291	2,554	2,399	2,286	2,599	2,415	2,381	2,256	2,058	2,274	2,353	28,231	28,147	100.3%
脳神経外科		2,278	2,128	2,172	2,226	2,123	2,156	2,242	2,148	2,083	2,064	1,901	2,132	2,138	25,653	27,019	94.9%
整形外科		2,823	2,866	2,851	3,000	2,903	2,838	2,953	2,837	2,938	2,861	2,619	2,717	2,851	34,206	33,519	102.0%
脳神経内科		2,089	2,036	1,996	2,090	2,083	1,994	2,189	2,000	2,058	1,979	1,876	2,007	2,033	24,397	23,690	103.0%
心臓血管外科		429	393	403	395	441	400	434	419	400	383	366	425	407	4,888	4,561	107.2%
呼吸器外科		309	315	253	293	226	244	233	247	252	252	218	242	257	3,084	3,063	100.7%
形成外科		382	375	437	391	431	384	424	403	382	353	402	446	401	4,810	4,344	110.7%
眼科		2,781	2,722	2,892	3,041	2,788	2,840	3,048	2,860	2,950	2,799	2,844	3,079	2,887	34,644	33,753	102.6%
耳鼻咽喉科		1,561	1,430	1,423	1,437	1,387	1,341	1,491	1,408	1,347	1,230	1,331	1,445	1,403	16,831	16,264	103.5%
麻酔科		177	152	179	179	156	160	172	172	171	170	158	177	169	2,023	2,080	97.3%
放射線科		320	308	313	219	301	304	288	361	315	221	337	360	304	3,647	3,311	110.1%
メンタルクリニック		2,379	2,279	2,190	2,439	2,312	2,234	2,492	2,187	2,324	2,247	2,156	2,285	2,294	27,524	27,227	101.1%
皮膚科・アレルギー科		2,538	2,503	2,465	2,668	2,588	2,424	2,458	2,402	2,395	2,360	2,335	2,278	2,451	29,414	27,330	107.6%
泌尿器科		1,950	1,924	1,830	2,031	1,900	1,823	1,873	1,814	1,864	1,766	1,741	1,842	1,863	22,358	21,189	105.5%
産婦人科		2,528	2,413	2,484	2,620	2,577	2,472	2,716	2,613	2,658	2,484	2,400	2,632	2,550	30,597	31,158	98.2%
救急診療科		98	112	87	112	139	130	127	125	104	105	84	85	109	1,308	1,434	91.2%
リハビリテーション科		43	45	43	34	34	29	23	32	31	42	33	42	36	431	598	72.1%
合計		40,547	38,966	39,082	41,350	40,130	38,517	41,448	39,547	40,272	38,480	37,281	39,283	39,575	474,903	465,796	102.0%

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

## 4-4 診療科別延患者数(入院)

(単位:人)

診療科	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
	膠原病内科・リウマチ科		188	200	191	183	143	177	220	202	192	199	196	185	190	2,276	2,329
血液内科		512	517	454	539	481	438	528	554	474	438	453	468	488	5,856	5,797	101.0%
消化器内科		861	988	915	1,004	976	927	976	1,052	887	904	928	965	949	11,383	11,286	100.9%
呼吸器内科		669	754	561	676	769	785	649	777	777	899	638	780	728	8,734	9,640	90.6%
腎臓内科		404	443	363	381	390	365	437	418	446	440	406	430	410	4,923	4,694	104.9%
糖尿病・内分泌内科		159	184	164	182	173	148	187	171	184	173	204	196	177	2,125	1,964	108.2%
循環器科		1,660	1,618	1,384	1,399	1,420	1,423	1,424	1,575	1,605	1,693	1,432	1,512	1,512	18,145	18,393	98.7%
小児科		467	381	454	336	369	370	327	351	341	260	414	414	374	4,484	5,009	89.5%
新生児科		829	893	912	917	939	849	798	788	891	846	840	888	866	10,390	10,393	100.0%
外科		1,784	1,950	2,052	2,067	2,040	1,994	2,180	1,919	2,054	2,050	1,870	1,920	1,990	23,880	23,682	100.8%
脳神経外科		1,607	1,759	1,617	1,763	1,690	1,770	1,727	1,798	1,892	2,081	1,807	1,737	1,771	21,248	22,159	95.9%
整形外科		1,975	1,975	2,072	1,971	2,080	1,993	1,987	2,008	2,079	1,908	1,809	1,766	1,969	23,623	23,034	102.6%
脳神経内科		856	884	844	850	819	783	711	688	714	633	734	756	773	9,272	9,412	98.5%
心臓血管外科		528	487	543	570	566	459	322	367	413	474	447	526	475	5,702	5,478	104.1%
呼吸器外科		274	231	242	271	318	259	295	312	241	168	231	267	259	3,109	2,928	106.2%
形成外科		218	237	340	367	244	237	279	231	246	296	230	194	260	3,119	2,965	105.2%
眼科		716	688	760	783	672	673	836	750	811	716	671	688	730	8,764	8,903	98.4%
耳鼻咽喉科		351	331	416	439	433	374	343	439	370	342	359	331	377	4,528	5,226	86.6%
麻酔科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
放射線科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
メンタルクリニック		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	—
皮膚科・アレルギー科		277	300	248	201	284	223	205	228	238	260	263	290	251	3,017	2,933	102.9%
泌尿器科		672	649	636	746	668	560	566	486	590	511	569	579	603	7,232	6,768	106.9%
産婦人科		1,605	1,586	1,693	1,770	1,709	1,803	1,823	1,587	1,858	1,670	1,699	1,755	1,713	20,558	20,606	99.8%
救急診療科		575	511	388	470	572	505	628	405	500	523	575	698	529	6,350	6,201	102.4%
リハビリテーション科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
合計		17,187	17,566	17,249	17,885	17,755	17,115	17,448	17,106	17,803	17,484	16,775	17,345	17,393	208,718	209,853	99.5%

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

### 4-5 新患者数(外来)

(単位:人)

診療科	月													月平均	当年度計	前年度計	前年比
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
内 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
膠原病内科 ・リウマチ科	52	41	41	28	40	40	38	36	31	43	26	49	39	465	531	87.6%	
血液内科	88	65	75	62	67	51	58	59	52	39	45	41	59	702	635	110.6%	
消化器内科	74	96	97	124	96	84	120	121	121	124	86	90	103	1,233	1,267	97.3%	
呼吸器内科	87	81	72	84	84	73	89	78	81	72	73	38	76	912	1,008	90.5%	
腎臓内科	33	46	45	59	50	48	42	59	45	67	35	33	47	562	508	110.6%	
糖尿病・ 内分泌内科	58	51	38	55	44	43	40	34	52	43	33	38	44	529	540	98.0%	
循環器科	92	111	113	87	84	88	98	111	114	89	93	78	97	1,158	1,164	99.5%	
小 児 科	176	183	183	192	201	153	146	123	148	169	115	120	159	1,909	2,076	92.0%	
新生児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
外 科	105	86	85	140	108	109	131	124	128	109	78	80	107	1,283	1,328	96.6%	
脳神経外科	109	108	113	124	105	108	113	105	100	114	98	86	107	1,283	1,497	85.7%	
整形外科	259	279	278	240	286	276	243	242	199	270	196	205	248	2,973	3,080	96.5%	
脳神経内科	86	77	73	81	79	78	68	71	57	55	69	58	71	852	938	90.8%	
心臓血管外科	19	18	23	15	20	11	9	11	17	12	10	14	15	179	193	92.7%	
呼吸器外科	3	7	6	6	5	6	4	9	4	2	7	3	5	62	72	86.1%	
形成外科	53	40	59	31	49	48	50	34	29	36	46	45	43	520	584	89.0%	
眼 科	111	132	131	149	127	150	126	153	121	120	118	107	129	1,545	1,768	87.4%	
耳鼻咽喉科	152	145	136	120	130	125	134	129	109	108	118	90	125	1,496	1,554	96.3%	
麻 酔 科	2	4	1	2	1	4	5	3	2	6	4	5	3	39	58	67.2%	
放射線科	20	10	12	23	18	14	17	22	22	19	11	13	17	201	235	85.5%	
メンタル クリニック	56	61	47	69	50	56	70	48	42	52	47	49	54	647	679	95.3%	
皮膚科 ・アレルギー科	153	144	124	170	157	153	143	127	103	116	115	101	134	1,606	1,731	92.8%	
泌尿器科	64	68	66	75	79	90	69	74	56	61	59	61	69	822	834	98.6%	
産 婦 人 科	138	119	152	186	162	144	164	154	159	111	108	121	143	1,718	2,500	68.7%	
救急診療科	64	75	51	63	88	77	55	65	57	55	46	42	62	738	884	83.5%	
リハビ リテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
合 計	2,054	2,047	2,021	2,185	2,130	2,029	2,032	1,992	1,849	1,892	1,636	1,567	1,953	23,434	25,664	91.3%	

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

## 4-6 新患者数(入院)

(単位:人)

診療科	月													月平均	当年度計	前年度計	前年比
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
内 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膠原病内科 ・リウマチ科	16	8	14	12	18	12	12	7	8	14	16	16	13	153	111	137.8%	
血液内科	23	20	15	23	20	16	24	22	13	15	13	20	19	224	222	100.9%	
消化器内科	82	74	70	84	80	84	79	87	77	86	78	94	81	975	956	102.0%	
呼吸器内科	41	31	37	51	40	50	40	34	48	43	35	49	42	499	480	104.0%	
腎臓内科	27	20	18	25	20	19	18	20	23	26	24	22	22	262	227	115.4%	
糖尿病・ 内分泌内科	18	13	14	14	14	11	17	12	13	16	13	10	14	165	156	105.8%	
循環器科	197	164	198	164	139	163	160	181	199	176	167	168	173	2,076	2,118	98.0%	
小 児 科	57	68	64	59	65	65	60	53	58	51	62	53	60	715	811	88.2%	
新生児科	40	32	33	36	20	18	29	26	29	34	22	26	29	345	435	79.3%	
外 科	161	166	174	191	177	172	197	170	203	184	180	183	180	2,158	2,097	102.9%	
脳神経外科	93	97	98	103	90	86	109	102	97	90	84	83	94	1,132	1,209	93.6%	
整形外科	109	97	103	108	112	104	103	98	117	103	84	119	105	1,257	1,086	115.7%	
脳神経内科	37	35	41	36	30	32	39	44	36	39	37	35	37	441	470	93.8%	
心臓血管外科	26	24	25	21	21	20	20	22	15	19	18	24	21	255	301	84.7%	
呼吸器外科	19	14	16	20	20	16	17	19	18	13	17	21	18	210	212	99.1%	
形成外科	22	18	13	22	14	16	15	16	14	12	13	16	16	191	174	109.8%	
眼 科	106	93	91	108	92	98	100	91	100	99	87	103	97	1,168	1,332	87.7%	
耳鼻咽喉科	35	40	39	38	42	36	41	41	31	37	26	40	37	446	459	97.2%	
麻 酔 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
放 射 線 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
メンタル クリニック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
皮膚科 ・アレルギー科	27	25	33	26	38	25	26	23	27	20	25	36	28	331	284	116.5%	
泌尿器科	64	64	67	84	75	64	70	61	62	71	58	72	68	812	692	117.3%	
産婦人科	195	190	204	205	210	192	207	186	198	195	177	177	195	2,336	2,340	99.8%	
救急診療科	47	65	54	57	82	43	65	52	61	51	59	63	58	699	633	110.4%	
リハビリ テーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
合 計	1,442	1,358	1,421	1,487	1,419	1,342	1,448	1,367	1,447	1,394	1,295	1,430	1,404	16,850	16,808	100.2%	

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

## 4-7 退院患者数

(単位:人)

診療科	月													月平均	当年度計	前年度計	前年比
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
内 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
膠原病内科 ・リウマチ科	14	10	13	16	16	10	15	8	5	17	18	17	13	159	120	132.5%	
血液内科	24	18	19	18	27	15	24	21	21	12	16	18	19	233	223	104.5%	
消化器内科	76	69	64	79	85	84	81	92	84	76	84	90	80	964	968	99.6%	
呼吸器内科	42	37	34	40	38	47	45	35	46	49	35	42	41	490	487	100.6%	
腎臓内科	23	21	20	26	26	17	17	22	26	26	26	25	23	275	239	115.1%	
糖尿病・ 内分泌内科	14	14	12	14	13	14	8	11	16	11	12	15	13	154	157	98.1%	
循環器科	185	178	187	158	148	144	163	168	198	167	172	159	169	2,027	2,074	97.7%	
小 児 科	61	61	70	57	64	71	57	53	61	44	64	55	60	718	809	88.8%	
新生児科	35	33	38	31	25	22	28	20	30	35	22	23	29	342	440	77.7%	
外 科	163	174	175	195	182	168	190	176	209	176	177	197	182	2,182	2,092	104.3%	
脳神経外科	100	89	101	88	98	86	108	89	103	100	72	90	94	1,124	1,196	94.0%	
整形外科	103	105	116	111	118	115	108	109	123	98	102	121	111	1,329	1,166	114.0%	
脳神経内科	36	44	42	37	34	34	34	47	49	27	40	34	38	458	464	98.7%	
心臓血管外科	33	18	23	24	19	37	16	17	19	18	24	20	22	268	310	86.5%	
呼吸器外科	24	19	17	19	22	19	20	21	21	10	13	22	19	227	225	100.9%	
形成外科	21	19	16	22	21	14	19	20	13	13	17	19	18	214	198	108.1%	
眼 科	109	83	94	111	96	90	100	95	104	91	92	104	97	1,169	1,337	87.4%	
耳鼻咽喉科	33	31	46	38	44	35	38	40	46	23	28	44	37	446	464	96.1%	
麻 酔 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	—	—	—	—	
放 射 線 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	—	—	—	—	
メンタル クリニック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	—	—	—	—	
皮膚科 ・アレルギー科	24	25	34	28	36	25	26	26	23	18	26	35	27	326	282	115.6%	
泌尿器科	57	66	69	78	83	59	76	56	77	57	58	72	67	808	706	114.4%	
産婦人科	183	198	188	214	206	186	215	187	222	173	180	172	194	2,324	2,337	99.4%	
救急診療科	39	54	46	49	64	37	51	46	51	48	43	56	49	584	524	111.5%	
リハビリ テーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
合 計	1,399	1,366	1,424	1,453	1,465	1,329	1,439	1,359	1,547	1,289	1,321	1,430	1,402	16,821	16,821	100.0%	

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

### 4-8 年齢別延患者数(外来)

(単位:人)

年齢	月	月												月平均	当年度計	前年度計	前年比
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
0	歳	423	390	381	454	459	411	470	421	447	453	439	458	434	5,206	6,623	78.6%
1-6	歳	798	764	748	833	816	755	812	798	692	707	682	706	759	9,111	9,283	98.1%
0-9	歳	1,427	1,400	1,385	1,578	1,590	1,393	1,557	1,482	1,436	1,413	1,347	1,444	1,454	17,452	18,954	92.1%
10-19	歳	1,035	1,038	1,123	1,224	1,389	1,056	1,093	1,056	1,200	972	947	1,174	1,109	13,307	12,765	104.2%
20-29	歳	1,601	1,507	1,494	1,638	1,632	1,488	1,513	1,515	1,575	1,584	1,555	1,662	1,564	18,764	18,527	101.3%
30-39	歳	2,501	2,383	2,371	2,545	2,533	2,370	2,622	2,454	2,408	2,411	2,352	2,468	2,452	29,418	29,742	98.9%
40-49	歳	3,808	3,577	3,731	3,792	3,772	3,672	3,934	3,872	3,815	3,581	3,509	3,657	3,727	44,720	43,625	102.5%
50-59	歳	4,577	4,310	4,509	4,652	4,484	4,284	4,521	4,490	4,689	4,302	4,389	4,481	4,474	53,688	52,077	103.1%
60-64	歳	2,804	2,763	2,800	2,990	2,829	2,754	3,019	2,669	2,776	2,730	2,650	2,701	2,790	33,485	32,522	103.0%
65-74	歳	10,181	9,881	9,753	10,311	9,849	9,726	10,427	9,877	9,954	9,695	9,144	9,867	9,889	118,665	120,235	98.7%
75歳以上		12,613	12,107	11,916	12,620	12,052	11,774	12,762	12,132	12,419	11,792	11,388	11,829	12,117	145,404	137,349	105.9%
合	計	37,426	38,666	39,262	39,391	40,611	36,838	41,523	39,337	38,329	37,816	36,470	40,127	39,575	474,903	465,796	102.0%

### 4-9 年齢別延患者数(入院)

(単位:人)

年齢	月	月												月平均	当年度計	前年度計	前年比
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
0	歳	933	1,029	1,041	1,033	1,056	1,008	939	941	1,076	933	999	1,058	1,004	12,046	12,700	94.9%
1-6	歳	301	225	317	187	265	220	232	191	155	154	212	234	224	2,693	2,761	97.5%
0-9	歳	1,308	1,311	1,397	1,260	1,381	1,260	1,198	1,176	1,275	1,118	1,231	1,340	1,271	15,255	16,075	94.9%
10-19	歳	217	189	258	274	328	189	193	165	207	165	162	278	219	2,625	2,941	89.3%
20-29	歳	516	522	559	711	720	761	678	570	668	600	678	532	626	7,515	6,716	111.9%
30-39	歳	915	854	1,005	900	1,132	1,023	946	909	1,029	947	984	1,058	975	11,702	12,163	96.2%
40-49	歳	1,172	1,265	1,132	1,288	979	903	1,052	980	1,001	945	942	1,100	1,063	12,759	13,799	92.5%
50-59	歳	1,506	1,556	1,580	1,621	1,515	1,482	1,791	1,577	1,423	1,688	1,450	1,210	1,533	18,399	17,508	105.1%
60-64	歳	1,261	1,364	1,338	1,087	1,208	970	915	1,018	1,210	1,153	1,020	1,087	1,136	13,631	13,601	100.2%
65-74	歳	4,162	4,329	4,189	4,536	4,188	4,406	4,225	4,279	4,114	3,997	4,015	4,169	4,217	50,609	53,201	95.1%
75歳以上		6,130	6,176	5,791	6,208	6,304	6,121	6,450	6,432	6,876	6,871	6,293	6,571	6,352	76,223	73,849	103.2%
合	計	17,334	17,429	17,817	18,284	18,034	17,134	17,580	17,449	17,456	17,393	16,161	17,782	17,393	208,718	209,853	99.5%

## 4-10 地区別延患者数(外来)

(単位:人)

市町村	月													月平均	当年度計	前年度計	前年比
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
下田市	987	1,034	1,018	1,026	990	965	1,003	924	985	878	890	952	971	11,652	11,718	99.4%	
東伊豆町	689	683	697	780	802	726	745	745	763	662	673	678	720	8,643	8,157	106.0%	
河津町	479	489	487	539	471	485	503	521	528	486	442	477	492	5,907	5,798	101.9%	
南伊豆町	408	387	456	412	424	388	446	402	457	409	397	430	418	5,016	4,819	104.1%	
松崎町	414	344	370	424	386	390	393	348	332	331	333	334	367	4,399	4,940	89.0%	
西伊豆町	715	728	733	786	672	669	746	658	715	655	652	714	704	8,443	8,669	97.4%	
熱海市	967	877	961	910	917	878	934	929	937	876	906	915	917	11,007	11,146	98.8%	
伊東市	3,646	3,554	3,413	3,679	3,259	3,399	3,737	3,553	3,506	3,374	3,242	3,450	3,484	41,812	41,661	100.4%	
沼津市	4,437	4,167	4,203	4,424	4,393	4,220	4,507	4,371	4,292	4,183	4,090	4,250	4,295	51,537	49,370	104.4%	
三島市	4,437	4,278	4,226	4,459	4,298	4,271	4,410	4,454	4,446	4,229	4,119	4,270	4,325	51,897	50,225	103.3%	
御殿場市	1,136	1,035	1,114	1,109	1,119	1,081	1,228	1,148	1,145	1,078	956	1,088	1,103	13,237	12,154	108.9%	
裾野市	823	816	842	961	846	898	883	830	888	821	755	882	854	10,245	10,173	100.7%	
伊豆市	4,529	4,363	4,428	4,690	4,466	4,196	4,552	4,390	4,342	4,356	4,109	4,345	4,397	52,766	53,471	98.7%	
伊豆の国市	9,363	9,236	9,080	9,671	9,390	9,034	9,528	9,078	9,293	8,994	8,555	9,126	9,196	110,348	109,936	100.4%	
函南町	3,647	3,322	3,382	3,555	3,661	3,252	3,759	3,278	3,574	3,225	3,214	3,392	3,438	41,261	39,843	103.6%	
清水町	799	777	783	793	881	804	916	866	908	828	843	856	838	10,054	9,178	109.5%	
長泉町	752	694	733	763	738	673	770	770	725	735	735	754	737	8,842	8,299	106.5%	
小山市	157	176	191	208	198	213	210	198	194	189	168	191	191	2,293	2,096	109.4%	
富士宮市	269	229	257	276	251	251	279	232	242	217	209	227	245	2,939	3,035	96.8%	
富士市	540	483	517	510	498	457	545	523	522	499	486	530	509	6,110	6,256	97.7%	
県内その他	271	273	287	340	323	323	318	307	328	360	360	359	321	3,849	2,518	152.9%	
県外	1,082	1,021	904	1,035	1,147	944	1,036	1,022	1,150	1,095	1,147	1,063	1,054	12,646	12,334	102.5%	
合計	40,547	38,966	39,082	41,350	40,130	38,517	41,448	39,547	40,272	38,480	37,281	39,283	39,575	474,903	465,796	102.0%	

## 4-11 地区別延患者数(入院)

(単位:人)

市町村	月													月平均	当年度計	前年度計	前年比
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
下田市		627	684	563	699	738	610	663	778	727	573	304	341	609	7,307	6,647	109.9%
東伊豆町		465	372	367	410	345	388	387	409	504	505	277	265	391	4,694	4,321	108.6%
河津町		271	233	268	211	174	110	197	266	396	393	205	276	250	3,000	3,318	90.4%
南伊豆町		159	204	171	218	140	300	188	201	135	254	274	290	211	2,534	2,660	95.3%
松崎町		147	192	129	241	102	183	222	178	199	190	163	330	190	2,276	2,651	85.9%
西伊豆町		459	378	325	210	247	309	419	413	346	320	404	211	337	4,041	4,446	90.9%
熱海市		505	424	450	480	378	336	174	222	354	419	425	414	382	4,581	5,327	86.0%
伊東市		1,664	1,729	1,872	1,776	1,687	1,668	1,746	1,824	1,813	1,862	1,663	1,829	1,761	21,133	20,901	101.1%
沼津市		1,916	2,065	1,847	2,111	2,264	1,786	1,855	1,771	2,019	1,910	1,925	2,461	1,994	23,930	23,930	100.0%
三島市		1,586	1,722	1,675	1,860	2,013	1,629	1,785	1,775	1,792	1,604	1,841	1,729	1,751	21,011	19,213	109.4%
御殿場市		717	743	733	816	814	925	690	639	750	703	829	752	759	9,111	8,703	104.7%
裾野市		499	361	358	351	492	507	480	459	478	388	350	359	424	5,082	5,379	94.5%
伊豆市		1,785	1,571	1,766	1,553	1,592	1,823	1,604	1,385	1,578	1,723	1,616	1,741	1,645	19,737	20,337	97.0%
伊豆の国市		2,691	2,843	2,916	3,081	2,981	2,950	3,506	3,245	3,347	2,984	2,944	3,114	3,050	36,602	35,892	102.0%
函南町		1,354	1,765	1,530	1,480	1,473	1,319	1,252	1,316	1,219	1,404	1,497	1,345	1,413	16,954	18,620	91.1%
清水町		347	329	224	337	303	361	418	366	248	369	323	394	335	4,019	5,176	77.6%
長泉町		522	348	419	484	332	423	308	340	291	347	393	313	377	4,520	4,832	93.5%
小山市		206	138	181	181	193	152	146	165	181	115	123	99	157	1,880	1,908	98.5%
富士宮市		289	185	208	296	224	139	154	208	113	145	160	119	187	2,240	3,068	73.0%
富士市		306	282	434	449	376	287	263	283	396	310	261	241	324	3,888	4,014	96.9%
県内その他		127	222	132	211	159	132	268	216	203	187	183	236	190	2,276	1,100	206.9%
県外		545	776	681	430	728	778	723	647	714	779	615	486	659	7,902	7,410	106.6%
合計		17,187	17,566	17,249	17,885	17,755	17,115	17,448	17,106	17,803	17,484	16,775	17,345	17,393	208,718	209,853	99.5%